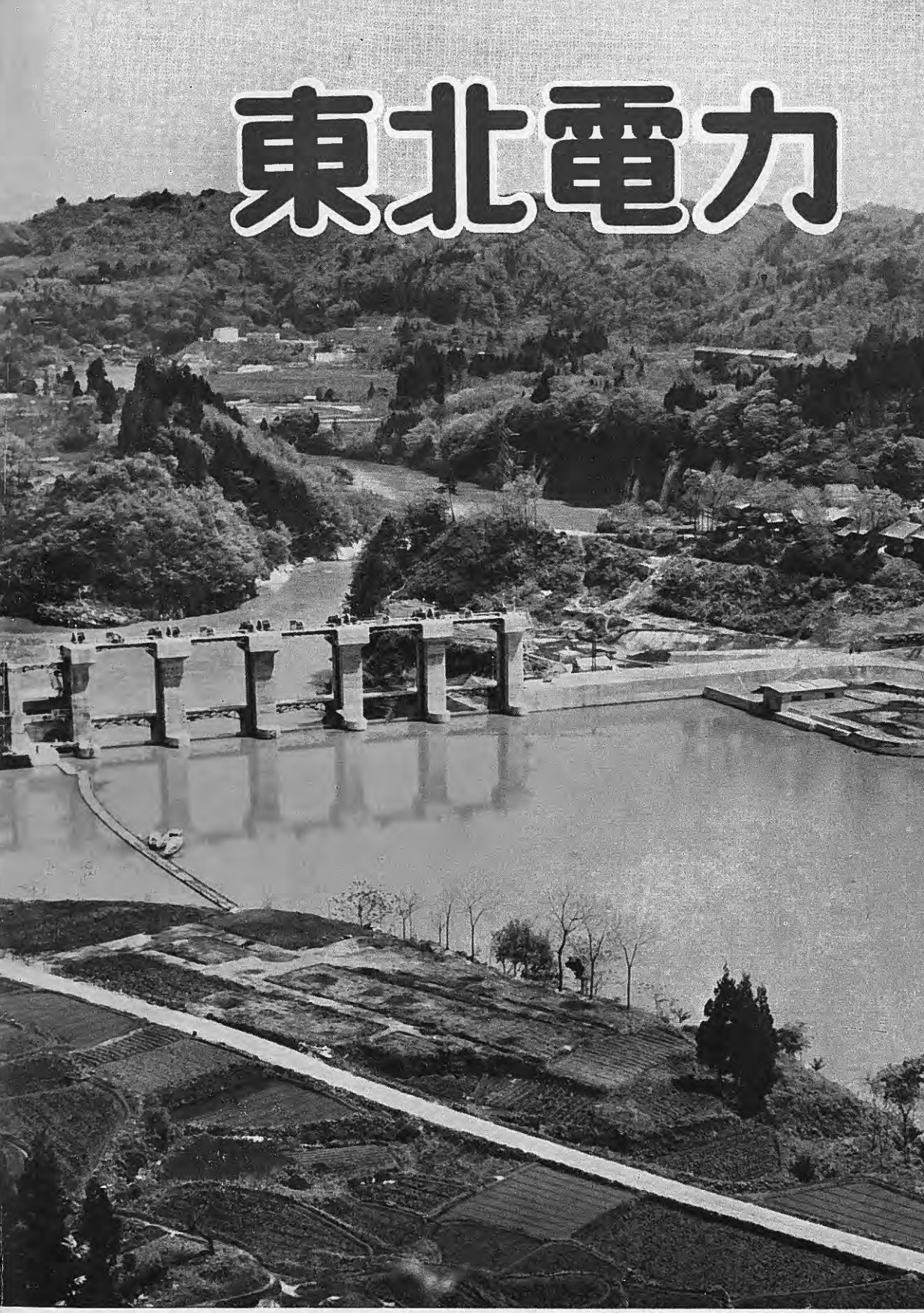
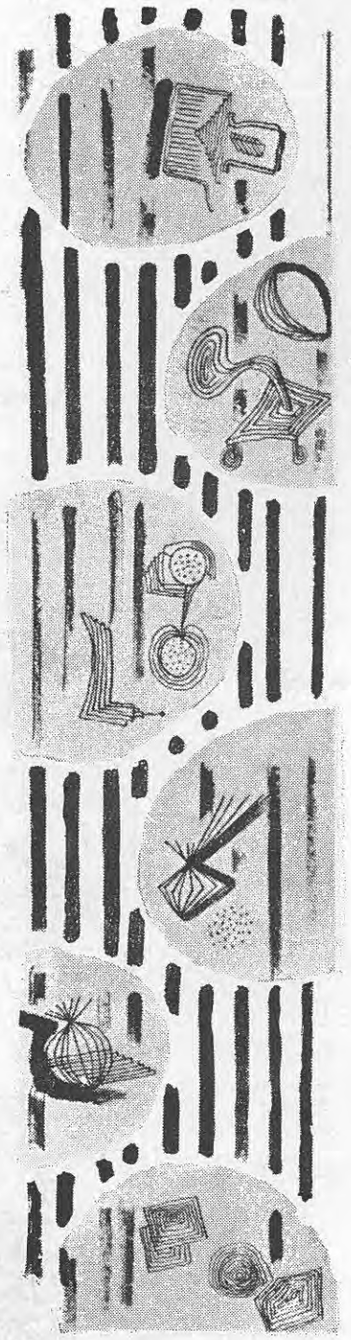
東北電力



東北電力株式会社社誌　No. 23　30. 5



東北電力 第23号 目次

創立記念日を迎う……社長　内ヶ崎彎五郎…(1)
新入社員のために……副社長　白川應則…(3)

電話対談・福島支店長に訊く
……福島支店長・本店総務課長…(10)

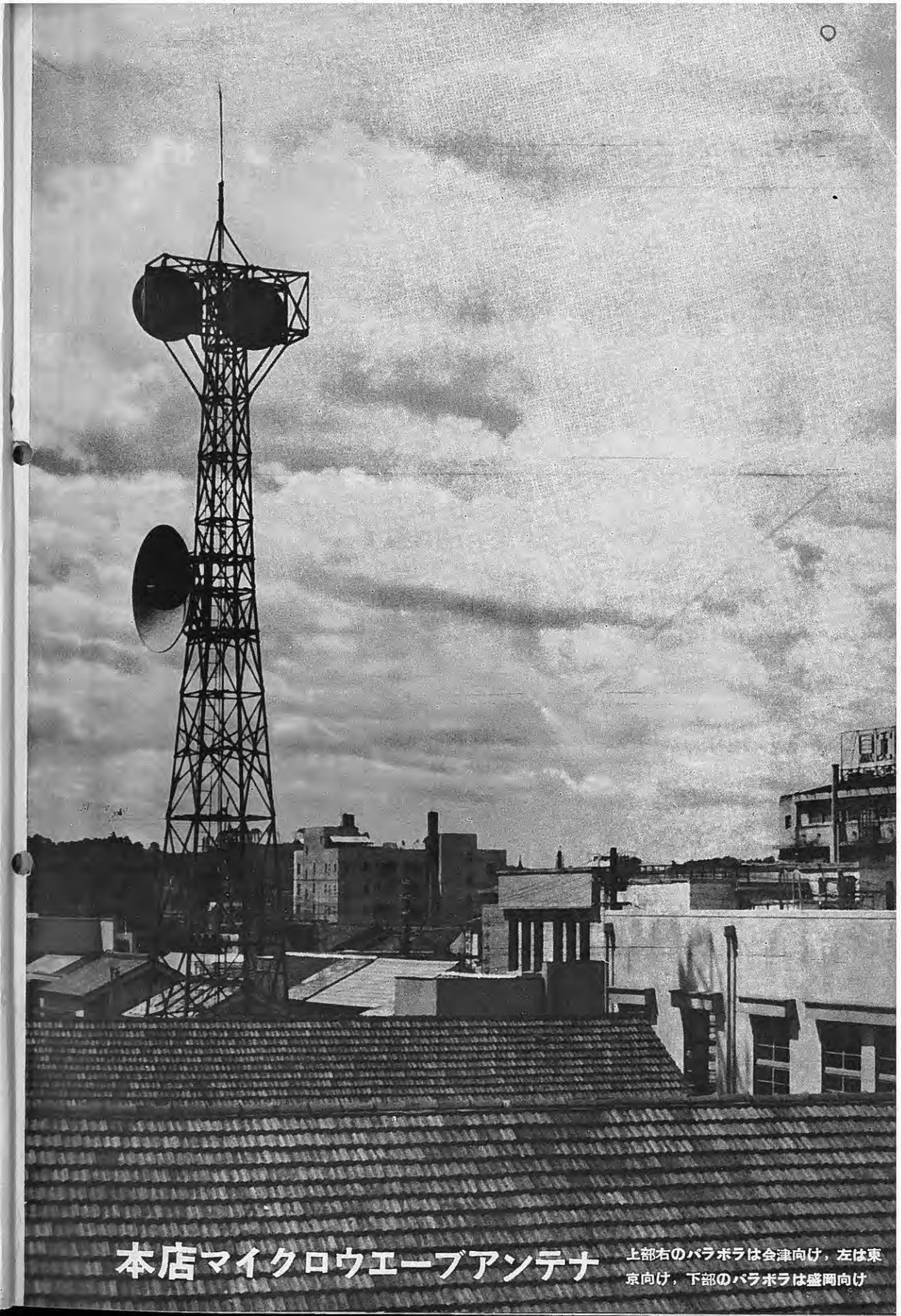
原子力の話題……釘本甲子男…(15)
電気料金3割頭打ち制度について…坂田慎三郎…(20)
焼棒杭からアーケードまで……神部行雄…(22)
網地島海底ケーブルについて…宮城支店線路課…(29)
第3回永年勤続者表彰行事……人事課…(33)

本店ニュース……(43)
支店だより……(46)
營業所だより（八戸・佐渡）……(34)
東京通信……(48)

ニュールツク戦略と原子戦の様相
……円地与四松…(52)
中共と電気……小野平八郎…(56)
集金日記……千葉昌蔵…(62)
胃潰瘍(2)……尾形宗治郎…(65)
春の日の出来事……佐藤鉄歩…(69)
速製士官日誌……鈴村二郎…(71)
熊に追いかけられた話……武下堅吉…(74)
春二題……千本健雄…(76)
運と災難……一戸三平…(79)
鷺鳥のはなし……連山仁一郎…(81)
アインシユタイン……菅雄吉…(84)

俳句（遠藤梧逸選）……(92)
短歌（扇畑忠雄選）……(89)
写真（阿部秀陽選）……(93)

表紙（柳津ダム初夏）……倉林稔
カット……金沢光策



本店マイクロウエーブアンテナ　上部右のパラボラは会津向け，左は東京向け，下部のパラボラは盛岡向け

東北の空を蔽う
当社マイクロ網







仙台・盛岡間
盛岡・青森間

盛　岡　端　局

仙台・東京間

関　山　中　継　所

盛岡・青森間

浅　虫　中　継　所

若松・田子倉間

惣　山　中　継　所

背後は沼沢沼





サービスカー津軽をゆく

五戸町にて

三本木高等学校にて

本誌「春二題」参照





今日は我が社が去る昭和26年5月1日に誕生致しましてから，まる4カ年の星霜を閲しました記念日でありますが，本日こゝに皆様と一堂に会しまして，この佳き日をお祝いする事が出来ます事は，私の喜びとする所でございます。

この佳き日を迎えるに当りまして過去を考えますと，社業は益々進展致しております。これは偏えに従業員諸君の非常なる御健闘のたまものでありまして，また株主各位が相次ぐ増資にもかゝわらず，これを快く引受けて戴いたという事，更にまた料金の値上を何回となくやつたのでありますが，これには兎角の議論はありましたけれども，需用家各位においてもこれを受けて戴きまして，社業の進展の為に寄与して戴いたという事，この3つが渾然一体となつて今日の社運の隆盛をみたものと信じておるのでありますが，それと同時にまた我が社が，天の時を得，地の利を占め，更にまた人の和を得ておるという事，この結果に他ならないものと考えまして，私はこゝに天地神明に対して更に感謝の念を深う致しておる次第であります。

過去4カ年をふりかえつてみますというと，我々が新会社発足当時に当りまして目標と致しました所の「豊富・低廉」なる電力を供給するという事，これが当初の我々の最大の目的であつたのでありますが，4カ年を経ました今日，その目的が完全とは申しませんが，相当に達成せられたものと確信致しております。これを具体的に申しますれば「豊富」という事につきましては，昨年の10月1日から，電力供給の割当制度を廃止しております。これは我が東北電力と北陸電力の2社だけであります。他の7社は遺憾ながらまだこれを完全にやつておらないよ

うな状態でありますが，我が社，北陸の2社は完全に割当制度を廃止致しており，もつと需用家サービスに万全を期しておるような次第であります。もう一つの「低廉」という問題でありますが，500KW 以上の大口電力の料金につきまして考えますと，我が社のは最低であります。北海道，九州等の殆んど半値であります。また従来一番低廉であつた北陸電力よりも安くなつております。我が社の2円2戔に対して北陸電力は2円15戔という事で，我が社の方が安くなつておる。これが即ち「低廉」であります。

以上申しあげましたように創立当初の目的である「豊富・低廉」という事が概ね達成せられたのでありますが，これは先にも申しましたように，偏えに従業員各位の非常なる努力にまつことは勿論でありますが，また天地神明の加護によるものと私は考えておるのであります。今後我が社が進展して参りますにつきましては，いろいろな障害が前途にあろうと思います。即ち昨年度から，本年度においても同じでありまするが，国家予算は1兆円に限るという事で，いろいろな仕事をやります点におきましても，思うように資金が集まらないというような事でありますが，我々は総ゆる困難を克服して，益々前進せねばならないと考えておる次第であります。

かゝる業績をあげましたにつきましては，先程も申しましたように，従業員諸君の非常なる努力がその中核をなしておる訳でありますが，それと同時にまた各種の方面において合理化をやつたという事，つまり一人当りの生産量が非常に増加したという事，その内容を考えてみますというと，各個人の非常なる努力と共にいろいろな工作機械或いは新しい発明・発見等，それを利用するという事によりまして人力を節約する，そういう事によつて一人当りの生産量が増えたのでありますが，いろいろこれを具体的に申しますならば，例えばマイクロウエーブを使用した事，或いはデリツク・クレインを使つて電柱の建柱やポール・トランスの引揚に利用するとか，或いは発電所の自動化，ヘリコプターを使用して送電線の保守を能率化する，更にはまた向いの東北電業会舘内に出来ました機械計算株式会社におきまして，レミントンランドの機械を購入致したのでありますが，この機械を使つて電気料金の計算を機械的にやらせる，こういつたようなこともそれぞれその緒についております。これを使いこなすにはまだ相当の熟練を要する事とは思いますが，このような機械も新たに入つて来て一威力を加えるというような事をやつて参つたのでありますが，今後とも一層この方面については皆さんの衆智を集めて，新しい施設をやる事によつて益々合理化を進めるという事が，最も肝要ではないかと存ずるのであります。希くは諸君からいろいろな名案を出して戴いて，これを検討し，新しい良きものを採用して行くというような事に進んで参りたいと考える次第であります。

いづれに致しましても創立当初の目的が着々実を結びつゝあるという状態でありまして，誠に諸君と共に御同慶に堪えない次第でございます。どうぞ今後とも健康に留意せられまして，益々社業の発展に寄与せられん事を，この佳き記念日に際しまして偏えにお願い致しまして御挨拶とする次第であります。

新入社員のために

取締役副社長　白　川　應　則

私は白川であります。皆さん方は多数の中から選ばれて当社に入社された事につきまして心からお祝い申上げると同時に，会社が諸君に期待する処は非常に大きいものがある事を併せてこゝに申しあげます。

当社は昭和26年5月1日に，もとの日本発送電及び東北配電が解体されて新会社として発足したのでありますが，御承知の様に東北七県が供給区域になつております。

当社は発足以来電源の開発とサービスの改善に主力をそゝいで参つております。

発電所，変電所，送電線，配電線の建設にも機械力が応用され，その保守運営にも機械力なり，進んだ通信施設が利用されております。

諸種の計算には東北計算会社の RR 式を利用する事を考え既に着手しております。此等の具体的の事については夫々の担当者から既にお話をお聞きになつておる事と存じますので私はわが電気事業の大綱についてお話を申上げたいと存じます。

現在日本には9つの電力会社がある訳でありますが，それとも1つ，電源開発株式会社というのが出来まして，大規模な電源だとか，或いはまた国家的な綜合開発に関連するもので，営利会社でこれを実施するのに不適当だと思われる仕事はこの電源開発会社でやる事になつております。然し開発致しました電気はそれぞれ最寄りの9つの電力会社において供給する訳でありますから，電力会社側から考えますとこの電源開発会社というのは，電源面において電力会社に協力して貰える会社だとお考え願つても差支えないぢやないかと考えるのであります。少くともこの東北電力に職を奉ぜられた以上，諸君はやはり東北電力の社員として，日本有数の電気事業の運営者になつて戴くと同時に，矢張り大きく目を開いて世界の電気事業をも充分承知して戴いて，世界に劣らないような電気事業の運営者になるような心構えをもつて戴きたいと思うのであります。それには矢張り東北の事情だけでなくて，日本の事情，それから世界の事情，すべてを承知しておらなければその運営に当ることは出来ない，自から自分の仕事に充分な責任を感じられるならば，いま申上げたあらゆる方面に目を配つて御研鑽を願わなければならないと考えるのであります。

それから電気事業というものは，御承知のように基礎産業でありますから，電気事業の興廃があらゆる産業の興廃に直接影響致しますと同時に，全大衆の生活に対す影響も非常に大きいのであります。電気事業が公益事業と称せられる所以もそこにあるのであります。いま私は現在だけの事を考えまして申しあげたのですが，矢張り日本の電気事業を運営する為には日本民族の将来を充分考慮して即ちその興廃を考慮して，我々の祖先に対しても或いはまたその将来に対しても悔なきような施策を行わなければならないと考えるのであります。これが我々この事業に当る者の根本の考えとならなければならないと思うのであります。

話が大変抽象的になりましたが，それを具体的，端的に申しあげれば，矢張り成可く安い電気料金で充分な電気を供給する，それから無理のないように，問題の起らないようにサービスを良くして行く，これがまあ，本当に手近かな具体的な考え方だと思うのであります。おそらくそういう意味で只今までの講演者も皆さん方にいろいろ会社の実情をお話し申上げたと思うのでありますが，その考え方の根本の理念は，大きな筋金の通つた1つの考え方によつて導かれなければ，本当に力のこもつた，血の通つた

仕事は出来ないと思うのであります。そういう意味において皆さん方も，我々の進む途がどこにあるかという事を充分考えた上で実務に当つて貰いたい，そういうお考でお進みになるならば，私の長い間の，然し本当につまらん経験でありますけれども，仮りにいろいろの面白くない事柄に出つくわしても，どんな苦労に出つくわしましても，少しもひるむ事はない，却つて自分の大きな理想に向つて進んで行く一駒であると考えるならば，あらゆるものについて割切つて解決出来ると思うのであります。一生涯を電気事業に捧げて戴かねばなりません皆さんでありますので，初めの中に充分その点をお考えおき願いませんと，途中で挫折する事があります。私も37年電気事業に従事致しておりますが，その間本当に面白かつたと思うのは，その中のほんの一部であります。おそらく自分の本当の目先だけから考えますというと，面白かつたと思うのはその中の10%か15%で，あとの大部分は，まあ，身近に考えると面白くないというような事柄が多かつたような気が致します。然しそういう場合には私は何時も自分の理想とする所を目標に致しまして，ふりかえつてなお自分の修養が足りないという事を考え，書物を読んだり他人の話を聴いたりして，そして自分の切磋を怠らなかつたという心構えだけは持つておつたとはつきり申しあげる事が出来ると思うのであります。それで恐らく皆さん方も私と同じような道程を繰返えされる事と思うので，次代を背負つて戴く皆さん方の為に私のつまらない経験を申しあげたような次第であります。

それから，今迄いろいろ余談を申しあげましたが，次は本論に入りまして，東北の電気の状態を申しあげますと，東北の電源は十和田，田沢を中心とする電源，これには青森，岩手，秋田，これを北部3県と申しますが，これに酒田まで入れますと3県半でありますが，これらが2つの湖を中心と致します圏内に入るのであります。あとは只見川——猪苗代湖も只見川に入つております——この只見川，信濃川を中心と致します電源，それから阿武隈川とか最上川とか，そういう河川を利用致しますものとに分れる訳であります。それで非常に他の地区と変つておりますのは，需用地帯が電源地点に非常に近く存在しておるという事です。例えば十和田，田沢の近くには青森市もあれば秋田市もあり盛岡市もあり，いろいろこの附近に電源を消化し得る地域を持つている。それから只見地区にも只見川を中心に致しまして，平，郡山，新潟それから福島，仙台附近に需用地帯を持つております。このような事は日本の他所の会社では見られないような特異な状況であります。御承知の通り，東京では非常に沢山の電気が要るのでありますが，その電気をどこから集めているかと申しますと，関東地区内の電源では足りません。東京地区内では勿論足りませんので，全部長野県，場合によつては天竜川までも手をのばし，或いは猪苗代，信濃川等からも貰つておる状況でありまして，電源地帯と需用地帯が全然別箇の地帯にある。これは名古屋でもそうであります。大阪も勿論そうであります。電源地帯と需用地帯とが殆んど一致しておりますのは東北だけでありまして，これが東北の特殊性であります。

それからお手許に差上げました「東北地方の発電力の増加状況」という資料がありますが，それを見て戴きますと判りますが，東北地方の水力で東北電力で持つておりますのは，今年の3月で112万5千KW，それから自家用が48万2千KW，東京電力が50万8千KW，水力合計が211万5千KWでありますが，その中の112万5千KWが東北電力で持つておる電源であります。それから火力になりますと，東北電力が9千5百KW，自家用13万8千4百KW，合計14万7千9百KWとなり，水火力の合計は東北電力が113万4千9百KW，自家用が62万KW，東京電力は50万8千KWとなり，このようにいわゆる東北の電力が各種の事業によつて開発されておるのでありますが，此の資料の中の自家用の半分位は東北内で消化されておりますから，東北の産業の為には役立つておる訳でありますが，東京電力に属します50万8千KWは全部関東方面にもつて行つております。それから自家用の半分これは主に国鉄でありますが，これは東京にもつて行つており，即ち全体の226万3千KWの中，東北地内で消化されておる電力は，この全体から70万KW差引いた156万KW余りとなる，このような状況であります。

それで我々と致しましては只今の状態では電気が御承知のようにまだ不足致しておりまして1KWの電気でも他の地区へは供給する余力はないのでありますけれども，再編成当時の状態，それから従来の状態において，もう既に関東方面なり或いは鉄道方面に流れておりましたので，やむを得ず残されておる未開発電源を成可く速かに開発し，そして東北の需用をまかなつて行くより他に方法がなかつたのであります。それで再編成後32万KW位開発致しまして，只今の状態では113万KW余の電源を持つようになつたのでありますけれども，まだそれでも非常に不足しております。それで現在の状態では50万KW位は今すぐにも開発致しませんと，東北全体の需用に応じきれないような実情にあります。

それから電源が開発されますというと，それと同時に送電線も作らなければなりませんし，1次変電所も作らなければなりません。同時に2次送電線，2次変電所も作らなければなりませんし，配電線も作らなければならない。需用が自然に増えて参りますので結局そういう事になる訳であります。只今田子倉と奥只見を電源開発会社で工事を進めておりますが，これが出来上りますと田子倉から27万Vの東北の送電幹線をつくらなければならないと考えておるのであります。この幹線はどういうものを通すかというと，十和田，田沢とこの只見の電源地帯との連絡であります。かつてこの只見川の電気を青森までもつて行くというような話をしました時，当時の公益事業委員会の伊藤委員は，只見川の電気を青森までもつて行くならばこれを琵琶湖までもつて行けるだろうと話された事がありましたが，伊藤委員は滋賀県の方でありますので，琵琶湖には関心をもつておられたのではなかろうかと思いますが，電気をおくると云う事から丈考えるとそう云う事も考えられるのであります。然し，これは決して電気を青森に送る為の送電線ではなく，田沢，十和田と只見電源地帯との連絡用の送電線であります。それで十和田，田沢は御承知のように天然の池を利用して発電致しておりますので，殆んど火力発電所と同様の性格を持つているのであります。そういう実情でありますにもかゝわらず，矢張り電気が足りませんので，この十和田，田沢の湖の水を豊水期でも落して使う場合が非常に多いのであります。只見川では水を捨てながら，一方十和田，田沢の水を落して北部3県の需用をまかなわなければならないというような実情にあるのであります。これは東北だけの問題ではありませんで，日本全体から考えましても非常に不合理であり，損なやり方であります。一方で水を捨て，片方で貴重な水を落して発電するというのは，結局これだけの貴重な水を捨てゝおるという事でありますので，この十和田，田沢との連絡用の送電線が必要になつて参るのであります。

それで何故連絡用の送電線が必要なのかという事を更に申しあげますと，結局只見の方で水を捨てるという時期には，この送電線によつて只見の水を捨てずに発電して，そして北部3県に送り，十和田，田沢は発電を停めて水を溜める，その間は只見の電気で供給するのであります。私は初め，盛岡までの15万Vの送電線で間に合うかと考えたのでありますが，其後需用が増えますし，十和田，田沢系の発電力も段々増加して参りますので，只今では超高圧の送電線をもつていませんと．青森の方の供給が出来ない，15万Vの送電線では電気をおくれないので水を捨てるようになる，従つてこの幹線はどうしても早く通さなければならないというような実情にあるのであります。くりかえして申しますが，この送電線は青森に電気を供給するのが目的でなくして，只見川において現在捨てておる水を十和田，田沢に貯めようという為の計画でありますので，この点は若し話が出ましたならば，充分腹に入れておいて戴かなければならない事だと考えるのであります。さきにも申しあげましたように，電気を青森に送るという事は，端的に申しますというと，それぢや只見の

電気を琵琶湖まで送れ，大阪まで送れという問題が起つても参りますから，この点はよく御承知おき願いたいと思うのであります。電気はなるべく電源地帯に近い処で使用されねばなりません。電気をおくると云う事を考えますと，只見川から仙台まで送ります距離が，丁度東京に届く位の送電線の距離になる，それでせいぜい送りましても，私は仙台までゞあると思いますが，仙台の需用も松島湾なりそういう方面を利用致します港湾の修築が完成致し，工場がこの附近に建設されますというと，どうしてもこの附近の需用は増えて参りましようから，将来は27万5千でなければ送電出来ないと思いますが，いづれにしろ只見と田沢，十和田との送電幹線は決して北部3県に電気を送るものでなくして，前から申しあげたように，十和田，田沢の水をこゝに貯めるという事の為なんです。私も4.5日前只見に行つて参りましたが，もう深夜は水を捨てゝおる，機械は2台ありながら1台しか廻さずに1台の機械は遊ばして水を放流しておる。それに反して十和田，田沢の方は水を出して発電しておる，誠に国家的にみましても非常な不経済であります。

それから次にお話し申しあげたいのは，電気事業が東北の開発にどんな影響があるかという事でありますが，これはもう概念だけはさつき申しあげましたので，大体お判りになつたかと思いますが，電気がなければ産業の開発が出来ない，いわゆる東北には多くの地下資源があります，然しその地下資源を開発するにはエネルギーが必要である，そのエネルギーを何に求めるかというと，東北は矢張り水資源に恵まれておりますので，水を利用致しますエネルギー，即ち水力発電の利用にまたなければならない。こゝに東北の電気事業が東北の産業開発に非常に密接に結びついておると申しあげる理由があります。それで私は生れが九州でありますし，それに静岡，関東方面にもおりましたので，他の地区もよく承知致しておるのでありますが，未開発の地下資源が東北には日本の約70%以上包蔵しておるものがある，未開発資源は東北，北海道において多数包蔵しておるのでありますが，その資源を開発して日本の再建をはかるより他に，現在の敗戦日本と致しましては立上る術がない，従つて最も容易に開発出来るものは東北，北海道の開発でありますから，東北の資源開発には相当の力をつくさなければならないと考えるのであります。具体的に申しますと石灰石の如きは70%，石油の如きは殆んと大部分100%が東北にあります，それから金に致しましても銅に致しましても，60%から70%が東北にあります，それに人口が非常に少くて土地が広い，食料は多いというように地の利に恵まれておる，要は諸君の如き人が熱心にこれらの開発に当るかどうかという，それだけにかゝつておるものと思うのであります。これは私が申しあげるまでもなく，何人といえども東北の開発という事には目をつけておると思うのであります。日本政府の施策としてもそういうようにやられると思うのであります。従来，満洲なり或いは支那，南洋方面に勢力が伸びます間は，九州を基地と致しまして資源の開発にも当り得たのでありますけれども，満洲を失い朝鮮を失い支那を失い，南洋方面にも力が伸びなくなつた現在の状態と致しましては，矢張り残されたる地下資源の開発という事になれば，この東北，北海道の地下資源の開発が第1の方法であろうかと考えるのであります。この点につきましてはどうぞお忘れなく，充分なる覚悟でこれに当つて戴きたいと思います。

それで資源の開発には「エネルギー」が必要でありますが資源がありながらエネルギーがなくて開発が出来ずにおるという実例を申しあげますと，みんな御承知の処では新潟県の佐渡であります。こゝの実状を御覧になれば判る，佐渡と言えば「おけさ」の佐渡としか御存知ない方があるかもしれませんが(笑)，こゝは非常に資源に恵まれておる，金もあり米もあり木材もあり水産物もある，それにも拘わらず100年前と同じように取残されておるのは何故かというと，経済的なエネルギー資源がないからであります。こゝに佐渡の方がおられるかどうか知りませんが，佐渡を良く御研究願うならば100年前と現在と殆んと変らないのにすぐ気がつかれ

るでしよう。あそこにデーゼルやその他のエネルギーをもつて参りましても，現在のような状態の，日本のデーゼル発電では，他地区の水力にも火力にも及ばない，そういう実状でありますから殆んと取残されたような状態で非常に気の毒な実状にあると思うのであります。私達と致しましては，何とかしてこれを開発する為の方策を考えてやらなければならない，私も島の実状を良く存じておるのでありますが，島の実状はどうかと申しますと，水産資源やなんかは非常に沢山ある，魚なんかも沢山とれる，然しその時は暴風雨等でどうにも船が動かない，従つて獲れたものは全部腐らして肥料にするというような事が非常に多い，また時化る時に限つて魚が余計とれる，そういうような実状であります。それから木材にしましても農産物にしましてもそうで，都合が良い時には都合の良いような運搬施設がない，従つて佐渡では矢張りその間だけ何とか保存して行くなり或いは又加工して行くなりという事を考えなければ，利用し得る資源は沢山ありますけれども，これが未利用の儘に残される，或いはそれが非常に不利益に取扱われている，そういうような実状であります。

それで1KWHあたりの電気がありますとそれが産業方面に使われます場合は，平均300円位の生産をあげておるのであります。これは日本全国の平均であります，1次産業，2次産業，3次産業を全部合計致しますというと，これが約300円位に相当致しますが，これを私等と致しましては東北地内に工場を設け，東北地内で電力を消費して貰いたいと考えている，生の電気の儘で東京に送つたり，鉄道に送つたりする事はどちらかと申しますと不経済であります。然し今，鉄道の事を申しあげましたが，東北の鉄道が電化されますと——これは東北の鉄道が電化されますと約6割位の輸送力が増えますが——そうなりますとこの電気を送る事によつて東北の開発が進むのでありますから，その電気が決して安いからといつて送らないのぢやない，反対に大いにやつて貰いたい，が，生の儘で電気を送つて1次産業だけの仕事をし，その製品を大阪方面なりその他の方面にもつて行つて更に加工する，というような仕事に使われる事は非常に困る訳であります。そういう例が多々あるのでありますが，東北地内で安い電気を使いこれを1次産業だけに用い，その出来た製品を東京，大阪方面にもつて行き，2次，3次の加工をやる，こうなると地下資源だけでなく，水資源までも大阪方面に移出する事になりますので，東北の電気事業に携わる我々と致しましてはこの点も充分考慮しておかなければならないと思うのであります。私が余り東北，東北と申しますと，東北モンロー主義のように(笑)お考えになるかも知れませんが，然し東北は人口も非常に少ないし，食糧もあるし，その他の資源もあるし，日本全体の経済から考えても，東北に根を下して仕事をして貰つた方が日本全体の経済になる，或いはまた輸出方面から申しますと，アメリカに輸出するに致しましても，東南アジア方面に輸出するにしても或いは最近問題になつております中共，ロシヤとの輸出が開始するようになりましても，東北は1番地の利を得た地点でありますので，あえてそういう事を申しあげるのであります。従来のいき方はさつきから申しあげたように，全部支那，満洲，朝鮮，東南アジア方面を考慮した為にあらゆる産業施設が南の方に片寄つておりますので，それをその儘維持して行く事は，日本全体から考えて多少の修正を加えませんというと非常に不経済であり，社会大衆の為にもならない。こういうように考えますから，単に東北のモンロー主義という事でなくして，大乗的な考えから申しあげた次第であります。

それから次に，エネルギーの将来でありますが，このエネルギーはどうなるか，将来は水や石炭エネルギーだけではなくして，原子力エネルギーという事が問題になるのではないかというお考えになつている方が多分にあるのではないかと思うのであります。それでこの問題にふれますが，原子力は戦争の道具として人を殺す方面とか森羅万象，地上のあらゆるものを破壊して終うような方面に使われるものではなくして，平和的にこれが利用される時代が遠からず

参ると思います。おそらく5年から10年以内に参ると思います。この点に対しましては，皆さん方も今から充分なる心構えをもつて戴かなければならないと考えるのであります。たゞそういう場合が起りましても，未利用の水資源だけは矢張り利用されるのではないかと思います。これが経済的に成立たなくなれば別問題でありますが，現在の状態では未利用の水資源は矢張り経済的に開発され得るものがたくさんありますので，これは利用される事に相成ると考えるのであります。

それで原子力の利用の途は非常に多くありましようが，原子力は長い間秘密に致されておりましたので，日本の基礎物理学者，それからそれを応用致します工学其他の関係の方もまだ充分その知識を採入れておらないような実状であります。これは矢張り電気が昔発明されまして，あちこちで魔物のような扱いを受けましたのと同じような状態に現在あると思うのでありますが，こういう特別な科学の仕事を担当する諸君は，矢張り今の中にそういう方面にも気を配つておいて戴いて，遠からずそういう事が問題になつて来る事を忘れないようにして戴きたいと思うのであります。アインシユタインが相対性原理を言い出します時，既に彼は原子力の問題を採上げておつたが，ヒツトラーの容れる所とならず，追われてアメリカに参り，アメリカで原子力の研究を進言し，そうして原子爆弾が作られたのであります。恐らく広島や長崎に落されましたあの原子爆弾の製造には，少なからずアインシユタインの知識が入つておるのではなかろうかと思います。然しアインシユタインその人は，御承知のように，4月18日の午後3時15分に亡くなつたのでありますけれども，彼は生前におきまして，原子力が戦争目的に使われる事を非常に嫌つて，どうしてもこれは平和的に利用されなければならないとしておつたのであります。

この原子力が若し戦争の道具として使われるならば，世界の人類のみならず，あらゆるものが破壊しつくされると思うのであります。それでどうしてもこれは，戦争目的に使う事をやめて，平和的に利用する方向に是非進んで貰いたいと考えておるのであります。私は決して共産主義者でもなければ社会主義者でもない，レイデオロギー」でお話を申上げておるのではない。然し私はそういう様に考えられるから卒直に申しあげておるのでありますが，日本の中にも世界の中にも，原子爆弾によつて雌雄を決しようというような考え方が一部の人には多分にある。これには，私はどうしても納得出来ない。アインシユタインは1921年にノーベル賞を貰つておりますが，あの大家が死刑になりました原子学者ローゼンバーク夫妻の助命運動をやつたり，或いは世界国家主義のような理論を息をひきとるまで吐かざるを得なかつたのは，あの人がユダヤ人であるからではなくして，本当に原子力の事を承知し，如何に原子力が大きな威力を持つものであるかという事を考慮しての事であろうと思うのであります。何にも承知せずおつて，そしてこれを戦争目的に使つたり或いはこれによつて雌雄を決しようとというような大それた考えを持つ人は，私は人類の敵だと考えるのであります。この点につきましては，幸いにこのアインシユタインの持つているような考え方が，あらゆる原子学者に伝わり，また現在アメリカの主脳者とかロシヤの主脳者，或はイギリスの主脳者等もそれぞれこれに対しては，これを人類斗争の道具に使う可きではないのではなかろうかという気持を多分に持つようになつて来た事は私として非常な進歩であろうと思うのであります。私等と致しましては飽く迄も早く平和的に利用されて，そして人類文化の向上の為に使用される事を希つておるのであります。

それで原子力の平和利用はまだだとう意見も多分にあります。然し私はそう考えません。恐らく原子力の研究が日本が一番遅れておるのではないかと考えておるのであります。最近東北大学のお医者さんである海老名先生が外国から帰つて来てのお話でありますが，どうしてこんなに日本の原子力研究が遅れたか判らないというような事を申されております。この人は原子力の研究家ではなくお医者さんでありますが，そういう方がこういう事を申されておるのでありますから，本当にエネルギーの研究をしてお る人は，恐らく日本の原子力に関する無関心さという事について，非常に歎かわしく考えられておると思うのであります。昨年の電気学会の総会の時に，渋沢博士が言われたのでありますが，そのお話の中に，矢張り原子力の研究は基礎理論をやつておる物理学者というような，そういう方面の人だけに任してはおかれない，どうしてもこれは電気を担当しておる電気工学者が充分に検討して，早く物にしなければならない，この人は既に80才に近い人でありますがその渋沢先生が学会に態々来られて，僕はたゞそれだけを言いたかつたから今日こゝに出て来たんだ，というようなお話を申されておりました。皆さん方の中には電気の技術者もおられるでしようし，また事務の方もおられますので，それぞれ専門も違いますしお考えも違うだろうと思いますから，同じような方向に進んで戴くという事は無理かと考えますが，そういう時代が既に来ているという事だけは充分御承知おき願いたいと思うのであります。こういう方面につきましては，主として技術方面を担当致しております私と致しましては非常な責任を感ずるのでありますけれども，なかなか微力でありまして充分な事は出来ませんが，いろいろな資料を取纏めて研究を致しております。それで恐らく今後日本におきましても，原子力の研究だけをやる1つの研究所というものが出来て参りましようが，とに角これはたゞエネルギー源としてゞはなくして，あらゆるものにこれを利用され得るものという事をお考え願いたいと思うのであります。

それからさきにお話申しあげたように，あらゆるものが機械化され，合理化されて参りますので，人の数，いわゆる従業員の数は減つて参つております。それで今後も矢張り機械化なり合理化なりというものは推進されなければならないと考えるのでありますが，それかと申しましても，会社と致しましては，現在おる人にやめて貰うとかいうような事を考えてこれを推進しておるのではないのであります。たゞ機械化の方面については皆さん方の新しい知識と新しい構想から，常にこれを推進して戴かなければならない大きな事柄の1つであるかと考えますので，是非とも頑張つて戴きたいと存じます。今会社でやつております機械化というものは，既に遅れております。今でもまだ日本で第1のように考えておるかも知れないけれども，私はそう考えておりません。マイクロウエーブにしても，初めはこれで10年位と考えておつたのでありますが，方式も段々変つてましようし，現在の2千メガ，7千メガというマイクロウエーブが他のレウエーブ」に置換えられるような時代が参りましようし，10年というような事は少し考えが甘過ぎたというように考えておるのであります。それからそれに使つております真空管に致しましても，トランジスターの様なのが出来て小さなものが大きなバルブ全体の代用をするようになつた，このようなものが今，日本でも作られておる，こゝ1年の間でありましたが，そういうような状態になつて参りました。それでラジオも手の中に入るようなものが出来，拡声器を使わず耳だけで聞けばよろしいというものなら時計の代りにつけて歩けるというような小さな受信機が販売されるようになつて来たのであります。一般に普及するのも私はこの年内だと思うのであります。こゝ1年以内にそういう受信機が国内のあちこちに安い値段で売出されるようになると思うのであります。そういうような実状で非常に進歩が早い，現在の1年は従来の20年位に相当するというような進歩を致しておりますから，1日僅かな時間でも決して忽せにしないように御勉強願いたいと思うのであります。

今日は大変つまらん事を申しあげましたけれども，まあ私の考えている事の一端を申しあげた次第であります。御注文ばかり申しあげましたが，健康が第1でありますから，よく適当な運動をしてどうか身体を大切にされるようにお願いして，私のお話を終らせて戴きます。

（速記　江川泰）

＝電　話　對　談＝

福島支店長に訊く



菅野福島支店長



土本總務課長

土本　もしもし，菅野さんですか。

菅野　はい，そうです。

土本　今日は一つ，野人支店長さんを俎上にのせていろいろとお話を伺いたいと思うんですが（笑）うまく俎上にのるかどうか判りませんが，どうぞよろしくお願い致します。まあ支店長会議の時のあなたの傍若無人なお話振りをそのまゝに，今日は野人支店長さんの自由奔放な放談を伺えたらと思つて期待しておる訳ですが（笑）……

せんだつてですね，支店長さんが社誌に「健康について」という斗病の自敍伝のようなものを数回に亘つてお書きになつたことがございましたね。

菅野　えゝ。

土本　あれを拝見致しますと，斗病とは結局強い精神力である，という事が結論のようであつたと思いますが……

菅野　その通りですね，どうも今迄の医学界と言うものは人間を物扱いにして総てを解決していくというような方向にいつておると考えられる。そして例えばね，胸が悪ければ胸だけをみて治して行こうとする，然し矢つ張り人間の体は有機的なもんですから，胸が悪いのはどこから来たんだというように原因に遡つて検討しなければならないと思うんです。それでゞすね，昔の御典医と申しますか，お医者さんが，殿様の脈をみるのに長い紐を使つて遠くから診たという事を講談本で見た事がありますが，あゝいうのは本当だと思うんです。というのは矢張り万物の霊長である人間が精神力を利用せずに患部だけを診て手当したのでは治る筈はないと思うんです。「癒す力は汝の内にあり。」病気を癒す力はお前の中にあるんだという事が宗教上で言われておりますが，それが真理だと思うんですね。

土本　一見致しますと，支店長さんは非常に健康で，そういう病気をなさつたような様子もございませんが，かつてそういう病気をなさつておりながら，今日では逞ましい斗志が支店長の身内から溢れておるように見えるんですが（笑）まあ，かつての斗病生活で鍛えた精神力というものがですね，今日支店長さんが会社業務を処理していかれる上においていろんな形で強い信念となつて出て来ておるんぢやないかという気がするんですが……（笑）

菅野　そういう訳でもないでしよう（笑）

土本　非常に面白く読まして戴きましたよ。

菅野　もつと続けて書きたいと思つておりますが，福島へ来て忙しいもんですから……

土本　愛読者も多いようですから，お暇をみてあの続きを期待しております。

菅野　まあやつてみたいと思つております。

土本　なにしろ支店長さんは非常に多趣味でね，非常に話題が豊富で，話術もお上手ですしね，また手相，骨相のたぐいも大家と聞いておりますし……まあ手相などを応用して社員の操縦に，と言つちや語弊がありますが，日常社員の指導の上においてもお顧客さんに応待して行く上においても，手相なり骨相なり人相なりで相手の性情を占いながらお相手をなされば非常に面白く，大きな神通力を発揮することもあるんぢやないかと思いますが。

菅野　なかなかこれは難しいもんです，自分の手相，人相，骨相をなおしてからかゝらないと（笑）そこで，この手相とか骨相，人相，こういうものはその人の気待というか，精神の持ち様によつて変りますね，手相も変りますし，人相は勿論その人の瞬間瞬間，面白い時は笑うし悲しい時は泣くで変る。これが人相の根原です。それから骨相も，耳の大きさ等も10年も経つと相当変る。頭が後に出張つていないのが出張つて来たり，こういうのもその人の日常やつておること或いは精神の持ち様というもので変つて来る。

土本　長い間の生活環境からですね。

菅野　そういう事で相当変つて来ると思うんです。ところで漢方医の方を調べてみますと，食物に非常に影響があるんだという事を言つております。食物や精神の持ち様によつて変つて来るという事を言つておるようですが，然し食物の事は長くかゝりますから……私もまだ研究中ですが，砂糖なんか良くないね。漢方医の極意はその土地その季節のものを食べるという事ですね，こゝにいて熱帯地方で出来るバナナとか砂糖というようなものを食べるのは良くないという事ですね。

土本　矢張り自然の風物になじんだ生活をした方が良いという事でしようね，まあ日本でも昔から，氏より育ち，ということがありますが，如何ような氏であつても育つときの環境によつて変るという事がいえるでしようね。

菅野　その通りだと思うんです。それから手相の他に名前――姓名学というのがあるね，これも調べてみると面白いんだ。たゞこの姓名学にもいろいろの判断方法がある。劃数でやるのとか陰陽でやるやつ，それから木星であるとか火星であるとか土星とかいう月，火，水，木，金，土でやるやつがある。やつてみると面白い。それでね，私はどつちかというと，こういう顔なもんだから女にもてない。そこで手相とか人相をやればもてるだろうという事でやつたんだが…どつちかというと私のは婦人科専門なんだよ（笑）

土本　婦人科専門という話が大分有名なようですが，これについて詳しくお伺い出来ないのが残念ですが，いづれ膝を交えて（笑）

菅野　私はこんな顔の男ですからね，滅多に女の手なんか握れないんで（笑）……それで手相をみてやるとかと言つて手を握つて（笑）…握つたとたん感じたそのものズバリを言つてみると，これが良く当るんだ。そして当り初めると面白い位当る，これもこつちの精神の持ちようですかね（笑）

土本　何というか握りたいという一心というものは，恐ろしいものですね。

それからね，支店長さんは昨年，まあ美人の本場と言われます秋田から福島にお移りになつたんですが，福島は浜通り，中通り，会津地方といつたように大体三地帯に区分されており，従つて福島美人の系統にも三系統あるんぢやないかと思うんですが，あちらと比べていかがですか……

菅野　それはね，先達つて聞いたんですが，浜通りはアイヌ系統なそうですね，それから中通りは大和系，若松方面は天孫系……

土本　これが純粋という事になる訳ですか。

菅野　純粋かどうか判りませんがそういう民族に分れておると云うことです。秋田を離れたから云う訳ぢやないですが，よく秋田美人と言いますが，私の家内も秋田におるときは美人と云われたものですが，（笑）生れ故郷の福島に来てみますと美人だと云つて呉れる人が居ないところをみると，秋田美人と云う精神で見るから美人に見えるのでしよう……若松に行つてみますと，おやと云うような美人がおりますよ，それから浜通りへ行くと……女ばかり見ておるようで恐縮ですが（笑）ベタおかめ，つて言うんですね，（笑）これは顔の平つたい余り鼻筋の通らない偏平な人，こういう人が多い。会津に行くと面長が多い，そういう事を聞いてから私もそれを注意して見て歩いてるんですけど（笑）……

土本　そんなこと言つて浜通りの人に怒られませんか，矢張り三系統に分れておるんですね。

菅野　性格も矢張りそれにつれておるんぢやないかと思いますが，まだ来たばかりで余り他所を歩いておりませんから詳しく判りませんと逃げておかないと怒られるから……

土本　秋田と比べて人情，風俗等で特異な対照的なものはありせんか。

菅野　秋田はね，矢張り佐竹公が治めた大きな

藩であつたせいか，その上米が豊富だつた為か,オツトリしておるようですね,それから殊に雪に閉ぢ込められる期間が長いもんですから，隣同志で濁酒（ドブロク）を飲むとかお茶を飲んで四方山話をするとか，こういうのが多いんぢやないかと思うんですが，それで秋田の御婦人連中ですがね，濁酒は飲むが清酒は飲まんという人が相当多いんですよ。それからお茶飲に沢庵漬，これは冬が長いんで貯える為ですか，沢庵漬を沢山漬ける，然もその種類がいろいろあるんです。その漬物を食べ乍ら上手に出来たとか不出来だとか，世間話に花を咲かせお茶を飲み廻る，これを「ガツコ茶」と言うんです。「ガツコ」つていうのは漬物なんですが，こんな事をして冬を越すんですから，どうしても親しみが深くなる。民謡も実に面白いのが多い。

土本　そういうおつとりした家だとすると福島辺とは文化的にも多少違つたところがあるでしようね。

菅野　そうですね，うちの家内も言つておりましたが，着物の柄ですね，矢張り秋田の商店街の着物の柄等は，デパートへ行つてみても品の良い柄が並んでおる。陳列のしかたも非常に整然と気の利いた飾り方だそうなんですね。所がこつちの方のは,何んでも構わない，ゴチヤゴチヤ並べておるように感じられると。こういう所にも何か秋田の方ではユトリを感じられる。

土本　それは面白い対象的なお話ですね。

菅野　それから芝居ですね，あゝいうものも安物は観ないで値段の高いものをよく観る。仙台より安くやつたら観る人も多いと思うとあべこべに少い，仙台より高くすると見物人が多い……

土本　どういう影響か知りませんが，気位が高いんでしようか，なかなか面白い所ですね。では次に仕事の話になりますが，秋田と福島を比べてみて需用構成と言いますか，そういう点での相違点というのはありませんかね。

菅野　特に目立つてるのはないんですが，矢張り機械工業，町工場でも機械工業の方はこつちの方が秋田の倍の上あります。それから鉱山関係の方も矢張り福島の方が多いですね。次に食品関係に送つておる電力はトントン位ですね。

土本　一般家庭で使う電灯，電力はどうです。これで多少文化程度が比較出来ますとすれば……どんなもんでしよう。

菅野　矢張り家庭の小型機器と申しますか，あゝいうものゝ使い方をみますと，矢張りこつちの方が進んでおるようです。それから福島にしても中通りが一番余計入つておりますね。それから会津地方，浜通り，こういう順序になつております。

土本　同じ福島の中でも地区が大体先刻のお話の様に三地区に分れましようし，気候的にもそれぞれ違いましようし，従つて文化的にも違うというような事で営業政策の面にもそれらのものがいろんな形で異つてくるんぢやないかと思いますが,そんな点は如何でしよう。

菅野　それもいろいろ検討してみておるんですが，実態をまだ摑めないでいる。こつちは少しスローモーの方なんで（笑）よく勉強してかゝらなければならないと思いますが……。

土本　それでね，福島地方の今後の問題としては，合成繊維とか化学肥料というものを中心とした産業と言いますか，そういうものの原料が資源的に多いので相当期待される地区だと思んですが，同時にこゝは只見川という大きな電源地帯を持つておる地区である。それでそういうような大きな電力消費産業と大電源地帯という所に大きなつながりを持たせなければならぬと思うんですが，こういう点について支店長さんの抱負と申しますか，将来に対するお考えを……。

菅野　それはね，私はこういう風に考えておるんです。電力は非常に豊富なんですね，それでこの電力の利用状態からいつて，使用状態でなくして使用場所，そういう点からいつて郡山が非常に大きな発展をするんぢやないか，それは一つ交通面からいつてゞすね，若し平方面の小名浜港が完成され新潟港が完備されると，こゝは鉄道で両方につながつており，然も福島県の中央であり，いろいろの施設も多いし工業用水等も比較的とりやすいような地勢にある。こういう所から申しても矢張り郡山が大きくなるんじやないかと思うんですがね，県庁等も福島市にあるというのは間違つてるんですよ。

土本　一時県庁を郡山に移せという事がありましたね。

菅野　それからこゝには石灰石が多いんです。

だからセメントを原料とする工業，そういう面は大発展して行くんぢやないかというように考えております。たゞこゝのやつは非常に結晶が崩れ易くて，今のカーバイトを作る方法では焼いている途中で粉になつて終つて空気の流通を悪くするんですね。それでその途中の製品である石灰を作る場合に穴が詰まつてうまくいかない。ですからカーバイトを原料とする工業というものは今のところ余り期待されないというように考えておるんですが……。

それから馬の頭数とか乳牛の頭数それに果物,石炭,地下資源の種類の多いことは日本一の県です。それから郡山から水戸へ抜ける途中に石川というところがあり，こゝは最近ウラニウム鉱が出るというので大分新聞紙上を賑わしておりますが，山は穴だらけになつている。それから果物では桃の味は世界一なそうです。これはフランスの贅沢な先生達が言うんだから間違いないだろうと思いますが。

土本　生産量は……

菅野　生産量も日本一でしよう。

土本　福島は地下資源も相当あるけれども，農産物の面でも恵まれておりますね。

菅野　前には絹糸も，日本品が海外に名を売つたというのは福島が先鞭をつけた……。

土本　今はそれ程でもないようですね。桃は水蜜ですか。

菅野　そうです，その他に梨も相当きこえておりますね。でも果物の中では桃が良い，大分罐詰工場等も出来ておりますが。

土本　その方面で電気は……。

菅野　使つて貰えば有難いんですが使わない…

土本　罐詰工場で使う位のものは大したものでないですか。

菅野　余り大した期待は持てないと思う。殊に季節ものですから，これの生のまゝの保存に電気を利用するというようになつて来れば有難いんですが。

土本　それから話は一寸変りますが，最近新聞紙上等に常磐炭利用の火力発電の問題がちよいちよい出ておりますが，あの問題はどうでしよう。いろいろ意見があるようですが。

菅野　あれもね，結局あの附近の大中小炭鉱が共同でやるというんでしよう。粗悪炭を使うんだという事ですが，これは私は成功しないとみておるんです。というのは,矢張り現在のような炭鉱界の不景気な場合，それは成る程粗悪炭でも何でも各鉱山が出しましようが，これが一旦景気づいて来れば，中小炭鉱は値の良い方に売つて終いますから約束は果せない。結局それを背負つてたつのは先鞭をつけた炭鉱とか，或いはそこの大炭鉱とかいう事になると思うんです。その上電気料金が今のように政府統制で押えられてる。片方は値段の変動が多いという事で，その間に相当イザコザが出来る。こういうようにみておるんですが。

土本　石炭の値段が現在より下るという事は考えられないでしようからね。

菅野　それも考えられましようが，若しこれが景気が来れば鉱山では何でも構わない，掘出して売出す。こういう事になると思うんですね。だから不景気が永続きすれば今のような共同火力も良いと思うが……たゞそれだけなんですね。こんなことは発表して良いかどうか判りませんが，若し意見を聞かれゝばそういう風に……。

土本　うつかりすると粗悪炭の救済を電力会社がやるというような……。

菅野　景気が出て来ると，思うように発電用炭をくれるかどうか判りませんからね。

土本　なかなか難しい問題でしようね。では今度は一寸話題を変えましてね，福島という所は東北地方の門戸に当ると言いますか首根つこに当る所ですね。また昔，白河に関所を設けるとか古来要衝の地と言われた訳ですがね，そういう歴史的な環境が生んだ武士的なものと白虎隊を生んだ会津魂といつたような昔ながらの血も，今は多少なくなつたんぢやないかと思いますがね，まあそういう気風的に他県と違つたような点は何んか無いでしようか。

菅野　あれはね，会津の白虎隊，二本松の少年隊というのがありますね。これなども愛郷心という所から来ておると考えるんです。福島県からハワイとか南米，北米に相当移民も出ておりますがね。これも自分の家が具合悪いから一旗あげようとして海外に出る人が多いんぢやないかと考えられるんですがね。

土本　一稼ぎ稼いで戻つてくるという……。

菅野　そうですね。

土本　居ついて終うという人はないんですね。

菅野　最近は判りませんが，前は大体小金を貯

めて帰つて来るというのが多いようでしたね。それから前に申しあげた通り福島県は浜通り，中通り，会津地方と分れており，然も過去に遡れば民族が違うというような事もあつてか県内が一つに纏るというような事がないんですね。それで政治面でも兎角争いが多く，県全体についてどうのこうのつていう事については余り考えない。県庁舎の所在の問題等最も好例です。これは情けない事ですね。

土本　古武士的の気骨というようなものは感じられないですか。

菅野　私の中学時代はあつたようですが，最近は段々そういう所はぬけて来てるんぢやないかと思われますね。

土本　会津白虎の斗魂，というのが白虎隊の唄にございますね，あゝいうのを聞いておると非常に気骨のある古武士的な気風があるように感じられるんですが。

菅野　会津には確か何か一つの特徴はあるようですね。個人個人に接しましても，気骨というか，何んか一寸感じが違う所がありますね。

土本　そうかと思うとね，あれも会津ぢやなかつたですか。小原庄助さん(笑)，あゝいう愉快な人間も出ている（笑）

菅野　先達つてね，ミスター庄助を出そうという事でやつたら，東京電力の会津電力所，あそこの……。

土本　猪苗代電力事務所ですか。

菅野　あそこの所長さんが，庄助No.1になつたんなそうです（笑)。2升位呑んだんなそうですね。そしてミスター庄助になつた(笑)

土本　我が社にはございませんでしたか。

菅野　残念ながらなかつた。ヤセ型でもよいんでしたら私でも行けば No.2 位にはなれると思つたんだが(笑)

土本　小原庄助さんは実在した人ですかね。

菅野　実在したというんですね，そういう話です。

土本　私はまた，あの地方は米もある，水も良い，従つて会津の酒は良いのが出来ますね。ですから酒が豊富にあるというので，朝から晩まで酒呑んで寝ている人が多い。そういうのを象徴的にした人物が小原庄助さんという人に出来上つたんぢやないかと……。

菅野　そうぢやないんぢやないですか。会津は雪国ですから——秋田でもそうで，濁酒呑んでゴロゴロしていますから，春さきはコロコロ肥えた人が沢山見られる——矢つ張り呑む機会が多い，そして冬に呑んでゴロゴロしてるのが惰性になつて春，夏，秋，冬と通して呑んでいる。そうなつたんぢやないですか。

土本　物に恵まれた豊かな所だつたんでしよう。

菅野　会津地方の方はね，浜通り，中通りの方のようにアクセクした所が見えないね，やつぱり気骨というか，そういうものが感じられるんぢやないですかね。

土本　まだ支店長さんは小原庄助さんという所まで参りませんか。

菅野　まだまだ第1懐が寂しいからね（笑）

土本　只見川も一応第1期目標工事も終つた訳で，まあ，奥の方は電源開発会社がやつておりますが，それで建設中もそうでありましたが，建設後も引続いてお客さんが多いようですがその応接で支店長さん，お困りになつた事やら面白かつた事やらはございませんか。

菅野　あつちの方は会津電力事務所でやつて戴いておるんですから，まあ，別にそういう事はありません。たゞ会津の東山は有名なもんですから，発電所の見学は二の次なんだが，矢張り大義名文を通しておかないと東山にも行けないもんだから(笑)それが多いようですね。

土本　どうも，温泉場に近い現場にはお客が多いようですね。

菅野　東山はね，猪苗代系統の発電所の開発の時に大分名を売つたというように聞いておりますがね。その前はそう名も売れておらなかつたそうですが……たゞ，あそこに行つて酒を呑むと，呑んべえの習性というか，ちやんと瓶詰そのまゝもつて来て，座敷でお燗をして呉れる，あの気分が何とも言えないんですね。(笑)，あなたもお上りになるから，よく飲んべイ気分がお判りでしようが……(笑)

土本　その地方の産業が活潑であるかどうかという事は花柳界を見れば判るという方もありますが，この点の御批判はまたあらためて…

菅野　あんたのような人相，男つぷりがよければ—(笑)

土本　どう致しまして，支店長の隠芸も相当なものだと名声が高いようですから油断はなりませんが……(笑)。ではながながと有難うございました。どうぞ御自愛を……。

菅野　ではごめん下さい。

（速記　江川　泰）

原子力の話題

東京事務所　釘本甲子男

世界が戦争に狂奔していた1942年12月，人類が最初の原子の火をともしてから13年の歳月が流れた。大量殺戮の道具として解き放たれた原子力は，破壊の爪を一段と磨き上げてはいるが，一方平和な建設の世界にも歩一歩進出しつゝある。原子力潜水艦はやがて原子力商船隊の出現を促すであろうし，原子力機関車や或は原子力飛行機の噂もちらほらとび込んでくる。そして原子力発電は今や世界で華かな脚光を全身に浴びつゝある。我国もその例外ではあり得ない。旧臘各界をすぐつた原子力調査団が世界の原子力行脚に出発して，原子力のうねり漸く高まらんとする折も折，米国から濃縮ウラニウム提供の申入があつた。バスに乗り遅れまいとする側の受入積極論や濃縮ウラニウムにつながるひもの先を気にする側の消極論が喧々囂々諸処の会議で戦わされ，新聞紙上に原子力の字を見ぬ日のないまでに，そして月刊週刊あらゆる雑誌が競つてその巻頭を原子力で埋めるまでにジャーナリズムの関心を奪い去つた。華かな照明の舞台に吐息してふと見廻わした日本に，自ら作り出した1トンのウラニウムさえ無いいことに気が付く時のわびしさは一入であるが，原爆や水爆の恐怖におののいてきた日本人の心に，原子力の平和利用の想念が現実として浮び上つてきた自体は嬉しいことである。

10年後には原子力発電の時代が必ずやつてくる。それは最早紙上でひねくつた数字のこちつけから得られる希望的憶測ではなく，大資本の投入をもつて行われる事実である。日本だけが原子力の世界に走るバスを傍観していゝ理由は全くない。政府又濃縮ウラニウムの受入れを決定したとのことである。

我々はちつとこの成行を注視しよう。

濃縮ウラニウムとは

ところで最近第一の話題をまいた濃縮ウラニウムとは一体いかなるものなのであろうか，或はいかなる効能を発揮するものなのであろうか？

米国にウラニウムラツシユを捲起しているウニウム原鉱を精錬してできる金属ウラニウムは0.7％のウラニウム235（U^{235}）と99.3％のウラニウム238（U^{238}）の同位元素を含んでいる。さてU^{235}の原子核に偶然1個の中性子が命中すると，U^{235}の原子核は分裂して文学的には死の灰と称する分裂生成物と，我々の目的とする尨大なるエネルギーと，平均2.5個の中性子を生産することは既に知つている。

例えば

$$_{92}U^{235}+{}_0n^1 \rightarrow {}_{54}Xe^{139}+{}_{38}Sr^{95}+2{}_0n^1+198MeV$$

こゝで$_0n^1$は中性子，Xeはキシノン，Srはストロンチユムであり，エネルギー単位のMeVは百万電子ボルト，且つ$1MeV=4.44\times10^{-20}KWH$である。

この1回の核分裂によつてでてくる2.5個の中性子のうちの1個が幾多の邪魔物を切り抜けて他のU^{235}核に衝突するとこの原子核も分裂を起し，うまくこの繰返しが行われると所謂連鎖反応が成立して，我々は現実に問題となりうる原子力を摑み出すことができる。1KWHのエネルギーを得るには約10^{17}個の核分裂を必要とするから，若しも連鎖反応がなかつたならば原子力は人類にとつて永久に高嶺の花である。尚10^{17}個のU^{235}核の重さは0.000044グラムに相当する。だからこれら中性子は核分裂にとつて極めて貴重な存在であり，中性子のロスを少くすることが原子炉の設計者にとつて夢寝にも忘れられない重要問題となつている。しかもU^{235}の140倍もあるU^{238}は中性子の砲撃を受けて分裂しないばかりでなく，由々しき中性子の盗人である。U^{238}は中性子吸収後しばらくしてプルトニウム239（P_u^{239}）というU^{235}同様分裂可能な原子核に変換するのであるが，差し当つてはU^{235}分裂にとつての大敵である。しかも天然ウラニウム中のU^{235}は僅かその0.7％であつて残り全部がU^{238}である。このU^{235}の数量的劣勢が種々不便な問題を提起してくる。例えばU^{235}は0.025eV程度の所謂熱中性子で最も分裂し易いので，モデレータ（減速材）によつて分裂時飛び出す2MeV程度の高速中性子を熱中性子まで減速するのであるが，U^{235}が少いため減速能力は最も優れているが若干中性子を吸収する軽水素（普通の水素）をモデレータとして使うことができない。このため天然ウラニウムを燃料とする際は安価な水の代りに，中性子を殆ど吸収しない重水等の高価

なモデレータを使用せざるをえなくなる。そこでU^{235}の含有率を高めたウラニウム燃料が問題になるのであつて，このU^{235}の含有率を高めたウラニウムが話題を呼んだ濃縮ウラニウムである。

もう既にお分りのことと思う。濃縮ウラニウムを使用すれば，まず第一にモデレータとして安くて豊富な軽水を利用できる。第二に天然ウラニウムの場合に比し燃料の量が遙かに少くてすむ。理由は今更述べる必要がない。又ウラニウムにはこれ以上になると自然に核分裂を始めるというある限界量がある。実際には勿論限界量以上の燃料を装荷するのであるが，限界量は（グラファイトをモデレータとする場合）天然ウラニウムで13トンであるのが，U^{235}の含有率が1％と僅かに増えても途端に1.4トンと激減し，更に1.5％と濃縮すると1トン以下と低下する。濃縮ウラニウムの威力もつて知るべきである。尚濃縮ウラニウムと一口にいうが濃縮ウラニウムは1～5％の軽濃縮のものから90％以上の高級なものもあり，最近米国がトルコに提供すると伝えられる濃縮ウラニウムは20％を限度とすると規定しているから，日本が受入れるものもこの程度のものと考えられる。

濃縮ウラニウムがそんなに大きな価値をもつているのなら，日本もそれで行こう，日本もそれを作ろうぢやないかといきたいのであるが，これが又ちよつとやそつとの生易しい問題ではないのである。日本ではまず半永久的に無理な話である。というわけは濃縮ウラニウムの製造とは即ちU^{235}とU^{238}を分離することであり，この分離設備は巨大な面積と尨大な電力を食う化物である。例えば米国テネシー州にあるオークリツヂの気体拡散工場は屋根面積73,000坪の3階建で，その消費電力は日本全部の約半分190億KWHである。従つて経済を無視した兵器産業の裏付をもたない限り，富める国といえども発電用としてだけでこれら設備をもつことは経済的に不可能である（現在U^{235}の分離設備をもつ国は米，英，ソの3国である。）だから濃縮ウラニウムを使おうとすればたとえ実験用の少量でも主として米国の提供を甘受する以外に道はない。たゞ将来日本が期待している重水炉が作動してプルトニウムが得られるようになると，天然ウラニウムにプルトニウムを混じた強化ウラニウムを使うことは考えられる。これなら濃縮ウラニウムと同じ効果を予期することができる。

原子炉にはいろいろある

濃縮ウラニウムを使用すると甚だ好都合なことは分つたが，原子炉には勿論濃縮ウラニウムを使うものだけしかないわけではない。燃料には天然ウラニウムもあればトリウムを使う場合もある。連鎖反応を持続する中性子の速度が1哩/秒のものから10,000哩/秒のものがあり，モデレータにも軽水，重水，グラファイト或はベリリウムとあり，これらの組合せを探していたら文字通り多種多様で捨取不能に陥るが勿論実現出来ないものもある。昨年米国は原子炉5ケ年計画を発表し目下その第2年度にあるが，一応将来性のある原子炉を網羅しているので一先ずこれを紹介し，これに若干附加してみたい。

1. 加圧水軽濃縮ウラニウム炉

米5ケ年計画中唯一の実際規模（出力60MW）の原子炉である。モデレータは蒸気化を防ぐため圧力を加えた軽水で，燃料には1.5～20％の軽濃縮ウラニウム15～20トンを使用する。水槽中に燃料棒を格子状に配置したものと思えばよい。

2. 沸騰水炉

濃縮ウラニウムを硫酸ウラニウムの形にして水に溶かしたもので燃料とモデレータが混然一体となつている一種の均一炉である。核分裂によつて発生した熱で炉内の水は当然蒸気化する，この蒸気を直接タービンに導いて発電するので，その構造は至つて簡単であり安い電気を得る見込がある。日本が濃縮ウラニウムを受入れた場合，後で述べる重水炉と並行してこの種の炉を作る可能性が大きい。

3. 液体金属冷却炉

普通炉から熱を運ぶクーラント（冷却体）には軽水や重水を使用している。軽水や重水はたとえ圧力を加えても400°C近くなると蒸気化するので熱効率がいさゝか落ちる。そこで例えばナトリウムとカリウムの合金をクーラントとすると熱伝導がよく，高温で気化することもないので熱効率を火力発電並に引上げることが期待される。5ケ年計画ではモデレータにグラファイトを使つているが，液体金属冷却は次に述べる増殖炉と共に将来の方向であろう。世界最初の原子力潜水艦ノーチラスの原子炉はこの型に属する。

4. 増殖炉（ブリーダー）

天然ウラニウムの大部分を占めるU^{238}は中性子を吸収すると核分裂を起す人工元素Pu^{239}に変化する。だから，U^{235}の分裂の際放出される平均2.5個の中性子のうち1個はもう一つのU^{235}原子核の分裂にたずさわり，更に残り1.5個のうちの1個がU^{238}に吸収されてPu^{239}を産み出すとすると，燃焼して失われると同量の燃料が新に誕生するという魔術が演ぜられて天然ウラニウムは理論的には完全に燃焼することになる。これを増殖炉という。いうまでもなく将来の原子炉の本命である。この増殖炉と略同型といわれるアーコ研究所の増殖炉第1号は炉の中央にU^{235}（又は90％以上の高濃縮ウラニウム）を置きその周囲に天然ウラニウムを置く。最初U^{235}が燃え，やがて天然ウラニウムから出来たプルトニウムが燃焼を始めるであろう。この場合天然ウラニウムの代りにトリウムを置いてもよい。トリウムから出来るU^{233}はPu^{239}に勝る燃焼だとのことである。たゞ新燃料と分裂生成物の化学処理が極めて困難で金を食い現状では必ずしも有利な原子炉ではないが，将来の原子炉たることは何人も疑い得ないところであろう。

5. 均一炉

2.の沸騰水炉を除くと以上述べた炉はモデレータと燃料が別々になつているのでこれを不均一炉と称し，これに対して燃料をモデレータにとかして一体としたのを均一炉という。5ケ年計画でとり上げた均一炉は重水に硫酸ウラニウムを溶かし，同時に重水をクーラントとして使用循環させ軽水を加熱，その蒸気をタービンに送る。5ケ年計画には更にこの均一炉の燃料がこの周りにトリウムを置き4.の増殖炉と組合せた均一型トリウム炉を含んでおり，米国原子炉5ケ年計画中最大のホープといわれている。

以上が昨年発表された米5ケ年計画の内容であるが，米国の民間会社は今年になつて以上の諸型に属する原子力発電案の認可を原子力委員会に申請し，5.案の出力は合計約700MWに達すると報道されている。実験期を除々に脱して米国は現実に原子力時代に踏み入りつゝある。

この他，世界で計画され或は建設されている原子炉の型もないわけではない。即ち，

6. グラファイト天然ウラニウム炉

原子の火を初めて起して原子力時代の黎明を告げた有名なシカゴパイル（CP1）や現在米英でプルトニウム生産用として使用されている原子炉はこの型の代表的炉である。モデレータとして使用するグラファイトに多数の穴をあけ，こゝにアルミニウム管に封入した天然ウラニウムを挿入する，いわば原子炉の原型である。

7. 重水炉

性能の点のみからするとモデレータとしては重水が最も優れている。重水を使用すればグラファイトの時に比してウラニウム燃料の限界量がはるかに少く，それだけ炉も小型化するのであるが，何としてもその値段が高過ぎて，経済を主とした原子力発電の場合歓迎される客ではない。この型の炉は重水槽の中に格子状にウラニウム棒を吊しておく，重水は1人2役よろしくクーラントの役目を引受ける，燃料は普通天然ウラニウムを，時に濃縮ウラニウムを利用する。フランス，カナダ，ノルウエー，スエーデンにはこの型の炉があり，更に若干国に計画があるが，日本で最も有力視されるのもこの炉である。日本には電解法を用いたアンモニア製造設備がノルウエーに次いで多いといわれる，だから肥料生産の副産物として重水を造るならば，（自然水には重水が0.015％含まれ，しかも重水は軽水の4～5倍電解しにくい，この性質を利用する）比較的安い重水が得られるのではないかというのがその根拠である。重水炉なら天然ウラニウムで間に合う，他国の援助を必要としないというのであるが，それには国内ウラニウムの開発と精錬技術の発達を急務とする。それなくして，濃縮ウラニウムのひもつきを云々する資格は日本になさそうである。

原子力発電は果して引合うか

エネルギー源としての特異性からいえば，原子力は革命的な魅力に包まれている。しかしそれから得られる電気が今迄の電気に比して安いものでなかつたならば少くとも企業の対象となることはできない。一体原子力発電の原価はいくらにつくのか―我々の最も関心をひく問題である。

まず米国の場合でみると現在では採算がとれない。米国では火力の能率がよく石炭も豊富であつて，原子力発電原価は現在火力の倍近くになつている。むしろ世界の政治情勢が米国の原子力平和利用を促していると邪推する人がある位である。しかしながら最も責任ある想定によると，熱効率の向上或は経験の集積による設備建設費の見積り低下から，10年後には火力，原子力が経済的に全く肩を並べ，更に20年後には増殖炉研究の進展と共に原子力が大きく火力を抜くとのことである。民間会社が現在の採算を無視してまで本格的な原子力発電所の建設を目論む理由は以上の推定の確信に基くのであろう。これも数字で示すと原子力の発電原価は現在10～12ミル（4円前後），1965年に7ミル（2円50銭），1975年に4ミル（1円40銭）となつており，英国での想定も又同程度である。次にGeneral Electricの原子力部長Mc Cune氏による原子力と火力の原価比較表を参考として記載しておくがこの原子力発電所の炉は前節で紹介した沸騰水炉である。

	沸騰水炉	火力
出力（MW）	300	300
利用率（％）	80	80
熱効率（％）	24	35

所要資金（弗/KW）	設　備	195	140
	用　地	2	2
	技　術	15	11
	準　備	14	7
	核燃料	17	—
	計	243	160
発電原価（ミル/KWH）	固定費	4.65	3.00
	運転費	0.70	0.50
	燃料費	1.35	3.40
	計	6.70	6.90

（註）　石炭価格は35セント/百万 Btu

1ミル＝0.1セント＝36弗

ところで日本の場合は問題である。結局米国の資料に頼る他ないのであるが，よく行われているように弗をそのまゝ円に飜訳して，日本では既に採算圏内だとすましているわけにはゆかない。日本の金を使う限り米国で原価算定の基準より金利が高いからである。従つて建設費が全く同じであるとしても大雑把に計算して固定費が上表の数字より15%，原価にして約10%高くなる。更に燃料を輸入に頼らず，国産でまかなうとする。仮に国産燃料が米国に較べ2倍だとすると原価に20%響いてくる。どうせ正確な原価が出てくる筈がないのであるから大胆にこれらの数字をかけてみると，一応現在で5円50弗，10年後に3円50弗位の線が出てくる。日本では水力が多い点を考慮すると，やはり10年後にとんとんということになる。しかも日本の場合10～20年後には未開発の水力電源が乏しくなり，火力は石炭資源の点からみても需要をカバーできなくなるのではなかろうか。それやこれやを総合すると日本でも10年後には原子力の分野が展開してくるかに想像される。原子力発電は10年先の問題である，といつても一朝一夕に解決できる問題ではない。今日から出発すべきことである。やはり明日では遅すぎる。

水爆は永久に惡魔か

今迄述べたのは要するに現実の問題であつた。原爆が広島で炸裂してから10年，人類はやつとこれを飼い馴らすのに成功したらしい。それでは水爆という怪物はどうなのか，水爆は永久に悪魔なのであろうか。我々はカドミウムか硼素鋼の棒で原爆を懐柔している。水爆懐柔の鞭はないのか。若しも水爆を制御出来たら我々は原爆の10倍の富を，考えようによつては無限の富を自然から引出すことができる。こゝでしばらく，しかしほんのちよつと現実から逃避してみよう。

さて先刻御承知の通り，原子核の分裂は U^{235} や Pu^{233} や U^{233} の原子核に中性子が衝突して発生する。この際分裂核はその質量の一部（0.1%）を解放して原子力なる尨大なエネルギーを発生する。これと逆に極めて軽い元素，例えば水素やリチウムに数百万度の高熱を加えると，これら元素は結合し，即ち核融合（熱核反応）を起して主としてヘリウムとなり，その際約1%の質量を解放して核分裂を凌ぐ巨大なエネルギーを放出する。1，2例を挙げてみると

$$_1H^3 + _1H^2 \rightarrow _2He^4 + _0n^1 + 17.58MeV$$

$$_1H^2 + _3L_i^6 \rightarrow 2_2He^4 + 22.3MeV$$

こゝで $_1H^2$ は重水素，$_1H^3$ は三重水素，$_2He^4$ はヘリウム，$_3L_i^6$ はリチウムを表わす。上の例は水爆反応の一部で原爆の熱によつて進行する。この反応で生ずる熱によつて更に重水素同志の融合を促し水爆を完成する。下の例はソ連が造つたとかいわれるリチウム爆弾の反応を示している。水爆が2段の反応を必要とするのは第2段目の反応が極めて高温を要するためで，この点比較的低い温度（原爆程度）ですむ下の反応の方が平和的利用の場合有望といわれている。しかし何れの場合にしろ原爆を熱源とするわけにはゆかず，もつとスマートな制御し易い高温発生装置，いわば原子マツチの発見が水爆利用の鍵となつてくる。数年前米国ロス・アラモスの国立研究所で細い金属線を電気衝撃で爆発させて，局部的に瞬間的に数10万度の高温を発生し核融合を起したと伝えられ，道尚遠しとはいえ水爆の平和利用に一縷の望みをつないだ。水爆の平和利用が実現したら最早石炭も石油もウラニウムもトリウムも燃料としてはさほど重要でなくなつてくる。世界は平等に自然のエネルギーを享受できるわけである。10年前には大部分の人がその存在すら知らなかつた原子力はやがて電気となつて我々の生活に結びつこうとしている。予想だにしなかつたことが次々と実現されてきた過去を思うと，案外我々の世代に水爆平和利用の夢は正夢となるかもしれない。

核融合が自然に行われているのが太陽である。太陽は下記の如き一連の反応によつて数百万年の間に4個の水素がヘリウムに変化しているといわれているが，この一連の反応で放出されるエネルギーは約30MeVである。

$$_6C^{12} + _1H^1 \rightarrow _5C^{13} + _{+1}e^0$$

$$_6C^{13} + _1H^1 \rightarrow _7N^{14}$$

$$_7N^{14} + _1H^1 \rightarrow _7N^{15} + _{+1}e^0$$

$$_7N^{15} + _1H^1 \rightarrow _6C^{12} + _2He^4$$

この反応をみると炭素が反応の前後に不変であり一種の触媒の役を努めている。第1及び第3段階に出てくる $_{+1}\epsilon^0$ は陽電気をもつ電子である。

物質の消滅

水爆の平和利用で少し現実を遠ざかつたことのついでに，こんなこともあるのかという少々頭のおかしくなる話をとりあげてみたい。縁台の話題位になるかもしれない。核分裂は物質の0.1%を解放した，核融合は物質の1%を解放した。がそれでも莫大なエネルギーが発生した。だから今更相対性原理をもち出して質量はエネルギーなり，$E = mC^2$ であると騒ぎ立てるまでもなく質量が消えてなくなつたら大変なことになることは分つている。

前節の終りに太陽の反応を掲げておいた。この反応に出てくる馴染の薄いプラス電気の電子を陽電子と称するが，この陽電子が普通の電子と衝突すると一瞬にして両者は消滅してたゞのエネルギーたる光子に変貌し，こゝに物質の完全なる消滅が成立する。先程の $E = mC^2$ で計算するとこのエネルギーは約1MeVに相当する。この反応は勿論可逆である。100万V以上のX線が原子核の近くを通る時電子—陽電子の対が発生することが認められる。

さて電子よりも大きい粒子，例えば中性子や陽子（質量が電子の約1800倍）の場合，その発生消滅は勿論簡単でない。しかし若しもこれら粒子の消滅が起つたならば，電子消滅の際の1800倍即ち18億eVという巨大なエネルギーが U^{235} 原子の1/235の粒子から発生する筈である。文字通り驚天動地の事件である。ところが昨年8月，シカゴ大学のマーセル・シヤイン教授は米国物理学会の席上で 10^{10}MeVのエネルギーをもつた陽子の反対粒子即ち反陽子（或は陰陽子）を地上30kmの上空に於ける（成層圏の頂上の）気球実験で発見したと発表して，世界にセンセーションを捲起した。この粒子が大量に地球に到達したら地球は光となつて消滅するかもしれないからである。が幸か不幸か空気に遮られて反陽子は地上に到達しないであろうし，又陽電子の如く人工的につくれたとしても写真に捕えるのが精一ぱいで，まずあわてふためくことはなさそうである。とはいえ成層圏の上層の宇宙線にこの粒子があるということは，そこでは物質が消滅することを意味している。少々薄気味悪い話である。

終りに

何か筆者自身訳の分らなくなる夢の中のうわ言みたいなことを書いてきた。或はこんなことよりももつと我々に身近かなことを述べるべきだつたかもしれない。

ともあれ10年か20年後には1，2の国を除き世界的にエネルギー源が不足してくる。原子力発電に経済的な裏付けもできてくる。思えば天の配剤或は人智の進展正に妙というべきである。ウラニウム資源は世界的にみて石炭，石油等既存燃料の20倍余，更にトリウムはウラニウムの数乃至10倍と伝えられるから資源的にみても原子力工業の前途は大きい。日本の核燃料資源は貧弱といわれているが未だ本格的に探鉱されたことはない。1両日前某社がウラニウムの精錬に成功したと報ぜられ，途端に株価が10数円はね上つたとのことであるが，株が暴騰しようが暴落しようがどうでもよいのであつて，要は地に脚のついた前進が期待されただけである。（5月21日記）

（文化体育ニュース）

全国電力会社対抗囲碁大会に高橋2段の全国制覇成る。排球は奮斗空しく惜敗……

恒例の全国電力会社対抗囲碁大会は，5月1～2の両日，排球大会は5月15～16の両日，共に東京都で全電力会社の参加を得て華々しく開幕された。

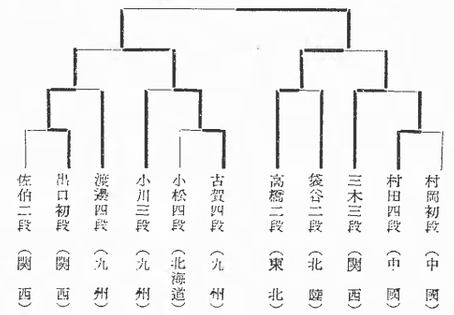
先ず囲碁大会では高橋2段（新潟）が善戦敢斗し，準決勝戦を不戦勝と云う幸運もあつたが順調に勝進んで，待望の決勝戦へと駒を進め，茲で九州のベテラン古賀4段と対戦し，東北の信望と，自己の棋運を賭けての千載一遇の場面を迎え，彼独得の豪快な盤裁きと緻密な作戦で見事8目半の差をもつてこれを降し，遂に念願久しかつた全国制覇の偉業を成し遂げた。

また排球は，本年度が第1回目の大会でもあり，且つ囲碁が輝かしい成績を記録した直後でもあつたので，派遣選手一同新な誓のもとに奮戦したのであるが，遂に戦運利あらず惜敗した。　（厚生課）

成績次の通り。

第7回囲碁大会戦績表

（優勝トーナメント戦）



（21頁へ）

電灯料金3割頭打制について

営業課　坂田愼三郎

1.　4月以降の電気料金特別措置の経緯

昨年9月13日付を以て1.164倍の電気料金値上げが認可され，10月1日より実施されたが，改訂制度については予め需用家各位に対し，業務機関を通じ周知に手を尽していたので制度変更の切替も順調に推移し，着々軌道に乗つて来たところにこの電灯料金3割頭打制が政治的に決定されたという次第である。

旧料金制度は電気の割当制に立脚した制度であり，従量電灯にあつては夏冬別に標準電力量が相違していたから，標準電力量の少い冬季支払料金が，標準電力量の多い夏季料金に比し可成り割高となつていた。当社の新料金制度は，供給力の増強により需給の均衡を得るに至つたので，割当制を廃止し，電気の質に基いて格付された一本料金制を建前とし，従量電灯にあつてはアンペア制の一本料金と成つたから，新旧料金差は冬季に低く，夏季に高く現われることになつた。

抑今回の改訂料金が全国的には旧各料金ベースで30年上期に横ニするという政府の構想に変形されたものであつたため，政府としては低物価政策の建前より一般諸物価に及ぼす影響を考慮し，認可に当つては30年4月以降の電気料金を引下げ得るよう政府としては金利，税金等の軽減措置を講ずるものとし，一方電気事業者に対しても一層の企業努力を要請したのであつた。爾来公益事業局も金利，税金等の軽減を図るべく関係方面に折衝を続け，電気事業者も企業の合理化に努力を続けて来たのであるが，その間国会の解散を経て新内閣の成立になつて電気料金値下げ問題が新内閣の重要政策の一つとして採上げられるに至つた。金利，税金の問題は政府各省間並びに地方自治体等に影響するところ重大なため，30年度国家予算の編成方針とも関連し，時間的に4月実施は困難視されるに至り，3月29日の閣議において，4月以降の電気料金に対し電気料金対策要綱なるものを決定した。これは今回の特別措置の根源をなすものであるから参考にその儘次に掲げて見ることにした。

電気料金対策要綱（昭和30年3月29日閣議決定）

(1)　電源開発の進捗に伴い電力原価は今後相当高騰することとなるので，極力これを抑制するとともに，でき得る限り長期にわたり安定した料金による電気の供給を可能ならしめるため更に企業努力による原価の引下を図ることは勿論であるが，今後金利，税，補償費等の軽減について検討を加えることとする。

(2)　昭和29年10月の電気料金改訂による本年4月以降の影響を緩和するとともに，昭和31年3月末まで現行料金を据置くため電気事業者に対し一層の企業努力を要請し，取敢えず次の暫定措置を講ずる。

①昭和31年3月末まで定額電灯及び従量電灯の需用者の支払料金が旧供給規程(昭和27年5月改訂のもの)による料金の130%を超過する場合には，これを130%に頭打ちする。

②公共事業用電力並びに小口及び大口電力の一部について現に実施中の130%頭打ちの措置は昭和31年3月末までその適用期間を延長する。

以上の決定に基き通商産業大臣から9電力会社に対し，この実施を要請するに至つたのであるが，かゝる電気事業者の企業努力のみによる料金引下措置は本質的に電気料金の原価主義に反するものであり，且又昨年の料金改訂に当り原価高騰のため値上率の高い東北，北陸，中部，東京の各社がこの適用により広汎な影響を蒙り，値上率の低い関西，中国，九州の各社は軽微な影響しか受けないという極めて不合理なアンバランスを生ずることとなつたのである。ここに於て電気事業者は(1)この措置は昭和31年3月末日までにて打切るものであり，かかる処理方法は今回限りとすること。(2)この措置により生ずる赤字処理については特別の経理措置を講ぜられ度いこと。(3)政府公約による金利，税金等の軽減措置は勿論，速やかに長期安定料金の確立を期せられたいこと。の趣旨の要望書を30年3月30日付を以つて提出すると共に同日付を以つて，電気供給規程によらない電気の供給条件の設定，即ち(1)昭和30年4月1日から昭和31年3月31日までの間，定額電灯及び従量電灯の需用者の支払料金が，旧料金規程（昭和27年5月改訂のもの）による料金の130%を超過する場合にはこれを130%に頭打ちすること。(2)電気供給規程（昭和29年9月13日認可のもの）附則第10項及び第11項の規定の適用期間を昭和31年3月31日まで延長すること。を電気に関する臨時措置に関する法律の規定に基き旧公益事業第42条第1項但書の規定の例により申請し，翌31日付を以つて認可を得，4月1日より実施するに至つたものである。

2.　電灯料金3割頭打ち措置による影響

当社に於ける定額電灯の値上率（料金資料による値上率）は上期116%，下期は値上げにならないから，殆んど頭打ちの適用を受けず，僅に100W超過の投光機関係等があるのみで，これとて全管内において十指に満たない程度であるからその影響は殆んど皆無と言い得る。

これに反し従量電灯は広汎な影響を受け，先ず第1に改訂制度のアンペア制の基本料金は，総支払額で頭打ちされる結果アンペア制の特質の発揮を停止し，第2に巨大な減収額を生ずるに至つたことである。即ち従量電灯のこの措置による減収予想額はおよそ上期3億2千7百万円，下期8千4百万円，年間4億1千1百万円程度であり，従量電灯年間収入に対し約1割の減収額となつている。

前述の如く改訂料金が年間一本料金であり，各料金をベースとしたものである関係上，夏季の値上率が大きく，従つてこの適用を受ける割合も亦大きく，冬季には小さくなつている。これを夏冬別に該当需用家の構成率の上から見れば，従量電灯全需用家構成率を100とした場合，該当需用家は夏季38%，冬季11%となつて一見全体の半ばに達しないような観を呈するが，これは全需用家の70%を占める5アンペア7灯以下の需用家が既に供給規程の定めるところにより，基本料金を申受けないことになつているためこの需用家の料金が割安であり，頭打ちの適用を受けるものが比較的少いということによるものである。なおアンペア別に該当する使用電力量の範囲を示せば次表の通りである。

3割頭打ち該当範囲内電力量

契約アンペア別	月使用電力量 夏(4～10月)	月使用電力量 冬(11～3月)
	KWH　KWH	KWH　KWH
5アンペア　7灯以下	32 ～ 69	——
5アンペア　8灯以上	14 ～ 90	14 ～ 29
10アンペア	2 ～112	2 ～ 51
20アンペア	1 ～154	1 ～ 93
30アンペア	0 ～197	0 ～136

次に電灯3割頭打ちの外，供給規程上30年上期末を以て打切りとなつている小口，大口電力の公共事業用及び特定業種需用に対する130%頭打ち措置を更に半年間延長することになつたが，これは現行の延長に過ぎないから省略する。

3.　本措置に対する営業対策

今回の特別措置による年間約4億の減収を補うには経費の節減と需用開拓による以外に途はないので，30年度の営業方針は専ら電灯並びに一般小口電力の需用開拓に向けられなければならない。然らばこの需用開拓を強力に推進する裏付けの一つとしての30年度供給力はどうなつているであろうか。

29年度の途中に於る竣工した只見川系本名，上田両発電所，十和田貯水系法量発電所，電源開発会社の猿ケ石発電所よりの受電等の外，30年度新設分としして大池第一，第二，松神，八久和の各発電所が予定せられ，斯く相次ぐ電源拡充により供給力は飛躍的に増加し，これに伴う送電線，変電所及び配電線も整備強化され，他方改訂制度により新に設けられた調整電力（年間を通じ一定量以上の電力量の供給を保証し，需給状況に応じて負荷可能な電力）並びに特約需用の運用により大巾に負荷調整ができるので，電灯，一般小口電力に対しては渇水時と雖も毫も電力制限等の懸念なく，安定良質な電力供給を確保することができることとなつたので，需用家サービスを第一義とし，電灯，一般小口電力の新規需用の開拓を一層積極的に推進し，東北地方の生活水準の向上と農業電化の発展を図ることを以て30年度の営業方針とした次第である。殊に従量電灯料金3割頭打ちの結果は，前述の如くアンペアの基本料金が綜合支払料金の中に埋没して了うから高アンペア契約需用家であつても，低廉な料金で使用できるから，この際大いに電気による文化的生活を滋能して戴きたいものである。　(30—3—26)

(19頁より)

第11回排球大会戦績表

北陸 0 / 中部 2 / 中国 2 / 優勝（中國電力）

	四国	北海道	北陸	勝点
四国	※	0	0	0
北海道	2	※	0	2
北陸	2	2	※	4
勝点	4	2	0	※

	電発	東京	中部	勝点
電発	※	1	0	1
東京	2	※	0	2
中部	2	2	※	4
勝点	4	3	0	※

	東北	中国	九州	関西	勝点
東北	※	0	1	1	2
中国	2	※	2	2	6
九州	2	0	※	2	4
関西	2	0	0	※	2
勝点	6	0	3	5	※

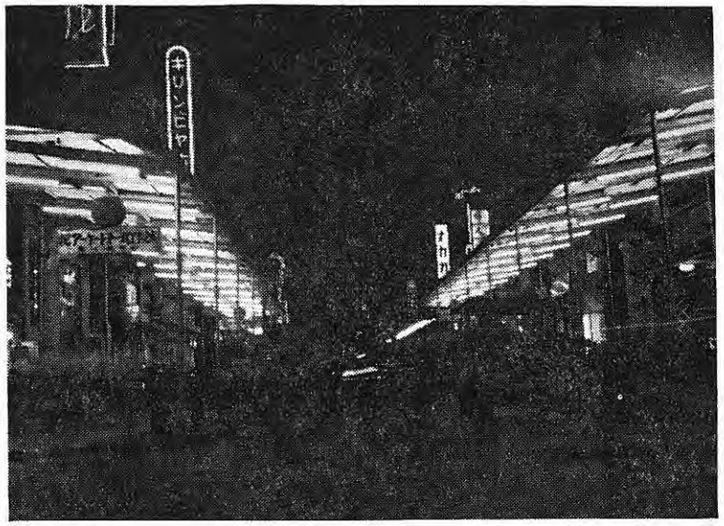
焼け棒杭からアーケードまで

仙台営業所工務課　**神　部　行　雄**

1.　日本一のアーケード

去る昭和29年12月10日，仙台市東一番町に5,000万円の費用を投じ，南北1,000Mの両側の商店街を銀の屋根で結ぶアーケードが完成し，年末年始の大売出しにさきがけ色々の祝賀行事が行われ，杜都随一の繁華街〝番町〟は大賑わいを呈した。

此の為雨が降ろうが雪が降ろうが傘なしで歩け，買物が便利になつたばかりでなく，一町内の商店がきわめて自然に横に統一連繋され，〝横のデパート〟となつたのである。此のアーケードはアルミニュームによつて屋根部を造り，さらに40Wの螢光灯を1間置きに千鳥型に配置したものであつて，両側1,000Mに亘る距離と共に，日本一のアーケードと言われている。これには東一番丁が無電柱街路となつている事が，大きな要因となつている事を見逃せない。配電柱及び通信柱が街路の両側に立ならんでいたならば，アーケードは生れ出たであろうか。もし，出来たとすれば，電柱と電柱の間にさらにアーケードの支柱が立つて，〝柱の街〟番丁と呼び名も変つたのではなかろうか。何故，東一番丁は無電柱街路となつたか，一体，無電柱街路とは何か。焼け棒杭を台に雨戸の上にローソクを置き，或は又，裸電球の下で焼残りの商品を売りさばいた頃より，早や丸9年，今，アーケードの誕生にちなみ，銀色の輝きと，華やかなるネオンのかげにかくされてしまつた，仙台市内配電線復興工事の概要を，焼け棒杭からアーケードまで筆のまにまに御紹介したい。



仙台 東一番丁のアーケード街

2.　空襲による被害状況

春秋の論法をもつてすれば，B29が東一番丁にアーケードをもたらした事となろうか。まずはB29の来襲よりはじめねばならない。

昭和20年7月9日午後9時10分頃より，7月10日午前3時頃迄の間，延70機のB29は仙台を襲つた。

其の被害状況は次表の通りであつて，全市域よりみた被害率は面積に於て10%，戸数，人口に於てわずか25%内外ではあるが，空襲は市内電車の環状線によつてつゝまれている，市の中心部区域に撤底して行われ，其の他の地区については，軍事施設に集中するというものであつた為，市の行政，商業，軍事の機能は100%に近い致命傷を受けた。杜都を一夜にして焼け棒杭の町と化し，多数の尊い人命と家庭を奪い去られた悪夢がまざまざと想い出されるにつけ，今更の様に〝戦争の悲劇〟に慄然とするものがある。

空襲に依る被害状況

種別	単位	数量	備考
総被害面積	坪	1,500,000	10%
罹災戸数	戸	11,933	23%
罹災人口	人	57,321	26%
死者	人	901	
負傷者	人	1,689	

3.　特別都市計画と電力事業

仙台市当局は終戦と共に翌21年より復興計画を樹て，政府よりは特別都市復興事業に指定を受け，着々と近代都市大仙台を目指す計画を進める事となつた。其の具体例として都市の血管ともいうべき街路計画を示せば，左表の通りである。此れと併行して店舗住宅其の他官民各種の建築物の復興も盛んになり，此の復興への力強い歩みは，一仙台市に限られた事ではなく，全国にみなぎつたものであつて，やがて電力事業も其の影響を受け，電源部門を主体として，発電所より引込線に到る長期の増強計画が行われ，仙台市を中心とした需要増加に応ずるため送変配にわたる供給力の強化をはかつた〝仙台周辺増強計画〟が施行された。然し，此れにさきだち昭和25年を迎え，都市計画の進捗に伴つて，先ず何よりも，街路はどんどん変つて行く。電柱を移さねばならない。系統はどうするか。都市計画と配電線路をどう結びつけるか，此れが焦眉の問題となつて来た。しかも此れは，電力関係だけではなく，電通，電車等と連繋して，特別都市計画に対する全電気設備関係者の態勢で進む事が必要である事が明らかとなり，同年4月末，仙台市電気設備復興委員会が発足した。其の目的とするところは，都市計画と協調し，都市美の向上に努め，交通及び保安の維持をはかる為めの，電気設備の復興を促進しようとするものであつて，当社旧東北配電当時が創立はもとより，運営にわたつての推進役となり，市当局，電通，電車，通産局，市会，学識経験者，電力によつて構成され，当時の大越宮城支店長が委員長に選任された。そして約3ケ月に亘る検討の結果，

(1)都市美と保安上の両面より，繁華街及び幹線街路は無電柱街路とし，裏側配電又は地中配電を行い，既設線路を撤去する事。

(2)支持物は，都市美との調和の面よりしても，つとめてコンクリート柱を使用する事。

(3)電力，電通はなるべく，支持物の共用を行う事。

大要，以上の三点に集約され，(1)項の無電柱街路としては東一番丁他5路線が指定され，各構成員は，それぞれ此れを実施する事となつた

仙台市特別都市計画工事予算並びに実績

	期間				工事予算額（円）	工事実績（円）
第一期	自	昭和21年	至	昭和25年	208,166,105	(a) 62,455,684
第二期	自	昭和25年	至	昭和29年	247,626,000	(b) 246,126,000
第三期	自	昭和30年	至	昭和31年	(c) 235,000,000	
概算総工事費		(a)+(b)+(c)			543,581,683	

街路の新設，拡張計画表

街路幅員	数量	延長
50M	2	2,173M
46	1	714
36	6	5,941
30	2	1,712
27	6	4,724
22	2	1,730
20	2	788
15	2	1,981
区画街路		44,837

註 1．市内電車の環状線内だけを対称としてある。

2．幅員15m以下のものは区画街路に含めた。

家屋復興状況

期間	戸数
20.8～21.3	739
21年度	3,476
22	5,809
23	5,415
24	4,130
25	3,424
26	2,189
27	2,435
28	2,542
29.4～29.12	2,050
計	32,207戸

註 1．仙台市復興局建築庶務係調査に依る。

2．戦災地外の区域分も含まれている。

4.　無電柱化工事

無電柱街路に指定されたのは，東一番丁，東二番丁，仙台駅川内線青葉通，長町堤町線，定禅寺通，元寺小路川内線（広瀬通）の5路線であるが，昭和29年の春，広瀬通及び青葉通の両街路は仙台市の都合により無電柱街路より除外された。なお，指定された個々の街路については，在来の街路を拡張したものは，東一，東二，定禅寺通の3路線であつて，他は一部が拡張，大部分は新設街路であり，後者の無電柱化は街設延長の割合に容易なものとなつて居る。

其の実施状況は上表の通りであり，定禅寺通を除き工事は完了した。無電柱化工事に当つて，其の基本的考えは安定度及び経済面より考慮して極力，架空配電線に依る裏通配電によつて行う事として，その不可能な処（仙台駅前一帯）及び拡張街路の交叉点となつて極めて長径間となつた処（東二番丁一表小路）及び架空横断が不可能な処（大町頭）を地中配電によつて行う事になつた。従つて，8件の工事中，地中配電に依つたものが3件，他5件は裏通配電に依つて無電柱化を実施した。



無電柱化工事及びコンクリート柱建設工事説明図

無電柱化工事施工状況

年度別	工事番号	工事件名	金額（円） 総工事費(A)	補償額(B)	補償率 B/A	無電柱化された街路	撤去工事 撤去された既設の支持物 鉄柱	コンクリート	クレ柱	木柱	計
27	1	仙台駅前無電柱化工事	3,503,077	2,139,550	61%	仙台駅前青葉通東端	1		16		17
28	2	堤，長町線広瀬通東端無電柱化工事	1,127,672	398,425	35%	堤,長町線,仙台駅前広瀬通東端	3		8		11
27	3	東一番丁無電柱化工事	6,929,080	(1,024,215) 597,960	(14%) 9%	東一番丁				31	31
27	4	東二番丁無電柱化工事	3,849,625	(676,869) 398,640	(17%) 10%	東二番丁				29	29
28	5	表小路—東二番丁地中配電線路建設工事	3,663,776	1,025,000	28%	東二番丁北端定禅寺通東端		2	4		6
28	6	大町頭ケーブル工事	3,069,562	0	0	青葉通西端			5		5
29	7	青葉通無電柱化工事	594,000	0	0	青葉通西北部	1			10	11
30～	8	定禅寺通無電柱化工事	3,222,789	1,671,580	51%	定禅寺通			3	14	17
計		8 件	25,959,581	(6,935,639) 6,231,155	(27%) 24%		5	2	36	84	127

新設工事 架空電線路 コンクリート柱	クレ柱	計	地中電線路 38口	100口	150口	Hケーブル計	Lケーブル	マンホール	変圧器塔
			244			244M	150口 115M		1
	15	15							
	41	41							
2	22	24							
				300	300	600M		3	
	10	10		280	140	420M		2	
	10	10							
	56	56							
2	154	156	244	580	440	1,264	115	5	1

註 1. （ ）は無電柱化に対する補償額に関係街路上の既設柱の移設工事に対する補償額を附加した額であつて，移設工事に対する補償額は，電柱移設口にて受領している。

2. 東二番丁—表小路地中配線路工事の一部，及び定禅寺通無電柱化工事の全部の補償額は未だ受領していない。

3. 関係工事とは，当該工事の施工にさきだつて，幹線となる裏通の線路を強化した工事であつて，大半は次記のコンクリート柱工事によつて行つたもので，其の中，本工事に関聯する主要部分を記した。尚，電線は張替後の太さと回線数を示したものである。

裏通配電の為めには，先ず第一に裏通の幹線となる支持物を補強し，電線の張替等，供給力の倍加をはかる事が必要であつて，これを昭和25年度より26年度の2年度にわたり施行し，さらに裏通の枝線を，区画街路に沿つて新設した。

なお，補償金の算定について，基準として従来行つて来たものを御紹介すれば次の様なものである。

(1)裏通配電による場合

撤去される既設の電柱：m本

裏通配電の為め裏通に新設する電柱：n本とすれば

(a) m本については，裏通に移設したものと考え，後記の電柱移設補償基準に従つて，移設口として精算する。

(b) n本については

（n－m）本の建設費×50%が補償額となる。但し，建設費とは支持物，電線だけであつて他は対称としない。

(c) 引込柱は対称としない。

(2)地中配電による場合

（総工事費－倉入額）×50%が補償額となる。

然しながら，最終的には，年度毎の市当局の予算によつて大幅に左右される事は避け難い事であつて，其の補償率も平均24%ではあるが，61%から0%迄の大幅なちがいが個々の事について生ずる結果となつた。

5. コンクリート柱建設工事

都市美との調和という面が特に強調されて採用したコンクリート柱ではあるが，技術面に於ては支持物の強化が第一義である事は勿論である。したがつて，幹線及び連絡線等の架設されている個所と，裏通配電の為

めの裏通幹線を優先的に施工した。又，現場打ち柱，とニコポールについて色々検討した結果，当社としてはニコポールを使用する事とし，現場打ちは電通局で採用する事となつた。

又，都市計画の進捗状況と協調する点から，関係線路が電柱の移設を要する個所である時は，コンクリート柱建設に依つて併せ施工する様にした。補償額については，細横丁分だけが補償の対称となつている。其れ以外については，電柱移設を併せ施工した分には，木柱の移設としてのみ補償を行い，其の他の工事については一切補償を受けて居ない。即ち，木柱とコンクリート柱の建設費の差額に対する補償は，細横丁が最初にして最後であるという結果になつたが，此れも又，最終的には市当局の予算によつて拘束されている事を物語つているのではないかと思われる。

なお，細横丁線の補償は次の様にして行われた。

(a)：補償本数，建設本数65本より変電所引出口関係の4本を除外して61本とする

(b)：ニコポール一基当り建設費(円)　37,500

(c)：一基当り補償額（円）　12,500

(r)：補償額の合計

r=(a)×(c)−電柱移設による補償額

コンクリート柱建設状況

年度別	工事番号	工事件名	金額（円） 総工事費(A)	補償額(B)	補償率 B/A	ニコポール（A.Bは型） 14MA	13MB	13MA	12MA	11MA	計
25	9	細横丁ニコポール建設工事	4,594,000	582,812	12.5%			65			65
25	10	北四番丁 〃 〃	1,315,115	0	0			9			9
26	11	南光院丁 〃 〃	5,252,275	〃	〃		27				27
26	12	国分丁 〃 〃	5,426,000	〃	〃			31			31
26	13	仙台駅前一帯 〃 〃	3,303,225	〃	〃	6		19			25
26	14	勾当台通 〃 〃	3,079,975	〃	〃			24			24
29	15	広瀬通 〃 〃	602,330	〃	〃				2	13	15
29	16	片平丁線 〃 〃	1,205,279	〃	〃		3	8			11
29	17	東二番丁 〃 〃	1,582,000	〃	〃			19			19
29	18	錦丁 〃 〃	1,079,000	〃	〃			13			13
合計		10件	27,439,199	582,812	2%	6	30	188	2	13	239

註　1．電柱移設工事口より補償を受けているものは，細横丁，勾当台通，片平丁，東二番丁，錦丁である。此の補償額は次表（電柱移設工事関係）に含まれている。

当社の支持物に電通局にて添架したもの

施設者名	被共用線路 線路名	亘長	支持物 種類	長さ	本数	添架線(回線数)	添架線 名称	種類	条数	施設者
東北電力	南光院丁北線	15M	コンクリートB柱 クレオソート柱	13M 13M	1 1	H80°×1 60°×1 L22°×1	鉛被ケーブル	0.5/1.00	1	東北電気通信局
〃	〃 〃	80.1M	コンクリートB柱	13M	4	〃 〃 〃	〃 〃	0.5/50	1	〃
〃	〃 〃	102M	コンクリートB柱	13M	5	〃 〃 〃	〃 〃	0.5/30	1	〃
〃	南光院丁南線	58M	コンクリートB柱	13M	3	H38°×2 L22°×1	〃 〃	0.5/30	1	〃
〃	森徳横丁線	94M	コンクリートB柱 クレオソート柱	13M 13M	1 3	H22°×2 L22°×1	〃 〃	0.5/20	1	〃
〃	計	349.1M	コンクリートB柱 クレオソート柱	13M 13M	14 4					〃

註　1．本社分舘の裏側の街路が南光院丁である。
2．尚，上記の外，当社の通信ケーブルが南線に0.9/28が1条，北線の亘長15Mの部分に0.6/100，0.9/50，0.9/10が夫々1条添架されている。
3．昭和27年2月29日より共架を衆つている。

6. 電柱共用

東一番丁，南光院丁，東二番丁，東三番丁と並列する中心街路の内，東一番丁と東二番丁が無電柱街路と指定され，しかも此れを裏通配電によつて実施する事となり，裏側の幹線となる南光院丁線及び東三番丁は，配電線及び電話線の何れも支持物を強化し供給力を倍加する必要にせまられた。しかしながら，南光院丁も東三番丁も所謂〝裏街〟であつて，街路幅員がせまく，街路の両側を電力，電通の支持物がそれぞれ占有する事は，交通保安上極めて好ましくない事であり，さらに，各々2線路の支持物強化をそれぞれ1線路を分担して強化し，相互に共用する事によつて，支

電通局の支持物に当社が添架したもの

施設者名	被共用線路 線路名	亘長	支持物 種類	長さ	本数	添架線	添架線 名称	種類	条数	施設者
東北電通局	北東四幹線	77.6M	現場打ちコンクリート柱	13M	4	0.5/200市内ケーブル	高圧配電線 低圧〃〃〃	38㎜ 22㎜ 3.2%	6 2.1	東北電力
〃	新伝馬丁幹線	180.5M	〃	〃	6	0.5/200 〃 〃	高圧〃 低圧〃	〃 〃	〃 〃	〃
〃	新伝馬丁第一枝線	104M	〃	〃	4	0.5/200 〃 〃	高圧〃 低圧〃	〃 〃	〃 〃	〃
〃	新伝馬丁第二枝線	221.3M	〃	〃	8	0.5/200 〃 〃	高圧〃 低圧〃	〃 〃	〃 〃	〃
〃	名掛丁一枝線	133.4M	〃	〃	2	0.5/200 〃 〃	高圧〃 低圧〃	〃 〃	〃 〃	〃
〃	広瀬幹線	267.2M	〃	〃	9	0.5/200 0.7/14 〃 〃	高圧〃 低圧〃	〃 〃	〃 〃	〃
〃	北東三幹線	309.4M	〃	〃	9	0.5/200 0.7/14 〃 〃	高圧〃 低圧〃	〃 〃	〃 〃	〃
〃	計	1,213.4M	〃	〃	42					

註　1．線路は，当社としては，名掛丁一枝線と北東四幹線を一括して東三番丁南線他を一括して東三番丁北線と呼んでいる。
2．此の街路は本社分舘の東方一町目となつている。
3．昭和26年3月26日に契約した。

電柱移設工事関係

年度別	総本数	木柱 変圧器柱	木柱 其の他	鉄柱 変圧器柱	鉄柱 其の他	コンクリート柱 変圧器柱	コンクリート柱 其の他	補償額（円）
25	89	20	63	4	2			462,948
26	123	55	68					819,066
27	76	28	48					524,378
28	41	18	19	2	2			285,860
計	329	121	198	6	4			2,092,252
29	45	21	23	1				322,650
30以降	326	123	190	2		11		2,330,220
計	371	144	213	3		11		2.652,870
合計	700	265	411	9	4	11		4,745,122

註　29年度以降については，本数は仙台市復興局の調査によるものであるが，一基当りの補償費未定の為め予想額を計上した。

工事種別	金額（円）		
	総工事費(A)	補償費(B)	補償率 B/A
無電柱化工事	25,959,581	6,231,155	24%
コンクリート柱建設	27,439,199	582,812	2%
電柱移設	9,964,746	4,745,122	47%
計	63,363,526	11,559,489	18%

註　電柱移設工事の総工事費は概算を計上した。

補償費(B)	特別都市計画総工事費(C)	補償率 B/C
11,559,489	543,581,683	2%

持物建設費の半減を併せ行うため電柱共用の方式が採用された。

7．電柱移設工事

街路の新設，拡充に際し，支障となる電柱及び街路の変更に伴い交通保安上移設を要する電柱等が其の対称となるのであつて，市よりの要請に依つて順次施工して行くものであり，其の実績は次の通りである。

此の電柱移設工事の工事費補償は，一般の補償金工事とは異なり，昭和24年12月16日付の建設省より各配電会社社長に対する「復興土地区劃整理に伴う地上電気工作物の移設工事補償費について」の通牒に依つて移設標準工事費を変圧器柱と其の他に二分し，さらに支持物の種別及び長さ別に区分して，それぞれ一基当りについて算定し，此の算定工事費の3分の2を市が負担し，3分の1を当社が負担して施工する事となつている。

8．結　び

(1)　以上工事の概要を御紹介したが其の進捗にあたつては，決してペンが紙上を滑る様な順調なものではなく，色々の隘路があつた。其の二三を挙げれば次の通りである。

（a）　市の都市計画がすべての基礎となつているので，都市計画の進行上蹉跌を来たすと，当社の工事面にも大きな障害を及ぼすこととなる。例えば一街路の拡張に於て市当局と移転を要する民家との補償又は，換地等が不調となる等の原因によつて，一局部が貫通しない個所が生ずる事があると，当社の工事が部分的に未完了の個所が出来たり，又，工事の全面中止もやむを得ない場合がある。前者の例としては，細横丁，国分丁，南光院丁があり，後者には錦丁，東二番丁であり，当社として最も悩まされた点であるので強力に市当局に其の推進を要望してきたが，いまだに未解決となつている事は極めて遺憾であると思われる。

（b）　裏通配電に依る無電柱化工事の場合，裏側引込の為め，既設引込口の位置変更させねばならない個所及び既設引込口の位置変更，及び新設を必要とする需用家が多数生じてくる。そして此れには当然相手方の協力なしには出来ない事である。然し〝土地一升，金一升〟の場所柄であり，又建物の美観に神経質な商店街であるので，「無電柱化はいゝが此処に引込口を建てゝはいかん」とか「隣りの家に配電するのに，何にも俺の土地に建てなくとも」等の云い分が私共の行手に立ちふさがり，此の打開に相当手間取らざるを得なかつた。いづれにせよ，私有地を大幅に利用せざるを得ない裏通配電の安定度が，繁華街の私有地という面から将来動揺する可能性があるという一抹の暗い影を持つている事は見逃せない。

(2)　配電技術の持つ長所でもあり短所でもある点は工学的理由よりも人為的理由，即ち，公衆，人家，街路，建物，交通等によつて拘束に近い影響を受ける事であろう。この事は都市が近代化される度合に比例して其の比重を増してきたものと思われる。然しながら，此等の人為的理由もすべてが焼け棒杭と化した中から，一斉に再建への道を進む事となつた為め，当然，協調という名によつて併行的に施工する事により，人為的理由が局部的な二三の障害はあつたが，全般の視野としてはさしたる拘束とならず，むしろ極言すれば此等の人為的理由が逆に配電技術によつて左右され，間接的ではあるが街路が美化され，交通，保安面が向上されたという結果を生んだとも言えるのではなかろうか。そして，其の一つの頂点としてアーケード誕生となつて表面化したと思われる。

(3)　6年度にわたり，6,000万円を投じた工事であるが，工事費の総括した結果は上表の如く，特別都市計画の総工事費の2%によつて，当社の総工事費の18%が補償されている事を示している。

2%及び18%が妥当であるか否か，もはや今此れを云々する事は全く無意味なものに等しいのではなかろうか。いずれにせよ特別都市復興計画に全面的に協調し，大仙台再建の大計に側面的ではあるが率先して参画した本社の名は，仙台市の歴史から永遠に消えないものとなるでありましよう。私共も1社員として，又1市民として此の想出はつきないものとなるでしよう。

網地島海底ケーブルについて

宮城支店　線路課配電係

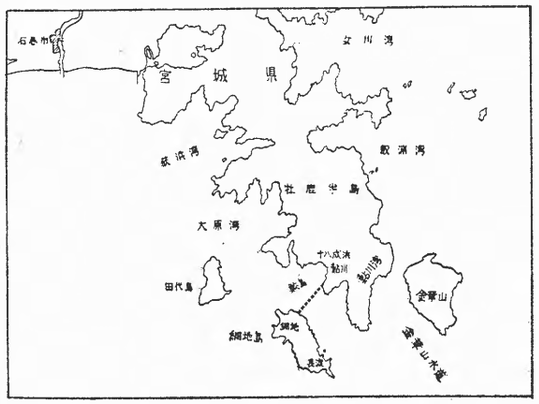
宮城県牡鹿郡鮎川町網地島は鮎川町より直距離で約4kmの位置にあり，現在負荷約60KW（電灯454軒電力3軒），鮎川変電所より約3kmの海底ケーブル(8㎜鉄線鎧装5.5□2心ゴムケーブル）で供給されている一漁村（**第1図**参照）である。この島は昭和2年に始めて配電され，爾来数回のケーブル故障があつたがその都度修理を繰返し辛うじて送電を持続して来た。然し，布設以来27年目の昭和29年4月に至り後述する様な事故が発生し鎧装の極端な劣化の為これ以上の本格的修理は不可能と思われるに至り30年度において新らしいケーブルと取替へる必要に迫られ，今回の故障状況から判断して，より良い海底条件の別ルートを選定する事が必要になつたわけである。以下4月～10月の測深及び底質調査完了迄6ケ月間にとつた手段について概略を述べて見よう。

1．地気発生から暫定仮送電まで

昭和29年4月12日19時30分鮎川変電所網地島線がトリツプし接地状態を示したので故障点検出を行つた結果，ケーブル部分に故障のある事を確認し，絶縁抵抗を測定したところ下記の様な極めて低い抵抗値を示した。

L_1-E　　0.02　MΩ
L_2-E　　1.1　〃
L_1-L_2　　1.1　〃

上記の如く，L_2-Eが1.1MΩであること から，暫定措置としてこの心線を利用して大地利用の配電方式を採用するか，又は低圧送電を実施するかの2案が検討されたが前者は附近に布設されている電通海底ケーブルへの誘導障害のおそれもあり結局600V送電を実施する事とし，（**イ**）電圧降下を防ぐため電灯負荷を1/5に制限（**ロ**）動力負荷の夜間使用を禁止した結果末端需用家電圧は50Vに低下し，ローソクを共用する要のある程悪い電圧状態を示した。



第　1　図

2．故障点の探索

前述の如く末端で50Vというサービス上面白くない電圧になつているので応急修理の上3,000V供給に切換えるべく故障点の発見が焦眉の問題となつた。故障点とはいえ，海中のこと故，探索方法として，ブリツヂによるマーレー法，ヴアーレー法，サーチコイルによる探傷法，船上よりの電極探傷法の4種類による調査を開始したが各種測定の結果結論として次の事が明らかになり測定による故障点探索は不成功に終つた。

(イ)マーレー法，ヴアーレー法によりケーブルの引下点及び陸揚点の各端より数回に亘り測定したが布設後数次に亘る修理の際割入したケーブルの仕様が明確でない為ループ抵抗（両心線を延長した抵抗）値及び故障点迄の抵抗値は出ても問題の正確な距離が算出出来ない。

(ロ)測定中ケーブルが潮流や波の為常時移動し地磁気を切る為微少な電圧を誘起しブリツヂにケーブルを接続しただけで検流計が振れ測定が極めて困難である。

(ハ)数次に亘る測定中に故障点と思われる所が断線接地を併発している様相を示し而も故障点が計算上両端に近い2ケ所に出て来たので判断が困難となつた。

以上の結果により最後の手段を講じ最初測定の際計算された故障点と思われる両水際附近を水上に引上げ，使用電圧にて耐圧試験を実施し異常音又は異常現象を監視することとした。この為島側及び陸側に小舟10艘宛，第3図の如く並べてこの上にケーブル約120米を引揚げ監視人をおき耐圧試験を実施したがここで初めてweak pointが完全に破壊し半島側ではケーブルの水中に入つた部分

で水泡を発し，島側ではケーブル引揚柱の根元に余分のケーブルを巻いて埋設しておいた部分で異様音を発し故障点の所在が明らかとなつた。

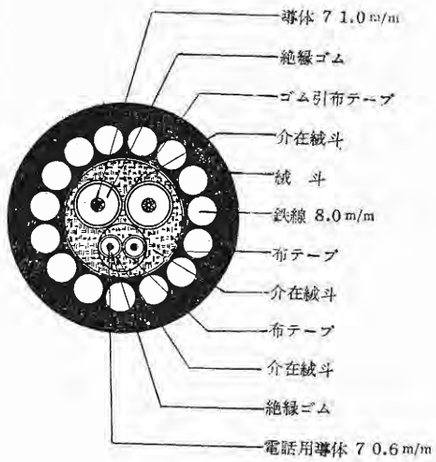
3. 修　　理

修理を行うに当り，波の静かな日を選定することは勿論，舟自体も出来るだけ作業し易い巾の広い舟底の平らな安定性のあるものを選びこれにケーブルの引込み及び送り出しの装置をつけケーブルの切断接続が便にして接続完了後機械的ショツクを与える事なく海中に除々に送り出し得る様細心の注意を払つた。接続は紙ケーブルと異りゴム絶縁線の接続であるから大して作業は困難でないが舟が絶えず動揺して居りその上，驟雨の日であつた為約5時間を要した。順序として先ず確認された故障点をケーブル引込用のローラーにのせ，除々に舟を進ませて舟の中心の作業点に安定せしめ前後を固定する。次に故障点を中心に心線のみ各5m宛切除し鎧装のみが5m宛切断面を要として傘型に開くように残した。

次に割入用のケーブルは約20mを準備し両端より心線のみ5m宛切除し更に心線切断面より5m宛入り込んだ所を要として鎧装のみを傘型に開き，各素線を1本宛銀蠟熔接の上心線の絶縁を施し，旧ケーブルの鎧装を割入ケーブルの上に丁寧に巻付け更にその鎧装の上に割入ケーブルの鎧装を巻付けるので結果的には



第 3 図



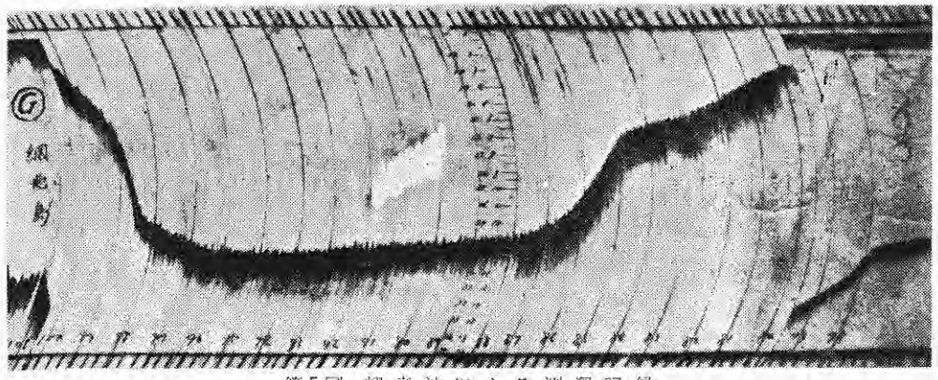
第 2 図

心線の接続点を中心に5m宛計10mの部分は鎧装が2重になつて素線接続の弱点を機械的に保護することになる。絶縁方法は人造ゴムテープをゴム絶縁被覆の除去された部分に綿密にまきつけ之を更に型枠に入れて外部よりトーチランプにより加熱圧縮整型し強固なゴム絶縁電線とする。この様にして出来た修理完了ケーブルを艤装ロールより除々に海中に落し最後に全線を海中に入れて修理作業は完了したわけであるがこの時の絶縁抵抗を故障時と比較すると下記の様な値となつた。

	故障時	修理後
L_1-E	0.02MΩ	1.1MΩ
L_2-E	1.1 MΩ	1.1MΩ
L_1-L_2	1.1 MΩ	2.2MΩ

4. 故障原因及び故障点の状況

前述の通り故障点が陸側の方は引下点附近の水中に，島側は引揚点附近に予備としてまいて埋設していた部分に発見されている為，この2ケ所の故障の原因及び状況は夫々全く趣きが異り，これよりみても海底ケーブル布設の際は底質の調査及びケーブルの取扱の重要さを改めて認識した。即ちケーブルは海底に延線しておくのであるから潮流又は波の為絶えず動揺しているので引下点及び引揚点附近の底質が特に問題となる。今回故障したケーブルは両岸より150mまでは小石又は岩の上に布設されていたがその他の部分は泥に埋まり強固に固着していたので全然故障の心配はなかつたとみて差支えない。唯前述の通り陸側の布設状況は半島の根岩が長く海中に裾をひきこの根岩の凹凸の上に橋渡式に布設されている状況で波に動かされて絶えず岩とすれ合つて鉄線鎧装がすり切れ，更にゴム被



第5図 超音波による測深記録

覆も直接岩にすれて損傷し心線が断線したものである。故障部分は鎧装が細くやせて40cm位脱落し内部ジュートも全然なく直接むき出しになつていて心線の撚込が非常に急になつていた。即ち鉄線鎧装がなくなつた為湾曲し易くなり頻繁に屈曲が繰返されている内に振り切れて接地したものと思われる。又島側の故障点の鉄線鎧装はその部分だけ鎧装に「笑い」を生じていて心線も一度「キンク」を生じたらしく素線中2本位は鋭い角度でゴムをおしつけておりこの部分はゴムがひどく炭化した様子がみられた。

5. 超音波測深器による測深及び底質調査

以上述べた通りケーブル両端附近の底質が布設に不適当な岩石となつている為，30年度中に新品に取り替える際は底質，陸揚地点，深さの条件のよい新ルートを選定する事が必要になつた。この方法として現在最も簡単にして確実と思われる超音波測深法を採用し約6日間に亘り布設候補ルート附近の測深及び底質調査を実施した。

(イ) 測深実施状況

現在の布設ルートは清崎側があまり岸に接近し根岩の上を橋渡ししていること及び島側の陸揚地点は波が荒く海底に岩が多い事等から見て，新候補地点を第4図のXYに想定してこのルート附近を中心に50m間隔で船を運航せしめ測深することとした。測深開始に先立ち常時船位を測るため航路から六分儀で測角し易い所に19ケ所旗又は石灰で表示した標点を設け船がどんな位置におつても直ちに標点を基準として測位され得るようにした。

次に予め定めた想定ルート及び之に大略平行する航路を図上に示しておき六分儀で測位しつつこの航路上を航行せしめ，船上には前述の測深器を常時運転状態にしておき，常に記録紙には真下の深さが連続的自動的に記録され得るようにした。測定中は測深器係と六分儀による船位測定者は連絡を密にしつつ測深器係の合図の都度測深器係は記録紙上に又測位者は航路図上に記録し，かくして出来た水深図は第4図の通りで，第5図は測深記録の1例である。

尚第5図並びにその他の測深記録紙より底質の様想も判定されるが更に陸揚地点附近は両方共潜水夫を雇い（船を入れることが出来ないので）底質を調査させた結果を綜合し第6図の様な底質分布図が得られた。（第4図は省略）

(ロ) 測深結果に就いて

1) 測深海域海底地形概観

本海域は謂所「三陸リアス式海岸」の南部に位置する典型的な沈降海岸でありいづれも中生代の水成岩に依つて形成されて居る。海底地形は一般にかなり単調であつて南東に深くなる舟底形の断面を呈して居り最深部は28.6mである。海岸近くの海底は十八成浜を除いて網地島側及び清崎沖共に急深であり斯様な処は岩盤の露出する事が多い。清崎側，網地島側共に沈水海蝕段丘とも云われる地形が見られる。この面は稍傾斜して居るがいづれの断面にも見られる特徴的な地形であり其の外縁の水深は22m程である。尚この地形は水道の入口程明らかである。水道の中央部の凹部は水深29m（外側）26m（内側）程度で極めて平坦な海底地形となつて居て上潮流(毎秒25cm)下潮流（毎秒13cm）共に微弱なものであるから一般の水道に特徴的な海釜と呼ばれる様な流れに依つてえぐられた地形は全く見られない。

2) 水深図及び底質分布図

測深はケーブル布設予定ルートを中心とし左右500mのバンド内全海域を行い引上引下点附近は更に細部に亘り測深を行つた。この間に於て船位測定点は352，測深線総延長は34,500mに及んだ。各測深線部の記録は第5図の通りであるが他方，第4図

は海域全般の海底地形を等深線にて表わしたもので，等深線は水深 2.5m 毎に表わし10m 毎の等深線は太線をもつて画かれている。水深は音響測深器に依つて得た結果に対して鮎川験潮場（石巻測候所々有）で行われて居る潮汐成果を加味し水深の基準面を略最低潮面に換算したものである。

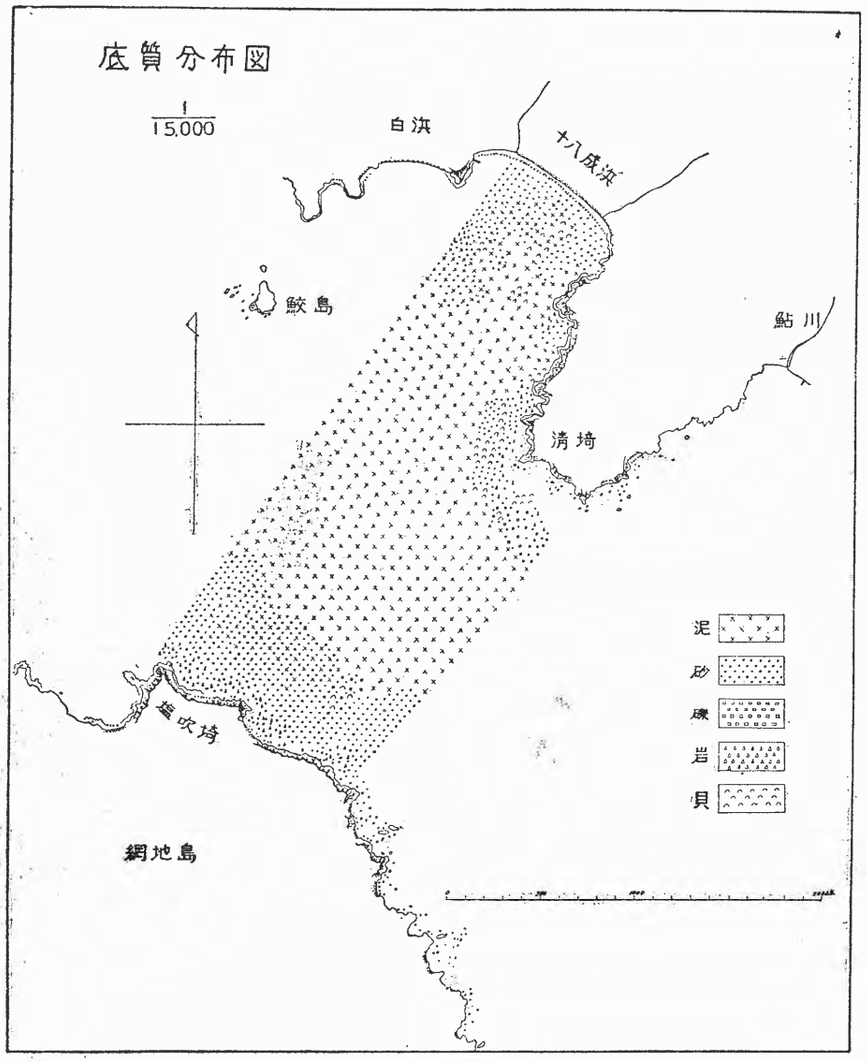
第6図の底質分布図は海上保安庁水路部の資料及び音響測深の記録より作成したもので水深 20m 以上の海底では殆ど泥，海岸附近は岩盤多く所々に礫が有り他は砂又は貝殻を含んだ砂である。音響測深記録の多くの部分に二重記録が見られ，今回はハンドレツトに依る調査を行つて居らぬので確然としたことは解らぬが，これは基盤面と堆積面を表わすものと解釈した。海岸線は島側及び半島側も前記の通り沈降性海岸で殆ど総てが岩盤であり適当な個所が無い。但し半島側で最良の個所は底質が砂である十八成浜であるが此処には現在電通のケーブルが布設されて居り利用出来ぬので止むなく清崎旧大洋漁業工場跡よりケーブルを引下げ，島側は塩吹崎の東隣の浜が砂地である模様で多少の岩盤凸起は有るが布設時はこれを避ければ一応了承出来るものと考えられる。

尚清崎南西方に約 180m 迄岩盤が突出して居るのでこの点も充分留意の必要がある。

6. 結　　論

以上測深結果を要約すれば測深器の性能は相当確度の高いものであり予定ルートも稍良好であると云えよう。又これ以上のルートはこの海岸線では望み得ないものと考えられる。海底の傾斜及び起伏も少く一応平坦であるが最も留意すべき点は両陸上点附近の海底の岩盤の突起と礫に依るケーブル外装の損耗であつて海底ケーブルの寿命としては少くとも30年以上は使用に耐える事が望ましいので，この両端部にはシヤコと称する鉄製の外被を外装上に被せる事に依り外傷の保護を行わしめることが必要であろう。

尚今後の海底ケーブル布設計画には是非共測深並びに底質の調査を行い最良のルートを選定する事がケーブル寿命の延長の最良の方法であると考えられる。



第6図　底　質　分　布　図

30.5
社誌



第三回永年勤続停年該当者特別慰労行事は当社創立記念日に当る 5 月 1 日の佳き日，本店に於て行われた。

今回の特別慰労行事該当者は，本年 4 月 1 日より 9 月30日までの間の30年以上勤続して停年退職した者及び停年退職する者計42名であつた。

該当者氏名

青森支店　小笠原春吉，飯田晴雄，稲部永七

岩手支店　中島福太郎，田村長治，野家八郎，永井一雄，鈴木繁道

秋田支店　青木房吉，菅野　廉，佐々木重助，川越末五郎

宮城支店　市原勘治，八巻久三郎，津野　通，大内　稔

山形支店　近藤都太郎，小関重吉，佐藤宮雄，片桐直城

福島支店　三浦菊井，網木忠，斎藤治蔵，成田熊蔵，目黒喜一，大野末吉，佐々木子之次郎

新潟支店　山川徳次郎，清水岩雄，山口長治，小島米作，長谷川栄一，宮島末吉，相場貞松，中村佐七，遠藤左武郎，片桐喜一，桐生寿助，佐藤八郎治，星野貞一郎，上村鉄次郎，設楽利平

行事

5 月 1 日　会社創立式典参加，記念品贈呈式，東北機械計算会社見学，松島公園見物，回顧座談会及び懇親会

5 月 2 日，3 日　只見川筋各発電所見学，若松市内名勝見物

記念品贈呈式は社長始め役員並びに各局次長，各部長参列のもとに電業会館会議室に於て行われ，社長より永年勤続の労苦をねぎらう鄭重なる挨拶に続いて記念品贈呈，代表者の謝辞があり，閉式後一同記念撮影を行つた。つづいて昨年 6 月，当社の子会社として設立された東北機械計算株式会社の現代科学の到達した精密機械設備を見学し，直ちに観光バスにて塩釜神社参拝，松島海岸を一巡して，遊覧船にて湾内の絶景をめでつゝ塩釜に上陸，再びバスにて座談会々場に向つた。

清流広瀬川畔の会場では社長，副社長始め役員及び関係者同席のもとに回顧座談会が開かれ思い出話に花をさかせ，社長招待宴では酒肴に舌つゝみを打ちそれぞれのお国自慢又は歌合戦など飛出し青春に返つた思いで晩春の夜の歓談はつきなかつた。

翌日は只見川筋各発電所見学のため午前 9 時急行松島号で仙台駅を出発した。会津若松駅で 2 台のバスに分乗し案内嬢の説明に或は民謡の美声に耳を傾け，移り行く晩春の若葉の中を片門に達した。一同は片門発電所次いで柳津発電所を夫々所員の懇切な説明を聞き，その近代的設備に終始驚異の目を見張り嘆声をもらしながら見学を終り，当夜は柳津町の絶景に臨む宿に疲れを休めた。

翌朝 8 時再び発電所見学のためバスの人となり，山桜，山吹に彩られた只見川筋の風景を賞し宮下発電所，本邦技術の誇りとする揚水式の沼沢沼発電所，現代科学による最新設備をほどこした上田，本名の各発電所を一巡して今更ながらいよいよ驚嘆するばかりであつた。

以上を以て発電所見学は終了し一行は希望により 2 班に分れ，1 班は直ちに出発し途中柳津町より片門発電所まで湛水した只見川両岸の風景の中を社有モーターボートで下り，他の 1 班は柳津町にある当社の階楽荘及び円蔵寺を見物し，両班坂下町で落ち合つた。若松では優秀な案内嬢により鶴ケ城跡を訪ねては昔をしのび，桜花未だ散り残る飯盛山の白虎隊自刃の墓に詣で，或は案内嬢のうたう涙をさそう白虎隊の歌に感慨胸にせまるものがあつた。

かくて天候に恵まれ 2 日に亘る発電所見学の日程は終り旅の疲れを東山温泉に流した。翌 4 日，本行事は一切無事完了し東山に於て解散した。

最後に本行事について不行届の点は参加者各位にお詫び申上げると共に本行事に種々御世話下さつた方々に厚く御礼申上げます。（人事課）



支店にいた時F氏から「するめ」のニツクネームを頂戴した。けだしひからびて眼が飛出しているためであろう。噛めば噛む程味が出るかどうかは保証の限りではない。このニツクネームを頂戴して間もなく，するめの名所八戸営業所に転勤させられた。ニツクネームは私にとつて正確な予言であつた訳だ。F氏よ，新興宗教の教祖になり給へ。

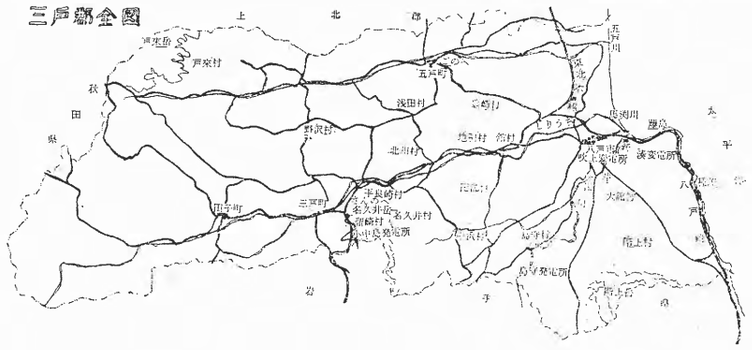
さて此の新入りの私が先輩諸賢をさしおいて八戸営業所だよりをかく。もとより核心を伝え得る筈がない。唯目にふれ耳に入つた事を雑然漠然と並べ立て，嘘にならない程度の修飾を着せるだけだ。自信は全然ない。

八戸営業所にはずい分会社のお客さんがある。本店青森支店間の要衝にあり，歴代所長又極めてHospitalityに富むからである。私よりも読む人の方が多くを知つているかも知れない。そんな人は先ず内容の監査を省略してたゞほのぼのと曽遊の地の思い出にひたつて貰えばよろしい。　閑話休題

我が八戸営業所は勿論八戸市にある。八戸市は県大平洋岸最大の都市だが，不思議な事に東北本線に沿つていない。鉄道開設当時はどこの田舎にも見られた反対運動のためだそうだ。青森から来ても仙台から来ても，我々は尻内駅で本線と別れねばならない。駅前で小中野行きのバスに乗る。根城々跡，長根リンクを過ぎると間もなくバスは八戸市の商店街に入る。市唯一のデパート丸美屋の前を通り三日町名物アーケード街を通つて来ると支線八戸駅との交叉点，先ずこゝが，八戸商店街の中心なのだがそこから道に沿つて10mも行けば左手にアラビヤのお城の様な望楼を持つた建物がある。

夜であれば望楼の前面に直角につき出した「東北電力」の赤いネオンが三日町の角から望見される事だろう。これが東北電力八戸営業所だ。昭和10年に建てたのださうだからもう20年経つている。建つた頃は流行の尖端を切つたろうが，その後商店街の改装に取り残されて今では近隣の空気と一寸なじめない不調和を感じさせる。この間歩道のブロツク舗装が市内目抜通り一斉に行われ，市で補助金を出したが営業所には出さなかつた。営業所前を舗装する事は商店街の繁栄に寄与する処皆無だというのだろうと思われる。勿論之は冗談だが。最近になつてネオンもつけたし玄関の両脇には県内でも珍らしい水銀灯を飾つたのだが，それでも夜分にでもなれば間口15間に亘つてのルツクスの不足は，こゝを夜の女達の格好の溜り場にしたりする。明治44年八戸水産の事務所がこゝに建てられてから，場所だけは変つていないし，商店街のど真中で周囲の店も古くからの大家ばかり，土地の買収なぞには応ずる訳もないので，社運伸展につれ今や極度の狭隘をかこつている。敷地が狭いので資材の格納搬出入に常に困難を感じているし勿論戸外運動場なぞ夢に似た贅沢事だ。（この営業所に於て室内遊ぎが盛んなのはそのせいだ。尤も野球は店所対抗で3年連続優勝している。素質の然らしむる所だろう。）建物の中も又ひどく狭苦しい。昭和10年から今まで，人も殖え，仕事上の便利も色々に変つて来ているのに，出入口，便所，金庫，階段等，一旦作られたらピラミツドの様に動かすべからざる要素に制約されるのだから，机の配置，通路等義理にも整然とは申し兼ねる。営業課長の席のすぐ後が倉庫への出入口になつていたり，経理課の出納係が階段の手すりに机をくつつけ，頭と帳簿を挨だらけにしていたりする。医務室もあり綺麗な保健婦さんもいるのだが，この医務室に行くのに一旦戸外に出てから建物に沿うて行かねばならず，午後の倦怠時一服の清涼強壮剤をと思つても強風や雨雪の際には一寸大儀になる。最近岩井新所長が来られてから前職の経験を生かされて，螢光灯を取付け，廊下をつぶして事務室を拡げる等建物の美観収容力共に大いに改善を加えられたが，建物だけは育ちより素質が物を云うらしいし，裏付になる予算が兎角渇水なので，なかなか生れかわる様には出来ない。今の建物を売つて，別な所，例えば駅前ロータリー周辺の官庁街の一角にでも新しく建てれば一番理想的だろうが，とにかくこの建物，近代企業者の食慾をそゝる様には出来ていない。

大分我が愛すべき営業所について悪い点ばかりを並べた様だが，真意は勿論決して誹謗にあるのではない。1日も早く潤沢な予算で徹底的な改築拡張を実施願い度いとの切実なる陳情の言葉と聞き給わん事を。



八戸営業所管轄区域

前にも一寸触れたが，この場所に始めて事務所を開いたのは今を去る45年前明治44年，八戸水力電気株式会社創業の時だ。八戸水電は当時八戸町と鮫町との間の商店街で使つている石油ランプを電灯に切替えさせる事を目的とし，一応このランプの灯数を3000灯と見込み，新井田川上流是川村に200KWの発電所を建て，今の営業所の場所に配電所を建てゝ事業を開始したのだ。さて申込を受付けて見ると商店からの申込は4,500灯に上り更に増える一方であつたので，将来の需用増をも考慮し，大正3年に是川発電所の上流に300KWの島守発電所を作り，同時に八日町の配電所を廃止して吹上に変電所を作つた。所が幸か不幸か丁度その頃新しくタングステン電球が普及し始め，会社でも従来のカーボン電球を之に替える事になり，そのため電灯は明るさを増し，電力は又丁度に新設島守発電所の容量分節約され，電気が余る事になつてしまつた。最近物故した潮流発電の泰斗二宮忠輔氏がその当時の技師長で島守発電所建設も氏の進言によつたのだが，この為二宮氏は重役さん方にえらい御叱りを蒙つたそうだ。結局この余剰電力の消化のために，八戸の近村や，尻内五戸方面10ケ村に配電区域を拡張したので，灯数は一躍10,000灯に跳上り，会社は之を記念するために今の東宝劇場昔の錦座という劇場で1万灯突破の盛大な祝賀会を催したそうだ。ほゝえましい時代である。当時の八戸水電の人々の喜びと今日100万キロ突破の時の我々の喜びと，さて一体どつちが大きかつたろう。

その後電力需用家も増したので大正13年には馬渕川上流に小中島発電所（1,200KW）を設け，更に渇水対策として吹上変電所に火力設備（900KW）を新設し，磐城セメント工場を誘致する等電気会社として漸く1人前に歩き出した。その後五戸水力を合併し昭和9年青森県電気局に移管され，以後配電電力と統合を重ねて今日に及んだ訳だ。八戸水電当時の発電所の内是川を除いて島守小中島両発電所は老朽乍ら今尚運転を続けている。吹上の火力は経費倒れで直ぐに廃止された。人の面から言つても八戸水電は今尚営業所の中に健在である。

八戸水電当時からの人が沢山いて，八水会という会を持つている。前にふれた故二宮忠輔氏は勿論，現在山形支店長として活躍しておられる藤尾勘之助氏も八水出身だ。お二人共逸話の多い方で今でも何かあれば噂に上り引合に出される。藤尾氏なぞ時々風邪も引かないのにクシヤミが出て困る事が御座いませんか。

さて昔語りはこの程度にして，現在八戸営業所は三戸郡と八戸市を管轄している。設備は前述の2発電所の外に変電所6，給電所1，保線所1，散宿所23を持つている。送電線路亘長は164km配電線の回線延長は高圧590km，低圧550km計1,150km，電柱本数18,803本。契約口数は44,770，内電灯が42,688，電力2,082，電力の中50KW以上小口が37，大口が6，特約が日本化学1となつている。青森弘前が夫々大口2，特約なし，となつているのだから，需用面での八戸営業所の特色は大口と特約にある訳だ。その代り，というより，それにもかゝわらず，電灯需用は弘前に次ぎ而もその中で定題従量の比から見れば従量化率は青森弘前更に五所川原に次いでいる。文化の普及が何処か跛行している証拠だ。年間電力使用量は250,986,460KWH，支店合計が409,491,192KWHだから，支店全体の半分以上を八戸で使つているし，又その八割を大口特約で使つている勘定になる。料金調定額では年間総額548,021,650円。支店の総額の3割強，青森弘前の夫々2倍。尤もこの内，日東化学だけで221,633,969円，営業所全体の約4割を占めているし，之だけでも小営業所の2つ3つ分はある。しかも之が4KWH当り1円36銭の特安の料金なのだから，仕上

り単価となると支店最下位。何だか無駄仂きをさせられている様な気がする。

営業所長の岩井さんは最近本店から代つて来た方で，着任早々から，本店で培われた新感覚で精力的な仕事ぶりを見せているが営業所の行き方を次の様に語つている。

「この営業所の様に新興工業を中心としている所は中央の景況に対応する流動テンポが敏感で激しく，営業所としては常に将来の見通しを迅速に樹てゝ時世におくれない様，業務運営を怠り無く研究する事が最も大切であり，しかも常に大らかな気持でお客様第1主義の仕事をして行き度い」事実新任所長の精力的でテンポの早い仕事ぶりに引づられて最近とみに営業所全体のテンポが早くなり，私なぞは一寸息が切れている。

以上で営業所の大体の紹介を終つたが，最近当営業所内にも近代科学の花形マイクロウエーブ設備が出現した。青森盛岡間のマイクロの無人中継局が市の近郊大館村に出来たのだ。青森盛岡間に5つある中継局の1つだ。北の方は三本木営業所管内野辺地の近傍吹越，南は岩手支店管内小岸。白銀の塔が抱きかゝえている2つの椀が夫々吹越と小岸からの電波を受けている訳だ。塔に上ればこの2つの地点がよく見えるさうだ。(足と心臓が弱いし，何と云つても君子だから私はまだこゝに上つては見ない) 中継局の設備は勿論営業所の人達にとつて驚異の的だが，昨年9月から30年2月迄営業所二階ホールに陣取つた建設所も又，営業所の人達にとつて大きな関心の的だつた。目新しい機材，都会的でキビキビした仕事の仕ぶり，特にその中に交つた1人のうら若き女性によつて我々の関心は俄然羨望と憧憬に迄高められたものだ。近代科学の驕児として白銀の塔を県南の初夏の空にそびえさせているこの中継局は，市民の心に今更の様に電気のそして電力会社の魔力を印象づけているのだが，同時に又，この塔を眺め乍ら，ほのかにかのS嬢の知性的で近代的でそして存外日本的な顔と，極めて野性的でしかも極めて優美な彼女のPropelling walkを追想している若人が，この営業所に1人ならずいるのだ。Sさんよ，貴女の心にもこの内のだれか1人がかすかな影を落してはいませんか。私はこつそりと聞き度いものだと思う。

この辺で一寸，営業所の背景としての，三戸郡と八戸市というものについて若干触れて見よう。

三戸郡は青森県の東南隅，北は奥入瀬川によつて上北郡と境し，南は岩手，西は秋田と境を接する県境の地だ。東は太平洋をへだてゝ米国に面する。青森県では今でも封建時代の津軽南部の対立意識が相当強いが，こゝはすなわち南部の拠点だ。三本木，田名部も一応南部の勢力圏内に入る。

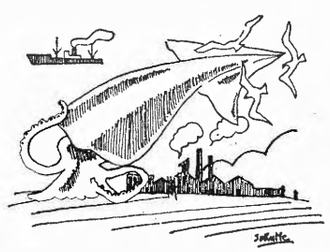
八甲田山塊に源を発した奥入瀬五戸馬渕の三河川，岩手県に源を発した新井田川が殆んど平行して太平洋に入り，三戸郡は結局，八甲田山塊と，狭い河岸平野と，之をかこむ台地とによつて構成されている。町の殆んどが川に沿うた狭い平野にあり，相互に孤立しながら夫々の小さな勢力圏の中にちゞこまつている。横に広い区域の東隅を1本の鉄道幹線が縦断しているだけで，支線の発達がないので町の孤立は益々強調されている。山林地帯が多くしかも交通が不便なので未墾の原野が沢山ある。開拓はなかなか進まない。出生率は高いがこの増加率を消化するだけ土地に生産力がないので他地方に移動する者が多い。北海道特に岩手県久慈方面に多く出ている。三戸郡は謂わば南部の出張所で盛岡が本家なのだから岩手県との間の人事交流は青森との間よりもはるかに密接だ。現に所員の奥様方は大半盛岡美人である。

大体に於て丘陵地帯が多いので水田より畑地が多く，昔から雑穀の産地として知られている。最近は蔬菜果樹の栽培が盛んに行われて居り，三戸のリンゴは特に有名だ。

冬雪が少く霜が多いという条件は農業電化を単に有利なばかりでなく必要欠くべからざるものとしている。一昨年昨年と続いた冷害霜害によつて，おくれた農民もこの事を痛感し始め，営業所普及係の奮斗の甲斐もあつて，こゝ2，3年の農電の普及状況は支店内でも1，2を争う目ざましさだ。殊につい最近行われた県内稲作多収穫競技会では，「稲は津軽」の伝統を見事に破つて南部八戸が1位以下殆んど上位の大部分を占め，下館農電居士の鼻を高くさせた。現在営業所管内の農電普及状況を見ると，麦脱穀905台1,770㏋，稲脱穀1,046台2,571㏋，穀類加工243台1,126㏋，製ナワ116台1,371㏋，電熱温床は192ケ所，690坪，171.1KW，電熱育雛42ケ所32KWとなつている。

尤もこの様に農産は目ざましい発展ぶりを見せているのだが，内陸交通が不活潑で，加工業も又不振なのでこれ等の商品化は極めて悲観的だ。

山林原野が多く林業牧畜業は極めて盛んだ。林産はこの地方の大きな財源になつているし，更に牧畜は江戸時代からのいわば国営として軍馬の育成が行われた関係もあつて南部駒の名は天下に通つている。この辺には八戸三戸五戸等，戸の字のついた地名が多いが之も又，馬にその由来を持つている。南部家当時この辺は糠部郡と言つたのだが，郡内に四門九戸の制と



いうものを布き，郡内を九つの戸に分ち，一戸毎に9ケ村を分属せしめ戸を東西南北の門に分ち各門に一族を配して牧場の管理に当らせたというのだ。今の地名も九戸迄ある。

戸来村は特に酪農地帯として有名だ。こゝがキリスト飛来の地と伝えられ，キリストの墓があり，キリストの子孫と称する人が居り，戸来の語源は「飛来」又は「ヘブライ」だ等と言うが，酪農の持つ何か西欧的な生活様式と大変よく似合つている。

最近中央の乳業会社が，この地方の酪農経営の安定に目を着けて，巨額の資金を投じてこの育成利用に力を注ぐという傾向があるから，その発展は期して待つべきものがある。現に私は，昨日会社から半封度125円の純良バターの配給を受けた。

次は八戸市だ。八戸市は新井田川と馬渕川の河口に拡がつた沖積平野に発展している町だ。八戸湾が，単調で港に乏しい太平洋岸に，稀に見る良港を形造つているし，南部時代からの城下町でもあつたので，漁港商港文化都市として古くから繁栄した。

この原稿を書く為めに営業所総務課に在籍する市会議員佐々木正男氏から八戸市政要覧というパンフレツトを借りて，私は今もそれを机の上にのせているのだが，その表紙には真中に表紙の半分以上の大きさで烏賊の絵が描かれ，左上には汽船，右下には工場，烏賊のしつぽを海猫が三羽かすめている。大変慾張つたが，この表紙こそ正に「八戸市の総て」だ。

八戸市に於ける年間水揚高は2,400万貫20億円，その内，量に於て60%，金額に於て50%は烏賊だ。烏賊漁の豊凶は直ちに八戸市の経済市況を左右する。水揚高の他の40%は外洋魚で，地先漁業は荒廃にまかされているのだから，市の浜通りの住民の大半を占める零細漁民にとつて烏賊は正に唯一の生活の糧だ。昨年の秋烏賊の未曽有の不漁は最近の八戸市の景気に深刻な影響を与えている。

魚に関聯して，八戸市の特色の1をなすものは製氷冷凍工場だ。市の浜通りは軒なみ之等の工場で，市内でも最も生気のある区域を形成している。工場の数は12軒，契約は期間常時を含め1,424KW年間使用量3,407,277KWH，料金年間9,419,215円，営業所にとつても最も確実で有難いお客さんだ。

八戸市の今一つの特色は日東化学を始めとする大口工場だ。原材料生産地たる北海道と京浜工業地帯とを結ぶ海上輸送路の中間基地たる位置を持つているし，港湾施設も太平洋岸最大を誇つているので北海道その他県内の地下資源を加工し，之を一次製品として中央工業地帯に送り込むのだ。最近チタン合金の重要性が高まるにつれて，それらの原料たる県内の砂鉄が注目を浴び，之が更に八戸市の工業地としての地位を益々高めて来ている。

日東化学（硫安，年間132,200屯），日本高周波(銑鉄及びチタン白7,300屯），中外鉱業（フユロマンガン1,049屯），東北砂鉄（銑鉄5,000屯），盛岡電化(銑鉄5,000屯，チタンスラグ・フエロシリコン5,000屯），磐城セメント（ポルトランドセメント37万屯）等がこの八戸市に集中している外，市では更に新井田川，馬渕川の合流点の三角地帯を工場用地として整備し他工場の誘致に大童だ。

尤も最近の鉄鉱界の不況を直接に反映して，大口工場の大部分を占める鉄鉱工場が何れも料金支払が円滑に行つていない。

唯，意外にして遺憾なことは，この様に大口工場を多数持つて居り，新興工業都市として東北に重きをなしている八戸市が関聯産業となると皆無に等しい。

之は青森県全体として工業後進地である為もあろうし，県内の他地方との交通が非常に不便だという事にも因るのだろうが，八戸市のためには大変不幸な事で，このため八戸市は未だに，工業と農業と漁業の雑然たる混合体として，一個の有機的な産業都市としての生長が出来ずにいるのだ。

鉄道開設当時に東北本線の八戸市通過を阻止し更に近郊五戸町との連絡線をも尻内に追いやつた八戸市の先人は，今の八戸市の経済的跛行現象に対して，重大な責任を感じなければなるまい。

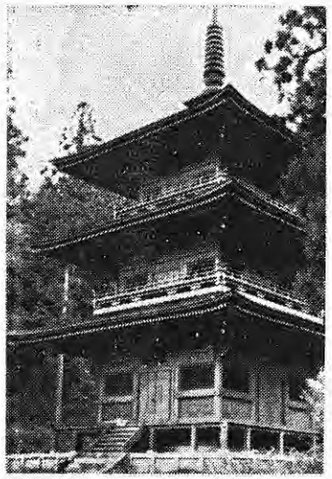
八戸市の市街の形成も又この経済的跛行を端的に表現している様だ。下長苗代から鮫まで全長12km，今は尻内から種差までが市に編入されながら全長は更に5kmに延長されたが主要道路一本の両側にくつついた細長い町。丁度串餅を横にした様なもので，八戸，湊，鮫がその三つの餅という訳だ。一本の主要道路も巾が狭い上に市内唯一つの通路なので往還は正に織るが如く能率を阻害する事一通りではない。大口工場への連絡路として裏に一本産業道路を通しているが，之もまだ緒についたばかりで利用度は必ずしも大きくない。

之等の道路のすぐ裏は直ちに田があり畠があり，丘があり海がある。厚さのない町だ。正に八戸は「造られた町」ではなく「成つた町」だ。この間八戸市の要請で，市の都市計画を検討するために来た東北大の石川博士は，八戸は分裂の町だ，と云つたそうだ。残念乍ら名言だ。八戸市の分裂はあらゆる点にある。

大口産業の発達と関聯産業の貧困，魚の水揚の隆盛と地先漁業の荒廃，更にその水揚量に占める烏賊の率の異常な大きさ，都市文化と田園文化の混淆。

考えて見れば八戸港は八戸市のためになつているかどうか疑問だ。何故ならば八戸市はその港のために文化を摂取し得たがその文化の真の果実は同時に又その港を通じてすべて他地方に吸収されてしまうからだ。

八戸小唄はよい唄だ。歌詞も悪くないしメロデーも近代的な軽快さを持つている。しかしこの唄も，八戸でよりも先に中央で愛唱されていたのだ。



法光寺

——○——

以上で三戸郡八戸市の地誌的概観と八戸営業所の業務，設備の大要の説明は終つた。

最後に営業所管内各所アルバムを御紹介してこの稿を終る。

法光寺

三戸郡一の高峯名久井岳の中腹にある。元の起りははつきりしないが最明寺入道北条時頼が全国行脚の途次名久井岳に上ろうとして日が暮れ，観音寺という寺に宿を乞うたが断られたので仕方なくそこから少し上の草庵に行つて頼んだら快く引受けて非常に歓待した。そこで都に帰つてから庵主指城和尚に千石の扶持を与え，都から2人の普請奉行と多勢の工匠を遣わし，自ら開山となつて法光寺を興し，指城和尚を住職にした。観音寺の和尚は逆さに生埋めされたがその時「法光寺を必ず3度焼いてやる」と呪咀したさうで，そのため今まで3度焼けているさうだ。最近焼けたのは明治8年。予言が事実であれば，もう焼ける心配はない訳だ。生埋の場所はゴボー塚として今に残つている。ここの三重塔は大きさで日本一，昭和24年の竣工になる。中に道元禅師の霊骨と羅漢さん541体が安置されている。堂の三階からは三戸郡，八戸市を一望に，大平洋迄見える。

◎マイクロ無人中継局

市の近郊大館村，磐城セメントの前から坂道を一寸上つて行くと，一面に開ける麦畠を背景に白銀の鉄塔が立つている。丁度お乳の辺にお椀を2つ逆さに（はてどつちが逆さかな）くつついている。そばの白い小屋の中では中継の装置がマイクロ妖精にあやつられて言葉の取継ぎをやつている。かすかな電気のうなりに混つて裏の畠の草ひばりの啼声がする。

◎水目沢風景第二の大三沢，八戸の上海

市内売市から高館水目沢迄，米軍用道路が通じている。八戸には見られない立派な道路だ。水目沢は近くに八戸の中のアメリカ，高館キヤンプを控え，米軍兵と特殊婦人に寄食する都市だ。麦畠の中に突如出現した近代都市。米軍文化と東北農村文化とが最も尖鋭に交錯する町だ。基地に駐屯する米兵の数がそのまゝこの町の景気のバロメーターになる。特殊婦人とその紐達は米兵と共に移動するので，電気をつけ電気を使い，請求書が出る頃はもういない。



水目沢風景

◎エンブリ

木扁に八と書いてエンブリと呼ぶ。苗代をならす同名の農具の名で呼ばれる農村の行事。近村及び市内の各町からも出て今年は60組ばかり出ている。馬頭をかたどり耕作の図を書いた烏帽子をかぶり，3人又は5人の組が，もみすり，田植の動作を踊る。笛，大鼓，鉦の囃子がつく。無形文化財。新興都市八戸のど真中



エンブリ

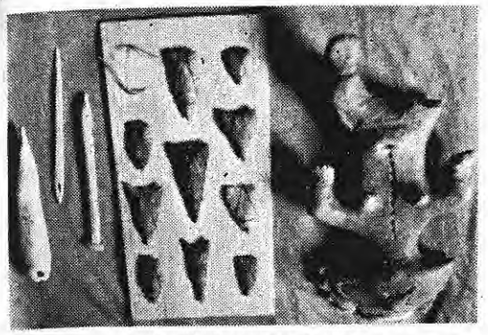
が，2月17日から4日間この原始的農村文化に独占される。八戸の性格だ。

◎湊新漁港

鮫漁港だけでは足りないので新井田川馬渕川の合流点を利用して湊新漁港を作つた。八戸小唄に唄われる湊橋から川に沿うてこの漁港を望めば，烏賊船が4～500隻夫々大きな集魚灯をつらね，浜のアンチヤンが木の香も新しい烏賊箱を掛声勇しく積込んでいる光景が見られる。八戸でなくては見られない光景だ。

◎是川遺蹟

こんど市に合併になつた是川村で，会社の電球交換所をやつている泉山さんのリンゴ畠の中にこの遺蹟が

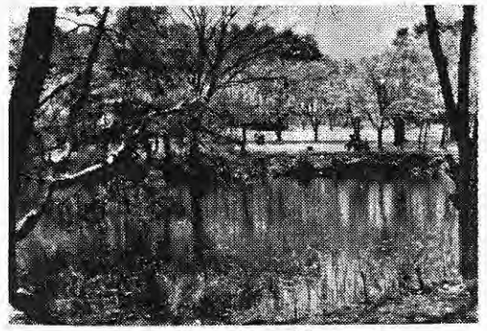


是川遺蹟出土品

ある。立派な土蔵の中にぎつしり詰められ，博物館そこのけの陳列棚におさめられている。主として亀ケ岡式土器と，世界にも珍らしいという弓，漆器，カンジキ等植物性の古器3009余点。内1300点は重要美術品に指定されている。日本では余り一般に知られていない様だが，世界の考古学の論文集も，殆んどがこゝからの出土品について論じているさうだ。東京仙台の先生方も来るらしい。金がかゝるばかりで1文の得もなく，学者や観光バスにばかり儲けさせている。とこゝの若主人が苦笑していた。1ケ所にこんなにまとまつて出土したのは世界でも珍らしく，多分製造場の跡だろうという事だ。

◎金吹沢

市内湊変電所の前を通つて一寸行くとまわりの風景はすつかり山だ。楢櫟の低い雑木林と羊歯のくさむら



金吹沢

の道を1里ばかり行くと，こんな所にと思われる様な美しい桜並木になる。これが金吹沢。昔はこゝが金鉱で金を吹いたらしいがその跡はない。

桜並木と沼と芝生とラヂウム鉱泉とバスとバスの車掌と酔人とアベツクと狐狸の檻と。尤も狐狸達は彼等の妖術によつてとつくに檻の中から消えうせている。

◎対泉院

新井田村にあり，新田氏の菩提寺。明治40年に楼門を除いて火事に会つた。有名なのはその庭園。対泉院の名も之に由来する。昔の面影はないというが，今でも名園たるを失わない。門前に天明飢饉の餓死者をまつつた万霊供養塔が立つていた。



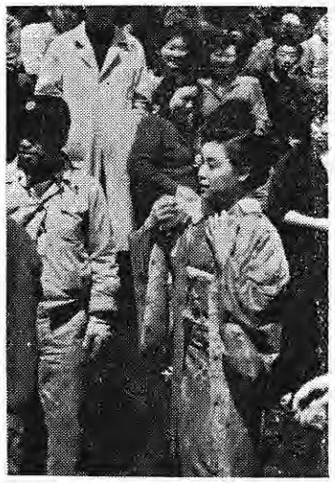
対泉院

◎三社大祭

9月19日から3日間八戸市はこのお祭でテンヤワンヤになる。長者山新羅神社，法霊大明神及び神明宮の3つの市内の神様方が話し合つて統合して出来上つたのがこの大祭だ。会社の地方祭の統合もこの辺に範をとつたのかも知れない。三社それぞれの催し物を一緒にしたのだから，山車，稚児行列，神輿渡御，騎馬行，打毬等々実に何でも御座れの賑やかな祭りだ。一度是非おいで下さい。

◎打毬—若尾文子主演「幻の馬」ロケ風景

打毬というのは原始的ポロだ。八戸には馬に因んだ名物が多く，エンブリの冠，八幡駒等あるがこれもその1つ。南部駒の由来を探つて映画にした大映の「幻の馬」のロケ隊がこの打毬をフイルムに収めようとしたのは蓋し名案中の名案。会社からはロケ見学に続々つめかけ，所内は若尾文子の噂で持ち切りになつた。現物と写真の相違。彼女の前歯の由来。彼女の身長，彼女の彼氏，論議はつきる所を知らなかつた。誠に幻の女。この写真，実は打毬の実景の中に幻の女をはめ込む様頼んだのだがカメラマン氏は幻の女だけに心をうばわれてしまつたらしい。看板に偽りあり謹しんで御詫する。



幻の女ロケ

○八戸魚市場

八戸市の生活の源。

○無島　生きているパターン。

○種差　ドライブウエイがあるとよいのだが。

（N.S）



1. 佐渡の印象

新潟から海路約3時間の処にある此の島を初めて訪れる人にはどんな印象を与えるであろうか，筆者はかつて満州から朝鮮を経て日本内地に1年振りに上陸した時に何処を見ても緑したゝる内地の山々に今更ながら驚きの目をみはつたものである。春夏秋冬こゝに暮すものにとつては1歩此の島を離れ内地の都市，山々，平野，河川，瀑布等を見聞して初めて佐渡に対する認識が深くなると云うものである。

一方又佐渡を訪れる人々は映画などで一度でも見ればとも角まだ見ぬ佐渡が島は絶海の孤島とまでは考えなく共日本海上の離れ島，2，3時間も歩き廻れば見る処もなくなる位に思つている。さて来て見て周囲4里の湖水あり，1千米を越える高山あり，中心部には広々とした約4千町歩の平野があり，米が20数万石とれて島の周囲53里と聞かされてとても1日や2日で全島くまなく見てまわるなどとは思いも及ばぬことと断念する。これ程の島だとは思わなかつたとその意外な大きさに誰しも驚くのである。

全国的にその名を知られた佐渡の相川金山は昭和27年秋休山の憂き目に逢い，今は往時の盛大さをしのぶ設備の数々が昔を語つているに過ぎない。此の島第一の高峯金北山の頂上には駐留軍のレーダー基地がもうけられ，そこへ通ずる自動車道路も完成されて夜ともなれば山頂に灯がともり昔の佐渡を知るものにとつては今昔の感に堪えないであろう。

2. 産業

「北は大佐渡南は小佐渡中の国中米どころ」と唄われるているように農業が主位を占め，全島戸数の4分の3は農家で米は年産大凡22万石でその3分の1は島外へ積出される。毎年5月頃から約半年の間大佐渡山脈に放牧して冬が近づくと仔牛をつれて山を下ると云う習慣のある佐渡牛は形は小さいがよく山間の使役に堪え味も又よろしい。水産業はその地理的環境からなかなか盛んで県内漁穫高の3分の1以上を占め，その消費地は新潟市は云うまでもなく遠く東京方面へも伸びている。

慶長6年以来3百年もつづいた相川の金山は全く堀りつくされたと云つてもよい位で今は見る影もない位に衰微してしまつた。従つて鉱業方面には見るべきものがない。前佐渡方面を中心とした味噌工業はその原料を中共及アメリカに求め，製品の販路は北海道及び東京方面と次第に発展しその将来が期待されている。其の他優秀な竹の産地なので竹工品も盛んであるが，今後は美術方面の製作に発展してゆく方向にある。

美術工芸品としては相川町の無名異焼，真野町の真野山焼等の陶器類及び沢根の銅器等が一般に知られている。

3. 電気事業より見た佐渡ガ島

佐渡に於ける電気事業の変遷については別表を参照されたい。此の外に三菱鉱業所の自家用電気，高千村其他2，3の組合経営による小規模なものがあるが省略し当所管内の現況のあらましを述べる。

(イ) 発電設備

水力発電所 6ケ所 1,172KW
火力 〃 3ケ所 2,000KW
計 3,172KW

(ロ) 変電設備

3ケ所 2,700KVA

(ハ) 事業所

電業所2 散宿所19 給電所1
保線所1 修理班1

(ニ) 従業員

146名

(ホ) 営業面

供給区域1市11ケ町村
需用概況

定額電灯	6,484戸	13,082灯
従電量灯	16,038戸	102,769灯
大口電灯	132戸	816KW
業務用電力	5戸	225KW

小口電力

790戸 3,040KW

農事用電力(季節)

154戸 399KW

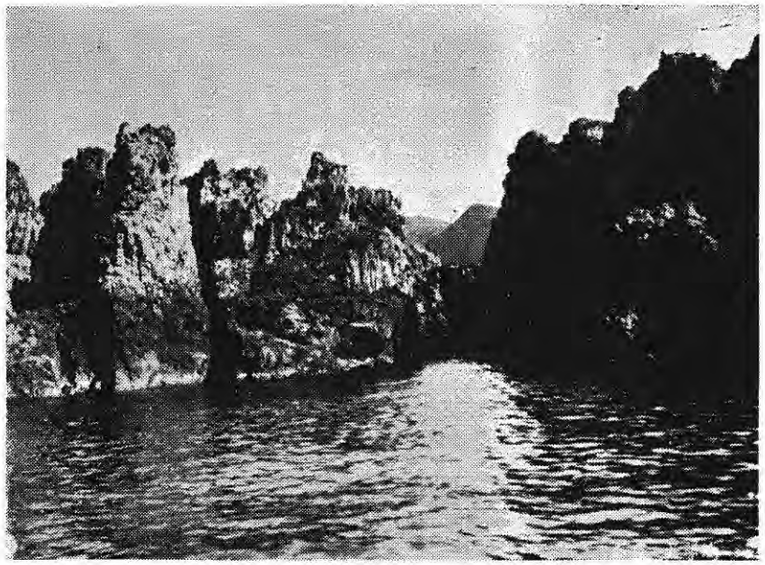
調定額

8,179,000円…3月調定

(以上30年3月末現在)

昭和25年以来島民の旺盛な需用に応ずべく白瀬川第二(451KW)梅津川第三(302KW)佐渡火力(1,500KW)と着々電源開発に努め，又送電線の拡充，配電設備の改善一会社のこの島に対する多大な貢献は特筆しなければならない。

電気事業より見た佐渡の特色は山浅く河川乏しく冬期よりも夏期の渇水の甚だしい事である。自社の供給電力で不足分は三菱鉱業所よりの受電で補うのであるが，これも水力発電の関係で限度があり，夏期は殆んど期待出来ない。未点灯戸数に於て県下一と云われた佐渡もその殆んどは解消し，部分的には尚低電圧地区が残つているとは云え，一般電灯に於ては全島くまなく行きわたりランプ生活は昔語りとなつた。然しながら産業関係の電力特に農業地としての農村電化の歩みは遅々たるもので，家庭電化に於ても電熱その他に於て多大の制約をうけている事は事実であり，本土並みの文化生活には未だしの感が深い。海底送電でも実現したならばともかく，電気に関する限りは佐渡は後進地としての悩みから開放されるのはいつの日であろうか。



佐渡名勝尖閣湾

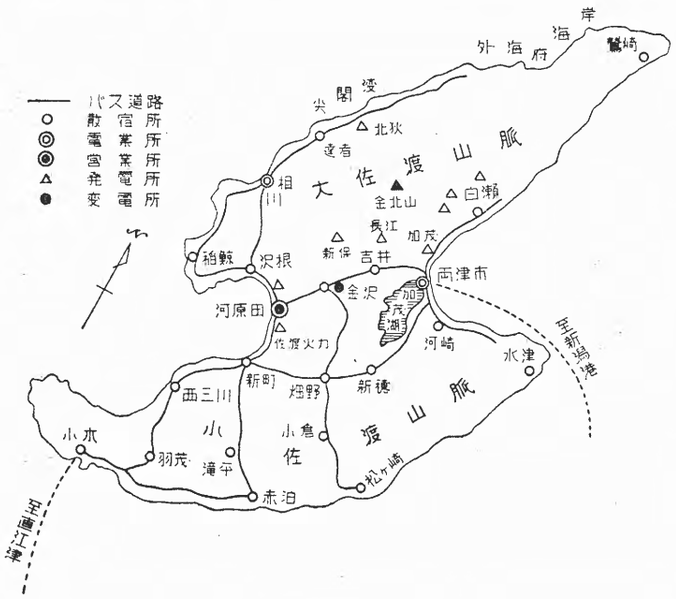
4. 観光地として

映画「君の名は」で広く知られた尖閣湾の吊橋(遊仙橋)は旧東北配電時代に新潟支店の技術関係者によつて設計されたもので，今だにそれを徳とし当社員に限り此の橋の通行に関し特別の便宜が与えられている。観光地としての佐渡の魅力は次の3つに集約出来るであろう。即ち配流によつてもたらされた京都文化と金山の発達に伴う江戸文化の交流による豊かな特異な歴史，孤島的な情緒をたゝえた海岸美の景観，素朴な民謡佐渡おけさ，これである。

まず第一に海岸美をあげたい。それも大佐渡山脈のソ連側に面したエンエン10数里に亘る変化に富んだ海岸(相川より外海府に至る)で，カメラ愛好家の逸することの出来ない処である。惜しい事には循環道路が完成していないため，1日位はテクる覚悟をしないと目的は達せられない。遊覧船で海上から見る機会もあるがコースの関係か多くの観光客は此処を見ずに去つて行くようである。海岸の景勝地としては此の他に前佐渡方面に小木海岸がある。こゝは色彩の変化と繊細な風致にすぐれている。海抜1,173米の金北山は島第一の高山で山容は端正にして雄偉，夏のシヤクナゲ咲き乱れる頃が登山に最もよいが今は基地となつているため無断では登れない。此の金北山に連なるドンデン高原は放牧地帯で夏のキヤンプ生活には好適の処である。新日本百景の選に入つたことのある加茂湖は周囲4里で島の玄関両津市につゞく鹹湖で雨煙る夕べ，或は金北を映じた霧晴れの朝など四季を問わずその風光は詩人画家の好資料になるであろう。

古来配流の島として知られた佐渡は又旧蹟も数多い。順徳天皇，日野資朝，日蓮上人，観世元清等昔を忍ぶ史蹟，遺蹟，霊蹟が10指に余る程である。

観光地に土産物はつきものだが土産物と云えばとかく低俗なものゝ多いことは旅したものゝ経験する



ところである。島独特のものを2，3あげて他は読者諸賢の選択にまかす方が無難である。相川町で生産される無名異焼は一流店のものになると値段は少々張るが，全国どこへ出してもはづかしくない逸品がある。それから赤玉石，これは吾国でも珍らしいもので今は次第に数も少なくなつているが，庭石，床置，或は装飾品として珍重される。美術品としての竹工品は研究途上にあり，近い将来に期待したい。その他民衆芸術品とも云うべきとぼけた「のろ松人形」などは一部の好事家には喜ばれるであろう。

5. 詩の島，唄の島

「佐渡へ佐渡へと草木もなびく佐渡は居よいか住みよいか」バスガールが車上で遠来の観光客に唄う民謡オケサ節は島の旅情をそゝるには充分である。オケサ節の由来については省略するが，これに合せて踊る踊に三通りある。16足踊り，さし踊り，組踊りで御座敷向きの16足踊りも良いと思うが，それよりも海岸或は寺院の境内でお盆になると村の人々が10人～20人位が輪になつて開いたりつぼんだりして踊るさし踊りには大変素朴な風情があり，島の思い出として来島の皆様におすゝめしたいものの一つである。極めて簡単で誰にでもすぐ覚えられ故郷へのよい土産となるであろう。伝説の島，風光明媚の島として詩人歌人の来島も亦少くない。その昔芭蕉が

荒海や佐渡に横たふ天の川

とうたつた事はあまりにも有名であるが近くは涼風やわが眉太く佐渡ケ島　尾崎紅葉
海荒れて渡れぬ佐渡のかすみ哉　高浜虚子
木枯や佐渡は流人のものがたり　長田幹彦
更けて発つ名残の佐渡の夜光虫　鈴鹿野風呂
秋風や再びわたる佐渡ケ島　岩谷山ざし
等詩人の吟詠は限りないがこの辺で割愛する。

6. 結び

オケサと風光の島，水産資源に富み豊かな農産物は全島をうるおして余りあり，昭和21年頃はわづか1万9千名に過ぎなかつた観光客は，今年は10万名を突破するであろうと云われている。この島にもいろいろ悩みもあれば希望もあり，又夢もある。電気，石炭，油，こう云つた産業の原動力となる資源の乏しいことがまず最大の悩みであろう。又循環道路がなく経済交流が円滑を欠き，近海に大漁場を擁しながら漁港施設が貧弱なため機動力をもつ船が少く，漁業の飛躍発展の途をはゞんでいる。島民の生活水準はどうか。その所得について最近の調査によれば新潟県民の所得平均の82%全国平均の67%と云う低率で生活程度の低さが思いやられる。此の後進性を如何にして取りもどすかゞ今後に残された大きな課題である。希望と云えば本土と島を結ぶ越佐航路の改善の早期実現である。年々増加する観光客にとつて現在の4，5百噸程度の船では不充分で，8百噸～1千噸級の船を建造，又は買入れ計画が進められているが来春の観光期には恐らく実現していることであろう。

終りに夢物語りにあらずして明るい話題を以て此の稿を結びたいと思う。それは昭和37年度までに60億円の巨費を投じて陸海交通網の整備，水産資源の開発，小水（火）力電力開発，農業経営の合理化等道路，漁港，港湾，電気の4種の事業を中心に離島振興法の適用によつて佐渡開発が進められ面目を一新した佐渡，これが実現に12万島民の協力と期待，そして又吾々電気事業に従事するものの多大の関心がよせられる所以である。（佐渡営業所推野滋）

上越変電所の建設

只見電源と上越地区の連絡

高田直江津地区は地域的に当社供給区域の最南端にあり送電系統的には孤立している50サイクル系統に属している。

最近同地区の需要は増加の一途をたどり，一般電力は電力量，最大電力共に年間約10%を，大口電力としては日セルその他の増加が予定されて居る状況である。その上附近の電源は殆んど開発しつくされているので需要増加に対応するためには抜本策として50サイクル主系統と送電連繋して解決することが必要となつて来た。

当社の只見川系電源開発は順調に進捗し上田，本名発電所も竣功しこれと新潟の需要地帯と直結する本名長岡線が既に竣功されている。

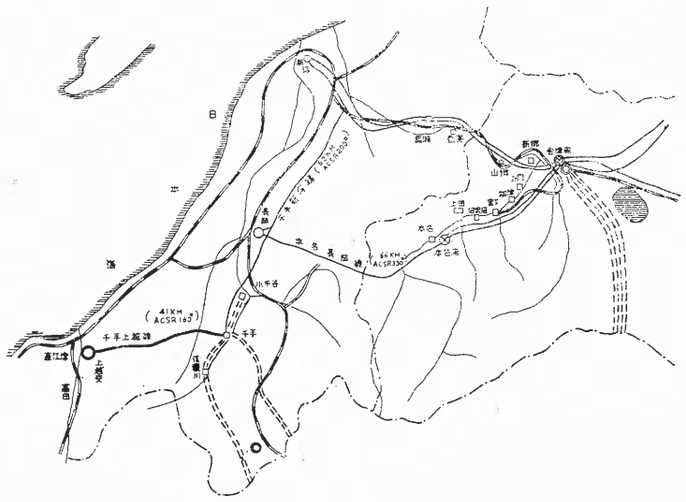
この一連計画の一環として千手上越線を建設しその終端に140KVより60KV或は70KVに逓降する変電所を新設して高田直江津地区の需要増加に対応する供給力の確保を計り且つ同地区を50サイクル主系統と連繋させることにより系統運営上にも大きな効果をあげる目的で上越変電所新設が計画されていたが，昨年建設所が設置され伴所長以下従業員が現場に至り千手上越線及び変電所の建設に努力を重ねている。

同変電所竣功の暁には高田地区需要地帯に50サイクル供給を行い，また関川水系鳥坂発電所の50サイクル運転により需給のバランスをとると共に，60サイクル高田系と50サイクル主系統との需給の一元化が可能となり当社給電上画期的なものとなる。今年下期を予想するならば，電力量は150KV受電約60,000MWH50サイクル発電分2,500MWH，150KV受電電力については40,000KWからマイナス20,000KWの巾ができるようになり，来年度は電力量は150KW50サイクル100,000MWH発電分50,000MWHと想定される。更に中部電力との融通を考えるならば日本のような南北に長い地形に於いて東北地方の降雨と中部地方のそれとの相異が相当にある場合上越変電所設置の効果は大きいものと云わなければならない。

本工事は昨年12月28日着工し目下基礎工事が出来上つた処であるがその工事概要は次の通りである。

名　称　　上越変電所
位　置　　新潟県直江津市
変電所の出力　50,000「キロボルトアンペア」
　　154KV/66KV
変圧器
(1)出力　一次　45,000「キロボルトアンペア」
　　二次　50,000「キロボルトアンペア」
　　三次　20,000「キロボルトアンペア」
(2)電圧　一次161,000　154,000　147,000「ボルト」
　　二次 66,000 「ボルト」
　　三次 10,500 「ボルト」
(3)相　3相
(4)周波数　50サイクル
(5)結線法　一次星型二次星型三次星型
(6)冷却法　送油送風冷式
(7)個数　常用1台
中性点接地方式
(1) 主変一次側　抵抗接地
(2) 主変二次側　消弧リアクトル抵抗接地
保安装置　母線及び変圧器に避雷器を設置する

主要資材として鉄鋼180トン，銅14トン，セメント670トン，木材160石を必要とする工事である。


日
本
海
(410KM ACSR330)
(410KM ACSR330)
(410KM ACSR330)

舘内建設局次長より西ドイツ便り

西獨逸で感銘したこと

西独逸は現在米，英に占領されて居り「ベルリン」はソ聯が目の前にあつて厳重な警戒線を張つて居り，各主要都市の大部分は非常な爆撃で今尚至る処に破壊されて瓦礫の累々たる儘の建築物が目につく様な状態である。国内を走ると所々に米英の大きな兵舎が厳然と置かれて居る。東独の病人に西独のよい薬を飲ませる為西独に買いに行つた処が摑まつて牢に入れられたと云う話がある。私は西独の打撃はあまりに大きく，やはり立直りは容易で無く，技術も大部おくれて居ると思つた。

然るに一度その内部を見ると目覚ましい復興の奇蹟が見られる。生産指数は1936年を100とすると最近は150以上であり，貿易は毎月6,000万ドル以上の出超，欧州の支払同盟は当初の負債国から立なおつて今では4億ドルの「クレヂツト」を持つて債権国となり，実質賃金は1949年以降8割5分方ふえて居る。国民車と云う自国生産の自動車は（ガソリン消費量は略米国自動車の半分）到る処に走つて居り，道行く人の服装は質素ではあるが清潔でゲルマン民族の古い歴史が感ぜられ，アメリカに見られぬ芸術的な落着きと香りがあり，又青少年の顔色を見ても潑剌として健康と元気にあふれて居り，家庭内の様子を見ても長幼の序が良く保たれて居る。米国に於てはその広大な地域と富と生産に我々には遠いものを感ぜしめたが，独逸では我々に近いものをしみじみ感じさせられ，考えさせられる事が多かつた。以下旅行中に感じた事を 2，3 書いて御参考に供したい。

工場に行くと大低の場合工場長は戦後の工場の惨憺たる破壊の写真を見せて意気軒昂としてその復興状況を語るのが常である。

例えば，Berlin-Siemenstadt 配電盤，遮断器工場では，副工場長は語つた。

本工場は11万平方米の建家面積であるが，戦争後2,600台の工作機械を失い，4,800の主要図面をソ聯に持つて行かれ当社の Original の特許関係の設計もすべて取られてしまつた。1943年，当時 500 人のやせ衰へた社員と工員とのみであつたが，この生き残つた人達の頭脳と意志に囚つて灰燼の内から立ち上つた。最初は修理工場の建設に着手した。即ち，四散した金屑やトタンの類をかき集めて釜，玩具等を作り，之を大通りで売りさばいた。そして売り上げた金は工場につぎ込んだ。1946年になつて初めて機械を作りだした。1947年にはトタンバラツクが出来て主要な処はこれで覆つた。他は雨ざらしであつた。かくて次第に復興して現在従業員は5,500 人，380KV の遮断器を スエーデンの 註文で作つて居ること，大物遮断器は月500 台を出して居り 昨年1 年の生産は前年の倍であること，本年は之を更に80%増産する予定であること，5,000—10,000KW の接触整流器を製作中であること，現在ゲルマニウム，セレニウム研究中で 1，2 年後には驚くべきものが出来るであろう等，大むねこの様な談話があり他の工場に於ても略同様な話があつた。独逸は今や敗戦後の苦難をのり越えて洋々たる前途をみとめて復興の緒につき，希望が輝き出した処だと云う感じを受けた。そして工場内の仕事は活潑で特に外国からの註文品が多かつた。

私がロンドンからフランクフルトに着いた時飛行機が5 時間遅れ午後 9 時頃であつた。こゝに Siemens の役員級の人と外事部長とが金成常務（富士電機）と共に出迎えて居つた。そして予定では直ちにニユールンベルグに行く事になつて居つたが，東京ガスの青木取締役一行がベルリンに居るので直ちにベルリンに向うことになつた。よつて飛行機変更のアレンヂをテキパキと出迎えに来た 2 人がやり，午後10時30分にフランクフルトを飛行機で立つた。

私は最初当然この 2 人も共にベルリンに行くのかと思つた処，左にあらずで自動車で 200KM もはなれた Simens の本社に帰るのだとの事，家に着くのが午前2 時頃だろうと云つて居つたがその努力に驚いた。然るにその後他の独逸人との旅行中この様なことに屢々出会した。例えば，5 月 1 日は日曜日，且つメーデーであるので南独のオーストリヤとの国境ケーニヒ湖を見に行つた。ミユンヘンに帰つたのが午後10時であつたが，シーメンスの本社から来て居た 1 人は 200KM 以上もある自分の事務所にそれから自動車で帰つて行つた。又，自分等を同発電所に案内した技師は，5 月7 日は土曜日で 午前中しか無いのでこれに間に合う様にと朝 6 時に立つてシーメンス本店に 100KM 以上の所を帰つて行つた。

これ等は自動車道路が発達して居る為もあるのだがよく努力して居るものだと思つた。

独逸人は或る計画を決定するとこれをガンコな程固執するものゝ様に思つた。それは発電所見学の旅行中今日はこれこれの発電所を見ると一応極めてそれを各発電所に通知すると是非ともそれを遂行する様な気風が見える。私がホイトの技師長と一諸に旅行して，1日に 5 ケ所の発電所を見たが，最後の発電所（これは altheins 発電所で 230KV の大きな開閉所のある最新発電所）を見たのが午後 8 時30分頃で 230KV の屋外変電所をあかりをつけて見ると云う様な次第，普通ならば，取りやめるか変更するのだがこの様に一応計画を立て約束するとこわさぬ様だ。発電所長も小生等の来るのを遅くまで待つて居つた。そして宿に着いたのが12時，然るに案内のビショツプ博士は，明日は 6 時起床，7 時朝食を終へ 7 時半出発と云う命令をしてさつさと寝て了う有様。

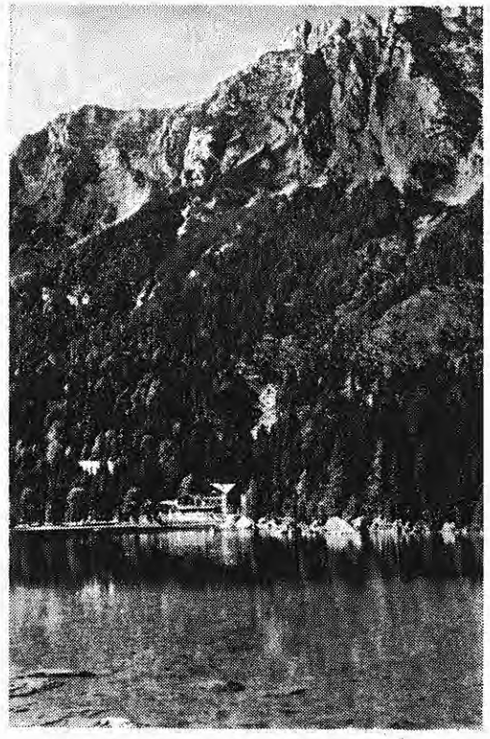
廃疾者を非常に活用して居る。ホテルのエレベーターや工場の受付には片眼や片手のない人が仕事をして居る。工場に行くとメクラが積算電力計の様な計器の組立をやつている。これがメアキよりも仕事をよくするとの事であるが，それまでも指導するのは大変な骨折りであつたろうと思つた。

発電所はさ程自動化して居らぬが，一直で 1 人か 2 人勤務の処が多かつた。時間は日本と同様 8 時間，この点米国よりも少い様だ。1 人で何から何までやる様でよく発電所内の機械の特性や内容を知つて居つた。発電所長にストライキはやることがあるかと聞いた処飛んでもないと云う様な顔をして，もつと生活に余裕が出来るまでは絶対出来ない。戦争前は重役，社員間には相当の給料の差があつたが，今は非常に少くなつたと云つて居つた。尚発電所員の給料は日本の 2 倍であつた。常傭夫の給料も社員とあまり違わない。

日曜日には一家総出で郊外に出て独逸の美しい山林の中を歩きまわつたり，或は野原で日光を浴びてごろごろして居る様だ。自動車のある人は遠くへドライヴするし，又オートバイが 1 ケ月程の給料で買えるので大変多く，これに夫婦で合乗りして，日曜日には幾つも幾つも山の方へ走つて行く。夜の宴会などは大低 2 時間位で終えて簡単なものだ。

或る会食の後にシーメンスの部長が，東京では芸者を宴会に出すので，その分だけ機械は高くなるでしような一等と云われて居つた。

但しワインは良くのみ，昼食の時にも出す。そしてしきりに人に奨める。音楽は非常に愛好する様で，シーメンスの通信工場に行つた処，各室共，音楽をかけて仕事をして居るので聞いた処，この方が能率が上るからこの様にして居るとの事だ。もつとも，その工場は女子が70%で細かい手仕事であつた。



ベルヒテスガーデン（ヒトラー山荘のあつた）

官庁は殆んど電気事業には干渉せぬ様だ。

落成試験は民間でやり，役所にはその成績を報告するだけとのこと。ガス発電は聯合軍に禁止されて居るので，これからだとこれは明らかに遅れて居ることを認めて居た。マイクロは色々聞いたがハツキリせず多分政府の通信だけに使用され，民間の使用は禁止されて居る様だ。

（編 集 室 よ り）

3 月17日に日本を発つて欧米視察旅行の途にあつた舘内，矢崎両氏は，アメリカ及び英国を経て 4 月18日西ドイツに到着，夫々各々の担当に従い，或は北欧スエーデンに飛び，或いはスイス，イタリーと彼地の最新技術の摂取に寧日なき有様である。6 月17日パリを出発19日東京着の予定になつているから，間もなく我々は両氏の元気な姿を見，溢れるようなみやげ話を聞くことが出来るはずである。社誌でも来号には両氏の見聞を掲載できるかも知れない。いずれにせよ両氏の御自愛をいのる次第である。



岩手支店

◇三代の名寶「讃衡蔵」へ

藤原三代の栄耀を今に誇る平泉中尊寺一山の各寺堂に散在していた国宝，重要文化財3千余点は，いよいよ永久保存の道を講ぜられることになり，かねて改蔵庫を建築中であつたが，それが今度完成し，花かほる4月28日から歴史的な移動が行われた。

この収蔵庫は金色堂の手前，従来の宝物庫の側に建てられたもので，文化財保護委員会委員長により「讃衡蔵」（さんこうぞう）と命名されたもので，金色堂と共に〝昭和の正倉院〟としてその意義は極めて深い。

これら文化財の大量移動は，延元2年（今から620年前）に一山が火災にあつた時以来，初めて行われたもので，仏像の一部はその後も必要に応じて数回移動されたものもあるが，峯薬師堂の薬師如来をはじめ，千手観音はこゝ400年間ほどは動かされたことがなかつただけに，今回の移動は一山始まつて以来の歴史的なものである。

尚経蔵に収められてある国宝一切経をはじめ，祕仏一字金輪仏など，国宝及び準国宝の一切を同庫の修蔵室及び陳列ケースに収容されたものである。

5月3日，讃衡蔵の落慶式をあげ，一般に公開することになつているが，さながら古美術品の博物館の観を呈している。金色堂の三代の遺体と共に，藤原文化を代表するの意味において，是非お立寄りを願いたい。（S.N生）

◇東北電気協会第9回通常総会

不来方のお城の草にねころびて
空にすわれし十五の心

岩手の生んだ天才詩人石川啄木の好んで遊んだという盛岡城跡のふもと，新築の町村会館で4月27日，28日の両日に亘り，東北電気協会第9回通常総会並びに見学会が開催された。

当日午後2時，開会の辞につづいて，内ケ崎会長の挨拶に始まり，つづいて，電気関係事業功績者並びに永年勤続功労者表彰式，終つて「日本の政治経済の現状について」と題し，評論家三宅晴輝氏の有意義な記念講演が行われ，極めて盛会裡に終了した。

東北7県よりの参会者100余名が，総会終了後バスに分乗して桜花らんまんの盛岡城跡及び高松の池を逍遙し，秀峰岩手山を仰ぎ，やわらかに柳青める北上河畔に，又京都の加茂川に比する中津川の流れに旅のつかれをいやして，懇親会場に向つた。

南部美人といわれるだけあつて，お国自慢の「からめ踊り」の圧巻に一同やんやの拍手を送つて，びくんの頬をやよいの風にふかれながら三々五々，第1回の行事を終了した。

第2日目は午前8時，岩手支店前を出発，夫々，松尾鉱山及び水沢緯度観測所，中尊寺見学と2班に分れ，岩手の姿を断片的乍らも満喫されて午後5時散会したものである。（S.N生）

◇北上幹線再閉路試験

世界最初の高抵抗接地電力系統の単相再閉路実施の可否を検すべく北上幹線単相再閉路試験が斯界の権威を集めて4月21日，22日の両日盛岡変電所を中心として当社 140KV 系統で行われた。試験本部が盛岡変電所に置かれ当社山内営業局次長を総指揮に若林電気部長，大河原次長（仙台側）電試山田電力部長，電研朽木第一電力課長，東芝宮本電機技術部長，谷合府中工場長代理他約120名が立会つた。

盛岡変電所の北上幹線にはインパルス遮断器及び搬送距離単相再閉路継電装置が設備されているが，先に行われた東北幹線一号線の単相再閉路試験から出された結果によつて継電装置に若干の改良を加え今回実施された。試験は一線地絡のみ，又故障相の無電圧時間は15～のみに限定し4月21日の第一日には北上幹線を仙台変電所から無負荷運転の試験系統として盛岡変電所の北上幹線引込口にて一線地絡（5回はニクロム線接地，1回は金属接地）6回，北上幹線一関附近 No. 259柱にて一線地絡2回（クロム線接地）の試験を実施した。この日は仙台変電所側の 140KV PT 2次のフューズが断線して居り，仙台側が所期の仂作をしなかつたので試験は難行したが，4月22日の第二日は無負荷運転の試験系統にて一線地絡4回，営業運転の試験系統として一線地絡5回を実施し，前月と打つて変つて順調に進み各回共所期の単相再閉路が次々と成功し，最終回は盛岡60,000KWの受電中に行われ系統に相当の電力動遙を見たが見事に再閉路が成功した。

なお5月下旬に本店に於いて此の試験について報告会がひらかれる予定である。（菱川）

◇第4回岩手支店管内営業所対抗野球，排球大会

恒例の管内支店，営業所対抗野球，排球大会は，風薫る5月14日(土)，15(日)の両日，緑濃き花巻温泉グラウンドに於て行われた。

当日は夜来の雨も晴れて，照りもせず，降りもせぬ，絶好のコンデイシヨンに恵まれ，12時開会式の支店長の激励の辞，選手宣誓，優勝旗並びに優勝杯の返還後，直ちに競技に入つた。

野球は，支店長，次長の始球式に始まり，数々の胸のすく様なヒツト，フアインプレー等を織り交ぜて終始熱戦の末，遂に福岡営業所チームが釜石チームを最終回逆転勝に降して，凱歌を奏した。今回は各チームの進境著しく，前年優勝の支店，準優勝の盛岡両チームが準決勝前に早くも姿を消すと云う状態であつた。

主なる記録，次の通り

団体	優　勝	福岡営業所チーム	
	準優勝	釜石営業　チーム	
個人	殊勲賞	鈴木　清二（福岡）	
	敢斗賞	藤倉　竜見（釜石）	
	打撃賞	佐藤　正（釜石）	打率4割4分4厘
		南谷　昭志（福岡）	4割1分7厘
		浪岡　四郎　〃	3割6分4厘
ホームラン賞		尾形喜三男(大船渡)	
		山口　尚　〃	
		千葉　長八（福岡）	

バレーは昨年に引続き依然沿岸チーム（宮古，釜石）が強く，その強力なサーブ力にタツチ，キル等多彩な攻撃力で，猛追する他チームを圧し，決勝戦では宮古チームが前年優勝の釜石チームを破つて優勝した。

主なる記録は次の通り

団体	優　勝	宮古営業所チーム
	準優勝	釜石営業所チーム
個人	殊勲賞	坂本喜三郎（宮古）
	敢斗賞	松崎　憲（釜石）
	サーブ賞	北村　貞治（宮古）

尚本大会は社員のリクリエーションとして体位の向上と共に社員相互の親睦をモツトーとする丈あつて，終始，和気藹々たる和やかな雰囲気の中に行われた事は，他の各種競技会には見られぬ事で，真に慶ばしき限りであつた。

最後に，本大会の実施に当つて，多大の御援助を寄せて下さつた岩手県野球協会，岩手県排球協会の各位に対し，心から，感謝の意を表する次第である。

以上（文責　M）

新潟支店

◇筍吟行句会記

4月30日午後俳句部一行は北蒲原郡木崎村へ筍の吟行句会に出掛けた。

新潟よりバスで20分，それより小1里の道を吟行しつゝゆく，時まさに快晴，田園のさわやかな空気を吸いながら。

菜の花は真盛り，百姓は田打に忙しく，農家の庭には苗床が出来，苗障子がかむせられており，若葉道をゆつくり歩いて行く。目に映るものすべて季題となり，やがて17文字となつて現われる。ごみごみした市街よりこの澄みきつた田園風景に接するときつくづく俳句を作る喜びを感じさせられる。

句会場の農家につくと主は夏炉に坐り吾々の到着を待つて居られた。そこで小休止のあと竹藪を散策し，筍に停ち或は筍に佇んで句を吟ずる。筍の盛りの時季とは云へ，出が悪いのは昨年のひでりがたゝつたのだと主は嘆いて居つた。

投稿を3時締切り清記，選，披講と順次に終り無事句会を終了し，もてなしの筍料理，筍御飯を御馳走になり夕日沈む頃越後平野を後にバスに揺られつゝ帰宅した。

沈丁のまはりの土のよく掃かれ	菠薐子
蜘蛛の囲の張り撓みたる若葉風	〃
畦川へ渦まき岐れ春の川	艸　童
堤上に網干しひろげ水温む	〃
用水の渦巻くところ水すまし	鉄　歩
ゆるやかな流れにたるゝ花はこべ	〃
筍の土やはらかくかゞみこみ	喬　村
藁屋根のとだえしところ若葉風	〃
干してあるものみな白く春の風	桐　舎
筍に二三日雨の欲しきとか	〃
植えしあとより苗障子かけてゆき	みよし
豆の花ふたうねほどが咲きにけり	文　子



国会の電気事業に対する動き

第22国会の電気事業に関する問題を取上げて見ると，現在（5.17）まで衆議院商工委員会で2回，本会議に於ける緊急質問1回，参議院商工委員会で1回討論されている。

衆議院の第1回は，3月29日～31日の3日間電気料金の所謂3割頭打の改訂問題であり，第2回は5月11日～13日の3日間に亘る電源開発5ケ年計画に基く資金，料金安定策を確立する為めの企業形態論であつた。

参議院の討論は料金問題で，特に，東北電力は昨年の値上げ率が問題視されていた。即ち値上げ率が大きかつたと云う点と，東北の後進性に伴い急速な産業開発に影響を及ぼすと云う考え方からであつた。然しこれは絶体値に於いて豊富であり安いと云う現実の姿に依つて説明されそれ程大きな問題とはならなかつた。

衆議院商工委員会，料金改訂問題

3割頭打の本問題の起りは，29年7月吉田内閣愛知通産大臣の折，閣議をもつて，電気料金改訂については，来年3月末までは全国の平均収入単価は現行料金ベースに据え置くこと。なお来年4月以降の料金は，現行冬季料金ベースを引継ぐが，低物価政策の，浸透状況等を勘案し，この引下げに努力すること。これがため電力会社の一層の企業努力を要請すると共に，政府は税及び金利負担の軽減に関する措置を考慮する。

と云う決定に基いて出発した事は間違いないのであるが，偶々東京都内の主婦連の10円牛乳の運動は，思いの外に好結果をもたらし，今度は，豆腐だ電灯だと拍車をかけ，加えて選挙後の公約未だ覚めやらぬ時期でもあつたので，急速度に進展した。

3月29日石橋通産大臣は，前内閣に於いて決められた閣議決定事項を，その趣旨に従つて或る程度の引下げを講じたい，それには先ず考えられる事は

1. 金利の引下げであるが，これは電気事業ばかりでなく，石炭，鉄鋼の問題もあり，そう簡単には進められず，然しこのまゝほうつておけば，5ケ年計画の終り頃には2割程度の料金の値上げがどうしても免れない様な状況になるので，どうしても抜本的に，税，金利あるいは建設費の振り割りと云うようなものまで十分考慮を加え，来年3月31日迄は恒久的な料金策を考える。
2. 税の軽減は主として地方税であり，これは地方税制改革と云う大きな問題がある。
3. 電力会社の企業努力，幸に電力会社の下半期の成績が，赤字の反対に豊水期の影響を受けたので，この際会社の企業努力だけで措置したい。
4. 金利の引下げは，周囲各般の状況から今回は時間的余裕がない，税の軽減も同様で結局は会社のみの企業努力で，130％頭打案を実行したい，即ち家庭電灯はもとの夏料金に比較して130％以上に上る部分はそこで頭打をさせる。そしてこれを来年3月31日迄継続させる，産業方面の電力については，一部130％頭打ちを実行しているが，これは今年9月末日で終る。然しそれも来年3月31日迄継続する。

と説明したが，これに対し主な質問は，佐々木良作氏（兵庫県第5区右社）中崎敏氏（島根右社）永井勝次郎氏（北海道第5区左社）等で，其の要点は，

1. 3割頭打ちを実施する場合，其の実施が非常に手数がかゝる，その手数をどの様に措置するのか
2. 電力会社からは原価主義に依つて値上の申請がされ，需用家からは値上げは困る，政府はこれに対して昨年，料金は値上げしない，唯冬料金を夏料金にまですべり込ませるのだと説明して居るが，ちつとも話の筋が通らぬ，電力会社からの値上げの申請は最初1割2.3分で，政府はこれを6分5.6厘にしようとした，今度は料金の値上げでなく，冬料金を夏料金にまですべり込ませ，これは1割1.2分の値上げとなる。この矛盾を承知しているか
3. 原価主義を建前として電力会社は料金改訂の申請をした，而も水力地帯の電力会社が値上げを痛切に必要とした。今度の3割頭打ちは，火力地帯は水力地帯とは逆に収入は増加して行く，需用者側から云えば，火力地帯は電力会社の収入が多く原価主義の建前から云つても経理上相当融通がつき得るのにも拘わらず，結果的には料金は高く取られる。水力地帯はその逆になつているが，その矛盾は承知して居るのか
4. 政府は4月からの電気料金を値下げすると宣伝しているが，現実には高くなると云う事であるから，去年の夏料金より30％高くなると知らせる方が良心的ではないか
5. 現在の9電力会社は水力，火力の割合が異なる特殊性から，その収入も区々である，それを一率に3割頭打ちは不均衡ではないか
6. 現在の9電力会社の合計借入金は，開発銀行関係が約千5百億円，金利が，6分5厘，市中銀行が5百億円，金利が1割弱となつて居り，この借入金過多の問題の構想は，
7. 火主水従の松永構想は将来の電気料金値下げ防止対策の一つであると云われて居るが，これは日本の電源開発計画の上に重大なる問題であるから，これに対する構想は，
8. 今後の電源開発は，水火力共電気料金のコストの安い電源開発会社に担当させるのか，其の分野について，
9. 佐久間発電所の売電先はどこか，
10. 電源開発会社は，現行法に於いては，建設会社であるから，新設発電所は電力会社に譲渡または貸与することになつているが，これを売電会社として融通会社的な色彩を持たせる事はこの次となつているが，これを改正して売電公社的なものにする意思はないか，
11. 前内閣でもそうであつたが，昨年の電気料金上げの際も，来年4月には安定電気料金を確立するのであるから，それまでの暫定措置である，従つて聴聞会にもかけずにあの料金を決定した，今回は，聴聞会にかけるのか，若しかけないとすれば法律違反である，供給規程の変更ではないか，
12. 大口，小口の区別なく公共用及びこれに準ずる業種は頭打するが，中小企業はこれに含まないのか，
13. 政府は今回の頭打制度を会社の企業努力だと盛んに強調されるが，今度の頭打の条件の中に，企業努力は何％含まれて居るか，これは，企業努力でない，石炭の値下りだ，火力の石炭消費量の向上だ，豊水に依るものだと思う，政府は企業努力と云う言葉を使用するな，
14. 水火力調整金を今後どう取扱うか，
15. 農事用電力は比較的豊水期の電力を使用するのであるが，これを冬料金のまゝにするのは不当ではないか，

等要約すれば上記の様な質問が活潑に展開され，政府はこれと併行して電力会社の意嚮を打診しながら，答弁して行く，選挙中の公約第1号として議員諸公は，地方選挙を目の前に控え，虚々実々とはこの事であろう。答弁の要点を記すれば，

1. の3割頭打ちの実施方法は，料金の一覧表を造つて実施する。
2. 冬料金で一本化しこのまゝ据置けば夏料金は著るしくなるので，昨年もこの問題が論議され，政府は4月から何等かの考慮を払う約束をしておる様な恰好であつたので，この措置を採る。
3. 会社に依つて影響がかなり違う事は承知しており，それを承知の上でこの際臨時措置を採るので，根本的な問題，建設費，資金，消費税等の問題を考慮しなければならぬと思う。それから融通電力の問題等広汎に亘つて根本的に建て直し，来年3月の臨時措置の効果を失うまでに実行出来る様にしたい。
4. 答なし
5. 各社水力，火力其の他の関係で，経営内容に相当の相違のあることは事実であるが，今この問題を取入れて措置を講ずる事は，技術的に至難で，とにかく今度の処置は一応の措置であつて，今後は電力会社の経営を如何にするか，又料金問題はどうするかについては，十分検討したい。
6. オーバー・ボローイングの問題は，各会社の経営については，十分なる監督の必要はある。根本的には資本の構成が非常にアブノーマルになつている。割合に金利の高い借金が多く，自己資本が少い，これが難点で，そこで市中銀行から一割内外で借りている様な資金は出来るだけ低利な開発銀行の融資に移す，或は開発銀行の融資をもつと低利にする様にしたい。

料金の問題については，電力に関する限り現状においては積極的に値下げは困難である。われわれは，この上まだ高くなる事を防ぐ事に取り組んでおる問題である。

7. 火主水従の松永構想については，技術的に検討中である。大体の感想は一ペンに水力は駄目だ，火力に変更せよというのは行過ぎで，現在は石炭は余つておるが，全体の石炭，電力，輸入の重油の問題を綜合して考えて善処したい，松永構想は非常に良い着想であるが，そのまゝ実行に移す考えはない。
8. 開発会社と9電力会社の開発分野については，水力，火力まで一手に開発会社に開発させるという考えはない。

やはり，9電力会社がやれるところは電力会社に開発会社の開発が適当と認められるものは開発会社に開発させる。

9. 佐久間発電所の電力売電問題については，これは大きな問題で開発会社を融通会社として存続させるか，それとも開発するだけの任務として，開発したものは電力会社に譲り渡すかという事は尚検討を要する問題で，まだ決定してないが，電源開発会社の性格問題と一緒に根本問題として十分考える。

10. 電源開発会社の性格問題については，公社必ずしも私企業に対し勝つているともいえない，私は公社，または国電とする考えは持つてない。
（今回の席上においては公社，国電の考えはないといゝ乍ら，5月11日には通産省は電源開発の公社案を考えておると言明）

11. 今回の暫定措置が，供給規程の変更ではないかという点については，4月1日から実施したいという時間的な問題と，これは電力会社の自発的な努力でやるという意味で急ぐ関係もあり聴問会は開かない。供給規程の変更に依らない規程外の条件で通産省が認可する方針である。

12. 中小企業に対する3割頭打制を非適用の問題は，産業関係の電力の頭打ちと解釈して居る，其の範囲は，公共事業の外に地区に依つて若干違うが，製氷冷凍，石炭，酸素，製粉，精麦，紙及び類似品，金山，鉄鋼，電機，ビール，炭素，医薬品，ソーダ，製塩，化繊，化学工業，金属工業，機械が対象となつて居り，中小企業には及ばなかつた。これは，家庭電灯の3割頭打ちだけで，10数億乃至20数億になる。中小企業に対しても，もつともの意見であるが，もつと検討してからやりたい。

13. 企業努力の言葉については，会社の経営上に出て来る黒字を利用するこういう意味である。

14. 水火力調整金については，現状においては火力の方へ今までよりも重点は増すと思うが，松永構想まで考えないが検討中である。

15. 農事用電力については，農事用電力は別掲にしており，ほかのものに比較して少し引き過ぎたと思うぐらい割引しておる。

以上の様な質疑応答が行われ，最後に決議文が政府に提出され，決議案草稿中に自由党山梨県選出内田常雄氏が本会議に電気料金問題に付き緊急質問を行つたが，その内容は委員会の内容と同一であつて何の為めに緊急質問を本会議で行つたかは，各党議員諸公が，憤慨しておつた所から見ると不明である，或る者は党略から地方選挙のお土産げだと云い，或る者は，選挙公約第1号の華々しき宣伝であるともいう。

決議文

今回政府が実施せんとする電気料金の特別措置に関し，衆議院商工委員会は，政府に対し，次の諸点を強く要望する。

1. 今回の措置は，供給規程の変更手続を踏むべき事項である。今後現行法令に規定された聴聞会，公告の義務その他の諸手続きを省略し，あらかじめ，事前に国会の審議を求めることなく，一方的な行政措置を行うことない様留意すること。

1. 今回の措置は，一部の特例を除き，一般電力に対しては何等の措置をも構せず大多数の中小企業を初め国民生活に多大な不安をもたらすものであり，重要産業農業用電力へ影響も亦重大である。これらの点について万全の措置を講ずること。

1. 速かに電気事業の基本方針を樹立すると共に租税及び金利負担の軽減，電気事業者の格段の企業努力等に依り，電気料金の引下げを行うこと。

1. 現行電気料金制度は，複雑であつて，難解に過ぎるをもつて，一般大衆が了解しやすい単純料金制度とすると共に，水火力調整金，石炭等その他について，根本的な再検討を行うこと。尚原価査定並びに制度改正に当つては民主的機関を設けて慎重に審議すること。

右決議す。

5月11日から行われた商工委員会は，3月行われた電気料金問題審議を通して，政府の見解をある程度キヤツチした資料に基き行われたもので，一段と活潑であり内容的にも充実されて来た感じであつた。其の重なる点は，

1. 30年度の開発資金で，これに関連し9電力会社の開発は，電気料金値上げを前提としたものは，認めない。

豊富な電力の供給は一応段階は過ぎた，今後は，如何にして低廉な電力を供給するかにある，それには開発会社を活用する以外ない，その開発会社の30年度資金の中財政投融資は昨年の100億に対し，30億に減じているその矛盾を追求した。

これに対しては，財政投融資は298億円で，不足分は市中銀行からの融資としたい，9電力会社の資金については，心配なく其の道を拓くが，御説の通り，建設すればする程コストが高くなる事は事実で，低廉なる電力は9電力会社からは望めないが，建設の補償費，公共施設の様なもの，調査費等のものに付いては電力会社のみに負担させる事はどうかと思う点もあり，これを道路施設の様に公共事業で負担すれば，それだけ安くなるし，私企業であるからと云つて，金利，諸税の軽減が出来ないとも思つていない。この点に付いては大蔵大臣も出席して，市中銀行の融資については期待に添う様努力する。金利，諸税軽減の問題は，一般的に云つて，金利を下げろ，諸税を負けろと云うのでは，経営は誰でも出来る。そう簡単には行かない問題であるが，充分検討すると発言した。

2. 電源開発会社の公社案を考えているのか，考えておるならその骨子，及び其の比較を求めたが，公社案は現在通産省で検討中である。

3. 電気事業法と，補償に関する臨時措置法案の提出については，通産大臣は，電気事業法案は現在の9電力会社，電源開発会社を対象とする法案は考えてない，将来の企業形態をも考慮に入れた案としたいと極めて重大な発言したが，事務当局は，既に準備の出来た案を提出したい方針のようである。補償に関する措置法案は目下審議庁に於いて農村，建設，通産3省案を調整中であると答弁したが，提案の見込は薄い様に見られた。

以上の点から2回に亘る衆議院の討論を見ると主観的に見て，第1回の電気料金の討議では，公益事業は，需用家である国民が大切であつて，電気事業は依然として利益追求の会社であり，場合に依つては欠損も止むを得ない需用家は，白い米を喰い，事業者は麦を喰えと云つた感じで，更に9電力会社は，低廉なる電力の開発は見込なく，従つて低廉なる料金は望めない。時代のおくれた会社であると云わんばかりの様に感じられ，再編成後の血のにじむ建設譜は過去の夢物語りとして一顧だにされず，低廉なる電力を得られないのは，再編成の大なる失敗であると断じ，果ては公社か，全国一社化を論ずるに至つては，電気事業の推移の甚だしきを感ずるのである。

5月18日関西電力は社長談をもつて茲当分は電気料金は上げないと声明したし，13日には9電力会社々長会議において，企業形態，電気料金政策について基本的対策を決定し，通産省，経済審議庁に提出したが，この何れも，国会に於ける反映に敏感に対処したものであろう。

選挙，議会，質問割り切れぬ話

選挙は民主的に行われ，議員は民主的に選ばれた議員であり，地方，国会を問わずその運営，其の他総てが民主的である筈であるが，果してその様に行われておるであろうか，随分割り切れぬ話がある。先ず選挙である。候補者は菊の花かなんか大きな花輪にリボンに名前を書いたのをさげて，国会は木型か小型の自動車に，市県会はオート3輪車に，区町村会は3輪車又はリヤカーと差があるようであるが，これに乗つて，先ず自分の方針なり立候補の挨拶は立会演説会以外は，めつたに喋らないで専ら学生アルバイトを起用して推薦の辞を元気よく喋らせている。これは電力会社の火主水従のようにいつの間にか，立候補者は花輪をつけて案山子然と立つて最後にお辞儀をする事になつたらしい。これで候補者の見分けをつけろと云つても，少し無理である。然し候補者が声を涸らしている所を見ると立会演説以外でも，喋つているのかも知れないが東京の区議会選挙では聞けなかつた。

さてこれでも民主的な制度と方法に依つて関門を通過して当選し，華々しい当選御礼をぶつて議会に乗り込んで来ると，これは主として国会であるが，綺麗なお嬢さんにバツヂをつけて貰つている笑顔の写真は，新聞の恒例である。議会に這入つたトタンでもあるまいが，ビール腹になつて，議員さんの歩き方は又一風変つている歩き方をして絨氈の上を濶歩するのである。

昔軍華やかなりし頃の将軍の歩き方は，兵卒の歩き方と違つて，長靴で頭右を検閲する。あの型を思い出す人は多いだろうが，議員さんの歩き方は，又これと趣きを異にして，ダブル洋服のポケツトに，親指を入れないで4本の指を入れて，腰と肩とを振り乍ら左右に動ごかし乍ら歩くのである。

さて今度は議事であるが，質問者にも種々ある。揚げ足取り型，自己意見の礼讃型，等で，揚げ足取り型は字の通りであるが，全く解せないのは，質問に答えた政府委員又は大臣の答弁に対し，第2の質問に移る前後に於いて自己意見を述べる。これがまた長広舌なのである。その長広舌の後に第2の質問の要点が，チヨンビリ云つて大臣の明確なる説明を求むとくるのである。この方法が繰り返し繰り返し行われるのであるから時間は必要となつてくるのであるが，その前後の長広舌には答弁を要しないのであるから面白い。去る6日の予算委員会で鳩山首相と自由党の橋本竜伍氏のやりとりで，頭が悪いと食下る橋本氏に対し，首相は頭が良ければ解る筈だと突放したのが始まりで，其の取消要求に，その方が良ければ取消すが，あなたの方の言葉だけが許されて，私の言葉は許されないのかと反問して，又大さわぎになつた事など良い一つの例である。このワンマン振りは野党側にあるのだが，会社首脳部と社員の取引きは果たしてどうか。

（東京事務所・中森生）

ニユー・ルツク戦略と原子戦の新様相

圓地與四松
（経済評論家）

始めての原子戦設計図

世界で始めて原子爆弾を体験した日本人が原子爆弾に反対する権利と使命とを持つているが，しかし現代が原子時代であることを認める以上，政府に原子課が設置せられ，原子炉の創設その他に乗出すのは当然である。原子力はアイソトープその他による医学その他の自然科学に有用であるのみならず，その恐るべきエナージイは差当り熱エナージーとして発電をなし得ることが平和的利用と称せられてをり，これは既に実施の段階に入つているのである。原子力による発電については別の機会に譲るとして，現在は原子力といえば何といつてもその兵器としての利用が問題であり，これが国際政局の重大問題ともなつている以上，現在の原子兵器とは如何なるものであるか，殊にこれが戦術戦略上如何に利用されんとしているか，またそれが今後の戦争の様相と人類の運命を如何に決定ずけんとしているか，について一応の智識として知つておくことが，現代に生きる我々として必要なことではあるまいか。

水爆の実験でさえも今後10発もやると世界の空気の科学的均衡を害して全生物を害するといわれているから，既にソ連が数百発，米国が数千発を持つているといわれる今日に，いざ戦争となれば，その瞬間に地球上の生物がすべて滅亡するのではあるまいか。いや原子戦になつてもその心配はないというのであろうか。第三次世界大戦が勃発するとすれば，それは米ソを対立の中心とする原子戦であるべきは明白であり，また米ソともにその準備をしていることも明瞭であるから，最近の原子兵器の発達により原子戦が如何に想定されているかを知るために，米国の週刊誌“U.S.News & World Report”の記者ロバート・クレイマンが原子戦基地につき調査した報告し始めての原子戦設計図」（“First Blueprint for Atomic War.”）に基きその概要を紹介しておくのも無意義ではないであろう。

NATOの『前進戦略』

米国の最近の軍備が所謂ニユー・ルツクとなつたように，ソ連に対する欧洲の防衛もニユー・ルツクとなつた。欧洲の防衛を担つている北太西洋条約機構（NATO）は今中欧に40万の陸軍を持つているが，最近新しい指令によつて，もしソ連が攻撃を開始したら直ちにラインを越えて西独のために攻撃を開始せよと命ぜられたのである。従来NATOの戦略はライン河を争奪することに主眼をおき，西欧軍をなるべく傷つけずにソ連の急襲を防ぎ，その間に西欧の予備軍の動員その他の準備が完了できればよいという想定に立つたものであるが，今度の戦略は全く原子戦を想定したものであり，昨年12月NATOの14カ国が連合軍の革命的再編成として原子兵器による『前進戦略』（“forward strategy”）という歴史的決定を見たのである。

この新戦略は，ドイツにおける連合軍主力の防衛線を100乃至200マイル東方に移し，米国の原子兵器の優越によつてソ連の巨大なる人力を圧倒せんとするものである。即ち20の機動師団は戦争勃発の際は西独地域，5千万の西独人口及び工業の防衛に直ちに出動し，550機の米軍軽爆撃機及び戦闘爆撃機が原子爆弾を運び得るのである。そこには2つの空軍誘導発射中隊があり300哩航空のマタドール無人爆撃機（Matador pilotless bombers）75機を用意している。

なほ駐独米第七軍は射程20哩280ミリ砲30門を有する五砲兵大隊を持ち，同射程の自推オネスト・ジヨン・ロケツト砲（self-propelled Honest John rocket-launchers）6門を持つ砲兵中隊を有する。その上この18カ月間に大量の原子兵器を中欧に輸送し得る組織を完成したから，一旦戦争勃発となれば，数時間のうちに鉄のカーテンの背後の目標に800箇の原子爆弾を打込むことが出来る。それは第二次世界大戦における双方のつかつた爆弾及び弾丸の全体よりも更に大きい損害を数日にして与え得るものである。なほ280ミリ砲及びネオスト・ジヨン砲の砲兵大隊の数部隊が増強され，射程50哩自推コルボラル誘導砲10門を持つ大隊も加えられることになつている。

『新提案』の『宇宙秘密』研究

更に原子兵器の小型として米陸軍は8インチ曲射砲で打出す小型原子弾を作つたが，この弾一つで優に広島に落した原子爆弾以上の偉力を持つている。かゝる原子兵器によつて戦術は今や全く一変した。米軍の五箇師団を含むNATOの機動師団は，ソ連の侵入軍が鉄のカーテンをちよつとでも揚げるや否や直ちに西独国境で原子兵器による攻撃を開始することに決した。なほ最近のNATOの演習によれば，人力と兵器とは2対1でなければならぬことが明らかにされたが，これは原子戦においても歩兵の必要なことを示すものである。

それは原子戦では原子兵器だけでは不充分であり，原子爆弾の爆発半径外では敵軍が被害なくして直ちに反撃に出るから，これに対して普通兵器を持つ歩兵が必要だからである。また原子爆弾は味方の被害を避けるために少なくとも戦線の背後1哩以上で発射する要があるから，人力に豊富な敵軍に対しては歩兵が如何にしても充分でないと原子爆弾の効果が確保されない。NATOの歩兵は移動し易く弾力性のある『地域』防衛（“area” defense）に適するよう碁盤形に深い配列をなし，原子爆撃に都合のよいようにソ連攻撃軍をその間隙のポケツト地帯に誘引し，原子爆撃の目標たらしめようとするにある。そしてソ連軍の集結，予備隊，鉄道交叉点，橋，港，物資集積，司令部等を破壊する。しかしその最初の目標はソ連の機動原子兵器能力，即ち飛行場，発射設備，原子兵器集積等であることはいうまでもない。

NATOの『前進戦略』は全欧洲軍最高司令官アルフレツド・エム・グランサア大将（General Alfred M. Gruenther）が年余に渉つて研究した『新提案』（“New Approach”）から出たもので，この『宇宙秘密』（“cosmic secret”）研究は3千頁以上に及ぶ長いもので昨年6月完成し，その勧告の32頁が14カ国の国防，大蔵外務の諸大臣によつて昨年12月に承認されたものである。これによつてソ連の攻撃に対して原子兵器を使用することが加盟国の承認を得たので，米ソの原子兵力に関するあらゆる分析と検討をなし，ノルウエイのノース・ケープからトルコのアララツト山に到る4千哩の戦線について9回の紙上作戦を行つたが，その結論は，普通武器で戦う欧洲戦争ならば，巨大なる人力を有するソ連が勝つが，緒戦から米国の優秀なる原子兵器をもつて戦えばソ連は敗れるということになつた。現在は米国の原子兵器の蓄積は優つており，東独から浦塩に至るあらゆるソ連の目標に米軍の原子兵器を運び得る組織が出来上つている。勿論ソ連も原子兵器も進歩するが，しかし今後5カ年間は原子兵器の不足を克服できないから，ソ連の勝利はあり得ないが，それにはNATO防衛軍の改革のみがソ連の鋭鋒を防ぎ得るのである。

『時間圧縮』の問題

原子戦の開始に当つて最初の目標は相手の原子兵力であり，これは数日もしくは数週にして最高に達し，その間に双方死力を尽して原子蓄積を爆撃し合うが，戦争は短期に終るかも知れず，終らないかも知れず，すべての結果は，原子戦の決定的要素たる原子力時代及び原子戦争の開始時期によつて決するのである。即ち原子兵器の製造に一歩を先んじ，他より優越し，しかも開戦に先制して，相手の急所を爆撃したものが勝つのである。

この点では米国は第二次世界大戦開始の第三年目に原子力兵器の製造を開始したことは有利であつた。従つて現在西独に在る12機動師団こそ開戦後1カ月以内に動員する予備隊よりも重要なのである。しかしこのNATOの原子兵力と雖も今後5カ年以上有効とはいえないのであつて，『新提案』作戦も1960年までの計画であり，1960年以後は今漸く進められている新しい『報復』武器（new “retaliation” weapons）に頼るのほかはないのである。それは垂直上昇ジエツト機，長距離超音誘導弾，大陸間射撃ロケツト弾等である。

従つてNATOの新提案はこの5カ年間に根本的改革の断行を要求するものであつて，それは『時間圧縮』（“time compression”）と『吸収』（“absorption”）との二つの言葉に含蓄せしめることができる。『時間圧縮』とは現在の原子戦と過去の戦争との相違を示すものであつて，例えば第二次大戦において米国第八空軍が数週間の空襲で破壊した都市を，現在の原子戦ではたゞ一機の戦闘爆撃機で一瞬に破壊できるのである。また前大戦ではモスクワからロンドンに空襲するには5時間余であつたが，現在の原子戦ではソ連基地からロンドンに1時間である。前大戦に1年間の戦闘が原子戦では1週間の戦闘に等しく，1月間の戦闘が1時間に，1日間の戦闘が1分間に等しくなつた。ソ連の水素爆弾は13分でコペンハーゲンに，ライン河背後の米空軍基地はソ連来襲の警報を受けて，運がよくて20分のうちに爆撃される。これが時間圧縮という意味である。

このために西独駐在の米軍師団は常に兵員の半数を戦線に置き，これが昼夜を分たず，装備を用意し，最大限2時間以内に完全武装して飛び出せるようにして

をり，あらゆる米空軍戦闘基地は4機のゼツト機がいつもモーターを温めており，警報があれば5分以内に飛び立ち，更に次の4機が滑走路につくという手順をしているのも全くこの『時間圧縮』のためである。

『吸収』の問題

このためにNATOの全航空機は絶えず点検され出撃準備がされているが，原子戦では最初の1週間にどの工場が爆撃されるか誰も判らないから，重要なのは工場よりも熟練工と技術者であつて，これの養成は30年を要するからである。時間圧縮はソ連の最初の攻撃に対する戦争勃発当日の準備の如何に西欧の運命を託することを意味する。すべては開戦日の米軍原子爆撃機及び原子弾の出足如何にかゝつている。これが今すべてのNATOの司令官の頭を支配している。しかし今，欧洲全大陸には一つの原子爆弾も原子砲も置いてない。西独駐在の空軍最高司令官が原子戦に入るとしても，英国に置いてある原子爆弾を取寄せねばならないが，この許可を得るだけにも数時間を要する有様である。1948年のベルリン封鎖以来，英国に200機の米国原子爆撃機と原子爆弾を置いてあるが，これを動かす場合には英国首相の承認を必要とする協定ができてをり，英国以外では原子爆弾の貯蔵さえも許可してくれない情態であるからNATOの司令部が躍起になるのも無理はない。しかし欧洲のこの難かしい政治だけは，原子弾の遂行上，誠に困つたものであるといわねばならない。

NATOでは漸く原子戦の初歩の訓練をするためにバヴアリアに学校を設け，7百人のNATOの将校が教育を受け，また演習を実施することになり，また新提案が昨年12月に14NATO加盟国によつて承認され，こゝに原子爆弾貯蔵の途も拓かれることになつた。しかしこの貯蔵は欧洲の政治事情からこの実施はなかなか複雑である。それは共産主義者，中立論者，反米論者がいるからであり，ソ連圏の共産陣営の如く独裁ができないだけに原子戦には自由国家陣は不利である。

次に『吸収』（“absorption”）とは何であるか。これは原子戦において如何に兵力を生残らせるかという問題である。この『生き残る』即ち『生存』(survival)こそ原子時代の最も緊急必要であつて，『生存確保』（“survival-plus”）が最も重大問題である。これは巨大なるソ連の原子攻撃を，如何にして反撃の戦力を喪失することなくして吸収するかにある。この吸収力(absorptive power)なくしては，爆撃機も飛ばせないし，原子兵器の蓄積もできない。ソ連の襲撃を受けた場合，従来の散開方法では一遍に滅ぼされて反撃力を喪失するのほかはない。

吸収力を新しく作り上げるには，従来の如く原子爆弾1発で全師団が消失するという弱点を無くすることである。そこで歩兵部隊を分散させ，第二次大戦の散開率の数倍に散開を多くするのである。しかも司令部の指揮統制を失うことなくして散開を細分するところに困難がある。そこで各散開部隊に基幹幹部を備えた交替司令部を置くことゝし，小単位の自動推進のできる独立のものとしたが，こゝで難かしいのは指揮，通信，交通，補給の問題である。米軍の演習実験に基き今年末までには師団の再編成を断行するが，既に2仏軍師団は1万2千名の原子時代単位に編成替した。これで集中も速くなり，薄く散開でき，しかも自然隠蔽，カモフラージ，迷彩，軍略，特に機動力が発揮できるようになつたのである。

『カイザアスラウテルン集合体』

最近，西独におけるNATOの14万の兵隊の参加した演習によれば，原子戦に効果ある機動を行つたが，例えば英国の5千名の部隊は3哩の戦線で15哩の深さに，昼夜突進して散開し，6日間に9回の原子爆撃に対抗し得ることを明らかにしたという。歩兵師団が80哩移動するのに4時間で充分であり，4日間の演習に280ミリ砲兵隊が4原子弾を発射したが，他の12回の警報で目標の隠蔽がうまく行えたので発射できなかつた。6日間に爆発させた5発の原子弾と4発の原子爆弾のうち3発が有効であつた。

しかしこの『吸収力』（“absorptive power”）に対して2つの致命的弱点のあることが専門家から指摘された。1つは『飛行場の脆弱性』（“airfield vulnerability”）であり，もう1つは『カイザアスラウテルン集合体』（“Kaiserslautern complex”）である。

後者は西独内でライン河の西35哩の処にある町の名であつて，朝鮮動乱以来，米軍西独地域司令部の所在地として，また軍需補給拠点として，西欧第一の設備があり，米第七軍の兵器庫で，第七軍団の二軍団及び五師団が10日乃至14日間の戦闘に軍需品を供給するに充分であり，独仏両軍がライン西岸で90日間の戦闘に必要なものを集積し，その40哩四方の地域の集積量は欧洲駐屯全米軍の必要軍需品の3分の2を補給するに足る。武器装備，ガソリン，食糧，12万種の機械部品，車輛，衣服，薬品等一切を集積している町がカイザアスラウテルンである。このために西独占領費中の5億ドル以上が費われた。これこそ第二次大戦当時なら司令官の夢見ていた理想の根拠地であるが，原子戦時代の現在では，建設に4カ年を要したこのカイザアスラウテルン集合体も水爆3発と小型原子弾9発で徹底的に破壊されるのである。これにはソ連軍は爆撃機1機さえ使う必要がなく，僅か数発のV-2ロケツト原子爆弾を打込めばよいだけである。

従つてこんな大きな軍需品集積場は原子戦では廃止すべきものである。土地，財政及び建設期間からしても，かゝる集合体を設置することは不可能である。また原子戦には役に立たぬ。そこで補給と修理のために移動力と散開力の強力で能率的な補給部隊が必要となる。米軍は従来戦闘部隊（combat troops）と補給部隊（service troops）との比を5対5としていたのを今は6対4として，補給部隊を縮少と同時に能率を引上げることゝしている。いづれにしてもこの問題には限界があり，これが弱点であり悩みとなつている。

『飛行場の脆弱性』

原子戦の師団は移動で擁護され，補給は散開と隠匿とで擁護されるが，しかし飛行場はそうはいかない。飛行場は移動も隠匿も出来ないからである。しかも第二次大戦当時の原爆でも飛行場に落せば直径800呎，深さ100呎の穴をあけるから，これを復元させるよりも他に新設する方が迅速で安値である。そこで田畑の上でも滑走できる工夫とか種々試みられており，また無人誘導飛行機等も考えられているが，しかし原子戦と雖ども航空士の判断が必要であるから，無人機だけでは役に立たぬ。これには結局移動できる発着場から垂直に上昇する戦闘爆撃機を作製するよりほかはない。米英仏には半ダース以上の考案がなされているが，これを実戦に使えるようにするには，なお少なくとも3年乃至5年を必要とするので今の間に合わない。それまでは現在の飛行場を使用することになるが，原子戦に必要な長距離のロケツト機を飛ばすには長い滑走路が必要である。米空軍の滑走路は6千5百呎のコンクリート造が必要で，その建設だけにも数年を要する。

これに対してソ連空軍のミグ15型機(MIG-15planes)は4千呎の草地の滑走路で足るから有利である。飛行場も散開させ数多くある方が有利であるが，この点ではソ連は分があり，今，中欧戦線の射程内で利用し得るソ連の空軍飛行場を3百も持つており，それはNATOの飛行場数の二倍である。しかもNATOの欧洲における空軍力を再編成している間だけそれだけ更にソ連空軍が有利となるのみならず，今NATO空軍で原子爆弾投下の装備と訓練のできているのは550機の米爆撃機だけで，それが英仏独和の飛行場に分散して鴨のように坐つているのではどうにもならない。それだから第三次世界大戦の緒戦の重大時機に，うまくねらわれた散発のソ連の原子爆撃で，NATOの空軍力は一瞬に破壊される恐れがあるのである。

そこで至急にNATOの空軍原子力を現在の10倍もしくわ15倍に散開させる必要があるが，これには幾多の技術的及び政治的困難がある。それが今一つも解決されていないのである。

原子戦では人類が生存するか

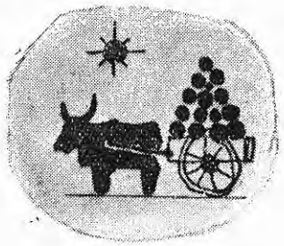
空軍基地の分散のためにNATOは欧洲に100以上の飛行場を持つ必要があり，各飛行場に最大限25機の各種の飛行機を備えねばならぬが，かゝる多種の飛行機を操縦し且つ指揮する司令官を養成することは容易でない。それに飛行場の土地も欧洲の如くよく開拓された耕地ばかりでは，これを買収することも困難であり，住民の喜ばないことは沖縄基地におけると同様であつて，土地の広い米国やロシアでは考えられないことであろう。いづれにしてもNATO空軍のニュー・ルツクの再編成は急務であるが，こゝに一番の難関は政治上の問題である。即ち自由国家はいづれも宣戦には国会の承認が必要であるために，一旦ソ連から原子戦をしかけられても，国会の承認を求めているのでは，その瞬間にパリもロンドンも滅亡してしまうことを思わねばならない。その点は独裁国とは違うのであつて自由国家にとつて致命的に不利である。それだからといつて，こちらから予防戦争をしかけるわけには行かない。これも重大な未決問題である。

なほ原子爆弾が投下されゝば火炎と過熱の被害があるが，1950年米国の研究によれば17万9千人の罹災者があれば米国の病院のベツドが不足し，25万人の罹災者があれば米国内の医薬が全部無くなるという。欧洲においてはこの状態はもつと悪化するであろう。しかも今日原子戦ではいづれが勝つか何人もいえないのである。

グランサア最高司令官は『前進戦術』により防衛前線を従来よりも100乃至200哩東方に移せば，こゝ5年以内ならば鉄のカーテンに対抗して1億6千万人の欧洲人を擁護できると楽観しているが，果してこれを信じて安心しておれるものであろうか。今や原子戦の現代では一切戦争をやめるよりほかは人類の生きる途はないであろう。(1955. 4. 19記)

一漫談風な・体験の一

中共と電気



小野平八郎

「反動輩」と，極印を捺されていた私だ。引揚げの時，荷物検査が厳重を極めたのは当然である。他の人々が，鞍山，奉天，天津などで，形式的に只一二回引繰り返されたのに過ぎないが，私の荷物だけは，特別扱いで，鞍山で3回，奉天で2回，天津で3回計8回も検査された。行李の内張も，椅の腰板も，外套の裏毛迄，はがして見る程の辛辣さである。

其れ迄丹念にメモしていた鞍山や安東の工業データと言うものが，此検査で皆没収せられて了つた。結果から見れば書いたもの，ノートしたもの，凡て取り上げられたのだ。句稿帳，詠草帖，スカウト研究書，何一つ残つていなかつた。満州時代や中共時代の製鉄や電気や冶金のデータ等は内地でも仲々手に入らぬものなのだが惜しい気がする。然し，若し没収に不服など申立てるもんなら，直ぐ残留を命ぜられて帰国は無期延となり，其上3度も4度も法院（裁判所）に呼出されて取調べを受けるのだから，どんな判決を下されるか判らない。其れで没収となると誰も彼も微笑し乍ら唯々諾々と之れを甘受する外は無いのだ。生命と引換える程の資料なんか有るもんで無いから，誰も諦念して了うのだ。没収品が行李に山と積まれて，警察官に持去られるのを見ないふりをして見ているのが，何んだか一寸淋しい，寒々とした気持ちであつた。

そんな訳で今手許には中共の電気に関するデータは何も無い。実はそんな事もあるであろうと，電気の資料には〝ホワイト・コール〟（白い石炭）などと題名をつけて1冊に纏めて用心していたのであるが書いたもの，印刷資料，全部「没」になつたのであるから中共の係官は私達より役者が1枚も，2枚も上である。

夫れで，茲には，中共治下に約7カ年も暮らした，其体験，躬を以つて感じた中共と言つても満州の電気に就いて体験の片鱗を語る外に手が無いのだ。編輯者の熱望に添う事が出来ないで寔にお申訳が無い次第である。

☆　　☆　　☆

私の勤めていた，鞍山の「満州製鉄」は停戦協定になると，直ぐソ聯軍が進駐して来て工場を占領し次いで，蒋介石の国民軍が来て之を管理したが，その後直ちに毛沢東の共産軍が来て之を復興したのである。中共軍が這入つて来て鞍山製鉄を再建するとなつた時最初に要求せられたものは電動機，変圧機，計測器である。満州国が崩壊すると同時にソ聯軍は進駐と共に此の東洋一の製鉄所の凡ゆる機器を全部クズネツツに持ち去つた。関東軍の指令で製鉄所の施設，機器，備品殆んと全部其儘ソツクリ引渡したのであるが，ソ聯軍は〝見事な戦利品〟と言う訳で本国から各種専門技術者を連れて来て何からかに迄持去つたのだ。ベンジユラム，グレーンのような大きいものから社長室の椅子，卓子，研究所の本や雑誌迄搬送した。

彼等にとつては，戦争とは略奪なのだ。其の跡に，中共軍が乗り込んで来たのだから全く，東洋一の大工場も言葉通りの焼野が原になつていた。其焼野が原から昔の東洋一を再現しようと命ずるのだからそれこそ大変なものだ。

高炉，平炉，骸炭炉，選鉱場等は外形だけが残つていても，之を運転する機械，計器，附帯設備が皆無なのだ。其所で，先ず最初にモートル，変圧機，計測器等を掻き集める事となつた。中国人は物を隠す天才である。中共幹部が賞金を懸け，表彰を掛けて公募すると，実験用の白金坩堝，ボーリング用の金剛石を始め，各種の機器が，そつちの谷，こつちの沢から続々と掘り出された。日本人なんか何一つ知らぬ間に中国人はチヤアント金高ものを隠匿していたのである。骸炭炉が2連位，高炉が2つ，平炉が3つを運営するに丁度間に会う程の機器が2，3ケ月の間に集まつた。処が資材，機器が集まつても，其所に新問題が起つた。同じ5馬力の電動機を寄せ集めても3相のもの，2相のもの，50サイクルのもの60サイクルのもの，其内容が色々違つている。工業的には，素人上がりの中共幹部だ，そうした内容を知る訳が無い。中共で一番偉いのは中国共産党員である。彼等は農村革命のやり方には，ベテランであつても，工業訓練なんか受けた人は1人もいない。東北（奉天）政府の工業部長位の人と言つても，工学的知識を持つてるのは殆んと見当らぬ。精々高等工学院，中途退学者辺りが，最高の中共インテリである。馬力数が同一であれば何相，何サイクルの電動機でも同じだと思つてる連中である。呼び出された日系技術者こそ良い迷惑である。始めは丁寧に，電動機の据付けを依頼して来るが「是も足りない。あれも不足だ。機械の種類が違う。」と指摘すると，彼等は之れを了解することが出来ないのである。1ケ月もぐずぐずして時日が経つと，果然中共政府に非協力であると言うので，直ぐ反動輩と銘打たれるのだ。旧社会の謳歌者だと弾劾せられるのだ。500KWの必需器機に200KWを送電して平気でいる人，50サイクルの機に60サイクルの電流を通して平気でいる人でないと，即ち工学的良心の無い人でないと，勤まらないと言う結果になる。

電気の事なんか何も知らぬ，兵隊崩れの日系工人などが却つて中共系工人と一緒に為つて，此の無茶苦茶建設に協力する事がある。そうすると其日系工人は中共協力者だと言うわけで大いに賞讃せられる。良心的工学者は全く途方に暮れる次第だ。然し，こうしたチヤンスには，日系仲間の団結を打破する楔打ち工作にも之れを利用している点が窺われた。

私が居た7年間は建設だ増設だと機器装備に熱中していた時代だから，中共工程師（技師）が聴きに来る事も求めて来る事も殆んと機器の据付けとその初発運転の実際上の事項が多かつた。コンクリートの所要量とか幾番線が適当であるかとか幾時間運転すれば焼切れるかとか，丸で工業1年生のような調査が殺到して来ていた。新器機が到着すると之れが組立ては大低日系技術者が受持つた。

一旦機械を据付けると，其後はどうにか，こうにかして必ず運転し始める。中共工人が色々工夫したり細工したりして，何んとか仕事を続けて行く。他人が組立てて動くようにすると，係り工人が，キヅト之れを動かして仕事をおつ始める。中国の素人工人の其の才能は認めてやつて良いと思う。勿論，基本理論なんかテンデ判らないのであるが，機器を動かして仕事を続けて行く実際手腕は，日系工人より早いようだ。然し，其の結果新考案だと言うて，能率を倍加した所もあるが，逆に機器をいじつて打ちこわして了う事もある。中共工人は亦その仕事に熱中せねばならぬような組合組織，社会制度（学習小組法に依る）になつてる。ボンヤリはしていられないのだ。

☆　　☆　　☆

中共は，一時「創意工夫」を国策として大いに奨励した事がある。私の処で電気分析をやつていた研究員が，電位を高くし，溶液を濃厚にして，操作時間を半減したと云うので表彰せられた。分析結果が，1瓦の1,000分迄精確に出す可き所を，此方法に依ると精密度が百分の1も怪しい成績となる。是れでは分析の主眼が没却せられると言うので，それを指摘したのであるが，研究所幹部（中共党員）は聞き入れない。中共工業は今，迅速組成が目標であるからと言い訳乍ら，表彰をやつて了う。

そんな方針だから，電気の機器なども，目茶々々にオーバーロードに扱うわけで，其の目前の成果さえ挙がれば後日如何なる悪影響があるか，機器がダメになるか等と言う事は顧みないのだ。経済使用とか精密作業とかは現在の中共では問題とはならない。それを言うものは，即ち工学良心のある者は変な眼で見られる仕末だ。殊に工業は国営か，半国営である故，機器が悪くなれば国家が新規に，費用お構いなしで購入して呉れている。其点は全くおかしい程だ。〝是れだけ生産を挙げ能率を増進したのだから，機器が多少悪くなつたとて認める可きだ〟と言う理由だ。夫れが工業常識であり工学良心なのである。

医者が手術をして悪い結果が表われると，業務上過失でなしに，刑法上の罪人として取扱われる。工人が機械を運転して，悪結果が表われても，利敵行為でないか？と，刑法上で取調べられる。而して理由が成り立たないと，殺人や泥棒と同一に，懲役にやられたり，殺されたりする。形の施行種目が，業務的のものと倫理的のものとの差別が未だ無いのだ。一例を挙げれば，此のモーターを昼夜打通して運転して生産を3倍にした方が良いと主張する工人団があるとする，其の結果，生産が3倍以上になれば表彰せられるが，若し万一，其途中でモーターが破損でもすれば，工業の業務上責任を問わないで，是は何所かの敵国と通じてやつた中共工業の破壊行為でないかと裁判所で取調べが行われる。其時友人に日本人がいたり返答がアヤフヤだと裁判は，殺人強盗と同じように，反動罪で断罪して了う。其れで一時新工夫，新考案に熱中した工人達も，2，3年前からは此の刑法処断を慎れて，表彰を望むよりも，保身術を心掛けるようになり近頃は無茶な創作的提案は急に激減して来た。又，大砲の弾丸を作る工場で大問題が起つたことがある。京大出の日系技師が弾殻の削取機の据付けを命ぜられた。電気の消費量は幾ら，コンクリート必用量幾トン，附属機は

何々と精密な設計書を提出した。処が中共工人達は承知しないのだ。工人の学習小組（隣組）は，組会議で電気は2分の1，コンクリートは3分の1，附属施設は2分の1で，充分だとその設計書を約半分量に削減したのだ。中共工人も，党幹部も経験乏しく，理論を知らなかつたらしい。

日系技師は中共資財を徒らに浪費する者として，唯1枚の設計書を出しただけて，北方の炭坑々夫係に左遷せられて了つた。中共最高幹部だつて，其の道の練達者は少ない。其に国家資材を節約すると言う美わしい名目の主張だ。反対なんかしては大問題となる。それで年功経験者は一応は怪しんでも，唯沈黙するだけで，其削減案がその儘実施せられたのだ。武漢から態々運んで来た古い弾殻削取機は凡て足りない材料で，据付けられた。その削減案を初めに主唱した工人は，工場完成と共に，労仂英雄，労仂模範に祭り上げられ，新聞雑誌に肖像が掲げられ，賞金をタンマリ貰い大した優待を受けた。

此工人は良くよくの宣伝屋だと見えて資材節約工事短期完成も，ステフアノ運動の一種で中共始めての新ステフアノ者だと威張つたものである。その内に8ケ月許り経過した。と俄然中共軍の方から苦情が勃発した。其工場（安東）でこしらえた砲弾が，大砲の口径と合致せず，発砲不能や，砲身内危険が頻発すると言うのだ。砲弾径に大小があるし，弾殻の削り方が，又不揃いで，大砲に装填しても間隙のあるもの，又装填出来ないもの等も現われたとも報告せられた。

電気の不足な力で削つたので，殻表面が粗雑になるのは当然だが，コンクリートを節約したので機械を支えているフアウンデーションがグラつき出したのだ。機械の運転する毎に削る度毎に削取機が動揺するのだ。砲弾毎に幾粍宛かの直径が違つて来るのは当然である。丁度，此時は中共軍が人民志願軍と銘打つて，朝鮮役に出征最中であつたから問題は一層花火のように拡がり騒がれた。軍は兵工部長の責任だと言うし，兵工部は兵器廠長の責任だと言う。兵器廠は，建設者の責任だと言う。トドの詰り，ワイワイ騒いで調べ詰めた所，最初の設計を2分の1に削減する事の主唱者は，労仂模範者として，又新ステフアノ英雄として，国家がモスコー見物に派遣中だと言う事が判明した。永久施設を設計し，其為め炭坑に左遷されていた日系工程師が呼び戻された。而して，其の修理方を命ぜられたが，是こそ，生命に拘わる設計である。吾々も勧めて病気と称し鞍山病院に入院して了つた。こうした生命がけの企劃や設計が，時々表われる。中共で仕事をやる事は全く工学的良心有る者にとつては，絶えず命の縮まる思いをさせられるのだ。其後弾殻事件は半ケ年以上も，新聞（官報と同じ）紙上でブスブス燻つていたが，どんな結末になつたか，吾々は知らない。是などは，中共工業界の実情を伝える，モデルケースの一挿話だ。

☆　　☆　　☆

満州製鉄の電気部長が私達と一緒に留用者として残留した。資格は総工程師（技師長）であるから給与は良かつた。一日，鞍山製鉄所の総経理（社長）から呼ばれて，電気の実際工事を頼まれた。5,000ボルトの送電線を鞍山工場に引込むのであるが，練達の工人がいないから，張線工事を直接やつて呉れと言うのだ。電柱に登つて張線などやる事は工人の仕事であつて技師のやる仕事では無いと判然と拒否の返事をしたら，直ぐ〝思想が悪い〟と言うので，半ケ年間の減俸に処せられた。総工程師ともなれば何んでも出来るのだ，時に依つては電柱に登つて電線を張る仕事位は身を挺して致すべきだと，彼等は思つている。之も中共幹部の工学的センスを示す良い例である。其後，5～6人の工人が之を引き受けて立派に工事を完成したと言うので表彰せられた。日系総工程師が出来ない難工事を，教養少ない工人が之を成し遂げたと，その表彰状に明記してあつた。

吾々日人にとつては，開いた口が塞がらず，「中共幹部は共に語るに足らず」と，陰口をきく外ない状態であつた。

要するに面倒で手に負えないモノ即ち，中共工程師が投げ出したものは，必ず日系技師の所え舞い込んで来る。之をやり遂げれば当り前であつて，ヘタをして拙く行くと責任を負わされ，失敗すれば刑法上の処罰を受けると言う順序になつている。日系技師者が帰心矢の如く成るのは当然である。工学的良心のある者が中共に使われれば誰でも「九丸で成つていない。吾々の居る所ジヤアない」と直感するのは当然の帰結である。

中共映画で良く謳われているように，従来のインテリ技師が，不可能だと断じて匙を投げた設計や計画を，工人達が寄つてタカつて，色々と工夫し遂に之を完成したとなると大した成功で「工人の勝利」と言うので，労仂模範に祭り上げられる。之が中共工業人のユートピアなのである。

中共は，1952年に農業立国から，工業国是に変革声明をやつた。現在，国内で一番偉いのは工人である。次ぎが兵士と農民であり，其の次ぎが商業人で，最後の階級が知識階級と自由業者だ。而して，国家の枢軸は共産党人に占められている。一党専制の非道い全体主義国家である。其れで，党人は一寸他からは窺われない位置に居り，それらしい態度をヒタ隠くしに隠しているので目立つて威張つているのは工人達である。電気工人であれば態々腰に，ドライバーや，ペンチや，ジヤツクナイフ等を，丸で軍人が短銃を吊げているように，皮バンドに差し込んだのを，ジヤラつかせて，意気揚々と大道を濶歩している。封建時代にお侍さんが大小2本を腰にして，威張つていたのを思い出す。大学構内を赤ネクタイをヒケらかして濶歩する或る種青年群と同じ感じを受ける。

それで近頃は中共の国民は，国民服を制定した訳ではないが，誰も彼も工人服を着ている。内地なれば，布団の裏地にしか使わぬ紺青色の木綿製中山服（ステンカラー）のを，男も女も子供も一様に着て誰れが工人で，誰れが百性か見分けもつかない状態を出現している。又考えると赤色革命で誰も彼れも貧乏線迄叩き込まれたし，中共の衣料工業が生活必需品の素布製産に追われて，未だ絹や緞子，朱子などの高級品を国民に，供給する程度に到つていない為めでもあるらしい。贅沢品は在るにはあるがそれは外人用であり輸出用であるのだ。冬ともなれば綿入れ中山服に綿入れ木綿外套を着て着ぶくれて濶歩している。此のスタイルが丁度中共の現代工業を象徴しているような感じだ。

☆　　☆　　☆

朝鮮戦争で豊満ダムと，鴨緑江ダムとが米機から爆撃せられた。中共政府は〝其の損害は微少である国民は安堵してその仕事に驀進せよ〟と声明したが，其の実害は多大なものであつた。

南満，北満一帯に亘つて工場の休止，ローソクの点灯時代が1ケ月余続いた。

豊満ダム 70万KW 鴨緑江ダム，70万KW の発電力を，鞍山にいて推察すると，1953年迄は，その3分の1位しか回復しなかつたと思われる。

一旦爆災を受けると，満州駐屯軍や北支軍に動員令が下つた。復旧工事には，兵隊さんが乗込んで来た。工兵隊であろうが，歩兵隊であろうが戦車隊であろうが，兵種なんか問わない。セメントと残骸鉄筋で，約1～2ケ月位かかつて，どうにかこうにか送電が開始せられた。タンクが本渓湖と鞍山の間に進駐して来て変電所や倒潰電柱をドンドン修復して居つたのを目撃した。其後鞍山に送られている電気は，以前の2～3割位に限定されたのは事実である。それ迄鞍山附近の製鉄所社宅の電灯は自由使用であつたが，爆撃後は奉天政府の命令で大節電を強制された。街燈は消され，就眠時には必ず消燈するように指令され，各家庭でも20W以上の電球は使えない事となつた。製鉄所でも朝早く出勤して，夜は早く帰るようとも制定せられた。隣組（生活学習小組）の係員が時々廻つて来ては，各戸の電灯検査をやつていた。一方又そうした制令の徹底は全く見事なものであつて，一旦政府がこうと極めたら，国内に一人の違犯者も無い程厳密な徹底が行われる。内地のように，自由主義が横行して何一つ徹底せず気の利いた批判ばかり横行してるグータラの民風とは雲泥の相違だ。勿論，禁令を違犯したとなれば罰金とか，2～3日の拘留などでは無く，思想犯として検挙せられ，常々の行動がおかしいとなると，銃殺になるのだから油断も隙もあつたものでは無い。

満州の電球はマツダ電気の奉天工場が復興せられて，盛んに製造せられている。生産向上だけを厳しく言うので，20W電灯が果して20Wの光輝を出すかどうかは論じない。私は研究所勤めであつたので，研究の必要上照光の正確な光度が必要であつた。ルンメルンの光度計を真似て，原始的方法で光度を測定した事があるが，10Wや20W.の電灯は大体1～2%の差で合格したが，百，2百の大Wの電灯となると，20～30%の光度不足を示していた。でも，電灯硝子に100Wとマークしてあれば，その電灯はどこ迄も100Wであつて96Wでも85Wでもないと断定せられる。現在中共の工業は「量」を問題にするが「質」は問題外なのだ。「良質」と言うことは今後の懸案であるらしい。電球の蕊なんかも切れ易い。市場に行つて見ても，古球でも，マツダとか，ウエスチングハウスのものであればワツト数が小であつても仲々高価だ中国製では上海ものが1番高く奉天製は一番安いと言う現状だ。彼等も，その値段程度に信頼している事が判然する。

古くから満州にいる中国人は，日人を優秀民族として尊敬している。信頼度が多大である。殊に電気関係の満州人は，その度が高い。之は満州の電気の技術者や工人殆んと日人に仕立てられた人々であり，日本書で教育された人々であるからだ。自分の躰に着けてる智識や技術と言うものは，全く日本に依存していたからである。其所へ行くと中支や南支から満州に渡つて来た中国人は，日本の技術を知らず日本の電気智識を

知らない。又日本技術者の手腕や力量にも接した事がない。其故，中共政府の方針通り，日本の智識や技術を甘く見ている。却つて上海あたりで覚えて来た米国工業至上主義を心中深く蔵している。何かと言うと満州の地方条件を無視して，米国の工業標準規格書（A,S,M,T）などを引張り出して，之を金科玉条としている。然し表面上，米国工業のやり方に依つて，それを基礎とした設計や計算をやつては，国策に反する。そこで，此の米工業信頼をヒタ隠しに隠し，ソ聯の専門書の1～2頁を字引きと首引きで調らべ，ソ聯方法はこうであると大綱だけを略述し，実施措置に就いては，米国工業式型を述している有様だ。それ故，実際的に施行すると，日本が満州でやつていた方法が，一番良いと言うことが判明するには1～2ケ年を要する結果となる。如何に，米本国の冶金法や，精練法を満州で実施しても，大陸の鉄鉱や，大陸の資材では，米国式の成績が表われず，日本でやつていた成績が表われるのだ。其所へ行くと，日本文の技術書は，例え日文を知らぬ中国人でも，之を略観すると，大体のコツが呑み込めるらしい。同文のお陰である。それに専門技術語は，殆んと日本のものを採用しているからだ。鞍山製鉄の技術者は，日本技術の欠点を口で言い乍ら，その技術内容の80%迄は日本技術に依存して，即ち日本技術を基本として其の仕事を進めていると言つても過言では無い。唯残念に思われる事は，満州に残存している日本の技術書は大低1949年位迄の古い書籍だけである。日本貿易が途絶しているのでその後の本は，満州迄は入つて来ない。戦後刊行された新技術書が中共に輸入されたならば，日本技術の信頼は一層高揚せられると思う。米国の技術書や技術雑誌は，半ケ年位遅れて，何所からか盛んに満州にも入つて来る。それ故中南支の中共人には，米国のそれが一段にも，二段にも，米国が進んでいるような印象を与えている。

中日貿易が，開通すれば，日本の新刊技術書と言うものが，中共に広大な市場を持つことゝなるだろうと思う。再言すれば

中共の専門技術語は殆んと，日本のそれを無断で借用しているのが非常に多い。科学方面などは，全部と言つて良い程，日本の熟語で固まつている。工学上でも通俗語の方が，却つて，中国語独得の訳語を持つている。

然し，中共政府が，如何に日本を敵視したり軽視したりしても事工学や科学や電気に関しては，其の根底に於て，先ず，日本の工学や，技術が踏襲せられているのが実状である。

〝中日同文〟と言う条件が日本技術を中共へ知らぬ間に，彼等の自覚しない儘に浸透して行つている。毛沢東や周恩来の主席連は，全く気付いて居らなくとも日本の科学，工学，医学等は現在中共の基礎を形成している。郭沫若副主席が日本夫人と20年も日本で生活をやつたものだから，郭副主席の発表する論文や作品には，何所と言うわけもなく，日本式のものがあるのだ。郭副主席の根底には日本があるのと同じである。

☆　　☆　　☆

中共の工場には大低各部署毎に独立した修理工程隊（修理班）が所属している。

中共には復雑な機械や，精密計器を作る工場が未だ少ない。イヤ殆んと無いと言つて良い。満州でも，機関車，発電機，電動機，変圧器等の精巧な機器を作つている所を聞かない。其れで現在使用している機器類は，皆日本が満州経営時代の置捨てモノ許りだ。其れを能率増進一点張りで，無茶苦茶に駆使しているから，故障が続出する。其所で，当然修理と言うことが重要になつて来る。鞍山製鉄で言つても，製銑部，製鋼部，採鉱部，化工部，研究部等々の各部に修理隊が各独立して附属している。何時でも待機の姿勢にあるから一寸機器に変な所が表われると，直ぐ修理隊が駈けつけて修繕する事になる。茲10ケ年や15ケ年後に到ればどう言う結果になるか寒心に堪えない。

中共の重工業部軒部は，既に之に気附いて心痛しているのか，時々〝機器愛護〟を高唱し，その保存方を高調している。然し，未熟練工が機器の運営を実際的に司つているのだから，仲々其効果は挙がらない。10年後15年後に至つた時，基本機器が損耗して保存期限が切れて了う。その10ケ年15ケ年間に，之を新造する工廠が中共には出来上がるとは考えられない。

中共は，工業国是を叫んでも，真の工業立国になるには，是れからである。工業智識，精密機器製造，新機器の運営熟練と，工学的，科学的基礎培養が大変であると思われる。

唯，工業国是の方面で発達しているのは，人事方面のことだけである。

労仂組合とか工人組合とかの組織が完成せられているし，又厚生なんかも大部発達している。ストライキは国禁であるし労仂時間は8時間であるが，その外に朝1時間の政治学習と帰り1時間の業務学習がある。実仂学習を加えて正味10時間である。それに不平なんか言おうものなら大変なことになる。それ故中共の工業立国は人事方面から完遂されて行つていると思う。

新らしい機器を購入するとなると，大低ソ聯製である。ソ聯製と，一概に言つても，メーカーのネームプレートを見ると，多くはチエツコ製である。モーターもトランスも，真空管も良いものは殆んと，チエツコ製である。其の値段も，又馬鹿高い。天秤1台が1億元（日本1円は中共80元位のレートだ）位のが輸入せられる。

中共の工業は国営であるか，半国営（運営は組合がやり，利益や分配は国家が指示する）である。其故，使用機器や資材が幾ら高くとも，購入の経費は国家が支弁する。それ故，購入となれば一番高くて，一番良い機器を買うことになる。費用お構いなしと言う風が見える。其故，レントゲン装置1つで10億，20億と言うものを買い込む。未だその使用程度に至つていない光譜分析器とか，ミクロバランスなどを買い込んでから，そのオペレイシヨンが出来ず，組立てや使用方法を良く日人技師に命じて来る。

満州の空には飛行機が良く飛んでいる。皆ミグ機である。此ジエツト機もソ聯製であり，指導官もソ聯士官である。満州の大豆と交換して，ソ聯からミグ機3台を買つたと新聞等にも見えていたが，そのため大豆を幾らと交換したか判然せぬが，大豆列車2，3編成して送つて飛行機3台さと，満州人が語つていた。豆どころの満州に豆が，何所の店頭からも消えて無くなつた程，多量の豆を輸出して漸く入手したらしい。1953年の春には，実際満州に大豆がなくなつたのは事実だ。

コークスに就いても，同じ様な経験がある。鞍山と霊山（鞍山の北隣駅）の両駅の間に延々と，山の様に置かれた小塊コークス（製鉄には不使用）が，約1ケ月半の間に，ソ聯に全部移出せられて，カラつと元の草原になつて了つた。巷間の噂に依ると之はタンク幾台かと，交易したのだと言つていた。

中共は，非道い，国家至上主義，愛国主義を人民に要求している。その為め，地方民が酷寒の厳冬に，薪炭不足で多少困つても，国家が必要であり，共産党が決議をすれば，コークスなんか無くなつても，喜んで耐寒生活を送るのだ。国に10台のタンクが増加すれば，一冬ブルブル震えて暮らす事が，彼等には光栄だと言うのだ。イヤそう言わせる様に，学習（隣組）組で指導しているのだ。飛んでもなく，馬鹿高いものを買うことは中共の人々には平気なのだ。値段は吾々の主人中共党員が極めてくれたのだから，勿論妥当なものさと言うのだ。

☆　　☆　　☆

〝中共の電気，体験〟を語る積りでいたのに何時の間にか脱線して了つた。中共の労仂組合，工人クラブ，会社運営，等々言いたい事が胸につかえていたので，ツイこんな結果になつて，お申訳が無い。でも，唯一つ最後に申上げたい事がある。中共視察者が，帰朝談として伝える所は，多くは〝中共は工人の天国だ，近代国家として着々発展している〟と言うことだ。

中共の1工人として，労仂組合に属し，丸6ケ年と幾ケ月その裡で生活して来た私にとつては，此の帰朝報告が，半分はチトおかしく感じ，残り半分は真実であると言う風に感じる。中共生活には精神生活は無い。常に2重3重のスパイに悩まされる。家庭も，環境も打毀わされる。生活も決して楽ではない。食つて着るのがセイゼイの程度だ。私が満州製鉄の技師や，工人の一部分の人々に就いて抜き調らべをやつた生活調査に依ると，エンゲル系数が63%平均と出た。日本の国家統計に依ると，そのエンゲル系数が，47%平均だと言う。中共の模範工場の鞍山製鉄の人々の生活が貧棒線を既に突破しているのに，日本のサラリーマンの生活は，未だ貧棒線を突破せず，浮沈の堺目にあると言うのだ。日本の方が生活がずつと楽だと言う結論になる。

日本に引揚げて来て，吃驚したのは先ず第1に国民の国家忘却である。

自己の利益，自己の権利は極力主張するが国家が，どうなつても良いとしか思われない行動者が多い。教壇と教育を忘れた先生達，階級だけに忠なる一部の人々，党にのみ熱中する一部の人々，貞操を忘れた一部の女達……皆国家や社会が眼中になく努力はせず，督励は致さず，自己々々のみに終始している人々のなんと多い事よ。日本の国民が，1粒1粒の砂になつて，国家を無視していては，将来の日本国と，日本民族はどうあるであろう。砂1粒では岩にも，石にもならない。

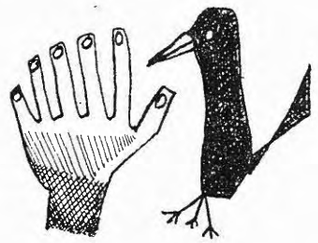
其所へ行くと，中共は4億8千7百万民が一党専制で，アンデサイトのように凝り固まつてる。技術は知らなくとも，知識は無くとも，工業や農業に無茶苦茶に奮闘しているのだ。1日10時間以上仂いて国力充実を図つているのだ。日本の直ぐ隣の塀垣の裡にはこうした，無茶な努力家が筋骨を鍛錬してい

るのだ。吾々が春草池塘の白昼夢に酔つてるのに，ガムシヤラな強人が，刃を磨いでいるのだ。10年，20年の後，吾々が夢を醒まされた時，吾々の運命はどうなる……只工業的見地から見ても，その運命は判然しているのだ。

夜半の静思が楽るゝのは，引揚者の老翁のみではないであろう。

（本店嘱託）—（30.4.5）—

集金日記



千葉昌蔵

◇郡部集金行

2月24日，木曜日，〔雪〕

吹雪を衝いて，吾輩を乗せた汽車は驀進する。小岩井を過ぎるあたりから，吹雪は愈々激しさを増して，窓外は全然視界が効かない。早春とは言え，此の地方は未だ尺余の雪に閉されている。零下10度はあろう。

ダルマ，ストーヴ——それも恐ろしく燃えにくそうな奴——が，真中程にデンと据えられてはいるものゝ，一向に燃えそうもない。煙突のある古風な汽車が白銀の世界を突走る光景は，如何にも牧歌的の様だけど，強風を喰う毎にギユーギユー悲鳴を上げては，物凄く振動すると，乗つて居ても気が気でない。

運の悪い事には，丁度その焚口の前の席に坐つたもんだから，燃えが悪くなろうものなら，まるで吾輩の責任でゝもあるかの様に，辺りの乗客は，一斉に吾輩の方をジロジロ見る。いやはや，此れにはさすがの吾輩も，いさゝか困り果てゝ了つた。

終着駅である雫石に降り立つと，先ず吹雪の物凄さに度胆を抜かれて了つた。体をえびの様に曲げて，眼はまともにあげられない。呼吸するのさえやつと，いやはやとんだ日に来たもんだ——と吾ながら弱音を吐いて了つた。

駅から20分とかゝらない散宿所に着いた時は，まるで2時間も歩いて来たみたいに，足が棒になつていた。集金のKさんから，これから行く部落の場所を聞き，領収証の綴りと釣銭を貰つて，再び吹き荒ぶ雪の中を目的地に向つた。

なにしろ，生まれて初めての仕事だから，不安でたまらない，それでも親切な同僚達から色んな注意やら心構えを教わつて，どうやら俄造りではあるが，一人前の集金員ぶつた顔をして，初の集金行に旅立つた次第であるが，目的地が近づくにつれて，神経が妙に高ぶつて，心がどうにも落着かない。

「あせるな，もつと落着け，みつともないじやないか」と自分に云つて聞かせてはみるものゝ，吹雪といゝ，未知の土地といゝ，不慣れな仕事といゝ，何一つとして心を落着かせる材料がない。

さて，一時間位も歩けば，Kさんの話しだと，目的地に着く頃なのだが，それらしい部落が，未だ現れて来ない。とすると道を間違つたかな。何にしても心許ない事夥たゞしい。

正確に云えば，御明神村字岩持部落が吾輩の目的地である（大体葛根田発電所の近くと云えば大凡の——どんなに偏僻な所か——見当がつくと思う）が，行けども行けども人家らしきものすら見当らない。

とも角，最初に目に入つた農家に飛び込んだ。

「ご免下さい。一寸御尋ねしますが……」

50がらみの女の人が出て来た，やれやれと胸を撫で下ろしたのも束の間，瞬く間に安心感がフツトンで了つた。

「アイヤ（アレツという意味の方言）オメハン（貴方）岩持つて云つたら，アツツの方だえ……云々」

云われてみれば確にそうだつた。葛根田川を渡つて右へ曲る道があつた様な気もするが，吹雪の為視界が効かないので，素通りした訳である。泣き面に蜂とはこんな事を云うんだろう。

11時近いが，150枚もある切符は未だ1枚も切れていない。滅法心丈が焦るものゝ，といつてどうする術もない。兎も角領収証の順でなく行き当りばつたりに歩く事にした。

「こんちは，電気会社ですが……」

「……？」相手は此の見知らぬ異様な男の出現に驚いたのか，不審そうに吾輩を見つめる。それも無理からぬ事で，雪だらけの男が，だし抜に電気料なんて云つたつて，何んの事か分る筈もない。

幾分吾輩も心が落着いて来たので，こうこうしかじかとその訳を話すと，相手はやつと納得したらしく，ケラケラと笑い出した。

「ハアー電気会社の人ダスカ，オラア又物売りでもオデンスタ（来たという意）がと思つたベナハア，ビツクリしたジエー」

物売りと間違えられて，吾輩も苦笑せざるを得なかつた。そんな時此の地方で使う言葉がある。

「ジエジエジエ（いやはや）申し訳ナガンス」宮城県人である吾輩のその言葉は，だがナマリがどうも怪しい。

街の様に，家並が揃つているのなら未だしも，あつちに一軒，こつちに二軒と，まるで兎の糞の様に点在しているので，不便な事おびたゞしい。それに2尺の雪が，近道するのを拒んでいる。巾が2尺とない小道から足を踏み外そうものなら，怪我するとも限らないので，注意深くゆつくり歩くより仕方がない。

だから隣家が見えていて，滅法時間がかゝるのには閉口した。「直ぐ隣りだス」なんて云うのを真に受けて行くと決つて失望させられる。

寒さのため，指先がすつかりかじかんで了つて，釣銭が思う様に数えられないのにも全く弱つた。なにしろ定額でも従量でも，何拾何円が必らずと云つていゝ程つくので，その都度1円札を支払う事になるのだが，よれよれの1円札を，かじかんだ指で数えるのは余程の努力を必要とした。1円札なら間違つても大した事もあるまいと多寡をくゝつて，一度しか数えない事にした。2枚を1枚に間違う事はあつても，1枚を2枚に数える事はよもやあるまいなんていう日頃の怠け癖がそうさせたのである。

150枚の切符が10も切れない中に昼になつて了つた。

有難い事には，何処に行つても，快く払つて呉れるし，こよなく親切であるし，かてゝ別れの挨拶が又実に気持がいゝ。

「オアリガドゴザンスウ，大事に行きムシエヤ」アクセントの強い一種独特なリズムを持つていて，堪まらない程の抒情を湛えている。

頬の真赤な，如何にも健康そうな娘に道を教わつて午後の日程に入る。何んでもこゝから奥は未だ大分あるというので，比較的人家の密集した所迄引返す事にした。

成程2，30軒がある所を見れば，此処は部落の中心地という事になるのだろう。喜び勇んだ迄は良かつたが，失敗許りしでかして了つた。

なにしろ同じ様な南部曲家なので，アツチ廻りコツチ廻りしている中に，同じ家を2度訪問して了つた。

「アイヤ，オメハン，さつきの人ダエ……」

「ジエジエジエ，初めてだからナス，サツパリホデクテねぐなつて……」ホウホウの態でその家を飛び出す。此の寒さに腋の下に汗が流れて来た程だつた。

そのあとが又いけない。狼狽した後なので次の需用家に行つた時，貰つた電気料をガバンに蔵はないで釣銭丈を置いて来たらしい。済ました顔で隣りの家に居ると，先刻のおかみさんが何やら叫んで走つて来た。

「アイヤまんず此の人つたら，金も受けどんねで，いづのまぬが，オゲエレツテ（帰えつての意）しまつたズ」

成程そう云えば，金を蔵つた記憶がない。只もう平身低頭，旅の恥は掻き捨てどころではなかつた。

此の親切がなかつたら，千円の弁償という事になつて，吹雪の中を，それも泊りがけで無料で歩いた事になつた訳だ。勿論吾輩は貰つた積りなのだから，相手が黙つていれば，それまでゞ済む事丈に，余計その親切が身にしみた。

カバンからポケツトウヰスキーを取出して，御礼しようとしたら，やにわに馳け出して行つて了つた。

失敗は一度しだすと，次々と起るから奇妙だ。どこでどう間違つたのか，十軒も歩いた後で，切符の間違いに出合わした。

面白い事に，此の岩持部落は，大半が岩持姓を名乗つている。それに名前迄もが非常に似かよつている。

だもんだから吾輩はそれをあつさり考えて，単なるアドレスの間違いだと早合点して，甲の切符を乙の家で切り，乙の切符を丙で切つた訳だ。

いやはや此れには参つた所か，自分で自分をあきれて了つた。冬の日は暮れ易く，かくして予定の1/3も終らずじまいに，引上げなければならなかつた。

「明日又，オデルより，今日は俺の家さ泊つていげジエ，なにもこんな吹雪の中を，わざわざオゲレル事もナクオデルに（ないのにの意）」

親切に云つて呉れる老農夫の言葉を，無下に断つて，吹雪の道の帰りを急いだ。

1時間以上も歩いたろうか，行きずりの人に雫石迄の距離を聞いたら，なんと雫石とは反対の橋場村の方へ歩いていたのではないか，一生懸命になつて雫石から遠ざかつていた事になる訳だ。誠にオメデタイ限りである。

吹雪と失敗と苦痛の一日だつたとは云え，田舎の人の温かさが，それを補つて余りあつた事丈で，初の集金行の収獲は大きい——そんな負け惜しみを，吾輩に

云つて聞かせながら，今来た道をとつて返した。

◇ 市 内 集 金

3月31日，木曜日，〔晴〕

未収整理も，十日も歩くと，正直の所早く終つて呉れればと思わないでもない。

仕事そのものは至極簡単なのだが，精神的に参るからだ。そんな馬鹿な——と，吾輩も多寡をくゝつてはいたものゝ確に今度という今度はすつかり参つて了つた。

もともと吾輩の本職は，調定兼検針だから集金という仕事に慣れないせいもあるかも知れない。併しその不慣れを認めた所で，此の未収整理つていう奴丈は，むずかしいし又つらい仕事だ。慣れゝば慣れる程つらくなる仕事は，そうざらにないと思うが，此奴はそういう稀な仕事だと慣れるにつれて考える様になつた。

さて今日はその千秋楽に当る。60何枚かあつた切符が，こゝ10日の奮闘にも拘らず半分も残つている仕末だ。そして此の半分が実は最初から悩みの種だつたのである。

大体2ケ月以上も遅滞する需用家には3つのタイプがある。本当に金がなくて払えないものと，あつても都合が悪くて延び延びになつた奴と，あつても土壇場にならないと払わない狡い奴，1と2はそれでもまあ比較的同情出来るのだが第3は此は一筋縄では行かないしたゝかものでし集金泣かせ」と集金さん仲間では云つているが，こんな奴に出遭したらオシマイである。

それには唯一つの方法，何十遍と欺され，無駄足を運び（勿論これは手で，相手の欺ましにまんまと引かゝる風を装う事が秘訣だが）最後に，御約束だと，有無を云わさず切る振を（此も大事だ）する。まあ狡いものでも大概のものは，此の辺で渋々支払う。こゝで支払わないとなると（切つた所で）少々厄介な問題となつて了う。だからそこ迄行かない様に，細心の注意を払つて，事を運ぶのだが，その苦労が並大低ではない。皮肉な事にそれにこんな需用家に限つて金額が多かつたりして，集金成績に影響するから，厄介な事オハナシにならない。

扨て今日という日は29年度の最後の日であると同時に，未収整理の千秋楽日でもあるので，何としてゞも吾輩の受持枚数を消化する必要に迫られた。勿論強引にという手もあるのだが，努めてそんな非人情なやり方はとりたくない。談笑の中に愉快に(？)事を済ませたいのだ。こゝに集金人の人知れぬ苦労がある。

だからといつて，相手の都合許り聞いて，ハイソウデスカなんて許り云つていた日には未収整理運動をやる意義がなくなつて了う。

今日は夜迄かゝるものと，半ば諦めて，残つた16軒に最後の話合いに出掛ける。

弥生の空は綺麗に澄んでいて，春風が快く顔をかすめて行く。ズツクの鞄を肩に掛け，いかにも他目には，呑気そうな顔をして歩いてはいるものゝ，心中は甚だ穏かでない。

これが，最後の警告を発しに行くのでなければ，どんなに気持がさつぱりしていゝだろう。道々そんなはかない願いを独白しながらも，心は次第に緊張して行く。

A需用家，定額で2ケ月未納，金額はたつた435円，一見してみるからに貧しそうでめぼしい家具もない。近所の話しに依ると亭主が呑ん平で，日雇の癖に酒ばかり飲んでいるという。子供が可哀想な位血色がよくない。し今日の3時頃迄には何とかします，それ迄待つて下さい」そう懇願されると，人情として何も云えなくなつて了う。

し宜敷御願いします」傍らの子供の頭を撫でながら，ポケツトからキヤラメルを取出して，その子供の掌に握らせると，急いで飛出した。恐らく3時になつても払える見込みはないのだろう。電気をストツプされたら，それでなくとも暗い生活が一層暗くなるだろう。それに子供が可哀想だ——色んな悲惨な光景が浮んで来て仕方なかつた。

O需用家，2ケ月で3万円程の未納それも8畳1間の併量需用家だから先ず驚く。白粉口紅でけばけばしく化粧した45位の女と，その女よりは若い男の2人住い，何やらいわくがありそうだが，それよりも本職の集金の方が大事なので，一先ず好奇心を押えた。

女の云う事では，保険の外交をやつている関係上不在勝だつたので，こんなに電気を使つているとは知らなかつたと云う。3万円はとても払えないから待つて呉れと盛んに云う。吾輩にしてみれば，とうの昔に停電予告も発しているし，5度もたつての願いを聞いているので。今になつての話しには乗れないと強く出ると，今日は払う積りだつたのがどうしてもいけなくなつたという。外交員をしている位だから弁舌はいと爽やかだ，今日の日附で約定書まで自分で書きながら，自らその約定を破る事の非に，さすがの吾輩も気分を害して了つた。恐らく切る事になるだろう。1万5千

円の給料取と自分で云いながら，電気レンヂやら電気ストーブやら月1万5千円の電気を使うその人達の心理は，吾輩の頭では分りそうもない……。

Y需用家，印刷会社で，同じく2ケ月分4万円の未納，専務これが又有名な狡かつな人で，約定を破るのも平気なら，呼出しをスツポカスのも平気という大人物だ。印刷の方も左前で苦しいらしく，電話はもう大分前から停められている。彼の云う事が振つている。電気料を貰いに行つた日に，政治，経済論を一席ブタれて閉口したのだが，電力会社はスベカラく中小企業を殺すような事丈はやるべきではないなんて事も云つていた。どうも常識では考えられない様な事を云う社長さんだ。吾輩も学校で経済を専攻しているので，経済については分らないでもないのだが，彼の経済理論は遂に分らず了いだつた。兎に角吾輩ごとき末輩でなく，課長と話し合いたいという事で物分れになつた。

まあこんな例は稀で，大部分は生活に困つてとか都合が悪くてという様な，情状斟量出来る人達なのだ。確かに本当に困つている家の電気を停めた所で，どれ程プラスになるだろう？そうなると人間の誠意の問題になつて来るのだが，会社の規程はそれとして，善良な貧しい人達が，悪質な未納需用家と同一に取扱われないで済む様な，何かゞ欲しい様な気が痛切に感じられたのは事実だ。

勿論買つた品物の代金を払わないという点では，同一なのだが，払わない或いは払えない何かの理由といつた面からして，違つて来るのは当然だからである。

或る未納需用家から，あの非情な税務署ですら長く待つのに民間会社の電力会社が，たかゞ2,3カ月待てないという不都合な事はないと，吾輩ネヂコマれたが，遂にその人（生活協同組合理事長とかで労農党岩手支部幹事と貰つた名刺には書いてあつた）は，お前の様なチンピラでは話しにならないと云つて，所長の所へ行つて了つたが，払う意志がなく，只へ理屈丈で自己を通す者も沢山いるのには参つた。16軒がどうにか6軒になつた。中3軒は上長との話合で，4,5日待つ事になつたらしいが，此の3軒が実は最も悪質で，且つ常習犯なので，吾輩としては，自分で公正に処理したかつたものだつた丈に，残念でならなかつた。

残つた3軒はと云えば，気の毒なAとB需用家，それに面倒なO需用家だつた。

AとBについては，その区域の担当集金さんに怨まれる事を覚悟で，1カ月分を貰つて切らないで済ます事に決めた。

Bはそれでも払えたから良かつたのだが，Aはその1カ月すら払えない有様だつた。これには窮した。出来る事なら吾輩が立替えて払つてやり度い程だつた。そうでもしなければ切らずに済ます理由が立たない訳だ。

血色の悪い子供が，無心に遊んでいる。涙を流して，切つて下さいとつぶやく様に云う。黄昏が近ずいている。一番つらい情景だ。

それとひきかえ，狡く立廻つた3軒は今頃ホクソ笑んでいる事だろう。恐らく来月は3カ月が滞つて，又々集金さんを苦しめる事だろう，何んとしても心外でならない。

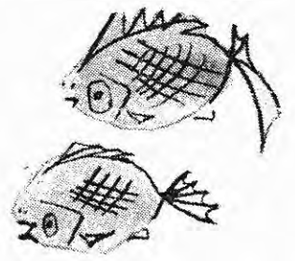
31日が事もなげに過ぎようとしている。吾輩も今晩からは，頭を痛めないでぐつすり眠れる事だろう。

8時頃Aの前を自転車で通つたら，ガラス戸に人影が映つていた。あの子供はもう寝ている事だろう，いつもと変らぬ様に……。

切る理由が成立して切つてはみたものゝ，O需用家の暗くなつている部屋の前を通つた時は，余りいゝ気持がしなかつた。暗い部屋の中で，どんな立派な御馳走を食べようと，おいしくない苦い経験を吾輩は知つているからだ。自分で切つておきながら，早く点く様にそんな期待を寄せずにはいられない此の吾輩の胸の中の複雑さは，たえようもなく詫びしい。

割切つて考える事が正しいのかも知れないが，割切れない所に集金の人知れぬつらさがあるとも云えそうな気がする。（盛岡営業所・営業課）

胃 潰 瘍（2）



尾 形 宗 治 郎

(4) 本当の胃潰瘍

孔子は，四十而不惑，五十而知天命，と喝破された

が，私は50にして不惑どころか，まだまだ惑の惑である，60にして不惑になるだろうかどうかをあやぶんでいる。従つて天命を知るなどとは70を越してからだろう。尤も近頃の医学は非常に発達して10年以上は延びたのだから，長生き出来れば70にして耳順位になれば大成功だと考えている。

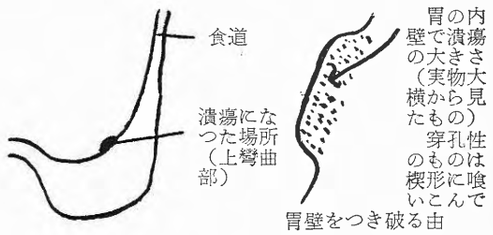
処世哲学は偖て措いて，よく40腰，50肩と云い伝えられている。これは痴人の囈語とばかり云えない節があると思う。これも最大公約数なんだろうから。と云うのは私も腰が痛くて2,3日休んだことがあつた，神経が病むわけではないが痛い，医師に診察してもらつたら「お幾つですか」ときた，「39です」と答いたら「はゝん」と首肯いて「2，3日休んでいりや何でもありませんよ」との事だつた。また50を超えてからと云うものは，急に右肩がこつて仕様がない。元来私は肩のこりなど覚えたことがなかつたのだ，風呂屋の番頭さんに流して肩をポンポンやられるのが痛くて仕様がない位で，未だ嘗てアンマさんにかゝつたことがないのだがこゝ1，2年胃腸障害からかどうか肩の凝りを覚えてきて子供達に叩かせることもある。若し医師にでも診察してもらつたら「歳ですよ」と笑われるだろう。私の体は「40にして腰50にして肩」の標準型だと評価している。勤務時間中，首を仰向けにして天井を仰いだり，また，首の回転運動などをしたりしている。前号で書いた胃炎を患つてから数年，格別薬とて飲んだことがなかつたが，恰度昭和27年6，7月頃だつた。胃が何となしに痛い感じだつた。よく胃潰瘍は空腹時に痛み，十二指腸潰瘍は食後2，3時間後に痛むと云われているが，私の場合は終始して食前食後を問わなかつた。痛い場所は俗に謂う鳩尾のところだつた。別段吐き気や胸やけがあるわけでもないし，口から奇麗な水が湧き出るわけでもなければ，酢つぱい水が出るわけでも勿論ない。その痛さが不知不識の間に次第に嵩じて来たのだつた。大したこともあるまいと初のうちは多寡をくゝつていたが，段々歩くと痛さを増すことを覚える様になつた。その頃私は角五郎丁の社宅から本店分館迄往復とも歩いていた。朝などは広瀬川向いの進駐軍の8時のサイレンを合図に家を飛出し，澱橋，中ノ瀬橋と風光明眉の広瀬川を二度も渡渉して，西公園を横切り広い広瀬通りを東に向つて進むと27分で分館裏門に着く。だからこんな辷り込み方なので出勤途上知人にでも遭おうものなら「お早う！」と一声交わすだけで，立停つて話などしていたら早速遅刻だ。勿論前号で書いた様な出勤途上に於ける不仕末などのない云わば無事故の朝であることは云う迄もない。今でも記憶しているが8月の子供の夏休中だつた。国分丁の丸善まで教科書を買いに子供と一諸に出かけ，中ノ瀬橋を渡つて急坂にさしかゝつた時だつた。前から多少痛んでいる胃痛が高まつて来て，そこで2，3分立停つて我慢していた記憶がある。当時の痛さは小休止したつて痛みは止まるわけではなく，多少落着く程度であつた。

こんな胃痛は約3ケ月も続いたろうか，医師の投薬にも増して痛みは次第に上昇して行つた。それは9月半頃であつた。偶々東京出張なので5日分の薬をいただいて出掛けた。ところが会議中どうも痛い。薬を何ぼ飲んでも効き目がない。寮に帰つてからは横になつてゝも相当痛い。翌日の会議などでは水と薬ばかり飲んでいると云つても過言ではない位，もらつて行つた5日分のお薬は3日位で飲んでしまつた。みんなが東京の専門医によく診察してもらえと勧めてくれたが，私としても，どうもこの痛みは悪質の様に思えてならないので，若し直ぐ入院しろなどゝ云われたらそれこそ大変だ，大急ぎで帰るに如かずと，用務を終えると匆々に引揚げて来た。

翌早朝「胃潰瘍の様ですね」と宣告された。それから大学病院での胃液検査とレントゲン撮影を型の如くすまして，翌日の出来ばえ如何にと待ち構えた。

その頃の痛さは，分館から本館迄の通路で痛さの為に1，2回夫々1，2分位宛立停つては休み，また静かに歩いては停つたりしたこともあつた。

翌日の結果は前の宣告通り正真正銘の胃潰瘍で医師も驚く程の大きさだつた。そして胃液の方は胃酸過少の甚だしいものだつたそうだ。御参考迄に素人の目に映じたのは次の様だつた。



胃潰瘍は深酒の人がかゝるので，私の様な下戸はなりつこないんだとばかり思い込んでいたのが悪かつたのだ。私も余つ程バアだつた。

その後同病の先輩連に聞いて見ると寧ろ飲まない人の方が多い様に思われた。レントゲンの写真で説明されたとき，私が真先に質問したのは「手術しますか？」と云うことだつた。医師は「いや然し今日から絶対安静にして，家で毎日注射してもろうことが出来れば入院しなくてもよいだろう。3週間位経つたら又撮つてみましょう」とのことだつたので，翌日から会社も休ませてもらつて，一切を医師に託し，雨の日も風の日も毎日会社のお医者さんか看護婦さんに来てもらつて，静脈と皮下に注射をしてもらい，内服粉薬もいたゞいて，すつかり重病人級になつた。

(5) どんな手当をしていたか

近頃非常に効く薬と云われているバンサインは酸過多にはよいが，私は過少なので用いなかつた。注射薬はユモールやガスターミンやヴイタミン等で，日曜などを除いて半年間は一日も欠かさず打つてもらつた。あとの半年も出来るだけ休まずに打つてもらつた。

私は3ケ月後に漸やく出社し得る様になつたのだが，当初は入院以上の安静，手当が出来るので家庭療養を認めてもらつたのだから，また一面私としても，まかり間違えば死を招くことになるので覚悟の程もきめた。9月27日から絶対安静の療養生活に入つた。食事もすべて布団の上でとり，寝床を離れるのは大便の時とお風呂に入る時だけだつた。幸いお風呂はよいとの事だつたので楽しみだつたが，入つても極く静かに洗い流す様に気を配つた。

堅い本は駄目だとの事だつたので，新聞は寝た儘で隅から隅まで楽しんで読んだ。

煙草は寝た日から一時中止した。と云うのは，元来私は家庭ではそんなに飲まなかつたので，比較的苦痛でもなく中止していた。「よくやめましたねと激励してくれる人に対しては「あとで又飲むんですよ」と反撥した。それは内心，早く吸える様になればよいなあ，との希望からだつた。場合によつては完全にやめようとも思つたが，段々良くなるにつれて気の弱さと，6ケ月やめてゝも体重は少しも増さないし，気分的に飲みたくもあつたし，医師も軽いのを少し位ならとのお許しもあつたので，半歳後「新生」から吸い始めた。

会社の仕事のことについては，仮令気になつていてもどうにも仕様ないことだから諦めてはいるものゝ，毎朝気になつて新聞の中で会社に関係ある記事を探し読んではせめてもの慰安にした。それは他面3週間後には出社出来るだろうから，それまでは頭の空白を作るまいの神経からだつた。ところがこんな神経を使つている間は病気は直るものでないことが段々分つて来た。

敢て云うが，大きな病気，会社を休まねばならない様な病気にかゝつたら，会社の事など忘れてしまへ，それが会社を忘れない結果になるのだと云うことを。

食事はどうしていたか。寝てゝも痛むことは同じだつたので，御飯はお粥にしていた。医師からは軟か目のをよく噛んで食べなさい，と云われていたが，要心に越したことはないとばかり，勝手な理論を振り廻して3週間はお粥にしていた。後で書くがこれが又結果的に悪かつたのだ。

寝てばかりいるから嘸落着いている様に見えるが，さにあらず，気持は正に焦燥，そのうちに3週間は経つてしまつた。

第2回目のレントゲン撮影日が来た。喜び勇んでと云いたいが，内心ビクビクものだつた。矢つ張り痛みは依然としてあつたからである。それでも大きな望みを抱いて，暫らく振でネクタイを結んだりなどして，履上げの小型に乗つたが，ガタガタ揺れるので運転台の背に手をかけたりして戦々兢々で出掛けた。帰りは電車で却つて楽な気分になつたり，然し病院の廊下でも歩けばはつきり痛かつたので，がつかりしながらも内心大いに期待していた。

実は，病院に行くと，医師は私の顔を見るなり，「痩せた様ですね」と一寸渋い顔で御座る。私としては，「胃潰瘍と云う大病なんだもの，それに写真を撮るために昨夕から断食しており，水一滴すらも飲んでいないんだもの痩せる位は仕方ないでしょう」と云わぬばつかりの不服顔をした。

驚く勿れ，写真の結果は第1回目の写真と同じだつた。潰瘍の部分が少しも小さくなつていなかつた。強いて云えば潰瘍の白く写つている部分に多少曇りがかゝつているかなアと思われる程度であつた。

私は要心のため——胃が痛いものだから——ずつとお粥にしていたことや，肉魚を避けて野菜食などにしていたことを得意気に報告したら，半ばお小言口調で「軟か目の御飯をよく噛んで食べること，白味の魚，軟かい肉，人参，馬鈴薯などを充分とれ，肉体的に回復すれば潰瘍も自からよくなる筈だからと」説教された。

今度は私が家の玄関を入るなり家族に向つて早速説教だ。一切の責任はお前にありとばかり頻りに主権を主張した。それからと云うものは一切面会謝絶して，会社のことなどすつかり忘却し，命あつての物種とば

かり，食事についても積極的にドンドン摂る様に努めた。潰瘍にはどんな食事がよいか，権威ある著書もあると聞いているから，若し同病に悩んでいる方があるなら，此の方面に十分留意していたゞきたい。それ程食種によつて影響があつたからである。

私の体質としては次のものが良し悪しであつたが，これに普遍妥当性があるかどうかは私は知らない。

良いから摂るべきものは

白味の魚，煮た方よろし，出来るだけ多くとること，何でも焼いたものはよくない。

肉は少量ならよいが多いと却つて悪い。

野菜は人参，馬鈴薯など

果物はリンゴ，バナナ等々

悪い様に思われるものは

油もの，天ぷらは半年位食べなかつたし，カレーは最も悪い。

焼いたもの一般，

非常に甘いもの，

繊維あるもの，筍，蕗，薩摩芋（裏漉すればよいだろうが）

漬物一般……塩辛いもの，

酢のもの等々

大根おろしは良かつたが，ホーレン草は一般論に反して良くはなかつた。葉酸がどう作用するか等は研究したことがない。

果物，野菜その他何でも御座れミキサーにかけジユースにすれば非常に滋養摂取となるとのことだつたがそこ迄は手を延ばさなかつた。ジユースそのものも飲まなかつた。お茶，お汁類も熱いのは避けたし，暑い時でも冷たい水は遠慮した。

此の様に注意に注意を重ね，会社も忘れ，考えることは只食うことだけ——多少極言だが大体こんな療養で約4週間位経つてから第3回目のレントゲンを撮つたら驚く程良くなつて来た。



左図の様に（実物大）第2回目のそれに比べて雲泥の差であつた。

これに勢を得て益々療養につとめ，こんな風にして，12月中旬の第4回目のレントゲンでは小豆大位の凹みに縮まつたのでしまア出勤してもよいでしよう」と医師から許しを受けた。

(6) 快　癒

未だ多少痛い時もあつたが，毎日会社の診療室で今迄通りの注射を受け乍ら，云わば曲りなりにも出勤し始めたのが12月も20日過だつた。

出勤すること自体が嬉しいのだから，余計な散歩などは極力避けるべき筈なのに，此の年令になつてもまるで子供の様に，帰社の際にも分館から県庁前の市電停留場えは東二番丁通りが最短距離なのに，帰りには遠廻りの東一番丁通りを通り，堅い舗道が却つて胃に応え，痛さを感じたのを記憶している。

レントゲンについては，その翌年2月初，3月末と夫々撮つたが，次第々々に小さくなつて，痛さも意識しない時がある様になつた。まるで心臓が痛い様に感ずるのが間々あつたがそれは胃の病みがその場所の様に感ずるのだと云われた。

8月中旬の写真では，殆んど跡形がないとの事だつたので，それからやつと注射をやめた。想い起すと，まる1年で快癒したわけである。

一寸飲みものについて記してみたい。胃痛も割合に軽くなると，杯を手にとることもある。初のうちは，サイダーならよいだろうとの勧めに応じて飲んだ時もあつたが，どうもよくなかつた。次がビールで寧ろ酒は良かつたようだ。ジユースだつて，あんなに甘いものガブ飲みするとこれ又却つて悪い様だ。結局，酒が一番影響ないとの結論に達したのは私だけの結論だろうか。刺戟性のものはよくない様だ。コーヒーも時折飲むことがあるがまあ悪い方の部類であろう。

丁度1年半位経つてからのことだつたが，体を強力にしようと思つて，自作強精剤——まむし焼酎を就寝前に盃で1杯宛10日間飲んでみたが，良くなかつた。

農家などで，夏まけを防ぐ強力薬として，まむし焼酎を作つて置き，古くなればなる程効くと称して，杯に砂糖を入れたりして重宝がつている。

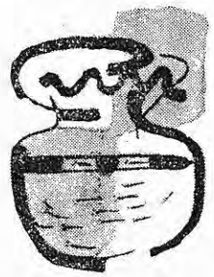
此の例に倣つて，私は初め，まむしを焼いて食べようと思つたが，焼酎にしたらそれこそ何10日でも役立つと考えて，まむしの産地と迄云われている葛根田の社友に特に依頼して1匹持参してもらつたのだつた。社友は生きている黒まむしを水を少し入れた1升瓶に入れ，蓋をすれば死ぬし，栓で蓋すれば濁酒と間違われるし，苦心の作として蓋の罐に穴をあけてわざわざ持参恵贈してくれた。それを私は更に1ケ月以上その儘にしておいた。と云うのはまむしは悪食動物なので腸の中を更に奇麗にするためである。その後病中自分で更に奇麗に洗い，家族の反対を尻目に焼酎に入れ，1年半経つてから愛飲し始めたのだつた。しかし此のやり方にも色々あつて，焼酎にしてから1週間位でまむしを捨てゝしまう方法もあるし，又農村などでは何年間もこの儘保存し，皮を腫物に貼れば妙薬だと云われ，また古くなつて焼酎が濁つている場合には，吸取紙で漉すとよいとも云われる。

畢竟，私は潰瘍性の時に厳しく愛飲し過ぎたのが悪かつたので健康体になつたら徐ろに愛飲したいと楽しみに保存している。

健康体になつたらとは，その後自分の不注意から再発の憂き目に遭つたからである。（続く）

（総務局次長）

春の日の出來事



佐　藤　鉄　歩

戦争後，日本国内では，人間社会の諸現象に従来考えも及ばなかつた程の異変を来したばかりでなく，寒暖や雪，花などの自然現象に迄甚だしい異変が現われて，人々を殊に田村さんの様な老人達を面喰わせている。

今年は4月早々から20度からの暖かい日が続き，例年なら5月中旬以後の様な温暖に桜の蕾は急に膨らんで，中旬には急にどつと咲き出した。10日の日曜には少し早いが17日の日曜には少し遅いと見られるので，今年は，一般サラリーマンには，好い花見の機会がないことになり相だ。

田村さんは，停年退職後は，愉快なことではないが，割合に閑が多いので，先ず近郊の花所を探ね歩くことが，現職時には達し得なかつた年来の念願であつたが，今年こそは憚かるところなく，それを実現出来る立場に置かれたことになるわけである。14日は朝から晴れて，ぽかぽかと暖かく，ウイークデーも気にならぬ田村さんにとつて，絶好の花見日和となつた。

愛用の自転車に乗つて，馴れた徐行で，先ず市内の学校官衙の構内や堀端の桜をのんきに見て廻り，序でに近郊への手初めとして，鳥屋野潟までのしてみた。鳥屋野潟は3年前に市がその湖畔に数百本の桜を植えたのが，漸く咲き揃う様になつたので，之から大いに宣伝して，新名所に仕立て上げようとしていると報ぜられているのである。

弁当も水筒も何一つ持たず，自転車に作業服と言う身軽さで，話相手もない只一人の花見と言うのは，今時一寸珍らしい風景だが，純粋の花見と言うものは之がほんとうの姿だろうなどゝ考え乍ら湖畔にさしかゝつたが，こゝの桜はまだ径5糎から10糎位の若木ばかりで，枝も張つてないので，まだ余り見応えがしない。こゝ4，5年経たら素晴らしくなるだろう。他の花見客も，ほんのぽつりぽつりしか見えない。

土堤が綺麗に立並んだ土堤に腰を下ろして，うつらうつらしているうちに，ふと何の関連もなしに思い浮んだことは，花見時の空巣狙いのことだつた。それは最近みた新聞か週間紙の記事から来たものらしい。花をみていて斯んな俗事を思い出すなど，矢張り田村さんは風流人になり切れない証拠だ。老妻は近頃毎日歯医者に通つて居るし，長男は学校の帰りが遅いし，次男は目下関西に修学旅行中だ。さて家内は無人かも知れないがと，何となく胸騒ぎを覚え始めた。斯うなると何か虫の知らせと言う様な霊感めいた囁きが聞える様な気にまでなつてくる。田村さんは夢から醒めた様に起上つて，土堤の上を音もなく，春風に背を吹かれ乍ら，自転車のペタルを踏んで家路を急いだ。

家に着いたのが午後3時頃，玄関は戸締りもなくあいたので声をかけると，老妻が何の変哲もない顔で，居間で新聞など読んで居る。田村さんは，ほつとし乍ら，お前さん今日は歯医者に行かなかつたのかねと，出された番茶に手をのべ乍ら話しかけると，老妻はえゝ，今日は休みましたと，事もなげに次の様な，一寸変つた事を順序を立てゝ物語つた。

今から30分位前，見たことのない35～6歳と思われる5尺そこそこの，労仂者風の国防色の詰襟服の男が訪ねて来て，馴れなれしく話しかけ，隣りの山本さんの入口の錠の鍵を渡してもらいたい，実は山本さん一家は午後2時頃迄に帰る予定で，今朝寺尾の農園に遊びに行つたのだが，御主人の親しい友人と会つて，その家に誘い込まれたので，帰りは一寸遅くなるが，2人の共通の先輩から山本さんがもらつた舶来のシヤンパンが，重棚の中にあるから，それを持つてくる様に頼まれた。自分はその友人の近所の左官屋だが，丁度

仕事を休んで居たので頼まれて来た。鍵は隣りの田村さんに預けてあると言われたと言う。所が田村さんはこの家に引越してから日が浅く，隣近所とまだ余り馴染も深くないので，老妻も隣りの山本さんの家が留守になつてることも知らなかつた様な次第で，鍵など勿論預かつた覚えが無いので，その旨話した所，あゝそうか，それでは向う隣りに預かつたので，隣り違いかな，などゝ間の悪そうにつぶやき乍ら立去つたと言うのである。それで考えてみると，花見時ではあり，少々気味が悪い点があるので，家を空けたくない為に，今日は歯医者を休んだのだとの話。聞き終つて田村さんは，うん，それでその男は向う隣りの川井さんの家に行つた様子かいと聞いたら老妻はそこまでは確かめなかつたと言う。そいつはどうも少し臭いなと思つた田村さんが黙つて起上ると，老妻は，そう，全くそうでしたね，川井さんのお宅に連絡してみるべきでしたのね，少し考えが足らなかつたようだと言い乍ら，田村を玄関に見送る。

田村さんは，引越しの挨拶に行つた外には面識のない，一軒置いて隣りの川井さんの玄関に立つた。出て来たのは35～6歳の品の好い奥さんである。田村さんが，隣りの山本さんのお宅の鍵を借りに来た男の話をするとその奥さんは，さき程その男の人に鍵を渡してやつたと言う，実は山本さんが御自慢のシヤンパンのあることは，一度御馳走になつて，川井さんも知つて居る事実なので，信用してその男に鍵を渡したのだが，その男がシヤンパンを取出したら鍵を川井さんの所へ返すことになつていると何の疑念も持たない様な話し振りだ。併しね奥さん，そう言うことになつてることが必ずその通りになるなら問題はありませんがねと言つて，田村さんは何となしに老妻と川井氏夫人の2人の女性に対して腹を立て乍ら，今は開いてる筈の山本さんの玄関に向つた。

そこへ老妻が青い顔して飛んで来て，息をはずませ乍ら言うには，田村さんの後から老妻も家を出て隣りの開いてる玄関から這入つて行こうとした所，さき程の男が脱兎の如く中から飛出して来て，老妻の脇をすり抜けて，上手の方へ逸走し去つたと言う。余りのことに老妻は声も出なかつたとまだはあはあ言つている。

田村さんは之は愈々事件だと思つたので，物好きな向いの魚屋の娘さんが寄つて来たのに頼んで交番に行つてもらい，後からついて来た川井氏夫人と老妻と一緒に，山本さんの玄関から這入つて行くと，寄付けの3畳の部屋に大風呂敷が拡げられ，その上に奥さんの外出着と思われる豪華な玉結城の袷にお召しの羽織，御主人のらしい新らしい合オーバなどが置かれてある。警察の捜査資料を損なうといけないので手を触れぬ様にと言い乍ら田村さんは，何か脅えて居る2人の女性をうながして，又玄関に出て警官の来るのを待つた。之から始まる警官との問答，今後時々何か聞かれること，ひよつとしたら老妻も川井氏夫人も，参考人又は関係者として，本署迄呼出されることなど考えると多少憂うつになつてくる。

山本さんは4時半頃帰つて来た。農園で友人と会つて，茶店で話し込んで居たので少し遅くなつたが，シヤンパンの事は頼んだ覚えがないので，之は仕組まれた空巣狙いだつたことが明らかになつた。川井氏夫人は迂闊にも鍵を渡した責任を痛感して，しよげ切つて居るし，老妻も自分の犯した重大な手抜かりに就いて，しきりに詫びを言い続けている。

山本さんは，無くなつたものは何もないと言明したが，或いは何か小さいもの位，なくなつたものがあるかも知れないが，言わないのではないかなどと田村さんは気を廻してみたりする。山本さん宅からは，犯人らしい指紋は表われなかつたそうだが，川井さんの入口のドアに，それらしい指紋があつたとか，あつたらしいとか，はつきりしない噂が飛んでいる。

その日の夕飯のテーブルで，田村さんは，生意気盛りの長男に向つて，とかく女は甚だ瞞され易すいものだねと，言わずものことを言つたら老妻は全くわたし考えが足りませんでしたねと，いとも殊勝だ。それでも家を空けないだけの勘が仂いたのだからまアまアと言うところかねと，田村さん大きく出ておいて，さてだね，この犯人は何れ間もなくあがるだろうが面通しは，お前さんと川井さんの奥さんなわけだが誠にどうも御苦労な話だ，本件としては，未遂だから大したことではないが，あのやり口から推して相当余罪があるものと思われるので，警察では可なり重大視しているに違いないねと，断定を下して一ぱし捕りもの通振つて見せた。（了）

（1955. 4. 15 記）（元新潟支店）

速製士官日誌



鈴村二郎

社員の大部分がロートルである当社には，多くの嘗ての兵隊さんが居ることであろう。苦しかつた事，死ぬ目にあつた事，愉快であつた事，とにかく此の世では仲々経験のできない事を沢山に味わつた事でしよう。此処に鈴村二郎社員の回想をお送りする。戦争終つて既に十年，想い出すことさへ厭な人々も多い事と思うが，其処はそれ，軽い気持でお読み下さい。

1. 学徒出陣第二班勇躍進発

色々の批判がある例の角帽，黒サージの詰襟の学生服に，あの人，この先輩，恋人の寄せ書きに，よごれた日の丸の旗を肩から斜にかけ，歓呼の声におくられて着いた処が，当時の軍都豊橋市。時これ昭和19年10月，駅頭は，同じ姿の学徒兵で溢れるようである。今こそ筆を投げうつてと馴せつけた昨日までの学生であるが，ほんとに筆を投げうつてきたような秀才は，此の中で何人もいない事は確かである。後は大体，吾が輩と同程度のサボリ学生であることは先ず間違いのないところだ。早稲田，慶応，日大，立教，法政，明治，中央，専修，帝大，商大と，東京近郊の大学高専を網羅しているが，秀才らしい顔付のやつは，あんまり居ない。

入隊と云つても，いわゆる終戦直前の危機に備えて，速製士官の養成のために考案された，特別甲種幹部候補生と云う，二等兵の苦しみをしなくてすむ処が味噌の制度である。予備学生や特別操縦見習士官と同じようなわけだが，危険率がいさゝか少ない処が魅力でもあつた。

豊橋へ着いたは着いたが，出迎のあるわけはなし，豊橋第二陸軍予備士官学校が，何処にあるかを知つているわけもなし，一番さきに汽車を降りた入隊兵について，ゾロゾロと同じ格好の父兄と入隊兵が無慮数千人，河の流れる様に進む。入校日は翌日なので，仮の宿は1団となつてお寺と交渉，阿弥陀様の前で一泊した。此の世の別れはお寺の本堂，おまけに，朝と晩には，有難い続経があつて，早々に引導を渡された形である。

2. 外泊，外出全然ありません，例へ正月でも。入隊して10日たち，20日たち，だんだん軍隊生活になれてくると，もともと学生時代に軍事教練と云う必須課目に合格していたお蔭で，要領を覚えて来た。起床ラツパで跳ね起きると「ヨイシヨツ，ヨイシヨツ」と気合をかけて乾布摩擦を5分間，軍衣軍袴を素早く着けて，毛布をたゝむ，毛布の両端及び枕の線を，定規を当てた様に真つ直ぐに揃える。舎後へ飛びでると洗面所で顔を洗う歯をみがく，洗面具を整頓するや，素つ飛んで舎前へ整列，区隊取締生徒（その区隊の指揮者，演習時は小隊長動作を演練する）の号令一下，中隊毎に，ピリツと整列，「番号ツ」。「1，2，3，4，…」「異状なしツ」その頃「点呼だ点呼だ点呼だ点呼だ，点呼だ，点，点呼だよー」と朝のしゞまを破つて点呼ラツパが鳴り渡る。各中隊一斉に「週番士官殿に敬礼ツ—。頭—中ツ。」の号令がかゝる。此処まで洗面所から約5分寸分の隙も許されない。週番上等兵（学校では週番下士，週番上等兵，週番士官は後期に至つて，生徒が交替でやつた）や週番士官が竹刀を持つて目を光らせている。一寸モサモサしているとビシリツと情容赦なく引つ叩かれる。入校1ケ月目位いまでは，用便にゆけば洗面ならず，洗面にゆけば，用便ならず，青い顔で自然の欲求と斗い乍ら点呼をうけたものだ。さて点呼が終ると，炊事当番，厩当番，寝室掃除，兵器手入（鈴村の中隊は重機関銃中隊であつた）と各班各々の任務につく。帰つてくると飯。喰べていると「8時20分，完全軍装，駄載，舎前に整列せよ」と区隊取締りの伝達がある。食事を済むや済まずに馬ツコを引つ張り出して，機関銃をのせ，完全軍装で整列する。区隊長がくる「富士隊ツ，第四区隊総員52名事故なし，現在員52名。集合終りツ」と報告「駈け足し，進めツ」の号令一下，夕方までシボリにシボラレる。夜は夜で，自然に下つてくる瞼を，おし上げおし上げ学科と自習，終つて点呼，やつと眠れると思つていたら「おい，鈴村候補生，貴様今日は厩不寝番2番立ちだぞ」で夜中に叩きおこされ，お馬様の寝ずの番。此んな生活が繰り返えされ，顔も日にやけて兵隊臭くなつてくる頃，そろそろ頭を持ち上げてくるのが，ホーム・シツクである。

12月も半ばを過ぎる頃「正月は帰省がある。これは特甲幹の宣伝も兼ねている」と云う極秘情報が流れた。俺の爽颯たる軍服姿を，親や彼女に見せられると皆んなワクワク，気の早い奴は，三泊四日の外泊許可と予定して，最も有効な汽車時間利用法なんぞを研究している。ところが，ところがである12月31日に至るも，外泊の外の字も，外出の外の声もない。騒然たる空気の中で，午後10時，夜の点呼とはなつた。各区隊異状なく点呼を終了するや，時の週番士官推田少尉大喝一声「皆んなその儘きけ，明日は午前8時30分舎前に集合，服装は体操衣袴着用，850高地を占拠せる兎を攻撃殲滅する。尚消燈迄に各人，初春を祝う俳句を小官まで提出のこと。解散ッ」と来た。嗚呼，互に見あわす顔と顔，お家なつかし，帰り度し，誰の目にも涙があつた。ちなみに，新春俳句の第1席は俺の区隊の田古候補生作「初春や分解搬送縦に散れ」とは特甲幹第一期生の数々の想いをこめてある。とうとう終戦，復員するまで外出，外泊は1回もなし。家を離れて，ホーム・シツクを知る。

3. 馬は兵器である。

入校早々度胆を抜かれたのはお馬様である。まさか重機関銃なんぞと云うものをやらされるとは，考えても見なかつた処へ持つて来て，今度は馬である。「此れから貴様にとつて一番大切な戦友の処へ案内する」と栗田軍曹に引率されて，来た処が厩である。機関銃中隊の駄馬は総計45頭，吾々をセセラ笑つている様な長い顔が歯をむき出している。

「此の戦友は，貴様等の兵器だ，大切に取扱わなければならない。蹄の手入，馬体の手入今後一切貴様達がやる。手入を怠つている時は，馬の代りに此の栗田軍曹が，ブン撲つてやるから，そのつもりで居ろ」と来た。馬なんてものは競馬で見る位で，しみじみ見るのさへ始めてなのに，吾が心臓は，風せんの様にしぼんでしまつた。

「尚，尾に白い紙こよりのついているのは，蹴癖のある馬だから，注意しないと蹴殺されるぞ，赤咬癖馬，熊癖馬もいるから注意しろ」と云われたが，俺の人生で，之れ程自信のない事は無かつた。馬は正に神様である。お馬様の肛門の雑布掛け，馬体のフケ取り，鼻の穴の掃除，蹄の手入れ，俺達が冷汗をかき乍らやつている時，馬ツコはゆうゆうとして景色なんぞを眺めている。毛付兵（馬の掛りを一切やる勤務）になつたら大変である。馬匹検査で少しでも悪い処があると一切毛付兵の責任である。

夜，お馬様お寝みの時は，厩不寝番が，お伽をする。寝藁から小便溝までの間隔は15糎，ピツチリ寸法を合せておく馬が寝返りでもうつと，夫れが狂う。又揃える。お出しになる糞は一つ一つ割つてみて消化の具合を検べる等々全く人間どもにとつては辛い修業である。夜中には決つて週番士官が巡察にくる。「富士隊，厩，総馬45頭，事故馬なし，現在馬45頭！」と静かな声で報告すると，週番士官は，「就代，広幡は水飼を幾つ飲んだか」等々と馬がゴクンゴクンと飲んだ水のゴクンの数をきかれたりする。とにかく，冷え込む真冬に不寝番に立つた集候補生は，放尿の我慢ができず，遂に寝藁の中へはじき出した。頂度其処へ週番士官の巡察があり，一度発射し出した小便は，止めようとしても止まるものでなく最後迄発射し，遂に重謹慎3日に処せられたのだから，馬の偉大さがわかる。

春が来ると冬中張り切つていた馬がよく外へ脱出する。歓喜して飛び廻る馬を，なんとかつかまえようと，馬当番全員が追えかけるが，つかまるものではない。飯も喰わず，「オーラ，オーラ」とお馬様に馬房へ帰る様お願するより外はないのである。冬ともなれば，吾々の手は凍傷でグシヤグシヤになつているが，それでも，氷の張つた水をくんで来て馬手入を休まない。呑気屋揃いの特甲幹も馬ばかりは，アゴを出した形である。

4. 此の世の極楽，「練兵休医務室預り」

学校では毎日，診断があつた。体の具合の悪い者は，あらかじめ申し出ると，定つた時間に週番下士官の引率で医務室へゆく。診断の結果には，1等症，2等症，3等症とあるが，病状により，休業，練兵休，入室，入院等がある。

20年の1月末，俺は皮下なんとか炎と称する腫物が足の甲にできた。之は大体栄養失調症の1種なのだそうだが，表皮脂肪層と肉の間が化膿する病気で，物凄くはれて，痛みがひどい。とうとう我慢ができなくて診断をうけたら「練兵休」とのお達しである。

中隊へ帰つて，早速区隊長室へ事故報告に行く。「鈴村候補生，事故報告を致します」「花山中尉殿はシブイ顔をしていたが，誉れの箱を取り出すと，1服プウツーと天井へふきつけ「今，訓練は1番大切な時である。練兵休なぞいう事は戦場にはない。明日から，下駄を持つて来てやるから，下駄ばきで演習に出ろ」「ハイツ，明日から下駄バキで演習に出ます」翌日から俺は，ザツクザツクと云う戦友達の足並の中を，ペツタンコ，ペツタンコと足を引きずり乍ら演習である。その晩は猛烈に足が痛んだ。次の診断日大阪軍医少佐は，見るもいたいたしく腫れ上つた俺の足をみて「貴様練兵休で確かに休んでいるか」と探ぐる様な目付をしている。「ハイツ，下駄バキで演習をしております」「馬鹿者，宜し鈴村候補生は本日より，練兵休医務室預り」と診断された。中隊に置いては，無理が多いので，何時までも治癒しないからと云う軍医殿の親心であろう。区隊長に事故報告すると花山中尉もさすがに憮然として「早くよくなつて来い」と言われた。花山中尉にしてみれば，今，演習を休むことは，将来，大きな損失になるとの，親心から，下駄バキ演習をさせていたのである。

さて俺は，洗面具と自習用の典範類を以て医務室へ入つた。広々とした病室は，中隊の寝室に比すれば，正に清潔そのものである。おまけに，炊事当番は勤務兵なる兵隊がやつてくれる。不寝番にも立たなくてもよい。馬の心配も要らないし，ビンタの心配もない。たゞ，寝台の上に転がつていればよいのだ。練兵休より1級重症な「入室」を命ぜられた候補生が，4，5名一緒である。実にのんびりした毎日が続く。戦友達は今頃アゴを出しているだろうに済まない様な気が，チラツと脳裡をかすめる。1日たち2日たつと，今まで極度に抑さえつけられていた，シヤバツケが，ムクムクと頭を上げる。話は大概，学生時代のことに落ちつく。「貴様，早稲田か，俺は，穴八幡の附近に下宿していたよ，あの戸塚の坂上の大盛食堂のS子ちやんはよかつたなあ」なぞと，とんと御無沙汰していた色気まで，顔を出し始めた。堅い奴は，哲学論なんぞを吹きかけてくる。「医務室預り」の10日間は，学生気分を，できるだけ吸い込んだ。

10日後「鈴村候補生，治癒」と大阪軍医に診断され，心惜しくも医務室を去つた。医務室で，すつかりタルンダ頭を，亦もとへ戻すのに苦労した。俺の入室中，兵器手入，その他を引きうけてくれた石田候補生が，コツソリと「医務室どうだつた。よかつたろうなあ」と尋ねる。

「いや，気がタルンで駄目だ，あんな処，銭は少いし，中隊の方が，ずつと宜いぞ」と答えておいた。

5. 訓練愈々激し

戦局愈々吾に非，連日B29の大編隊が上空を通過する。事態の急迫につれて，吾々の卒業期間は2ケ月繰上げになつた。更に速成の度を早めようと云うわけである。全ゆる演習がどんどん実施される。食糧自給のために芋づくりも始まる。起床は4月以降4時30分となつた。6時まで芋づくり，6時から日課，夜は交替で地下司令部の構築である。

イ，歩工協同演習

工兵隊と協同演習を実施した。鉄舟をかついだり，鉄条網を破壊したり，火焔放射をやつたりした。最後は対戦車肉迫攻撃である。2.5キロの急造爆雷をつくる。実際に爆発させて見た。ドグアーンツ物凄い火柱である。傍にあつた径50糎位の松の木は幹がグサグサになつた。「米軍のM4戦車は10キロ爆雷でないと効果がない」との説明である。

急造爆雷を投げつけた瞬間，バツタリ地に伏し，両手を引つ込める訓練をしていた吾々にとつては，対戦車攻撃，肉迫攻撃は，命と引き替えであることが，ようやくわかつた。

ロ，ガス週間

お次ぎはガス週間である。ガスと云つても別段サツマ芋とは関係がない。国際規定によつて禁じられている筈の毒ガスである。イペリツト，ルイサイト，ホスゲン等の真物の毒ガスをつかつて，ガス地帯をつくり，その中を歩いたりする。直接掌につけて，消毒を実施する。まがり間違えば，手がくさつたりする。

亦3日間，食事時を除いて，防毒面を顔から離さない訓練もした。眠る時も，点呼も，演習中も，防毒面をかけつぱなしである。

一夜ガス攻撃があつた。赤筒（催涙ガス），緑筒（クシヤミガス）を実際に使用するのだ。防毒面との間に，マツチ棒をさしこんで，要領よく就寝していた者は大変である。涙と鼻水とクシヤミが防毒面の内部で，クシヤクシヤと入りまじる。「ゴホン，ゴホン，ハツキシン，ハツキシン」「田古候補生外3名ガス攻撃のため戦死，其処に寝ていろ」戦死した要領のよかつた4名は，ガス立ちこめる寝室で七転八倒の難行である。勿論，鈴村候補生，三河候補生も戦死者であつた。

戦車隊との協同演習では，日本軍にも，ガソリンを使う機械があることを認識した。奴らにくらべ俺達は，5里も6里も駈足だ。眼の前を火花とんでも走らなければならない。「コン畜生奴！」と肉迫攻撃をやつた。此の様な演習の連続で，俺の体重は，とうとう13貫500匁まで下つた。2貫目余りやせたわけである。おまけに目玉はギヨロリギヨロリ，顔は真つ黒け，数ケ月前までの粋な角帽姿の兄さんとは，誰もうけ取れないだろう。

6. 「貴様，命はいらないか？」

訓練につぐ訓練に，夜は皆んなグッタリしている。雨でも降り出すと大変だ，好機到来と間違いなく夜間演習に引つ張り出される。卒業も近くなると軍装品の準備が始まる。軍服，軍帽，将校行李，図嚢，軍刀，下着類等の希望を石場少尉に書き出した。

或る日「全員自習室集合！」の命令で早速集合すると，石場少尉がニコニコとやつて来た。「予ねて軍装品の準備を進めて居たが，名古屋が空襲されたゝめに，お前等の軍装品は大部焼けてしまつた。それで，此れから希望者を調べるから，既に持つているものは遠慮すること」「オヤオヤ焼けてしまつたのか俺は軍刀しかない」と，「全部欲しいもの手を挙げろ。」と云われたので元気よく手を上げた。30名位が手を挙げた。処が「鈴村候補生と岡本候補生は軍装品は全部いらないから，手を挙げる必要はない。理由は後でわかる」と石場少尉。

「オヤ，何でだろう」「鈴村，貴様理由わかるか」分配が終ると岡本候補生がよつて来た。「全然，知らねい，何だろうなあ。」岡本候補生は，国士舘大学出身，剣道5段の猛者である。心の隅に1点の疑問を残し乍ら，愈々卒業が近づいた。

卒業が近くなると，連日吾々の話題にのつてくるのは配属先である。先ず外地へ転属される心配はない。吾々は本土決戦要員として，対アメリカ戦法一辺倒で訓練してあるからであろう。亦既に外地へ派遣するだけの余力もなかつた事もあろう。兎に角，内地の何処の部隊へやられるか，一大関心事となる。

その頃，「鈴村候補生，区隊長室まで来れ」の通伝に，区隊長室へ出頭すると，花山中尉，石場少尉が机の向うからギヨロリと俺を見ている。

「鈴村，貴様，末つ子だつたな」「ハイツ」「そうか，貴様，命はいらないだろう」俺は本能的に「ハイツ，いりません」と応える。命の欲しいのは本音で，あたりまえであるが，此処では，「ハイツ」と答えるのが一番無難になつている。

「宜しい，これは貴様の考課表だ。見てみろ」と1通の書類。これが，吾々のゆく処必ずついてくる考課表だ。ジツトみると，適応欄に最適任，特殊勤務，適任，野戦小隊長，と明記してある。「ギヨツ俺はスパイにされるのか」ドキドキと心臓がなる。「軍装品の要らん理由がわかつたろう。よし帰れ」石場小尉が傍から言葉を足す「ハイツわかりました。テヘツヘヘ」

寝室へ帰えると，すぐ岡本候補生が呼ばれた。同じ事を云われたそうだ。戦友達が好奇心のあるような顔でよつて来る。朝鮮済州島出身の原田候補生（現在韓国陸軍の聯隊長をしていると云う風聞があつた）が「バカだな貴様達，此れから亦一訓練だぞ」とひやかす。何でも埼玉県の某所に特殊学校があつて，其処で約6ケ月，暗号，秘密インキ，真夜中に，全然知らぬ処へおいて来られても，素早く出発点へ帰る訓練とかを猛烈に叩きこまれるのだそうだ。岡本候補生と2人で，ヤレヤレ大変な事になつたと思つていたが，戦局愈々せまり，部隊要員として鈴村，岡本共にスパイにならずに済んだ。

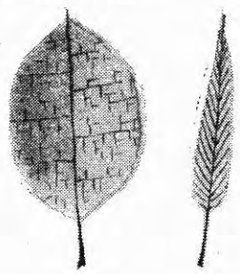
後　記

一つの丁規に当てはめられた学生が，自己の望一経済，法律，文学一を捨て，只一途に軍人に仕上げられた涙と笑いの生活も，敗戦によつて終止符をうつた。

筆者自身も予備士官学校の校門を去るときは，夢にも思つていなかつた終戦によつて，数ケ月後には電力会社のサラリーマンになつて居たんだから，全く運命とは計り難いものだと思う。当時の同期生達も，今や学者になつているもの，観光ホテルの支配人になつているもの，俺の様なサラリーマンになつた者も散り散りになつている。

併し乍ら，馬鹿になりきつて訓練された，苦痛を思えば，社会における少々の苦労位いは耐える事ができる自信だけは，皆んなが持つている事だろう。同時に亦，自由と平和な生活が，どんなに大切なものであるかを知ることが出来た筈でもある。　（新潟支店）

熊に追いかけられた話



武下堅吉

凡そ熊と名のつく猛獣は月輪にしろ，羆にしろ厳重な柵を隔てた安全地帯から見るか，皮を剝いで敷物にしてデンと胡坐をかくには格好のものだが，7才はおろか70才になつても席を同じくできる代ろ物ではない。札幌名所植物園には北海道開拓時代に人家を襲い馬を数頭斃したほか人畜に大きな被害を与えた6尺有余の羆の剝製が渡道者の目を見張らせ羆の恐ろしさを強く印象づける。北海道の深山には至るところ羆が横行しているように考えられ勝ちだが実際には長い間山の生活をしている人でもその姿を見た経験を持つ人は案外少い。彼等はその鋭敏な臭覚と聴覚で人が羆を発見する前に人間の近づくのを感知し視界から脱れて仕舞うからで，風向きや何かで突然遭遇する以外には滅多に遭わぬものらしい。この稀れな偶然でも命に係るから，腰に鈴をつけたり，ラツパを吹いたりして山に入るのが一般の習わしになつている。こんなことを知つていれば，これからの話も常識外のことなのだが，一犬虚に吠えて万犬実に伝えるごとき慌て者の一団の落語（ハナシ）の落ちを地で行くような話である。

長い雪と氷の冬が過ぎて柳の芽黄の新緑が青黒い常盤木の山に点々と映えだすと北海道の春は漸くやつてくる。霞のように煙る十勝平野を一望に収める雄大な狩勝峠を蛇行し，或は一文字に突き進みながら国鉄根室線は下降して行く。そして降りつくところに十勝川を中心とした平野が展開し帯広を始め大小の聚落が点存している。こゝは道内随一の畜産地帯でズングリした道産馬（ドサンバ）と山のような和牛が至るところ見られる。こゝは又針金の様な頭髪に落ち窪んだ目を持つた十勝アイヌの本拠でもある。そして十勝川はヒシメキ遡る鮭の夥しさでも有名である。昭和15年の春と云うとこの川の上流に川筋最初の発電所糠松の建設工事がスタートした頃である。

内地（北海道では本州をこう呼んでいる）から来たばかりで札幌に勤務していた私がこの糠松の岩盤検査のため渡道したお客様を案内して狩勝峠を越えたのはこんな時であつた。現場の最寄駅屈足（クツタリ）の西部劇に出てくるようなチヤチな建物を，出ると漸く都合したタクシーが2台並んでいる。こゝで内地から来た人を先ず案内するのが種畜場である。勿論この日も例外ではない。当て馬から始まる一連の営みを寸暇をさいて見物し現場に向つたのは2時頃だつたろうか。このためではないが現場の検査で思いの外時間をくい，7時を過ぎ8時近くになつてこの日の予定宿泊地十勝川温泉に車を連らねて現場を出た。前の車には検査官の一行と北海道の事務所長が乗る。後の車には本店から案内してきたu係長，現場の所長と事務課長それに私の4人が乗り込んだ。行程は幾ら急いでも3時間かゝる予定なので途中で補給するパンと牛乳を抱えて私は助手席に陣取つた。1時間位走つたろうか私の車は道の凹みに跳ね上ると同時に景気のいゝ音を立てゝパンクしてしまつた。日没の遅い北海道でもすつかり暮れてしまつた中で漸くスペヤータイヤを取り替えて再び走り出す迄にはかなり時間を費した。

暗い道は一直線に闇の中に伸びている。片側は一体どんなところを走つているのか皆目見当がつかない。未知の運転手に生殺一切を委ね2条のヘツドライトが只一つの頼りの様なドライブである。文字通り直進するにふさわしい直線道路は北海道の開拓道路の特徴でもある。パンクの遅れを取り戻さんと悲壮にも吾々の古フオードはその最高能力を示すかのように突き走つて行く。凡そ1時間も走つた頃私はライトの中にボンヤリ黒い岩の様なものが行くての道路の真中に横たわつているのを見つけた。アツト思うまに5.6米先きに近づいた。黒いのは馬のようだ。私は驚いて「おい馬だ」と隣の運転手をコヅク，ウトウトとしていたらしい運転手はハツト左にハンドルを切つた。ダツダツと車が60度位の斜面を頭を先きに落ち込んで行く。これが一瞬の出来ごとだつた。手と足を突つ張つて本能的に次の衝動に備える。後ろの座席で誰かゞ「アツ」と叫んだようだが何が何やら分らない。7.8米も突進んだと思うころ8寸程の唐松に車は真正面から衝突して漸く止つた。命拾いをした思いで各々座席から這い出したが誰が何を云つているのか分らない。誰かゞフーと太い息を吐いたのが印象的だつた。最後に這い出した運転手はシオシオとあやまつていたが謝まられても何とも仕様がないので大難が小難で済んで誰も傷（ケガ）がなくてよかつたと自らを慰める様なことを云つて，さてどうすると云うことになり結局，運転手は現場に残り吾々は2里位行けば駅に出ると云う運転手の言葉を頼りに1本道を歩いて先行車に連絡することになつた。ゴソゴソと熊笹と雑木の斜面を這い上る。

吾々の車を崖に誘い込んだ黒い馬の尻は，凡らく屈足の馬市で思つたより安く良馬を手に入れた農夫が祝い酒に上気嫌になりブラブラ家路につき後ろから来る吾々の自動車を待避しながら放尿している間に，強い光に恐れをなした馬が光源に尻を向けて路の中央に伸し出したものらしい。今更ら罪な馬尻（バツ）だと云つてみてもシヤレにもならない。吾々一行4人は一団になつて未知の闇夜を歩き出した。

一瞬の衝撃と昼からの疲労で一行の歩巾はさつぱり伸びない。通称「ロツパ」と云う事務課長は腹を揺り

上げるような話し振りで冗談を飛ばし乍ら一行を元気ずけるが足は1番進まないのでしんがりを勤めて行く。右側は無限の密林の様に思われるし左側は吾々が落ち込んだ斜面に続いているらしいがその先きは山の裾になつているのだろう。そう遠くない山の陵線が闇の中にかすかな輪画を画いている。月もない闇の中で誰かゞ吸う煙草の光が唯一つの光でその周りだけがかすかに見られる。1里位も歩いたろうか「ガサツ」と熊笹を何かゞ踏んだような音がした。トタンに今迄最後をノタノタ歩いていた「ロツパ」さんがパツと猛烈な勢いで3人を追い抜き全速力で駈けだした「何だ」「どうした」誰かゞ叫ぶように聞くと「熊だ」只1言返した丈けで尚走り続ける。あとの3人もつられた様にパタパタ走りだした。百米位も走つたら先ず「ロツパ」さんが並足に返つた。「おい本当に熊か」誰かゞ聞く「多分そうですよ，何しろこの辺は十勝の山続きですからねえ」一行中の只1人の道産子(ドサンコ)である「ロツパ」さんの熊談議がそれからの話題になつた。勿論話すのは「ロツパ」さんで聞くのは他の3人である。羆の走る速度の早いこと，逃げる1団の人間を襲うときは手当り次第に撲りつけるから最後の者からやられること，熊笹の中を歩いても最初の1足丈けは音をさすが2足目からは無音で走ること等々，皆は今更の様に札幌植物園の大羆の剝製を想い出し，自分達がその危険の中を歩いていることを強く意識した。

1軒程行くと又同じように右側の密林の中で「ガサツ」と音がした。それは余程の大羆がスタートダツシユに踏みつけた熊笹の葉擦れの音に違いない。針の様な鋭さで耳に響いた様に感じられた私は，頭の毛が1本1本スーと立つ様な気がした。こんな感じは一瞬のことで実際は皆と同時に走り出した。他の3人も勿論揃つて突走つた。誰も口をきく者はない。呼吸もしないような走り方だつた。誰もが1番後になつて1番先きに叩き殺されては耐らないと無意識の裡に意識したのだろうし，自動車事故を無事に切り抜け命を羆に捧げてなるものかと思つたのかも知れない。それにしても美事な走り振りであつた。百米も走ると誰からともなく再び元の歩巾に返つてフウフウ息を吐いた。気が落ちつくとパカパカと云う蹄の音がする。よく見ると10米位前を馬が歩いている。頬冠りしたオツサンが長い手綱を曳いて行く。吾々の車を崖の下に落し込んだ元凶，再三熊に驚ろかさせる原因を造つた馬と人が調子違いの松前追分けを鼻唄に乗せてユウユウと行く。足早やに追いついて「さつきのおやじか」と「ロツパ」さんが声をかけた。「ウン」返事は簡単だ済まんとも云わんし無事でよかつたとも云わない。至極超然たるものである「この先きで羆に遭わなかつたか」と目下の大問題の情勢打診を試みる「ありや馬だよ，こんなところに羆は出ねえ」とあつさり片着けられた。4人は馬鹿馬鹿しくて笑いも出来ぬ顔を見合せたが幸い暗いのでお互いの表情は分らない。明るかつたら「ロツパ」さんの顔が1番哀れな表情をしていた事だろう。

これで熊に追いかけられた話は終りなのだが，羊頭狗肉の話で恐縮です。然し2度目に走つた時は熊のいぶきを背に意識したのは事実なのだから，その瞬間は確かに羆に追われていたのである。漸く辿り着いた御影の駅から先行車に連絡して迎えの車を受けて宿に着いたのは2時頃だつた。明る日帯広から昨日の道に添つて汽車は逆行する。前夜の遭難の地を車窓に求め乍ら目を擦する。大密林と思つた処あたりは落葉松と北海道特有の水楢の林の連続だつた。放牧している馬が子馬を従え横立木を巧みに左右にかわし乍ら走つて行く。その先きに目をやると自動車の黒い尻が上を向けて朝の太陽を反射している。運転手が何かしているように思えたがすぐ木に遮えきられて見えなくなつた。案外シートに横になつて救援車を待つてノンビリ寝ていたのかも知れない。（本店補償係長）



1. 春風を切つてサービスカーは行く。

「今日の好き日は大君の，生れ給いし好き日な

り。」その好き日の4月29日，この日はみちのくの而もここさい果ての地青森でも「日はうららかに風も無く，七つの峠は晴れ渡る。」と云つた様な好天気であつた。天長節と云えば我々明治生れの者にとつてはすぐ11月3日ということが頭に浮ぶのであるが，天長節に雨の降つたためしはないと云われていた。4月29日の記録は知らないが，今日は昔の11月3日にも比すべき好い天気である。午前正9時サービスカーは本日の行程五所川原鰺沢方面に向つて青森支店前を出発。乗員は支店普及係の斎藤さん，車のハンドルは遙々仙台から長途の旅を続けて来た川村さんが握つている。もう1人これも仙台から来た武田さんが今日は車の方は川村さんに譲つて専らテープレコーダーの世話を焼いている。そしてもう一人これは本日宣伝の立役者，マネキンガールの古川さんが乗組む。典型的津軽美人。車内がパツと明るくなる。私も休日を利用してサービスカー運営の実際を拝見せんものと同車する。間も無く車は青森旧市内を出はづれて坦々たるコンクリートの道路を快走すると云えば甚だ景気が良いが，この道路義理にも坦々たるとは申し上げられない。所々に石が出たり穴が明いたりで車はガタリと石にぶつかり，ドカンと穴に落ち込み，ガタリドカンガタリドカンと難走する。併しテープレコーダーからは浮き浮きしたメロデイーが絶えず流れ出してあちらの家こちらの小路から村童達がワツと飛び出して来る。いや村童と云つては相済まない。こゝは最近合併した計りであるが今ではもう立派に青森市内である。たとえ萱葺きの農家があちこちに点在し，漸く雪のカバーを取り去つた田や畑が目路遙かに拡がつていようとも……。

飛び出して来るのは子供達許りではない。あちらの畑こちらの田から頬冠したおぢさんおばさん達が何事ならんと子供の後について走り出て来る。テープ係りの武田さんは心得たもので今迄掛けていたジヤズのテープを素早く民謡のテープに取換える。「佐渡へ佐渡へと草木もなびく。」いやなびくのは草木許りではない。今は全町全村を挙げて我等のサービスカーになびいている。テープの放送を中断してはマネキン嬢が可愛らしい声を張り上げる。「こちらは東北電力のサービスカーで御座います。毎度御引立をいただきまして有がとう御座います。当社の電力もおかげ様で100万KW を突破しまして電気も大変豊富になりました。尚4月1日から料金が改正になりまして御家庭で御使いになる電気も大変お安くなりました。豊富な電力と安い料金で尚一層御家庭を明るくして楽しい生活を御送りになる様おすゝめ致します。こちらは東北電力のサービスカーで御座います。」

明日の市会議員選挙を控えて最後の今日1日を候補者達はこゝを先途と大童（おおわらわ）である。行手に当つて1台の三輪車に陣取つた1人の候補者，サービスカーの放送を聞きつけてワツと集つた人々に向い，早速車上に立ち上り「何卒絶大なる御支援の程を……。」とやり出した。流石は小なりと雖も政治家の卵である。汎ゆる状況を巧みに捕えて之を自己に有利に導く途を心得えている。車の傍をモーターバイクに乗つた青年が行く。見ると後には洋装の彼女がスカーフを春風になびかせて彼氏の肩につかまつている。ふと私は「ローマの休日」を思い出した。オードリーヘツプバーン紛する処の姫君を乗せたアメリカの一新聞記者は颯爽とローマの街を走る。但しそれは立派なスクーターでありこれは自転車にモーターを取付けたものに過ぎぬ。併し「津軽の休日」の彼氏は意気揚々とさんさんたる春の日を満身にあび乍らハンドルを握つている。街道添いの農家には日の丸の旗が珍らしくも飜つている。向うの丘の上にはポーツと赤く桜が見えている。まだ花はやつと3分咲きといつた処である。さあ両側に林檎の畑がせまつて来た。林檎と云えばこの辺の人々は先祖代々数百年この木を栽培しているのかと思えばさにあらず。聞く処に依ると我が国に現在の林檎が入つて来たのはまだ明治初年今から約80年前の事である。我が国林檎産額の70%を占め，作付面積2万町歩，これに従事する者10万人，年産2000万箱，1億万貫，金にして80億円と云われる本県の林檎産業もまだ100年にはならないのである。林檎の木は今全く赤裸である。芽も葉も花も，勿論果実も付けていない。太い幹からは細い枝が何10本となく空に向つて拡がり，数十本数百本列を作り群をなして延々と続いている。私はこの裸の木々を見ているうちに大正の中頃輸入された独乙の表現派映画の背景を思い出した。そこには葉も花も無い裸の木が恰も巨人が天に向つて両手を拡げている様に立つている。1人の痩せて恐ろしく背の高い蓬髪の青年が夢遊病者の様にトボトボとこの木に近づいて来る。やがていづこともなく……。車はもう五所川原市に入つたらしい。街の騒々しさが私の取りとめもない空想を破つて呉れた。

10時半営業所着，少し風が出て来た様だ。こゝで小憩の後車は西海岸の漁港鰺沢町に向つて進む。営業所から営業課長の逢坂さんが今日の総指揮官の格で乗り込む。ほかに営業所の普及担当者である崎野さん，一

戸さん，平川さん，更に手伝い兼宣伝実習見習いのため同所のお嬢さん方が2人乗り組んでサービスカーはこれからいよいよ本日の本格的活動に入る。木造町から森田村に入ると岩木山を真正面に見乍ら車は走る。この山は青森から見ると突兀として余り良い格好ではないがこの辺から見るとなだらかに裾を引き津軽富士の名に背かず仲々秀麗である。テープレコーダーはこの辺の著名な民謡「津軽じよんがら節」をやり出した。三味線に太鼓が入つて甚だ景気が良い。その音に驚いて向うから来た馬が急にあばれ出した。助手台に座つて道案内をつとめていた崎野さんがあわてゝテープ係に注意して放送を止めさせる。それから後は崎野さん馬が来る度に手を挙げて「幻の馬だよ」と叫ぶ。「幻の馬」とは最近県下でロケも行つた映画の題名である。今度はバスとすれ違う。窓から首を出して「オーライオーライ，うしろオーライ」とこの道案内役仲々に忙しい。部落にさし掛るとマネキン嬢が「こちらは東北電力……」と放送を始める。車内では乗員総掛りでゴム風船をふくらます。赤，緑，桃色，空色，褐色と色取々で仲々美しい。これは部落の良い子達へのお土産である。正午，正面に海が見え出した。風が強いと見えて紺碧の日本海には一面に白波がたつている。やがて車は海岸に沿うて走る事数刻，間も無く本日最初の宣伝予定地鰺沢町に着く。こゝは近頃附近の数町村を合併して大鰺沢町となつた。昔は西海岸著名の漁港として「はたはた」「さめ」の魚獲に潤つたが今は獲物も少なくなり漁師は北海道に出稼ぎに行きこちらに帰つている間は失業保険で暮している。だからパチンコ甚だ盛んであるという。

散宿所に着いて一同昼飯にする。この散宿所はその昔西海電気本店の建物で小なりと雖も鉄筋コンクリート二階建，県下散宿所随一の建物である。食後町の広場で展示会に移る。先ずパイプを組立てゝ棚を作り器具を並べる。一方サービスカーは町の主な通りを巡回して「鰺沢町の皆様，こちらは東北電力で御座います，本日1時より小型電気器具の実演展示会を開催致します。皆様のお出でをお待ちして居ります。」と触れ廻る。同乗していた私は何だか自分がサーカスの1員になつた様な気がした。町廻りを済まして帰つて来るともう会場の仕度はすつかり出来上つて実演を待つ計りになつている。陳列台上に並べられたのは焜炉，ミキサー，扇風機，アイロン，螢光灯，揚水ポンプ，トースター，洗濯機，テーブルグリル，バイブレーター等等，等である。

陳列台の周囲を3，4列に重なつて子供さん達が取巻く。その後に町の青年達，おぢさん達が，さてその人々の間から1番肝心な奥さん達が首を出している。1番実演を見て貰いたいのはこの恐る恐る人込みの後から覗いている家庭の主婦達なのである。後刻私はこの主婦達が一番良く見る事が出来る様に子供を整理したらどうかと係の人に云つた処，いや子供は子供オンリーのもあるが母親に付いて来ているのも多い。子供を整理すると母親迄一諸に帰つて了うからうつかり整理は出来ないとの事であつた。お客さんの人気は矢張自動的に廻転するものに集る。そこでマネキン嬢の説明も専らミキサー，洗濯機，バイブレーターの使用法に集中される。林檎を四つ切にしてミキサーの中に入れる。水と砂糖を加えてスキツチを入れると猛烈な勢で廻転を始めて忽ち美味しいシロツプが出来上る。之をコツプに分けてお立会の皆様に飲んでいたゞこうという仕掛になつている。「お値段は一番安いので9900円只今実演中のものは12500円で御座います。」というマネキン嬢の説明に今迄面白そうに見ていたお客さん方，一斉に小首を傾けて了う。「とてもとても我々のお懐に合わない。」と云つた表情である。次は洗濯機の実演，散宿所から借りて来た洗濯物を洗つて見せる。「お値段は29500円。5ケ月々賦でお取引致します。」と云う。とても万単位では誰も手が出ない様である。家庭電気器具類せいぜい今の半額位にならないと一般の人々には高嶺の花であろう。約1時間に亘る実演を終つて又一同は本日の第二会場，五所川原に元来た路を引き返す。サービスカーは路傍の人々に窓から宣伝ビラを撒き乍ら走る。音楽を聞きつけて，折から紙芝居に群つていた子供達が一斉に走つて来る。紙芝居のおぢさん1人取残されてポカンとこちらを見ている。

林檎園では今噴霧器を用いて盛んに裸の木に薬剤を撒布している。この噴霧器の動力は電力，石油発動機，手押しポンプと3種類ある。電気を用いているものが県内で600台，特にこの地方に多い。薬剤は年に5回程撒布する。1回の撒布が2.3円掛る。裸の木，芽の出た時，葉になつた時，実のなつた時と害虫の種類が変り従つてこれに撒く薬の種類が違う。やがて3時過ぎサービスカーは五所川原市に入つた。ロータリーの前の広場で展示会に移る。今日の日程はこれで目出度く終了。明日は金木方面に向つて宣伝の旅を続ける予定である。

2. 花の弘前

弘前の桜については前から聞き知つていた。それに

天主閣に堀と桜をあしらつたポスターも時々目にしていた。又読者諸兄は第22号の社誌の表紙で記憶に新たな事であろう。併し今度実際に行つて見てすつかり感心して了つた。いや全く凄いものである。誠にこれこそ「これはこれはと許り花の弘前城」である。大低の名勝旧蹟というもの，見ると聞くとでは大分そこに隔りがある。殆んど宣伝の方が大げさで実物の方が劣つている。この傾向は大都会の近所程多い。京，大阪の名勝地など大低は何だこんな処かという感が深い。所が弘前の桜はこれと反対である。東北一とか何とか聞いていたが例の伝で大したことはなかろうとたかをくゝって行つたら，全く予想外で驚いて了つた。場所は弘前の旧津軽侯の居城の跡である。こゝが今公園になつている。広さ15万坪，桜見物は急いでも2時間は掛る。桜樹2000本，これ丈けでも充分美しい眺めであるのに，これに多くのアクセサリーが付く。その1つは城である。城と云つても大阪城や姫路城の様な壮大なものではないが，天主閣，3つの角櫓，5つの城門が昔のまゝに残され，そのうちの幾つかは現在重要文化財に指定されている。次は之を取まく三重のお堀であり，堀に掛つた幾つかの朱塗りの橋であり，更に桜の間に点在する大きな松の木である。「花の外には松許り。」とは必ずしも道成寺の専売ではない。それにもう1つ近頃増えたのか弘前営業所苦心の照明である。

桜の見物は昼と夜に分れる。昼の部の客が灯ともし前に帰つて了うと夜桜見物の客が押しかけて来る。何も寄席や芝居ではあるまいし，昼と夜と客の入れ替えをするわけではないが，時間や食事の関係で自づとそう云う事になるらしい。だから最も要領良く人の少い時にゆつくり花を見ようと思うならば，昼の客の引いた後に行つて夜の客の混んで来ないうちにその間隙を狙つて見物する事である。つまり遅い昼桜に引続いて少し早い夜桜を見る方法である。

公園内どこに行つても桜が在るが，こゝという見どころは，朱塗りの橋と堀とを隔てゝ天主閣を望む個所，こゝはこの公園内の景観第一の個所である。次に本丸跡，こゝからは花の雲を隔てゝ岩木山の秀麗な山容を仰ぐ事が出来て一段と趣がある。但しこの場所は広場に一杯に筵を敷いて酒宴の客がドンチヤン騒ぎで足の踏み場もない。酒に縁のない人間にはたゞ騒々しい処である。次は外堀の両岸の堤を埋める数丁の花のトンネルである。

夜桜となると月夜でもない限り照明なくて何の己が桜かなである。そこで弘前営業所の腕の見せ所という事になる。照明の種類は投光器とつり下げ灯ぼんぼりとに分れる。投光器は1000Wと500Wの2種で計60灯程。これは堀端の堤の下などに据え付けて城を中空に真昼の様に浮き出させている。電光に白く輝く城壁と桜，更に之が堀の水に映じてこの上なく美しく，人を夢幻の境にさそう。つり下げ灯は花見客の頭上に輝いて道を照らし桜を照らし水を照らす。大は500Wから小は300W迄各種併せて150灯程。ぼんぼりは堀に沿うた桜のトンネルの両側に風情を添えて100Wが130灯程。以上各種の照明方法も年々改良されて益々夜桜の美しさを発揮させている。　（青森支店長）

運と災難



一戸三平

運は，めぐり合せであつて，何時何処でめぐり会うか予期出来ない。亦運には幸運と不運があつて，その中でも自然的現象或いは人為的な他の事柄により受けた不幸を，災難とも云われて居る。運は予期出来ないものであるが，そうばかり思い込んでも居られぬと云うので，古人は，「運は自ら啓け」，と訓えて居る。なるほど或る程度はうなづける事であつて，幸運になる様に努力したり，災難を免れる様に注意する事は，何%かの適中率がある事は確である。運の内容をよく分析すると，時の運びと，身体の条件，及びその位置の支配に関連して居る様に考えられる。殊に災難の場合，被災者の注意が不足して居る事に起因して居るのが大部分である。即ち，最も被災の可能性のある所に位置したり，亦それに加えて，身体の条件の最も悪い時であつたとかである。然し他の一つの条件，時の運びだけは人為では到底避けられぬ事柄であろう。運は人にとつては幸運ばかり続き，亦不運続きの人もあり，亦交互に来る人もある。即ち，人生は塞翁が馬と云われる手本を示す人がある。

運の幸か不幸かは，誰でも思い当る事があろうが，

手近な所で自分の例を挙げて見ても随分あるものである。その中で最も記憶に残つて居るのは戦時中の事であつた。当時私は，豊橋の海軍施設隊に居て，航空隊の滑走路の整備に従事して居た。昭和19年の夏であつた。滑走路のコンクリート打ちを盛んにやつて居た時で，現場の監督に行つた時丁度，コンクリート・ミキサーのモーターが焼けて動かないと云うので，ミキサー据付の丸太の足場の中へ，上半身を乗り入れて，モーターを覗き込んで居たが，ふとガソリン・エンヂンの音がするので，丸太の間から，その方を見ると，5屯機関車が鍋トロを牽引して走つて来るのが目に写つた。私は丁度その時，上半身だけ足場に乗り入れて居り，下半身は軌道の上に伸して居る状態であつたので，急いで足を引き込ませようとしたが，足場の横梁が邪魔して全部は引込まれぬ。機関手に声をかけても，生憎機関手は後方の鍋トロの脱線に気をとられて，後方を見乍ら運転して来るので気がつかない。最後の努力に出来るだけ身を縮め，足を引込めた瞬間，足元に異状なショツクを受けた。機関手も漸く気がついて急停車，痛い感じは無かつたが，どこかやられたと云う気持で，足場から降りて足部を見ると，皮靴の底は横に真二つ，靴下も綺麗に横に裂けて居るが，足裏は何んの傷もない。驚いて傍に飛んで来た連中も，随分運が好いなあと感心して居る。実際考えて見ると，災難を免れた幸運の部類であつた。その時，持つて居た成田不動さんのお守に救われた気持で今でも離せない。結局丁度折悪しく機関車が来たと云う，時の運びの不運と，身体を乗り入れた位置の悪いこと，並びに酷暑の候で機関車が傍に来る迄気がつかなかつたと云う，3つの運に支配された災難で，無事に済んで幸運に恵まれたと云う事になると，逆に云えば，乗り入れた身体の位置が，ぎりぎり一杯の幸運の位置であつた事になる。

亦同じ頃の話であるが，私等の合宿の同僚の所に他の現場の人が面会に来て，夜遅く迄酒を汲み交し，泊れと云うのに，豊橋の前の下宿を訪れて泊るからと，無理に帰つたが，その晩，愛知県一帯を襲つた強震の為，泊つた下宿先の梁が，寝て居る彼の顎に落下して即死した事を，翌朝聞いて，災難は何時何処に起るか知れない事を痛感した事がある。之も時の不運と，寝て居た位置の支配と，酒を呑んで居た為，地震を感じても直ぐ起きられなかつたと云う，身体の悪条件の不運が重つたものと考えられる。

愈々戦争も末期に近づいて，B29が毎日の様に名古屋方面を空襲する様になつたが未だ豊橋の航空隊は襲われなかつた。その頃私は豊川に転任になつたが，それから1ケ月位過ぎて，豊橋の航空隊が猛烈なグラマンの空襲を受けた。散々な被害を受け，本部の当直将校が7名も同じ壕で跡方もなく爆死をし，本部の二階建の建物は，前面の羽目板が吹き飛んで，素通しの様な状態であつた。豊川に3ケ月も居て，それから三重県の津工廠の地下施設の設営の方に廻つたが，この後今度は，豊川が爆撃で大半やられたと云う報で，自分は運よく爆撃から逃げ廻つて居る恰好であつた。今考えると我乍ら時の幸運が味方して呉れたものと考えて居る。

昭和7年頃の大分前の話であるが，湯沢のスキー場での事である。湯沢はスロープも大した所でなく，雪質も悪いが，目の前に温泉場があり，東京から近い関係上，相当賑う所である。そこで滑つた時の事で，夕方近くなつて急に吹雪に変り，視界が効かない様になつた。もう帰ろうと思つて居ると，傍に居たスキーヤーが先に滑降した。吹雪の中を黒い影が降つて行つたと思つたら，100米位前方で放り出され，転倒した様子だが仲々起きない。私も滑降してその前で止ると，既に他の人が抱き起して居たが，口から血が流れて居り，下顎を割つた様だ。そこには大きな岩石があつて，吹雪のため見えなかつたのである。ほんの2，3米右か左に外れて居たら，衝突しないで済んだ事だつたろう。これこそ位置の幸運に見放されたものである。反対に若し自分が2，3秒先にスタートして居たら時の不運が待ち構えて居たのかも知れない。自分の例をとると，以上の様であるが，先ず災難だけは兎に角，免れて来て居る様である。

最近の例であるが，御承知の洞爺丸事件でも当地の知名の士の奥さんが，北海道に渡つて居て，洞爺丸で帰る予定の所，御主人よりの急用の電報で，前の船で帰つた為，難を免れた人が居るが，この反対に用事が出来て，前の船で帰るのを，洞爺丸に乗つた人もあろうし，之こそ本当の時の運，不運の別れ目である。当地の新築された，県営アパートの屋上で，わざわざ防止柵を乗り越え，胸壁の上を渡つて遊んで居た子供が，足を踏み外して墜落し，普通なら即死の所を偶々下の用水で，大根を洗つて居た男の背中に落ちて，生命には別条が無かつたとの事であつたが，災難は何処にあり，亦その直後に幸運が待ち合せて居るかも知れぬと云う好い例である。これなど子供にとつては，位置の運が誠に好かつた事になるが，下に居た大根洗いの男の人にとつては，子供の命を助けたと云うものの，無心に洗つて居る最中，突然天から落ちた衝撃に如何に驚いたことか，天から降つた災難とでも云うべきであろう。

28年3月中共から帰つた兄の話であるが，昭和21年3月，2・3事件と云う，捕虜日本軍の暴動事件が起つた。この事件のため，一般日本人も小学校に拉致され，中共軍の取調べを受けた時の事である。その際日本人の1人が，監視の隙を見て逃亡した直後の事，中共側から，便所に行き度い者は手を挙げろと云われ，丁度兄の直ぐ傍に坐つて居た，某会社の庶務課長O氏が只1人挙手した所，廊下に連れ出され，暫くして1発の銃声と悲槍な叫声が聞え，その儘O氏は帰つて来なかつたと云う。中共の監視兵が，日本人を逃した為，その責任上O氏を犠牲にしたものだと云う。小便が詰つた詰らぬかで，死の災難が待つて居たのである。これなど，先に日本人が逃げ出した為の時の不運と，身体の条件の支配が最悪の不運に向つた為であると考えられる。今年の2月の衆議院の選挙で代議士立候補のN氏が，日詰町で街頭演説中，応援弁士と交替のため，入れ換る瞬間，疾走して来た酔払運転のオート三輪の為，はね飛ばされ，N氏は病院に担ぎ込まれたが死に到り，他の2名は重傷，この災難など2，3秒早いか遅いかで，死を免れた事で，時の運びの災難であり，今はやりの言葉でタイミングが悪かつたのである。

「人生塞翁が馬」の好例は，自分には余り聞かないが，昭和28年に大明神のマイクロの道路工事で，土地の豪家に御厄介になつた事があつたが，御世話になる1ケ月ばかり前に優秀なホルスタインの乳牛を，水溜りの傍へ繋いで居たら，水を飲むため湿地に足をゆり込ませ，溺死したと云う事で非常に残念がつて居られた。その後，豚が12匹の仔を生んだと大喜びして居られたが，間もなく豚コレラのため親諸共全部駄目になつた。僅の期間で不幸，幸，不幸と続いた例である。その後御無沙汰して居り様子も判らぬが，今度は何か目出度い幸運が訪れた事と思つても居り，祈つても居る。

「運を自ら啓く」，という事は，出世運とか，金運とか，生命運とかを，好い方向に運べばよいのであるが，之は個人的な方法や，主義があつて各々異るので論外として，不幸や災難を防止するには，先ず出来るだけ細心の注意をする。例えば，地震があつた場合でも安全な様に，周囲の状況を判断して常に注意する。火災を起さぬ様注意するのは勿論，若し火災になつても逃げ場を考えて置く。町を歩いて居ても四方上下に注意してどんな災難でも避けられる態勢を整えて置く。亦強盗や不良に襲われぬ様安全な道を通る。一つの事に夢中になつて他の事に油断してはならない。充分な注意力と，判断と，不断の身体の練磨は不時の災難を免れる手段でもある。

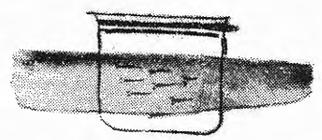
海辺に居る千鳥は，砂浜に巣を造り卵を生むが，人間にとられる災難の可能性が多い為，偽の巣を沢山造り，その中に卵に似た砂利を入れ，尚人が近づくと，親鳥は傷を受けて居る如くビツコを引いてよちよち歩き，人間の方は捕える気持になつて，親鳥に誘導され，巣から遠い所に来ると飛び立つと云う。これだけの努力をすれば災難も或る程度避けられる事であろう。

当県の或る代議士は，家に帰ると，簞笥の上の物を引き込ませ，地震の場合等落ちない様にし，亦御子さんには，自動車に乗る時は大型を撰ばせ，衝突してもなるべくゆとりのある様にし，映画館に入つたら，二階の下は避け，亦中央でも無く，その中間に位置して，非常の時に出易い様に注意し，亦煙突掃除は手まめにさせて火災防止に注意するなど，非常に細い神経を使つて居られる様であるが，之れだけの予防手段を講じて居れば，災難の厄神も先ず避ける事であろうが，時と云う運びだけは如何なる人でも避けられない事である。

「時の運と諦めよ。」と云う言葉は原子力の時代でも変化させる事は出来ないであろう。

（岩手支店　土木係）

鵞鳥のはなし



連山仁一郎

雨季がやつて来る。物みな濡れるシーズンである。

濡れるだけでない，浸みとおるのである。そしてそれは身にも心にも浸みわたる。よろずのものなべてじめじめしてしまうのだ。己れの皮膚に苔が生えて来る様な錯覚さえおこす。南方の雨季はそれを味わつた人でないとちよつと想像がつかない。雨が降つているということは時たま水が天から降つて来るからそういえるので，空の栓が抜けてしまつているのでは降るという言葉は当らない。26時中明けても暮れても水は落ちつばなしである。滝の下に住んでいる様なものなのだ。それに加えて相変らずスコールの時間が来るとその滝の量はどうどうと音を立てゝ水量を増すのである。こうなつて来ると現地人の間にマラリヤの発作が出て来る。1人2人と休み出す人間が増えて来る。我々もスコツチの靴下だけでは駄目で長いズボンを着用するようになる。毛のシヤツを着る人も出て来る。早朝などは綿毛布にくるまつているだけでは寒い。本物の毛布を引張り出して来る。そしてそうする時分には生物は皆憂うつになつてしまう。

やがて雨のいたずらが始まる。思わぬ所に水が出て来る。田畑はあふれ道をよぎつて川になり，育ちは早いがそれだけ脆弱な南の草木はへなへなと雨に手折られ見るかげもなくなる。そして朽ち出す。手に届かず木に残つていた果実もばたばた音を立てゝ落ち死ぬ。雨のあたる部分が全部ぬれそぼむと今度は家の中の番になる。黴だ。食物に黴が生え出したら急いで凡てのものに気を配らなければならない。洗つて干してあるからと安心は出来ない。糊のついた下着でもよく乾燥してないと忽ち黴が生える。穿かない靴も兎の毛の様なふわふわした黴に飾られてしまう。現在着ている服でさえ，食物の汁でもかゝつていようものならそこには黴の模様が浮かび上る。床からも天井からも黴が生える。まごまごしていると寝台の下から木茸が生えて来る。

雨垂れは雨のせゝら笑いである。耳をふさいでも目をつむつても頭にひゞく。万事おわりである。そしてマラリアの発作が起きる。歯がガタガタ鳴る。止めようにも止まらない。雨垂れに共鳴させられてしまうのだ。〃雨ぞ降る〃という雨季に起つた物語りの映画があつた。南方から帰つてなつかしさの余りその映画を私と見に行つた女人は，その晩にマラリアの発作を起した。私はあらためて雨のシーンのうまさに驚嘆したが，雨季を克服するために我々がどんなになやんだものだつたかも思いださせたものだつた。

そこで私の鷲鳥のはなしが始まるのである。私の憂うつが動物達に移つたわけでは決してないが雨季になると動物達も皆元気がなくなる。物を言わなくなつてしまう。相手をするのもいやだといわんばかりである。いくら誘つても応じて来ない。相手にしてくれないとますます相手のほしいもので，ようしそんなら鷲鳥を飼つてやろうと思いついたのである。鷲鳥といつても内地の鷲鳥さんとはちよつと違う。鷲鳥の親分みたいな奴で背のびをすれば大人の背丈にもなるスマトラ鷲鳥のことである。羽ばたいて立向う姿は自分の紋所にしたい位の立派さである。全身白一色，どうしたことか鶏冠だけがみにくい。赤に黒を交えたとさかである。肉の瘤といつたような大きなとさかである。その他はべらぼうに鳴声が大きい位で普通の鷲鳥と変らない。私はこれにぞつこん惚れこんでしまつたのである。

大体南方に行くと誰でも気のつくことだが家畜類が如何にもよく人になつついていることである。これは建物の構造にもよることゝ思われるが，家畜が代々家族と同様に親しまれ大事にされて来た結果にもよることらしい。例えばにわとりでも名をつけて呼ぶ。よべばやつて来るし，散歩にもついて来るといつた調子だ。家鴨も同じである。それかあらぬか愛玩用の小鳥ともなれば，--段と馴れ方は優つていて，文鳥類やいんこ類に至つては殆んど放し飼いで，四十雀のおみくじ引き位の芸当は日常茶飯事である。おうむや九官鳥だけが人の口真似をするのかと思つていたら大間違い，かけすや烏までその舌を削つて口をきくように飼馴らしてしまうのだから推して知るべしである。

鷲鳥も亦しかりである。所が私が気に入つたスマトラ鷲鳥は犬でいえば秋田犬か柴犬かともいうべく，天然記念物に指定したい代物である。即ち人によく馴れるが御主人以外は絶体に服従しない。そればかりではない。犬に優るとも劣らない番人になるのである。鷲鳥を飼つて留守番をさせておくと犬なんかよりよつぽど確かだといわれている。鷲鳥は侵入者に対して叫び声をあげ，羽ばたきし，爪立ちして相手の目をねらう。侵入者も眼をやられては立打ち出来ない。すごすご引揚げざるを得なくなる。私は身を以て之を体験し大いに気に入つたのだ。嘗つて鳩打ちに連れてゆかれ，ゴム林の山中で迷い，水を求めて農家に立寄つた時，大きな変つた鷲鳥があらわれたなと思い乍ら無雑作に門内にはいろうとしていきなり騒ぎ立てられた。びつくり仰天まるで自分が悪い事でもした様な目に合わされた。その家の主人は門外に出て来てそれが平服

の日本人であることを認めると，鷲鳥を一言たしなめた。すると彼は身をよぢつて主人に甘えおとなしくなつた。私はこれにすつかり惚れこんでしまつたのである。

鷲鳥なら雨に強いにちがいない。私はすぐ四方に檄を飛ばした。所が1羽では可哀相だと番いを頼んだのでなかなか見つからない。待ちにまつて連れて来られた時は雨季も半ばすぎ，すつかり意気鎖沈している時だつたので私は子供のようによろこんだわけである。然し小さい時から飼わねばなつかないといわれているのにもう今にも一飛び二飛びしそうに大きい。近よつて抱きあげようとしてすぐつゝかれてしまつた。家鴨の親位はある。早速私はこの2羽を寝食を忘れて可愛がり出した。寝室の真下（床下は5尺も高さがあり吹抜けになつている）に小屋をつくつた。床に揚蓋をして私はそこから彼等に親しみ出した。夜ごそと音がしても蓋をあげて見張つたりもした。遂に彼等は根まけして完全に私のものとなり，私と寝食を共にする様になつた。そして勿論私はそのおかげで雨の憂うつは吹飛ばしてしまい，雨の中に一諸に遊びまわり池を大きく拡げなどして彼等と融け合つた。やがて雨が上つて毎日虹が大小無数に空を飾り雨季のおわりを告げる頃になると我が家の鷲鳥夫婦は立派に育ち1人前になり我が家の家族となつた。スマトラ鷲鳥のことを原語でアングサという。そこで私は彼等をアンとよびグーザとよんだ。勿論アンの方が彼女である。

朝私が目覚めて寝室の鎧戸をあけると，彼等はその音に亦目覚め，私がアーンとよぶ前にもう羽ばたきで合図をする。その頃は裏の物置に立派な部屋を貰つていた彼等は阿嫂が戸を開けてやるのももどかしく飛び出す。2羽雁行して私の目の前をかすめ60米も飛んで門の脇の池にざぶんと飛び込む。そして朝の御化粧をする。

私がベランダに出る頃には2羽とも，すつかり御化粧をすませてベランダに並ぶ。おいでというと私に体を押しつける。これが又実に力が強い。椅子にぼんやり腰を掛けていて私は何度もひつくりかえされ，逆に彼等をひつくりさせたりした。私の手から口から何でも貰つて食べる。一通り甘えおわると今度はゆつくり庭を散歩して池に戻つて行く。私が車で出かける時は必らず門に立ちならんで羽ばたいて鳴く。行つてらつしやいというのである。それから彼等は終日家を守りつづけるわけである。

帰れば必ず門で出迎える。そして私がマンデー（水浴）するのを知つていて，一諸に水浴びをして騒ぐのである。この時はあらい騒ぎで阿嫂は何時も気狂い沙汰だといやがつた。私は面白がつて彼等と大いに益々騒いだ。所がある日私はうつかりしていてアンに一物を突つかれて飛び上つた。いやおどろいたの何の相手は物珍らしさにちよいとつゝいてみたのだろうが，こちらは大あわてにあわてた。それがグーザがやつたのならまだしもアンだつたのでよけいにあわてた。後で人々に大いに笑話しを提供してしまつたが，それからというものは私は水泳パンツをはいて彼等とマンデーをするという仕儀に至つてしまつたのである。

私はアングサ達を私のほこりにしていたのだつたが，このお話しもおわりはまた悲しい物語りなのである。彼等が如何によく留守を守り，動物達を恐れしめ，それまでいろいろ垣を越してもぐり込む者共を追い払つてくれたかは数えるいとまもない位であり，その度に彼等の好物のみゝずを与え賞めてやつていたのだつたが，ある日どう間違つたのか，放れ駒ならぬ放れ水牛が1頭我が家目掛けて闖入するという事件が起つたのである。水牛は近くの沼に常に20頭位群をなして来ており，それには10才位の印度人のターバンをまいた可愛いゝ牧童がついていて実によく面倒を見ており，私も彼のターバン姿の愛らしさに仲よくなつていたが，その中の比較的大きな1頭が何を驚いたのか沼を飛び出しコンクリートの大道を一散に駈け出したのだそうだ。生憎くといえばそれまでだがその時行手から自動車がやつて来たので，急に進路を変える事が出来ない水牛は，辛うじて車を避けたもののその勢い余つて我が家の垣をメリバリバリと破つて躍りこんだわけである。

これを見た我が家のアンにグーザは，何で黙つていよう御敵ござんなれと一致協力してこの怪物に向つて行つたらしい。牧童が後を追つてかけつけ，阿嫂が騒ぎに驚いて飛出して行つた時には，もう既にアンは腹を一さきにされてしまつており，グーザが片目をつぶされた水牛に健気にも立ち向つている所だつたという。私が急を聞いて我が家に戻つた時は騒ぎは静まり，見物に来た部落の現地人達も引上げてしまい，アンはベランダの側の土まんぢゆうに墓となりはて，そこに線香を上げて泣いている阿嫂の姿があるだけだつた。私は暗然涙をのんだ。

阿嫂は気を取直すと一部始終を涙乍らに語り，とてもアンの死様を旦那（とぁん）に見せるに忍びなかつたので葬つたのだといつて又哀号哀号とないた。グーザはどうし

た。死ぬかも知れません。どこ？。小屋ですという。暗い小屋の中にグーザはうづくまり気息奄々としていた。血腥さい臭いがする。私を見てもあまり反応も示さないのである。私はグーザを抱いて頬ずりした。グーザはたしかに泣いていた。力を出し切つたのか体も冷え冷えとして次第に生命が薄れて行く様な気がする。私は古い下着を出して来てベツドを作つてやつた。グーザを寝かせて暫らく側についていたが不安はつのるばかり。とうとう我慢が出来ず，自分のベツドに下着にくるんで運んだ。グーザがこんなに重いとは知らなかつた。両の手に抱えて部屋に運ぶのがやつとである。グーザはちつとも抵抗しなかつた。一晩抱いてねた。翌日目を覚ますと，うつろな眼でグーザは生きていた。私は後髪を引かれる思いで会社に出かけた。

気になつて会社から何度も電話をかける。生きているといわれて安心する。然し全然変らない容態で何も食べないという。それなら口を割つてでも果汁をのましておくれとたのむ。阿嫂はおろおろするばかり。私は何も手につかない。グーザ元気になれよ。死ぬなよと心ではげます。仕事から開放されると飛んで帰る。生きている！医者をよんで来る。友人である医者は気のなさそうに通り一辺の診察だ。私は怒つてしまう。彼は笑い乍らこいつ仮病をつかつてるぢやねえかという。何ともないというのである。そんな馬鹿なことがあるものか。これこれこうであつて俺はこいつが死んでしまつたらどうしていゝかわからないんだと口説く。強心剤を打つて帰る医者は急に真面目なしんみりした顔で，なあおいこれはことによるとなかなかの美談になるかも知れない。成行にまかせた方がいゝかも知れないぞという。あゝそんなことがあるものだろうか。

それから3日3晩，グーザは私のベツトで私のなすがまゝになつていたが，私が物をやらねば自らは一滴の水も摂らず遂に目をつむつた。私は鳥が断食をして死ぬものかどうかは知らない。けれどもグーザは確かにアンの後を追つたのだ。阿嫂は哀号哀号と泣いて比翼塚を建てるのを手伝つた。私は思う。今は立派になつた印度人の牛飼が片目の水牛を伴つて毎月比翼塚に詣でゝいるに違いないと。　　（バードデーに）

（東京事務所総務課長）

アインシユタイン

―その人生観―



菅　雄吉

1955年4月18日にアインシユタイン博士が亡くなつた。日本流にかぞえて77歳である。

当社資料室に居られる小野さんが，河北新報紙に寄稿されて，アインシユタイン博士を追悼された。大正11年に博士が来朝した時，仙台に於ける講演会の準備に，当時若かりし小野さんはじめ，仙台のインテリボーイズが奔走した思い出を綴つたものである。

この記事を読んでいて，私は思い出した。今まで全然思い出さなかつたことであるが，私はこの天才を見たことがあるのである。私が小学生の時分のことだから，まことに夢のような淡い思い出であるが，幼時の記憶というものは思いがけない時に，ちよつとした機縁でよみがえつて来るものだ。ベルグソンによると，記憶というものは我々の頭の中にあるのではなく，記憶は脳髄とは独立し，過去はそれ自身を自動的に維持する。例えれば記憶はラジオの電波の如く，脳髄は受信機の如きものである。受信機のダイアルを電波の波長に合せることによつて，記憶は我々のものとなるとのことだ。私は私のダイアルを廻して電波に同調させて，次のような情景を思い出した。

小学2年生の私は従兄と2人で東北大学の工学部の構内でギンナンを拾つていた。葉のまばらになつたイチヨウの木の梢から，薄青い冬のモヤが下りて来る頃であつた。帰りかけた私たちの後から黒塗りの箱型の立派な自動車がエンデンの音も高く走つて来た。当時は自動車などというものは珍らしい頃で，私たちが立止つて見ていると，制服の運転手が運転し，客席には立派な顔の外国人が2人の日本人と並んで坐つていた。その外人は我々を見て笑つていた。従兄はあれはきつとアインシユタインだ，と教えてくれたが，私もその名前は当時聞いて知つていた。自動車はたちまち走り去つてしまつたが，アインシユタインの来仙は当時の大人達の大きいトピツクであつたから子供の耳にも聞いていたのである。

歴史上の偉人と同時代に生きたということだけでも既に喜びである。その人を見たことがあり，その人に見られたことがあるとあつては，微少なる私にとつて光栄これに過ぐるものはない，と30数年後の今日になつてやつと私は感激しているのである。まことに遅かりしことではある。

以上で私がアインシユタインについての書くことはおしまいである。これではあまり短かいので蛇足ながら私の理解し得る範囲で彼について書くことにする。岩波新書版「わが人生観」の中のアインシユタインの述べた短い文章により，彼の人生観をうかゞい知ることにしたい。「わが人生観」は英国のBBC放送が1929年に著名の人々を選びその人生観を述べてもらつたものを集録したもので，文学者のH・Gウエルズや探険家のナンセンや生物学者のホールデンなどが名を並べている。当時アインシユタインは51歳ぐらいである。「不思議なのはこの世界における私たちの地位である。誰もがほんの束の間の訪問のためにこゝにやつて来る。なぜかということは知らない。だが時々一つの目的を感得するように見える。」アインシユタインはその人生観を述べるに当つて，こう切り出している。この言葉は，もし書いた人が誰だか分らなければ科学者の言葉とは思えない。宗教家か思想家の言葉のようである。事実彼が物理学者としてなしとげた仕事は全く理論的なもので，実験とは関係があつても，技術とは殆んど関係のないものであつた。然し原子爆弾の出現によつて，その理論的な最初のきつかけが彼の特殊相対性理論であるために，原爆を発明したのがアインシユタインであるかの如き誤つた印象を与えていることは皮肉である。まことに「不思議なのはこの世界における彼の地位である。」彼は暴力を憎む人である。原爆などゝいう恐るべき武器の出現には恐らく反対であつたろうと思う。彼の反軍国主義は幼年時代の次の挿話にあらわれている。即ちビスマルク時代のドイツのミユンヘンに育つた彼は，周囲の子供が皆兵隊ごつこに熱中していた時に，軍隊の行進に出会うと泣き出してしまつた。そして「僕は大きくなつても，こんな可哀そうな人々の一人になるのはいやだ」と両親に云つた。他の子供が熱狂していた時に，彼は兵隊たちに課せられた強制をみてとつた，ということである。それは人間が他の人間に対して勝手に課する強制を憎んだのである。後年彼は戦争を無くす為には，世界が一つの連邦になることが必要だというわけで，世界連邦運動の熱心な唱導者となつたが，これは平和主義者としての信念に出たものである。

然し第2次大戦中に彼はルーズベルト大統領に原爆の製作を勧告したという事が云われている。これは次のような事情であるらしい。1933年にヒトラーによりその地位と財産を没収されてナチス・ドイツを追われた彼は，アメリカのプリンストン大学の研究所に入つたが，間もなく大戦が起り，ドイツのカイザー・ウイルヘルム研究所ではヒトラーの命により原子核分裂の研究が進んでいた。当時コロンビア大学にいた2人の亡命学者，ドイツから逃れて来たレオ・シラルトとイタリアから逃れて来たエンリコ・フエルミは，普通の爆弾より数百万倍も強力な破壊力をもつウラニユーム爆弾がナチス・ドイツの手に入れば，彼等はそれを侵略戦争に用いるであろうと確信したのである。当時アメリカの普通の技師や役人や軍人は相対性理論や原子核物理学は，工業上何の応用も出来ないものであると見なして居り，従つて原子力に関する研究に対して関心を持ち，多額の費用を出させることは困難な問題であつた。それで政府の高官を動かすために，アインシユタインの名声を利用したのである。それでシラルトとフエルミはアインシユタインに直接大統領に訴えるようにすゝめたのである。アインシユタインはその様な軍事的なことに関係するのを嫌つたが，又一方に於て近い将来ナチスがこの原子力を保有するに至ることを確信していた。アメリカに於ける最も有名な科学者としての特別な地位に責任を感じた彼はその義務として，1939年8月にルーズベルト大統領に手紙を送つて，ウラン元素の強力な破壊力とこの領域に於けるドイツ科学の進歩を告げ，アメリカの科学者を動員してこれに対抗すべきであることを啓示したのである。斯くしてその後アメリカは26億ドルの巨費を投じて原爆を完成したのであるが，このことについて彼は深い責任を感じているということである。（P．フランク「アインシユタイン」による）軍国主義を嫌つた彼が恐るべき原爆の完成に責任を有するということは，全く皮肉な運命である。彼が「この世界における地位」に不思議を感じたのは偶然ではないようである。「私は我々が哲学的な意味でいさゝかでも自由をもち得るとは信じない。なぜなら我々は外的な強制の下に行動するだけ

でなく，また内的な必然性によつて行動するのであるから。」と彼は「わが人生観」の中に述べている。彼は自分の行為を運命的な推進によつて為されたものであると思つているようだ。誰からも何物にも影響されない自由な意思と行動とを否定している。彼の劃期的な発見，相対性理論や光量子の理論すらも，他の人々の発見や努力に負つていると公言している。

彼は更に続けて「凡人は確かに彼が為さんと意志することを為すことができる。然し何を意思するかを自ら決定することはできない」というショーペンハウエルの言葉は，青年時代の私の心に刻みこまれ，それ以来，人生の辛酸を目撃したり自ら経験したりするとき常に私を慰めてくれた。この確信は絶えず寛容の心を養つてくれる。というのはこの確信が我々自身もしくは他の人々のすることを余りに真剣に考えすぎることを許さないからである。それはむしろユーモアの感じを助けるものである。」と云つている。

アインシュタインは1905年に3つの重要な論文を発表した。「特殊相対性理論」と「光量子の理論」と「ブラウン運動の理論」との3つである。時に27歳である。何れも物理学史上一大転機となつた論文であつた。これらはニュートン以来の機械論的力学やエーテル説などを覆えす程の説なので，物理学界は勿論哲学界にまで大きな論議をまき起した。彼の名声は次第に上り，ヨーロツパの各大学は彼を争つて招いた。そして彼の理論が次第に共鳴者を得，その真実性が追々に証明されてくると，ユダヤ人としての彼に対する人種的な圧迫が漸く勢を増し，彼に対する相反する評価は政治問題にまで発展して行き，大衆的な関心を呼んで，彼はまるで人気スターのような評判を得た。彼の講演会は常に満員で，彼は出来るだけその理論を通俗的に話したが，それでも理解できる人は極くわずかであつた。

ユダヤ人問題はヨーロツパの悩みであるが，その象徴的な形としてアインシュタインに対する攻撃は，ヨーロツパに於ける反ユダヤ主義の結集であつたわけだ。だから反ユダヤ主義が物理学的，又は哲学的な論議の形であらわれる結果，アインシュタインはしばしばとまどつたらしい。そこで前記のショーペンハウエルの言葉を噛みしめて，寛容の心を養つていたものと思われる。

彼の名声は国外にも波及し，この有名な科学者はどんな男だろうという好奇心から，諸外国から招かれ，ヨーロツパ各地はもとよりアメリカ，アジアへも旅行した。ニューヨークでは爆発的な歓迎を受け，新聞記者のインタービユとフラツシュに襲撃された。もつともこの1921年は，その前々年にイギリスの日蝕観測隊がアインシュタインの予言——光は太陽のそばを通過する時曲げられるという太陽の重力場の理論——を実証したその直後であつたゝめ，アメリカ市民は熱狂して彼を迎えたのである。大衆は何でもいゝから英雄を好むということを彼はよく知つていた。彼は冗談にいう。「ニューヨークの御婦人方は毎年新らしいスタイルを持とうとなさる。今年の流行は相対性理論です。」彼は大衆の彼に対する熱狂的な人気を諦観的な気持で受けていたようだ。むしろユーモアの感じを持つていたとも云える。

1922年11月彼は日本に来た。数百の日本人が難解な彼の講演を，通訳を入れると4時間も辛抱強く聞いていた。彼は気の毒がつて第2回目の講演では2時間半に縮めた。これが彼に従つていた日本人に不満を与えた。彼が何が不満なのかときくと，第2回目は第1回目のように4時間かゝらなかつた。馬鹿にしている，というわけである。アインシュタインは思いやりがあつたけれど，東洋的忍耐については理解がなかつたのかも知れぬ。聴衆は分つても分らなくてもこの天才を長時間見ているだけで満足だつたのであろう。この挿話も彼にユーモアの感じを与えたに違いない。

「もしも芸術や科学的探究に於て永久に到達し得ないものを追求することで，同じ心持の人々と協力しているという感じがなかつたら，私の生涯はさぞ空虚なものであつたろうと思う。」と「わが人生観」は続けられる。

彼はその風貌むしろ芸術家の如くであつた。1933年ナチスの為に家も家具も預金も地位も一切没収された彼は，たゞバイオリンのケースだけ持つてアメリカへ渡つた。それは演奏旅行に出るバイオリニストの如く孤高な印象であつたと伝えられる。彼はバツハ，モーツアルト，ベートーヴエンを愛し，常にその作品を演奏した。その腕前は素人ではなかつたそうである。来日の際も帝国ホテルの歓迎会で「クロイツエル・ソナタ」を演奏したが，聞いている人は科学者ばかりであまり共鳴はしなかつたらしい。それよりもこゝに東京都世田谷に住む1主婦が朝日新聞の「ひととき」に寄せた1文がある。33年前少女であつた彼女は門司でクリスマスを祝つていた。その夜アインシュタイン博士は船待ちのため門司の宿に滞在中で，クリスマスを祝うため，夫人，令嬢とともにその教会に現れた。司会

の人に紹介されて「われるような拍手の中を3人で壇上に上られ，アインシュタイン先生はニコニコと童顔をほころばせ，私たちに話しかけて下さいました。アインシュタインおじさんとお呼びしたいようなお方でした。先生はバイオリンを持参されていて，今宵この会場へ集まつた人々への贈物として，それはそれは美しい曲を，いくつも惜しげなくきかせて下さいました。その感激！すでに先生は，相対性理論の創始者として，えらいえらいお方と子供心にもよく知つておりましたゞけに，その夜の感激はいつまでも変ることなく，降誕祭のめぐりくるごとによみがえつてくるのでした。」

彼は芸術と科学とを対立的には扱つていないようだ。そのどちらにも同じような神秘を感じている。「我々が経験し得る最も美しいものは神秘なものである。それはあらゆる真の芸術と科学との源泉である。」と述べている。従つて音楽でも不協和音や野蛮なリズムを用いる現代音楽は好まず，端正な古典音楽の調和を愛する。同様に科学に於ても宇宙の神秘な美しさを求めて相対性理論を創始した。三次元の空間と一次元の時間との調和，それが彼の目的であつたように，私などは思つている。だが彼はこれで宇宙の神秘を解いたとは思つていない。「永久に到達し得ないものを追求する」のだと思つているようだ。宇宙は一つの謎物語であつて「科学者をかような書物の読者に擬して，彼等は幾時代も幾時代も相ついで絶えず自然という書物の中の不可思議を解決しようとするものだ。」と考え，この自然という書物はまだ読み尽されてはいないが，「私たちの理論的構成によつてこの実在を把握することが可能であるという信念がなくては，又私たちの世界が内的調和をもつているという信念を缺いては，科学はまるであり得ないでしよう。」（物理学はいかに創られたか）と宇宙の調和を信じ，その神秘の美しさを知つているのである。

「我々の立ち入ることのできないものが現に存在し，それは最高の叡智と最も輝かしい美として現われ，我々の低い能力は最も原始的な形でのみそれを了解するのだということを知ること，これが真の宗教心の中心にあるものである。この意味でのみ私は熱心に宗教に帰依しているのである。」（わが人生観）と述べているが，神秘的な経験をもつているものが本当の科学者であり，自分は真の科学者であつて，自分の宗教は世のいわゆる宗教家の云う宗教とは違つて本当の宗教なのだという自負が，この中に見えている。未だ読み尽されぬ自然に対しての科学者の努力は，その神秘感によつて支えられているものである。言葉では表現することのできないものを語つている音楽の中に没入するのは，神秘な自然を研究するのと全く相通ずるものである。「宇宙の構造の合理性に対する深い信頼！そして宇宙に現われるどんな小さい理性の閃きをも理解しようとする切望！これはケプラーとニユートンにもあつたに違いない。」とも云つている。

科学的な仕事にたずさわつている人々で，唯物的な観念に拠つている人々には意外でもあるこのアインシュタインの思想は，科学史上に多くの頁を割かせるような天才——ケプラーとかニユートンとかフアラデーとか——と相通ずるものがあるであろう。そして今日のいかなる科学の進歩もこれらの天才なしにはなしとげられなかつたのである。

彼は28歳にして「特殊相対性理論」を創始したが，理論物理学の世界では真に創始的な仕事はこの時代になしとげられる。湯川博士もその「中間子理論」を創始したのはこの年ごろであつた。とはいえアインシュタインの如き劃期的な発見はやはり天才の仕事である。30前の若い頭脳が人類史的な仕事をなしとげるということは，思えばおどろくべきことであるが，彼によれば物理法則は直観の産物である。即ち彼は云う。「理論物理学の公理的な基礎が，経験からの推理でなく自由な発明でなければならないということが事実であるとすれば，我々は正しい道を見出すことを期待し得るであろうか。そして更にこの正しい方法が我々の想像以外に果して存在するであろうか。」これは科学というものが緻密なデータの基礎の上に成り立つていると漠然と思つている私などにとつては，少々意外な言葉である。だがアインシュタインの云うことに間違いはない。計測や実験の設備の整わなかつたギリシヤ時代の思索による科学が近世の科学の基礎となつたことを思えば，彼の云う如く科学の一般法則は帰納や概括の産物ではなくして，自由な精神の自由な想像の産物であつて，それは物理的な実験や観測によつて吟味され，確かめられるものである。つまり科学を生み出すものが実験ではなくて想像であるということである。これは天才の仕事であつて，残余の観測の方に従う人も科学者には違いないが，それは天才の仕事をたしかめ，これを普及するのが仕事であると云えよう。

（本店総務課）

短歌

扇畑忠雄選

朱き花　柏崎営　村山章

蛙鳴く山あいの田の夕暮に一人しをれば夜鳥来て啼く

霧ふきて日向の窓に置く鉢の今朝は咲きたり朱き花一つ

人通り絶えし舗道を帰りゆく雨あとなれば音のかそけく

五月雨にけぶりて見ゆる庭の隅紅きつつじの花際立ちて

峡の空　会津電事　西岡孝

錆びし搬器吊せるままに廃鉱の山の索道峡の空ゆく

年に一度の映画を観んと村人ら遥手に手に分校へ急ぐ

やはやはと午後の陽浴びし山の端に市営浄水池小さくきらめく

はだら雪　宮古営　山下一兄

重油滲むぬかるみ過ぎてはだら雪すがしく残る河岸に出でたり

早春の陽のさす窓に冬を耐へ生き来し蝿は羽音たてゐる

みちのくの海辺に魚乾す少年の声清らなり標準語にて

嫁ぐ日に　本店境野恭

嫁ぎゆく吾娘の荷物をトラックにつけて晴れたる街運び行く

結婚の式に出席したしとぞ東京より母帰り来ませり

睦びつつ旅に立ち出でゆく二人花束抱へ送らむとする

朝日ざし　秋田支　太田瀬徳

朝日差しやはらにさせる朝床に幼な子と語る童話桃太郎

朝日差しややに伸び来て童話語る幼な子の顔明るく照らす

朝日かげ及べる卓を囲みつつ親子三人朝餉を終る

パンジー　山郷G薄　小枝子

鉢植のパンジーを窓にジョルジュサンド読みてゐたりき胸病むひとり

朝々を鞄の中にひそませし彼の日の我のリルケ杳しも

新聞に今日伝へをり原水爆禁止をドイツの婦人も叫ぶと

雪の光　古川営　久保乙秋

やや芽吹きそめしポプラの木の肌に吹きつけしごと雪ひかりをり

所長室にけさ活けられし雪柳をりをり見つつこころなごめり

あたたかき午後はストーブ焚かず居て肢冷え来たる退勤時刻

風の音　盛岡営　北村正蔵

みちのくの盛岡の街の雪解けにわが靴濡れて歩みの重き

たそがれの電柱に鳴る風の音さびしく聞きて門を入るかな

この峡に我一人なり近ぢかとほそく澄みたるせせらぎの音

白木蓮　本店河野広治

お互ひの異なる主張意識しつつ投票終へて妻と微笑む

堰を破りし奔流のごとくメーデーの人群街をとよもし通る

白木蓮ゆたに咲きつぐ街をゆく遊廓と呼びしおもかげ偲びて

再会　仙営　渥美龍夫

電話にて恩師来たると聞きしとき否みて我はとひただしける

西国に旅して帰るみちすがらわれに会はんと恩師来給ふ

二十年会ひ得ざりける北海の恩師とつひに今日ぞあひける

春の雨　平営　志賀一美

ものの芽を静かにぬらす春の雨温床障子の紙に音して

彼岸あけていまだけ寒きこの宵を星の光りの何か親しき

瀬音　秋田営　渡辺としゆき

はしやぎつつ堅雪渡り山裾を小学生の幾群か行く

雪どけの水増しし川の瀬音聞き明日の作業のことなど思ふ

花信　岩支及川楽雲

この町の桜は今し散りそむと妻に書き居り花の便りを

友四人みな映画見に出で行きぬ散る花見つつ一人歌よむ

合掌　岩支柴野ゆき

薬師寺の塔の甍を濡らし降る大和の雨はやさしかりけり

合掌の白き御手もつ月光菩薩清き面輪は今に忘れず

雪解水　秋田営　田中安太郎

雪どけの水は下水にこもりつゝ地下に音たて流れ去りゆく

二日余りつづきし雨にさわやかな花の盛れる路の臺つむ

投票　平営　瀬戸一樹

記し終へ安堵と不安持ちしまま投票用紙箱に収むる

吾が票の含まれてゐる開票の中間発表緊張して聞く

額あぢさゐ　高田営　金子星河

高山に咲くなる花のがくあぢさゐる巷の花舗に束ねられあり

高山の清き沢のべ枝はりてひとり咲きたりがくあぢさゐるは

夜明け　白河変　北島卓也

内らより見透す外の麦畑に鉄塔一基白々と見ゆ

明けゆきていぶける如き麦畑に夜来の雨に残る雪あり

挿木　平営　見田皿海

咲き盛りし花に不安を寄せながら風向き変へて夕暮れとなる

無造作に地に挿しおきしばらの枝は春めぐり来てあはれ根づけり

街角　小出営　関よし

街角の小さき喫茶店に一人来て趣味の異る夫思ひ居る

三泊の旅行に出る日登校の吾子を追掛け衿を取替ふ

きつつき　小出営　若月紀美子

百合の花瀬波の浜に咲きゐるしを手折りてさしぬ黒き前髪に

きつつきは一つはなれし老木の梢の幹を今日もはみ居り

春怨　花巻営　阿保春宴

春雷のたかく響ける朝まだき花舞へるありうすき陽の中

春の宵共に歩みて城跡の散れる桜を賞でし君亡し

涙　平営　三浦貞美

予後悪き診断受けて抱きゐるし不具の児の頬に涙を落す

レントゲン写真示されつつ我児故にその体内の不具をうたがふ

夏日　一関営　大山篤

みちのくの夏近づきし今日一日野球日和の午後ののどけさ

夕もや　平営　若松長春

たかぶりし心慰む夕靄の中に小舟の傾きて見ゆ

やや芽吹きそめしポプラの木の肌に吹きつけしごと雪ひかりをり　久保乙秋

上句の表現はまだ伸びているが、「吹きつけしごと雪ひかりをり」には特殊な見方がある。みちのくの盛岡の街の雪解けにわが靴濡れて歩みの重き　北村正蔵

初句の「みちのくの」はこの場合気分的な表現だ。「盛岡」があれば、しいて「みちのく」と言わなくてもよい。雪解にわが歩みゆく靴がぬれて重いというような言い方の方が順直だろう。

堰を破りし奔流のごとくメーデーの人群街をとよもし通る　河野広治

メーデーの人群を、もつと具体的に表現してほしかつた。一二句のような「ごとく」は常識的で、言葉だけで説明してしまつたのは惜しい。

西国に旅して帰るみちすがらわれに会はんと恩師来給ふ　渥美竜夫

新聞の報道を歌にしたのだから、印象が間接的なのはやむをえない。原水爆禁止を被害者たる日本の婦人のみならず、ドイツの婦人も叫ぶという所は切実な題材だ。

表現の技巧をこらさないで、そのまま歌つたのはよい。ただもつとつよい感動（つよかつた等であるが）が出るべきだろう。

選評　扇畑忠雄

全体的に今月はやや低調の感がある。以下めぼしい作品について寸評をこゝろみる。

霧ふきて日向の窓に置く鉢の今朝は咲きたり朱き花一つ　村山章

この歌の下句は単純でひきしまつた表現だが、「霧ふきて日向の窓に置く」は毎日のことなのか、それとも今朝のことなのかはつきりしない。「今朝は云々」とことわつているから上句は毎日のことのように取れる。歌としては一首全体を今朝のこととして受取れるように明確に表現する必要があろう。一連四首とも、やや手軽いながら素直にうたわれていてよい。

錆びし搬器吊せるままに廃鉱の山の索道峡の空ゆく　西岡孝

一二句を捉えたところは印象的だ。「廃鉱の」以下は、まだ言葉にたよりすぎてまだ輪郭的な表現にとどまつている。

重油滲むぬかるみ過ぎてはだら雪すがしく残る河岸に出でたり　山下光一

福　支　鈴木一睡

天心茗居二句

鶏遊ぶ天心旧居風椿

浴槽（バス）跡のタイルの間の花蓼

うぐひすや大断層のつゞく道　柏崎営　宮山直樹

湯の町は捨て温泉ゆかたに春の月

対岸のクレンうごかず春の月

ふるさとの父と顔よせ昼蛙　佐渡営　中村十ろう

燕来て塵芥今日も焼かれゐる

らんらんと日射すことあり山桜

るうるうと春昼の鳩地に睦つみ　佐渡営　椎野告天子

温泉めぐる春水ひゞき禽楽し

玻璃窓に寒果つる日の酉美し

鶫鳴いて晴れゆく埠頭春浅き　金沢変　土屋丸児

啓蟄をこゝろに静臥鶏の声

うとうとと回診を待つ花曇

日当りに髪梳く女患花紫荊　青　支　福士野生

花吹雪開町記念碑小さく建ち

花吹雪まゝごとの児へ降りかゝる　青　支　佐藤茗黙

退院も間近かし雪残る窓の下

憤り消えず朧を抜く望楼　青　支　井谷智子

タタミ替え蛙の声部屋いつぱい

遠蛙母への強き言葉悔ゆ　青　支　斎藤胡晃

ラジオ消せばわき立つごとし夕蛙

遠蛙部屋を彩どる妻の夜着　大曲営　竹内雄三

送電線垂るみおぼろの月となる

爆音が暫しつゞいて椿（つばき）花落つ　秋　支　藤沢忠太郎

仂ける手の熱残る耕耘機（かううんき）　柏崎営　小関政英

春日遅々残業の印おして出る　岩　支　及川有哉

酔ふて来て歌う花見の帰りとて

咲きみちて落花一片また一片　盛岡営　北村正蔵

水温む湖の明るさ山羊洗ふ

驚に啼きつゝまれて遍路行く　本　店　河野ひろじ

ペンだこの触れれば痛む種を蒔く　発電所社宅を開き花の宴　白石営　金沢慶生

もつれあふ蝶に懈怠の顎をのぶ

流行を追ふ性もなく春愁ふ　福　支　伊具利かたし

日々好日春雨の日も風の日も

街頭に立ちて四月の日に焼けぬ　平　営　見田皿海

木の芽吹く谷ひた走る水圧管

春嵐たてつけ悪き戸をたゝく　平　営　三浦貞美

春雨の何処かに闘ゆ夕汽笛

草萠えの野に児のギブス外しやる　会津電事　加藤つとむ

花の雨巡回映画の旅続く

春雨や病院に行く妻と連れ　柏崎営　小関政英

春の海バツクミラーに明転す

卒業や淋しくなれば径かへす　柏崎営　野村童

日曜に採りしわらびも朝の膳

春水にほろほろ沈むこぼれ土　柏崎営　藤睦夫

笹飴をしやぶり春昼の人となり

春泥の靴干し日曜の午后終る　柏崎営　井一郎

土筆摘む指に幼き想あり

一握の土筆に表情ある如し　佐渡金沢変　菊地大二郎

喪の家も産屋も同じ花の道

車掌服脱いで春の夜の乙女　佐渡給　石黒慕光

咲き過ぎのチューリップ一つ昼のバー

零農の主婦にあまんじ鶏頭蒔く　青　支　宮越昭司

春水や砂利船見えつ午さがり

青　支　遠藤ふさし

雲雀野や高さの限り光充満　青　支　坂井孝造

牙稚き犬組み転げ春の陽に　青　支　佐々木おさむ

銃の肩ゆすりて警備員花の下

大曲営　渡辺富雄

電柱のビラ春月が照らし昇る　一関営　大山晴雲

山吹や我は何時しか暮れて居し　花巻営　阿保春宴

松の間の桜花（はな）を見上げて昼近し

福島営　土谷よしみ

渡舟守暇あれば編む田植蓑

暖かや煙突の影長々と　福島営　野昭一

花種の袋を挿して時き終へぬ　福島営　阿部友広

ほぐれ来しバラの芽に立つ父のかげ　福島営　引地あき夫

遠足の街をよぎりぬ足かろく　原町営　阿部文夫

短い鑑賞

遠藤梧逸

水涸れし庭池を置き花曇

女性の句としては珍らしく地味な句である。小さな花床の他は、これというほどの植木もない庭、その庭には家人の手になつた水のない浅い小池がある。塀の上の空は曇つてはいるが、しかしどことなく明るい。花曇の感じがよく出されていると思う。同じ作者の、「羽二重の手触りが好きな花の冷え」や、「職休むことの淋しくチューリップ」には、女らしい繊細な感情がよく出ている。

一郎と名ずけて春の市役所へ　加藤温流

無造作な言い方の中に、この作者の純情な喜びがあふれている。一郎と名ずけた事も決してありきたりに従つたのではあるまい。

薄き月木蓮のみを照らしをり　黒沼ひろ子

決して暗くはないが、あたりのものがみな朧にかすんでいる。しかし、ふと目の前に高く咲き立つている木蓮に目をやると、花の一つ一つが月の光をうけて、ほのかに匂つているのである。「のみを照らしをり」というは、この場合単なる誇張では決してない。

放牛に麦の青きを四方より　森　外志夫

放牛といつても、小川の堤に草を食んでいる、二、三頭の牛のことであろう。その牛の前後左右、ただ平かに広い青麦畑が展けている。よく見かける平凡な景色をかくまでに力強い句として詠いあげたのは単なる技巧とのみいうべきではあるまい。

原町営　松坂正男

作業衣脱ぎ遅日の街に吐き出さる

子無き妻岸摘みて吾に笑み送る　原町営　坂井富生

田打ちする背にさえづりのはねかえる　平　営　志賀一美

クローバや女生徒の胸ふくらめる　平　営　村沢民

ところどころ濁りてゆるき春の水　平　営　若松長春

また一軒洋宅立ちぬ芝ざくら　竹内まんじ

また一軒新しい家が建つたということは、もはやも陳腐な題材であるといわれても仕方がない。しかしその建つた家が「洋宅」であり、新築の家の庭先には「芝ざくら」が咲いていると言われると、何か新鮮なものを訴えて来ることも否まれない。その家を「洋館」といわず、「洋宅」と言つたことも、言葉をおろそかならず選択していることを語つている。洋宅といわれるとこの頃田舎にも立てられる洋風な小住宅がはつきり浮んで来る。

裏庭の空一ぱいの花李　佐藤鉄歩

ついこのあいだ新潟に行つて、新潟の街の意外に広さ明るさに驚いて帰つたばかりである。そのせいか、私にはこの李の花のそんな明るい情景に、無条件にひきつけられたのである。汚れのない句である。

久方の客と共々朝寝かな　関　よし

別にこれという技巧のさえとては感じられないのであるが、しかし、このましい中流生活の明るさが読むものゝ心をとらえずにはおかない。かゝる朝寝は、いかなる頑な人も許さないわけにはいかないであろう。

ふるさとの父と顔よせ昼蛙　宮山直樹

久しぶりで子が帰つて来たうれしさを、さりげなく胸にたたんで、父はもう庭に下りて草花の世話をはじめている。その父に後から近づいて、跼んだまゝ手入れをしてる花床に、頬をよせるようにして、自分も跼んだのである。庭いつぱいに明るい光があふれ、垣のあたりから、無心な蛙の声がきこえて来る。私はこの句を誦して、ふと草野心平の「蛙」の詩の一節「幸福というものはたわいなくていゝものだ」という言葉を憶い浮べた。

遠蛙部屋を彩る妻の夜着　斎藤胡晃

凡常生活の美しさを、しみじみ感じさせる句である。結婚してまだ子どもがない。家も台所を入れて三間位の小社宅である。夕食はとうにすませ、雑誌も読みあきたのであるが、暑からず寒からざるこの頃の夜はなんとなく寝てしまうのを惜しませる。毎晩田甫からきこえて来る蛙の声は、今夜もきこえて来る。朝が早いのでさきに床に入つた妻は、もう健康な寝息をたてゝいる。何も装飾らしいものゝない室の中に、妻の夜着の花模様のみが、いつそ切ないほど愛らしく美しく見える。

発電所社宅を開き花の宴　河野ひろじ

この発電所も、発電開始してもう二十年にもなる。毎年いま頃になると、構内はやわらかいクローバで敷きつめられ、五、六本のかなりに大木になつた桜が、汚れのない花を満開するのである。その花盛りの日曜日を選んで所員、家族をあげて花見をするのを毎年の例とするのであるが、今年もその日が来た。料理もみなもちよりで、一番ひろい所長社宅の二間つゞきの間の襖は勿論、縁側の障子も皆はずして広間をつくつた。健康な無礼講である。無礼講といつたつて、喧嘩などはもとより知らない。

應募寫眞 ・ 阿部秀陽選

ポートレート　電気試　古山健次
リコーレフ　f.8　1/100

評　若い女性の健康な感じが出ている。上部の焼出しが強すぎる。良。



ポートレート　盛岡営　木村光一
ワゴーレフ　f5.6　1/10

評　女性のおとなしい性格が出ている。写真のよしあしは別として。可。



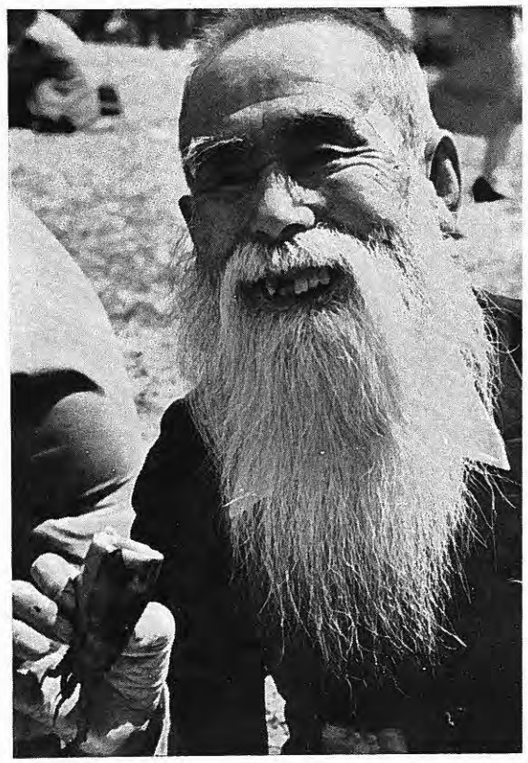


食慾　高田営　関沢庄治
パール　f5.6　1/250

評　ごはんを食べる真剣な表情がよく，手もかわいらしい。背景が美しくないので損をしている。良。

老人　宮古営　伊藤重郎
ニコンS　f5.6　1/200

評　老人の顔がよくとれている。うしろの円い女の背中が邪魔になるし、老人の手もない方がいい。良。



俳句

遠藤梧逸選

羽二重の手触りが好き花の冷え　会津電事　加藤光子
石工の細字を刻む花曇
水涸れし庭池を置き花曇
職休むことの淋しくチューリップ
春昼や注射の重き腕かさね　本店　境野青葉

弘前城

本丸の甍青錆び花の雨
城の垣反り美しく桜散る
三重の濠持つ城の夕桜
大手門くぐつて花の弘前城
狭間より深く見下す花の濠　岩支　佐藤棘矢

底つきし鉱山のいのちや花淋し
お掃除の検査日花の日曜日
村々に種馬くばる厩出し
クロバーの絨氈をしき南部富士　本店　加藤温流

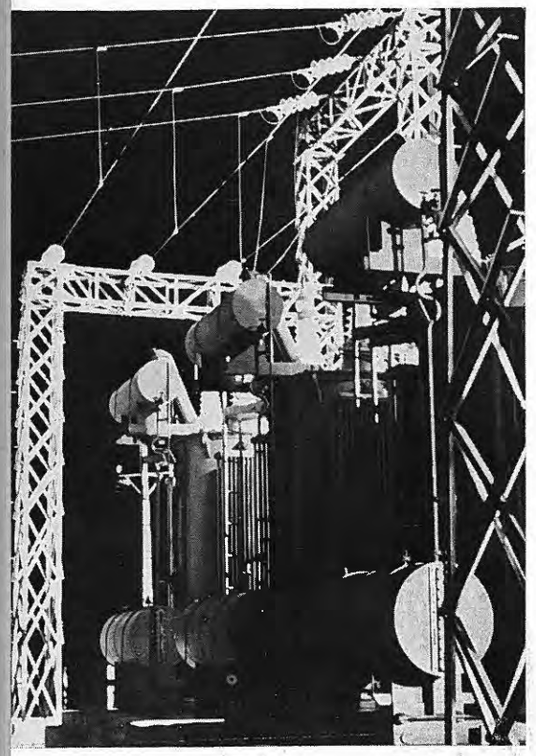
宿直を抜けてパチンコ啄木忌
春暁を破り長男誕生す
春陽の障子を透す産湯かな
一郎と名ずけて春の市役所へ　古川営　久保乙秋

霞釣や海凪ぐ朝の虹二重
霞釣が帰りホテルのつらなる灯
咲く梅に雀らはづみ下りくるよ
鶏群れて蜷あさりをり田の雪解　柏崎営　村山春灯

妻と肩並べ恋めき春の月
梨棚の丘を重ねて花盛り　平営　小松里草
村人に神の一樹の山桜
公園の花の売店つとめかな
葉桜となりたる青葉城趾かな　会津電事　竹内まんじ
進学の長子を送る揚雲雀
映画会ある夕寺の梨の花
また一軒洋宅立ちぬ芝ざくら　会津電事　山内嘉子

松平様を御薬園にお迎えして

新緑を池におとしてお茶の会
甲斐ありし許状うれしく桜草
通勤はたのしみちみち梅咲いて　会津電事　西岡孝
春泥の街賑やかに暮れゆけり
妻の干すものこまごまと日脚のぶ
春愁の鳶の輪高くなりにけり　新支　高木桐舎
舟の波うけてくずるゝ蝌蚪の陣
筍に二三日の雨欲しきとか
干してあるものみな白き春の風　新潟　佐藤鉄歩
朝寝してまばゆき庭にむかひけり
裏庭の空一ぱいの花李
蝶一つ庭に止らず舞ひ去りぬ　小出営　山本テル
夫も又大きなあくび春炬燵
春灯や思い惑へる事のあり
トラックの初運転や猫柳　小出営　関よし
二ケ月の入院加療花便り
学終り帰郷間近き朝寝かな
久方の客と共々朝寝かな　柏崎営　白井牛歩
雲雀落つ奈落の底の海平ら
春暁の屋根かさなりてしづもれる
宿直の一樹のさくら見てたてり
花林檎田舎電車が揺らぎ過ぐ



変電所夜景　　柏崎営　田辺光一

パールII　f3.5　30秒

評　夜間撮影にしては暗部もつぶれず，よくとれている。トリミングした。良。



T君の力走　　盛岡営　鈴木稲造

フジカシックス　f5.6　1/50

評　よく写しているが，背景が悪い。可。



行　商　　宮城・関発　後藤　功

ミノルタレフ　f8　1/50

評　売る人買う人の真剣な表情がよい。良。



かえりみち　　弘前営　工藤鉄児

ミノルタフレツクスIIB　f8　1/100

評　雪降りの感じは出ているが，真うしろから撮つたので人物に動きがない。前方の山すそにつき当るような感じがして画に立体感がない。横からねらつた方がよかつた。良。

社誌編集委員

青森支店	山形陽一
岩手〃	中村盛
秋田〃	藤井吉男
宮城〃	満田良
山形〃	志田哲夫
福島〃	浜島崇
新潟〃	高木茂夫
会津電力事務所	西岡孝
東京事務所	連山仁一郎
電気試験所	古山健次
社長室	三浦英三
総務部	江川泰
労務部	永井公一
経理部	東正男
資材部	二瓶喜雄
営業部	横山文夫
給電部	村山浩
電気部	三瓶久利
土木部	江口栄蔵
建設部	境野恭
編集幹事	土本善平
	高橋勇治
	川又一雄
	斎藤武義
	菅雄吉

社誌原稿募集

次号24号の原稿を募集します。

締切は6月末日，各部，支店編集委員へ

業務報告・論文等　8,000字まで
創作・随筆等　8,000字まで
短歌（扇畑忠雄選）　1人5首
俳句（遠藤梧逸選）　1人5句
詩（扇畑忠雄選）　1人2枚
写真（阿部秀陽選）　キヤビネ1人1枚

研究季報第4号原稿募集

業務に関係ある研究論文・創意工夫・実験報告等

原稿枚数　1篇30枚以内
原稿締切　昭和30年7月15日
発行日　昭和30年11月1日
投稿先　社長室企画課内
研究季報編集係

編集後記

6月1日は「電波の日」とあつて各地に於て関係方面の盛大な催しがあるようである。電波という物理的現象が今日の生活にどんなに重要な地位を占めているか，今更云うまでもないけれども，電力会社に於て電波を利用すること当社の如く高度なものは，まず類がないと云つてよいであろう。勿論当社は強電関係に於ても最新の技術的成果を採用して，斯界に貢献しているのであるが，弱電関係に於て未だ実験的段階にある学理を大胆に応用に移して，之を日常業務に用いていることは斯界の驚異であるとともに，基礎科学方面へも貢献しているのである。又最近話題の中心となつている原子力についても，当社の技術者達は関心を抱いている。原子力発電が実現するのはあまり遠い将来でもないということであるが，進んで止まぬ科学技術はいささかの惰眠も許さないのである。努めざるべけんやである。　（K）



昭和30年5月25日発行
（隔月発行）

発行所　仙台市大町五丁目197
東北電力株式会社
発行者　土本善平
印刷所　今野印刷所